

2023年5月号

リアホナ

皆の思いをイエス・キリストへ



総大会の
説教

ネルソン大管長：
「平和をつくり出す人になる」

新しい中央幹部七十人と
中央役員が支持される

8か国に15の新たな
神殿が発表される



「イエスを忘れ去られた心の隅に追いやることは決してありません。主イエスへの思いが常に心にあり、『心(を)込めて主を賛めたたえ』るからです。〔「造り主の主を」『賛美歌』37番〕祈りをささげ、主に近づいたときの経験を心の中で反芻^{ほんすう}します。忙しい生活の中で心を駆け巡る無数の思いをそっと和らげる、神聖なイメージや聖文、靈感あふれる賛美歌を、心に喜んで迎え入れるのです。主に対する愛が、この死すべき世における不幸や悲しみの盾となってくれるわけではありませんが、自分の力をはるかに超える強さを得て苦難を乗り越えていくことができるようになります。」

—ニール・L・アンダーセン長老「心にイエス・キリストへの思いがはっきりと浮かんできた」



The Greatest in the Kingdom (「天國に上らぬ者こそ偉い」) マーカウ・ノボトニエフ 聖職者

「その夜に弟子の一人から裏切られることを御存じでありながら、謙虚に弟子たちの足を洗われたイエスが何を感じておられたか少し考えてください。……救い主は、深い悲しみと重圧を抱えながらも、御自身の模範によりこう教えられました。『愛は寛容であり、愛は情深^{なまげ}い。……ねたむことをしない。……高ぶらない、誇らない。不作法をしない、自分の利益を求めない。いらだたない、恨みをいだかない』〔1コリント13:4-5〕。」

—ウリセス・ソアレス長老「平和の君に従う者」

リアホナ 2023年5月号 目次

第47巻・5号

土曜午前の部会

- 6 最も偉大なイースターの物語
ゲーリー・E・ステイブソン長老
- 10 キリストについて証する機会を決して手放してはいけないよ
ボニー・H・コードン会長
- 13 信仰をもって進み続ける
カール・B・クック長老
- 16 ミニスタリング
ゲレット・W・ゴング長老
- 20 無事集められて家に帰る
クエンティン・L・クック長老
- 25 末日のための生ける預言者
アレン・D・ヘイニー長老
- 29 個人の平安を見いだす
ヘンリー・B・アイリング管長

土曜午後の部会

- 32 中央幹部、地域七十人、ならびに中央役員
の支持
ダリン・H・オークス管長
- 34 2022年度教会監査部報告
ジェレド・B・ラーソン
- 35 聖約を通して神の力にあずかる
デール・G・レンランド長老
- 39 救い主はわたしを癒すことができになる
ピーター・F・マーズ長老
- 42 祝福師の祝福—天の御父からの、靈感あふれる導き
ランドール・K・ベネット長老
- 45 「わたしはほかにはあり得ないほど美しく、また快い喜びを味わった」
クレイグ・C・クリステンセン長老
- 48 キリストの教義を信頼する
エバン・A・シュムツ長老
- 52 神殿と家族歴史活動—一つの同じ業
ベンハミン・デ・オヨス長老
- 55 イエス・キリストは親の強さです
ディーター・F・ワークトドルフ長老

土曜夜の部会

- 60 キリストのような冷静さ
マーク・A・ブラッグ長老
- 64 イエス・キリストに焦点を当てる
ミルトン・カマルゴ兄弟
- 67 ほんとうに赦されたのでしょうか
K・ブレット・ナットレス長老

- 70 主イエス・キリストは人に仕えるように
教えておられる
フアン・A・ウセダ長老

日曜午前の部会

- 77 キリストにあって一つとなる
D・トッド・クリストファーソン長老
- 81 イエス・キリストは安らぎです
カミール・N・ジョンソン会長
- 85 平和の君に従う者
ウリセス・ソアレス長老
- 88 祝福師の祝福は、いつ受けるべきか
山下和彦長老
- 91 心にイエス・キリストへの思いがはつきり
と浮かんできた
ニール・L・アンダーセン長老
- 95 喜びの声です！
ケビン・R・ダンカン長老
- 98 平和をつくり出す人が必要です
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午後の部会

- 102 イエス・キリストの教え
ダリン・H・オークス管長
- 105 最も大切なことを覚えておく
M・ラッセル・バラード会長

- 108 いと高き神に、ホサナ
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 113 不完全な収穫
バーン・P・スタンフィル長老
- 116 4日目の後に
W・マーク・バセット長老
- 119 クリスマスとして、なぜわたしがキリストを
信じていると思いますか？
アーマド・S・コービット長老
- 123 「わたしにつながっていないさい。そうす
れば、わたしはあなたとつながってい
よう。それゆえ、わたしとともに歩み
なさい。」
デビッド・A・ベドナー長老
- 127 答えは常にイエス・キリストにある
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 74 末日聖徒イエス・キリスト教会の中央幹
部と中央役員
- 129 2022年度統計報告
- 130 新しい召し
- 135 教会のニュース
- 143 「わたしに従って来なさい」—総大会の
メッセージを教え、学び、応用する



第193回年次総大会

2023年4月1日, 土曜午前の部会

司会 — ダリン・H・オークス管長
開会の祈り — ベンジャミン・M・Z・タイ長老
閉会の祈り — マーク・L・ベイス会長
音楽 — テンプルスクウェア・タバナクル合唱団; 指揮—マック・ウィルバーク, ライアン・マーフィー; 伴奏—リチャード・エリオット, ブライアン・マサイアス: 「来たれ, 主の子ら」『賛美歌』31番; 「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番, ウィルバーク編曲; 「明けゆく空」『賛美歌』28番, マーフィー編曲; 「いざ救いの日を楽しまん」『賛美歌』193番, マーフィー編曲; 「山の上に」『賛美歌』2番, ウィルバーク編曲。

2023年4月1日, 土曜午後の部会

司会 — ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り — アラン・R・ワーカー長老
閉会の祈り — トレーシー・Y・ブラウニング姉妹
音楽 — ブリガム・ヤング大学の合同聖歌隊; 指揮—ブレント・ウェルズ, ソニア・ポールター, アンドリュー・クレイン; 伴奏—ジョセフ・ピーブルズ, リンダ・マーゲッツ: 「主のみ言葉は」『賛美歌』46番, ブッセルバーク編曲; 「主はわが飼い手」『賛美歌』63番, ウィルバーク編曲; 「主は光」『賛美歌』47番; 「主よ, われと共に」『賛美歌』94番, ゲイツ編曲。

2023年4月1日, 土曜夜の部会

司会 — ダリン・H・オークス管長
開会の祈り — ホルヘ・T・ベセラ長老
閉会の祈り — J・アネット・デニス姉妹
音楽 — ローガン宗教教育インスティテュートの合同聖歌隊; 指揮—ブライソン・アシュクラフト, エリック・スタウファー, アレン・マシューズ; 伴奏—リンダ・マーゲッツ: 「シオンのつわもの」『賛美歌』159番, シャンク編曲; 「いやしく生まれ」『賛美歌』113番, カセン編曲; 「主はよみがえりぬ」『賛美歌』114番; 「さらに聖くなお努めん」『賛美歌』74番, ライト編曲。

2023年4月2日, 日曜午前の部会

司会 — ダリン・H・オークス管長
開会の祈り — ジェームズ・R・ラズバンド長老
閉会の祈り — ティエリー・K・ムトンボ長老
音楽 — テンプルスクウェア・タバナクル合唱団; 指揮—マック・ウィルバーク; 伴奏—アンドリュー・アンズワース, リチャード・エリオット: 「神に栄え」『賛美歌』33番; 「贖いの主」『賛美歌』73番, ウィルバーク編曲;

「ひそかな祈り」『賛美歌』79番, ウィルバーク編曲; 「導きたまえよ」『賛美歌』41番; 「This Is the Christ,」 Faust/Pinborough/Moody, arr. Bradford; 「救い主, われ信ず」『賛美歌』72番, ウィルバーク編曲。

2023年4月2日, 日曜午後の部会

司会 — ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り — ジョン・A・マキューン長老
閉会の祈り — アデインカ・A・オジェディアン長老
音楽 — テンプルスクウェア・タバナクル合唱団; 指揮—マック・ウィルバーク, ライアン・マーフィー; 伴奏—ブライアン・マサイアス: 「喜べ, 主を」『賛美歌』32番, マーフィー編曲; 「主イエスの愛に」『賛美歌』109番, マーフィー編曲; 「われらは天の王に」『賛美歌』157番; 「主は生けりと知る」『賛美歌』75番, ウィルバーク編曲。

総大会の説教の入手

総大会の説教は、「福音ライブラリー」アプリや conference.ChurchofJesusChrist.org でデジタル版の閲覧が可能です。障害のある会員が利用できる形式の総大会に関する情報は disability.ChurchofJesusChrist.org で入手できます。

表紙

表紙—新約聖書再現の写真/マシュー・ライアー
裏表紙—写真/コディー・ベル

大会の写真

ソルトレーク・シティーにおける総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。コディー・ベル, メーソン・コーバリー, レスリー・ニルソン, クリスティ・パウエル, ハンター・ウインタートン。その他の写真/ルイス・アルバレス, ベンソン・アールド, ウスエルデン・バヤンニヤム, ジャネイ・ビンガム, シャーリー・プリト, フェルナンド・J・カルデロン, クレイトン・チャン, クリスティン・グラノーアー, シンシア・E・エレーラ, ニール・カビリング, アシュリー・ラーセン, バーバラ・リーチ, アメリカ・リヨン, ダニエル・マルティネス, メラニー・ミザ, エビック・ンゴマ, サヤカ・オオクボ, イヴォン・オリオーダン, アリス・プリヤ, パルソア・ラコトマナナ, ネイサン・ノエル・リード, ヘレン・ローズ, ステファン・セエブ, ニコ・セーリー, アマンダ・スティード, カロリーナ・トリアナ, インタレング・トワラ, カウイ・ウィホンギ, アンドレア・ウィクストラ。

説明書きのない写真はすべて、カンファレンスセンターまたはソルトレーク・シティーのテンプルスクウェアで撮影されました。



グアテマラ

リアホナ 2023年5月 第47巻・5号

リアホナ (19205 300)

大管長会: ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オックス, ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会: M・ラッセル・バラード, ジェフリー・R・ホランド, デイター・F・ウークトドルフ, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン, ロナルド・A・ラスバンド, ゲーリー・E・スティープンソン, デール・G・レンランド, ゲレット・W・ゴング, ウリセス・ソアレス

編集長: ランドール・K・ベネット

編集長補佐: リカルド・P・ヒメネス

顧問: ジャン・E・ニューマン, マイケル・T・リングウッド, クリストフィン・M・イー

実務運営ディレクター: リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター: アダム・C・オルソン

パブリッシングチームマネージャー: リー・ギボンズ

ビジネスマネージャー: ガー・キャンノ

編集主幹: マーティン・パロン

編集主幹補佐: フリタニー・ビーティ, ライアン・カー, C・マシュー・フリットン, ミンディー・セル

出版補佐: ナンシー・サットン

編集委員: キャレット・H・ガフ, チャケル・ワードレイ・ハーバート, マイケル・R・モリス, アリソン・R・ウッド

編集インターン: ジェシカ・アン・ローレンス, レベッカ・E・ライト

アートディレクター: マイケル・ダンフォード

デザイナー: フェイ・P・アンドラス, デビッド・グリーン, コリーン・ヒンクレー, スコット・M・ムーイ

デザインインターン: アレシア・シュバート

版權および許諾コーディネーター: プリシラ・ビール・モッタ

制作主幹: アンモン・ハリス

制作: アイラ・グレン・アデア, ジュリー・バーデット, ホセ・チャベス, ゼーン・R・クレイII, ブライアン・W・ギューキ, マリッサ・M・スミス, ローン・ソロモン

印刷ディレクター: スティーブン・T・ルイス

配送ディレクター: ネルソン・コンザレス

日本語版訳読課長: 大森陽子 ●定期購読は、末日聖徒イエス・キリスト教会公式オンラインストアにてお申込みください。 <https://store.churchofjesuschrist.org/jpn/ja> 発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会 〒106-0047 東京都港区南麻布5-8-8 価格: 年間購読(国内)「リアホナ」1,090円, 「フレンド」870円, 「For the Strength of Youth—青少年の強さのために」870円(すべて送料込み) 海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへのお申込みをお勧めします。

郵送先住所: Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ハンガリー語, アイスマンド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スワヒリ語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

© 2023 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報: 別途記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的(教会の召しも心)で使用する場合に複製することができます。この権利は取り消される可能性があります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合には複製できません。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 5, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メールで cor-intellectualproperty@ChurchofJesusChrist.org にお問い合わせください。

For Readers in the United States and Canada: May 2023 Vol. 47 No. 5. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA. Subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. **Subscription help line: 1-800-537-5971.** Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store. Church of Jesus Christ of God, (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 5071.5.2). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



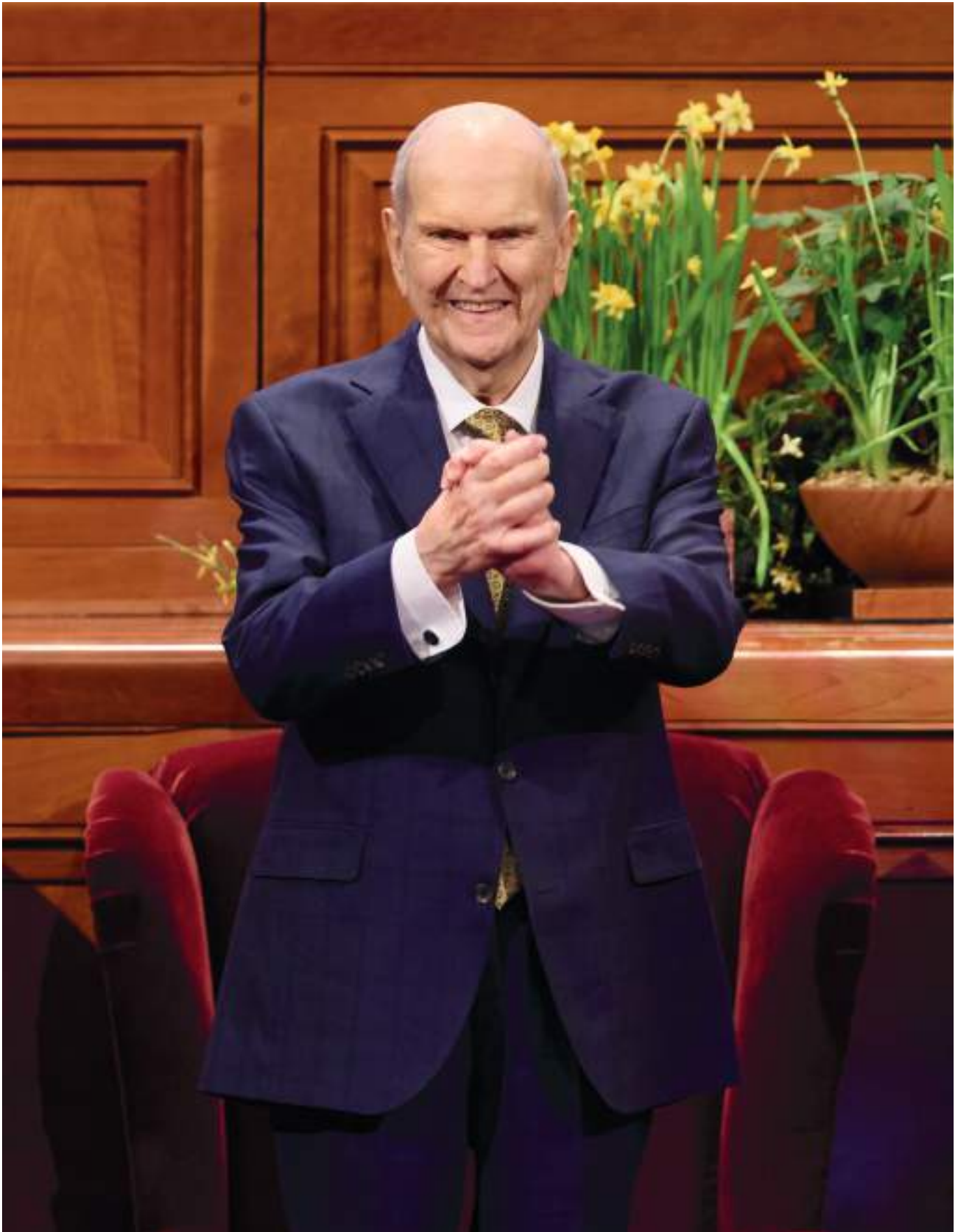
話者リスト (50音順)

アイリング, ヘンリー・B, 29
アンダーセン, ニール・L, 91
ウークトドルフ, デイター・F, 55
ウセダ, フアン・A, 70
オックス, ダリン・H, 102
カマルゴ, ミルトン, 64
クック, カール・B, 13
クック, クエンティン・L, 20
クリステンセン, クレグ・C, 45
クリストファーソン, D・トッド, 77
コードン, ボニー・H, 10
コービット, アーマド・S, 119
ゴング, ゲレット・W, 16
シュムツ, エバン・A, 48
ジョンソン, カミール・N, 81
スタンフィル, パーン・P, 113
スティープンソン, ゲーリー・E, 6
ソアレス, ウリセス, 85
ダンカン, ケビン・R, 95
デ・オオス, ベンハミン, 52
ナットレス, K・ブレット, 67
ネルソン, ラッセル・M, 98, 127
バセツ, W・マーク, 116
バラード, M・ラッセル, 105
ブラッグ, マーク・A, 60
ヘイニー, アレン・D, 25
ベドナー, デビッド・A, 123
ベネット, ランドール・K, 42
マーズ, ビーター・F, 39
山下和彦, 88
ラーソン, ジェレド・B, 34
ラズバンド, ロナルド・A, 108
レンランド, デール・G, 35

テーマ別索引

愛, 16, 29, 55, 67, 70, 77, 85, 98, 102
証, 10, 105
贖い, 39
争い, 77, 98
イエス・キリスト, 6, 10, 16, 35, 39, 45, 48, 55, 60, 64, 67, 70, 77, 81, 85, 91, 95, 98, 102, 105, 108, 113, 116, 119, 123, 127
怒り, 98
イスラエルの家, 20
一致, 77
癒し, 39, 67, 81, 127
促し, 105
永遠の命, 119
教える, 55, 102
親, 55
終わりの時, 25
回復, 95
家族, 55, 64, 105
家族歴史, 52
活発化, 29, 70
神から受け継いだ特質, 60, 42
儀式, 35, 52
奇跡, 116
希望, 116
逆境, 13, 48, 60, 64, 81, 116
教会の教義, 48, 119
キリスト教, 119
悔い改め, 45, 48, 67, 91
クリスマス, 6
啓示, 55
個人の価値, 113
子供, 29, 55
死, 116
慈愛, 81, 85, 98
集合, 20

従順, 25, 29, 116
祝福, 20, 35
祝福師の祝福, 42, 88
贖罪, 45, 60, 67, 81, 91, 108, 119
ジョセフ・スミス, 13
信仰, 13, 29, 55, 116
神殿, 35, 52, 95, 127
神殿の業, 52, 95
信頼, 48
救いの計画, 60, 119
正義, 119
聖文, 102
聖文研究, 64, 102
聖約, 35, 64, 81, 88, 116, 123
聖霊, 10, 13, 29, 105, 108
堪え忍ぶ, 123
罪, 45
弟子の務め, 10, 35, 60, 85, 98, 108, 123
伝道活動, 20
忍耐, 13
復活, 6
復活祭, 6, 127
平安, 29, 81, 85, 91, 98
平和をつくり出す, 98
奉仕, 16
ミニスタリング, 16, 70
恵み, 113
モルモン書, 6, 20, 39
勇気, 13, 42
優先順位, 105
救し, 39, 67, 81
預言, 108
預言者, 25
喜び, 45, 91, 95
楽観主義, 29
ラッセル・M・ネルソン, 25



第193回年次総大会の見どころ



「この2日間、わたしたちは霊的な養いを受けてきました」と、ラッセル・M・ネルソン大管長は、第193回末日聖徒イエス・キリスト教会年次総大会の最後に言っています(127ページ参照)。その霊的なごちそうには、争いを慈愛や思いやり、平安に置き換えることによって救い主イエス・キリストに倣うようになどの勧告もありました(98ページのネルソン大管長の話を参照。77ページのクリストファーソン長老と85ページのソアレス長老の話も参照)。

「今日わたしは、皆さんに、人との接し方という観点から弟子としての自分の生き方を吟味するようお招きします。必要に応じて改善して、皆さんの行いが、人を高め、敬意に満ちた、イエス・キリストの真の弟子を代表するようなものになるよう祝福します。」(98ページ

参照)

ネルソン大管長だけでなく教会のその他の指導者たちもまた、わたしたちの疑問や試練、失望、何かを失うことに対する答えは、「平和の賜物」を与えてくださる救い主イエス・キリストの模範と教え、贖罪、復活の中にあると断言しました(29ページのアイリング管長の話を参照。102ページのオークス管長および81ページのジョンソン会長、39ページのマーズ長老の話も参照)。話者たちは、救い主に焦点を当て(64ページのカマルゴ長老の話も参照)、主を礼拝し(6ページのステューブソン長老の話も参照)、主のもとに来て(10ページのコードン会長の話を参照)、主に対する証を強め(105ページのバラード会長の話を参照)、主が行われるようにミニスターングを行い(16

ページのゴング長老および70ページのウセダ長老の話を参照)、弟子としてさらに良い働きをするようにと勧めました(123ページのベドナー長老および108ページのラズバンド長老、60ページのブラッグ長老の話も参照)。

教会の指導者たちはまた、祝福師の祝福を大切にするようにと勧めました。祝福師の祝福を受けていない人には、祝福を受けるのに「ふさわしい時期」について祈るようにと勧告しています(42ページのベネット長老と88ページの山下長老の話も参照)。

ネルソン大管長は15の新しい神殿の建設を発表し、「イエス・キリストこそが、わたしたちが神殿を建てる理由で[ある]」と指摘しました(127ページ。35ページのレンランド長老および52ページのデ・オヨス長老、95ページのダンカン長老の話も参照)。

わたしたちは5人の新しい中央幹部七十人と、新しい中央若い女性会会長、新しい中央若い男性会長の一人を支持するとともに、解任された人々や2023年8月1日に解任される人々に心からの感謝の気持ちを表明しました。

総大会を何度も読み、視聴し、そのメッセージを研究し、「教えられた真理について深く考え[る]」(ネルソン大管長、127ページ)ならば、わたしたちはこれらの話者たちと同様に、わたしたちの救いの源であるイエス・キリストについて話し、喜び、宣べ伝え、証したいという望みを持つようになるでしょう(2ニューファイ25:26参照)。■



最も偉大な イースターの物語

新たな目でモルモン書を見て、モルモン書の中の、キリストが実際に復活されたことについての深い証について考えてみてください。

イースターについての大管長会の手紙

数週間前に、各ワードや支部で大管長会からの手紙が読み上げられたことと思います。その手紙には、来週のイースター（復活祭）の日曜日に、すべてのワードと支部で聖餐会だけを行い、残りの礼拝の時間は、家族とともに家庭でこの大切な祝日を祝うようにとありました。¹

大管長会の手紙が心に残り、これまで家族でイースターをどのように祝ってきたかを思い返しました。考えれば考えるほど、イエス・キリストを信じる人々にとって重要なこの祝日のほんとうの意味を、理解できていないかもしれないと感じました。

クリスマスとイースターの伝統

そのうちに、クリスマスの祝い方とイースターの祝い方の違いについて考え始めました。12月になると、わたしたちは「ジングルベル」やクリスマスのブーツやプレゼント、心のこもった伝統を楽しみます。困っている人を助けたり、好きなクリスマスの歌や賛美歌を歌ったり、聖典を開いて、ルカ書第2章のクリスマスの物語を読んだりします。毎年、大きな古い聖書からこの大好きな物語を読むときに、皆さんの中にも同じようにする方がいるかもし

れませんが、頭と肩にタオルを巻き、バスローブを着て、ヨセフとマリヤ、そして幼いイエスを拝みに来た大勢の人たちの格好をして、救い主の誕生にまつわる大好きなクリスマスの物語を再現します。

一方、我が家のイースターの祝い方は少し違います。わたしたち家族は「教会に行く」ことがイースターにイエス様を礼拝することで、その後、家族として集まり、ともにイースターの伝統的な活動をし、子供たちや、今では孫たちが、イースターのエッグハントをしたり、イースターバスケットの中を探る様子を見るのが楽しみでした。

しかし、大管長会の手紙を読んで、目が覚めました。大管長会は、すべての人に、イエス・キリストの贖罪と復活という、地上で最も大切な出来事を祝うときに、主にふさわしい敬虔さと敬意を払うよう勧め、さらに、家族や友人とともにイースターの日曜日を過ごすための時間を与えてくれたのです。

預言者ジョセフ・スミスは、イースターにまつわる出来事がなぜ大切なのか、このように教えています。「わたしたちの宗教の基本原則は、使徒と預言者たちがイエス・キリストについて立てた証です。すなわち主が亡くなり、葬られ、3日目に再

びよみがえって、天に昇られたことです。わたしたちの宗教に関するほかのすべての事柄は、それに付随するにすぎません。」²

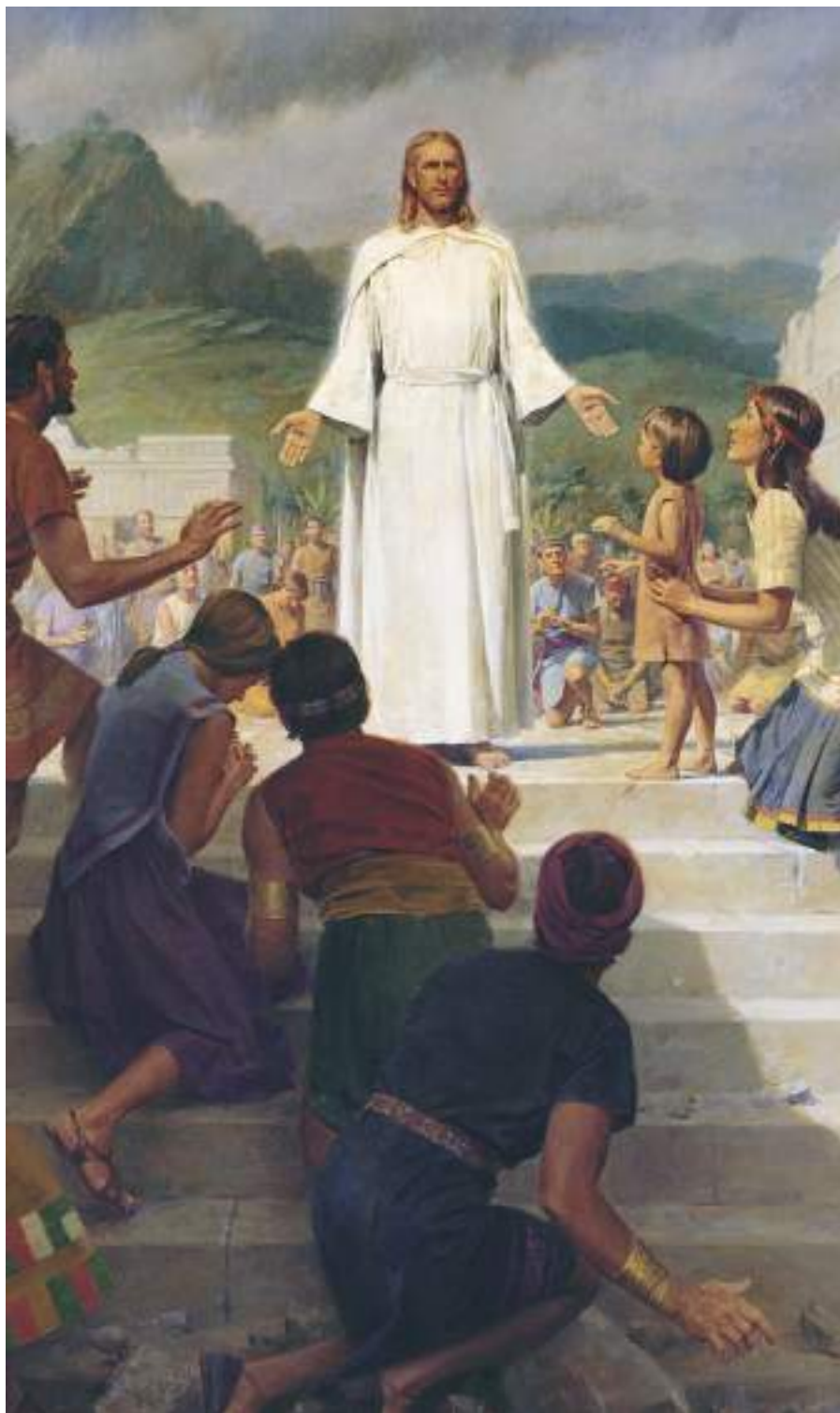
わたしは妻のリサと、家族でイースターの季節をよりよく過ごす方法について話し合いました。「イエス・キリストの復活についての教えとお祝い、つまりイースターの物語を、イエス・キリストの降誕、つまりクリスマスの物語と同じようなバランスと完全さと、豊かな宗教的な伝統をもって祝うにはどうすればよいだろうか」と考えてみるのは価値あることです。

今、わたしたちは努力しているところで、末日聖徒が、さらにキリストを中心としたイースターに向けて努力をしているのを目にします。ほかのクリスチャンの方々が祝っている「しゅろの日」や「聖金曜日」への認識を改めることもその一つです。世界各国の文化に見られる、キリストを中心としたよいイースターの伝統を取り入れてもよいでしょう。

新約聖書の学者、N・T・ライトはこのように示唆しています。「わたしたちは、独創的な方法でイースターを祝うために歩み出さなければなりません——芸術、文学、子供の遊び、詩や音楽、ダンス、祭り、ベル、特別なコンサートなど。……イースターはわたしたちの最大のお祭りです。もしクリスマスがなければ、聖書で言うだけ、マタイ書とルカ書の冒頭の2章が消えるだけです。しかし、イースターがなければ、新約聖書もキリスト教もありません。」³

イースターと聖書、そしてモルモン書

わたしたちが聖書を大切にするのは、それがイエス・キリストの誕生と務め、十字架の上の死、復活について教えているからです。イースターの朝に墓の園で天使が言った「〔主は〕よみがえられた」⁴という言葉以上に、全人類に希望と永遠にわたる影響を与える言葉はありません。イースターの物語と、ユダヤとガリラヤでの救



「アメリカ大陸を訪れたイエス・キリスト」の一部／ジョン・スコット画

わたしはモルモン書に心を動かされます。それはモルモン書が、イエス・キリストの生涯と教導の業、教え、贖罪、復活について証しているからです。

い主のイースターの務めについての記録が収められている新約聖書に心から感謝しています。

よりキリスト中心の、家族と過ごすイースターを祝う方法について、妻のリサとともに考えながら、ルカ2章と並ぶイースターの聖句として、どの聖句を、伝統として読むべきか話し合いました。

すると、このような天からのひらめきがありました。新約聖書の中の、イースターについての大切な聖句に加えて、末日聖徒は最も素晴らしいイースターの贈り物を頂いている、ということです。イースターの奇跡についてのもう一つの証として、モルモン書の中で、イエス・キリストが復活の栄光を帯びて、新世界に住む民に御姿を現された、最も素晴らしいイースターの聖句があります。

預言者ジョセフ・スミスはモルモン書について「最も正確な書物」⁵であると述べました。第三ニーファイ11章から、復活されたキリストがニーファイの民を訪れた、救い主の復活後の務めについての素晴らしい物語について記されています。これらの復活に関する聖句は、主イエス・キリストの復活の記録です。

これらの章の中で、キリストは十二弟子を召し、山上の垂訓で教えたように教え、モーセの律法を成就されたと宣言し、末日におけるイスラエルの集合について預言されました。主は病人を癒し、栄光をもって人々のために祈り、「〔彼らは〕イエスが話されるのを見聞きし〔まし〕たが、それはどんな舌も語ることができず、どんな人も書き記すことができず、人々の心が想像できないほど、大いなる驚くべきことで〔し〕た。また〔彼ら〕は、イエスが〔彼ら〕のために御父に祈ってくださるのを聞〔きまし〕たが、そのときに〔彼ら〕の心に満ちた喜びは、だれも想像することができない」⁶ものでした。

このイースターに、わたしたちの家族は、皆さんもよく知っている第三ニーファ



イ11章の最初の17節に目を向けることにしました。バウンティフルの地の神殿に集まっていた大勢の人たちが、父なる神の声を聞き、イエス・キリストが天から降りて来て美しいイースターの招きをされたのを覚えていると思います。

『立ってわたしのもとに来て、……わたしの両手と両足の釘の跡に触れて、わたしが……全地の神であること、そして世の罪のために殺されたことを知りなさい。』

そこで群衆は……一人ずつ進み出て、……自分の目で見、自分の手で触れ、この御方が、……主であられることを、……証した。

彼らは……一斉に叫んだ。

『ホサナ。いと高き神の御名がほめられたえられますように。』そして、彼らはイエスの足もとに伏して、イエスを拝した。』⁷

神殿に集まったニーファイの民が復活された主の御手に実際に触れているところを想像してみてください。ルカ書第2章がクリスマスの伝統の一部であるように、第三ニーファイのこれらの章がイースターの伝統となるよう願っています。実際、モルモン書にはイースターについての最も偉大な物語が収められています。この偉大な物語が忘れられることのないように願っています。

新たな目でモルモン書を見るようお勧めします。モルモン書の中の、キリストが実際に復活されたことについての深い証

と、豊かで深い、キリストの教義について考えてみてください。

モルモン書はイエス・キリストについて証する

なぜイースターにモルモン書の聖句を読むことが、自分や愛する人の生活に有意義な祝福をもたらすのだろうかと思うかもしれません。次のことに気づいている人は少なくないでしょう。モルモン書を読み、研究することには、わたしたちが思う以上にすばらしい効果があります。

最近、リサとともに、ある信仰深い友人の女性の告別式に出席しました。彼女は病気のために短い生涯を閉じました。わたしたちは彼女の家族や親しい友人と集まり、わたしたちの人生を豊かにしてくれたこのすばらしい女性の思い出について語り合いました。

棺から離れた所で話を交わしていると、二人の少女が棺に近づき、つま先立ちで、愛するおばに最後のあいさつをするために、棺をのぞきこもうとしていました。近くにだれもいなかったため、リサはそっと近寄ると、二人の隣にしゃがみ、二人を慰め、教えました。リサは二人に元気か尋ね、おばが今どこにいるかを知っているか尋ねました。二人とも悲しみを感じていましたが、神の尊いこの娘たちは、確信に満ちた目で、おばは今幸せだと知っている、おばはイエス様とともに暮らせるのだ

と言いました。

幼いながら、二人とも偉大な幸福の計画に平安を見だし、救い主の復活が深遠な出来事であり、現実起こった、簡潔で美しい出来事であることを子供らしく証したのです。二人がこのことを心で知ったのは、愛に満ちた両親や家族、初等協会の指導者たちが、イエス・キリストと永遠の命を信じる信仰の種をまいたためです。幼いにもかかわらず、この二人は、モルモン書の中のイースターのメッセージや、復活された救い主の務め、預言者の言葉によってわたしたちにもたらされる真理を理解していました。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、世界のリーダーや、教会員でない人にモルモン書を贈るときに、第三ニーファイを開いて、復活されたキリストがニーファイの民に御姿を現された話を読みます。そうすることで、生ける預言者は生けるキリストの証をしているのです。

主の証を述べる以外に、イエス・キリストの証人となることはできません。モルモン書がイエス・キリストについてのもう一つの証である理由は、その神聖なページの最初から終わりまで、預言者たちが、キリストが将来来られるだけでなく、すでに来られたことを証しているためです。

イエスのおかげで

わたしが手に持っているのは、モルモ

ン書の初版です。こうして手に持つといつも心を動かされます。わたしはいつも、若いジョセフ・スミスがこの神聖な聖典を翻訳し、出版するためにしてくれたことや、起こるべくして起こった奇跡について考えると、圧倒されます。

しかし、この書物に心が動かされる理由はそれだけではありません。心を動かされるのは、この書物が、地上のどの書物にも増して、イエス・キリストの生涯と務め、教え、贖罪、復活について証しているからです。愛する兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストについてこの書物を定期的に学ぶことで、人生は変わります。新たな可能性を見いだすでしょう。希望が増し、心が慈愛で満たされるでしょう。何よりも、イエス・キリストを信じる信仰を築き、それを強めて、イエスと御父が自分を知っていて、愛していて、天の家に戻って来てほしいと願っておられることを確かに知ることができるでしょう。

愛する兄弟姉妹の皆さん、預言者たちが預言してきた時がやって来ました。「救い主についての知識が、あらゆる国民、部族、国語の民、民族の間に広まる時が来る。」⁸ モルモン書に収められているイエス・キリストの証を通して、わたしたちはこの預言が成就するのを目の当たりにしているのです。

ほかのどの書物よりもモルモン書は次のことを教えてくれます。

イエス・キリストのおかげで、すべてが変わりました。

主のおかげで、すべてがより良くなります。

主のおかげで、苦しいときでも人生をやり遂げることができます。

主のおかげで、何でもできます。

復活された救い主が御姿を現され、父なる神に紹介されたことは、最も栄えある、イースターの勝利のメッセージです。それは、自分自身の家族が、死の束縛を断ってくださった救い主、贖い主であられ

るイエス・キリストについて個人的な証を得る助けとなるでしょう。

最後に、モルモン書が真実であり、イエス・キリストが生ける神の御子であられることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 2023年2月15日付大管長会の手紙参照
2. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』49; 強調付加
3. N. T. Wright, *Surprised by Hope: Rethinking Heaven, the Resurrection, and the Mission of the Church* (2008), 256.
4. マタイ 28:6
5. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』64
6. 3 ニーフアイ 17:17
7. 3 ニーフアイ 11:1-17 参照
8. モーサヤ 3:20



ウルグアイ



中央若い女性会長
ボニー・H・コードン会長

キリストについて 証する機会を決して 手放してはいけないよ

真の喜びは、進んでキリストのもとへ近づき、証人になりたいと願うわたしたちの意志にかかっています。

5年前の今日、わたしたちは手を挙げ、愛するラッセル・M・ネルソン大管長を末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として支持しました。大管長は、注目に値する発展と啓示にあふれるこの時代に、主の代弁者を務めています。大管長を通じて、わたしたちは数え切れないほどの招きを受け、もし救い主イエス・キリストを生活の中心に据えるならば栄えある祝福を受けるであろうと約束されました。

2011年、美しいブラジルのクリチバで伝道部指導者として夫と奉仕していたとき、集會中にわたしの電話が鳴りました。着信音を消そうと急いで操作していると、その電話が父からだ気づきました。素早く退席して電話に出ました。「あら、お父さん。」

予想に反して、父の声は震えています。「やあ、ボニー。ちょっと話しておきたいことがある。ALSと診断されたんだ。」

混乱で頭が回りません。「ちょっと待っ

て！ALSって何？」

父はすでに説明を始めていました。「意識はしっかりしていても、体がだんだん動かなくなっていくんだ。」

この悲しい知らせの意味合いに葛藤し始めながら、自分の世界ががらりと変わる予感がしました。しかしあの忘れがたい日に父が最後に発した一言が、わたしの心にいつまでも残っています。敬愛する父は緊迫した様子でこう言いました。「ボニー、キリストについて証する機会を決して手放してはいけないよ。」

父の助言について熟考し、祈りを重ねてきました。イエス・キリストについて証する機会を決して手放さないという意味をきちんと理解しているだろうか、度々自問してきました。

皆さんのように、月の初めの日曜日には、時折壇上に立ち、キリストについて証を述べてきました。レッスンの一部として、福音の真理について何度も証してきました。宣教師として、真理を大胆に教え、キリストの神性を宣言してきました。

けれども今回の嘆願は、よりわたしを思っの言葉に感じました。まるで父がこう言っているかのようでした。「ボニー、この世に圧倒されてはだめだ。救い主と



ブエルトリコ

交わした聖約に忠実でありなさい。日々主の祝福を味わい、生活で感じる主の力と実在について聖霊を通して証するよう努めなさい。」

わたしたちが住む墮落した世界は、わたしたちの目や心を天ではなく世俗的なことへと向けるよう促す、気を散らす事柄であふれています。第三ニーフай 11章に描かれているニーフай人と同様に、わたしたちにもイエス・キリストが必要で、多くの混乱と破滅を経験したあの民の中にいる自分を想像できますか。救い主御自身があなたを招かれるのを耳にしたとしたらどのように感じるでしょうか。

『「立ってわたしのもとの来て、あなたがたの手をわたしのわきに差し入れ、またわたしの両手と両足の釘の跡に触れて、わたしが……全地の神であること、そして世の罪のために殺されたことを知りなさい。」』

そこで群衆は進み出て、……一人ずつ進み出て、……自分の目で見、自分の手で触れ、……知って……自ら確認した……。」¹

これらのニーフай人は進み出て、手を主のわきに差し入れ、主の両手と両足の釘の跡に触れることを切望しました。この御方こそがキリストであることの証人となるためです。同様に、今年新約聖書で学んだ多くの忠実な人々も、キリストの訪れを心待ちにしていました。そして彼らは畑や作業場、食卓を離れて主に従い、主に押し寄せ、周囲に群がって来て、主とともに座しました。わたしたちは、聖文に描かれているこの群衆と同じくらい、証人となることを切望しているのでしょうか。わたしたちが求める祝福は、彼らが必要とした祝福に比べ、取るに足りないものなのでしょうか。

キリストが神殿にいたニーフай人に御姿を現されたとき、主の招きは、距離を取って立ち、主を仰ぎ見るというものではありませんでした。主に触れ、人類の救い主の実在を感じるよう招かれたのです。イエス・キリストについての個人的な証を得るのに十分なほど主に近づくにはどうすれば

よいのでしょうか。父がわたしに教えようとしていたことの一部はこれだったのかもしれない。地上での務めを果たされている間にキリストとともに歩んだ人々と同様の、主との物理的な近さを味わうことはないかもしれませんが、聖霊を通して主の力を日々感じるすることができます。しかもわたしたちにとって必要なだけ十分にです！

キリストを求め、主に対する個人的な証を日々得ることについて、世界中の若い女性がわたしに教えてくれました。そのうちの二人からの学びを御紹介しましょう。

リビーはいつも総大会を視聴しています。実のところ、彼女の家では家族で5つすべての部会を視聴するのが伝統です。以前のリビーにとって、大会は紙に落書きをしてみたり、時折予期せぬうたた寝に陥って過ごすのが常でした。しかし、昨年の10月の総大会は違いました。より有意義なものとなったのです。

このとき、リビーは積極的に話を聞くことを決意しました。携帯の通知をサイレントモードにし、御霊から受けた印象を書き留めました。彼女に聞くように、また行

うようにと神が望んでおられる具体的な事柄があると感じたリビーは驚きました。彼女の決意は、彼女の人生に即座に違いを生みしました。

それからほんの数日後、友人たちがリビーを不適切な映画に誘いました。彼女はこう振り返ります。「大会で聞いた言葉や感じた御霊が自分の心によみがえるのを感じました。次の瞬間、誘いを断る自分の声が聞こえました。」彼女はまた勇気を持って、自分のワードで救い主に対する証を分かち合いました。

これらの出来事を受けて、彼女はこう言っています。「驚いたのは、イエスがキリストであると証する自分の声を聞くと、もう一度聖霊がわたしに確認してくれるのを感じたことです。」

リビーはただ何となく形だけ大会に参加するのではなく、思いと精神を集中させることで、救い主を見いだしたのです。

もう一人は**マディー**です。彼女の家族が教会に出席しなくなり、マディーはどうすればよいか悩み、答えが分かりませんでした。マディーは大切な何かが失われていること



に気づいたのです。そして13歳になると、彼女は一人で教会に出席するようになりました。一人で出席することは時に難しく、居心地の良いものではありませんでした。しかし、マディーは教会で救い主を見いだせることと、救い主がおられる場所に自分がいたいことを分かっていました。こう言っています。「教会で、わたしの魂はまるで家にいるかのように感じていました。」

マディーは、自分の家族が永遠に結び固められているという事実に信頼を寄せ、弟たちを教会に連れていったり、家で彼らと一緒に聖文を研究し始めたりしました。やがて、彼女の母親がその輪に加わりました。マディーは母親に自分の願いを告げました。それは、伝道に出たいということ、そして一緒に神殿に参入するために準備をしてほしいということでした。

現在、マディーはMTC(宣教師訓練センター)にいます。彼女は奉仕し、キリストのことを証しています。彼女の模範は、両親が神殿に戻り、キリストのもとへ戻る助けとなりました。

リビーやマディーのようにキリストを求めることを選ぶとき、御霊は実に多くの様々な状況下で主を証してくださることでしょう。これらの御霊による証は、わたしたちが断食し、祈り、待ち、絶えず前進するときに得られます。神殿で頻繁に礼拝すること、日々悔い改めること、聖文研究、教会やセミナーに出席すること、祝福師の祝福について深く考えること、ふさわしい状態で儀式を受けること、神聖な聖約を尊ぶことを通して、キリストとの距離は縮まります。ここに挙げたすべての事柄は、御霊を招いてわたしたちの思いを照らし、さらなる平安と守りをもたらすものです。しかし、キリストを証する神聖な機会として、わたしたちはこれらを尊んでいるのでしょうか。

わたしは神殿に何度も参入してきましたが、主の宮で礼拝するとき、自分が変わります。断食が単におなかをすかせることになってしまうこともあれば、目的をもって

御霊を味わえることもあります。祈りが、ほそそそ言葉を繰り返し、習慣化していることもあります。祈りを通して主から助言を受けたいと切望することもあります。

これらの神聖な習慣をチェックリストとしてではなく、証人となる機会とするためにはエネルギーを要します。その過程は緩やかですが、日々成長し、キリストに積極的に携わり、キリストと意義深い経験をすることができます。主の教えに一貫して従い行動するとき、主に対する証を得ます。主や天の御父と関係を築くことができます。次第に御二方ようになるのです。

敵対する者がひどく騒ぎ立てるので、主の声を聞くのは困難です。わたしたちの世界、わたしたちの試練、わたしたちの状況が静まり返ることはないでしょう。ですが、はっきりと「主に聞〔く〕」ためにキリストに関する事柄に飢え渴くことができますし、そうしなければなりません。² 日々、救い主に頼っている事実に焦点を当てるため、弟子としての生活と証を体に染みつかせたいのです。

父が旅立って11年以上がたちますが、父の言葉はわたしの中で生き続けています。「ボニー、キリストについて証する機会を決して手放してはいけません。」父の招きをわたしとともに受けてくださるよう、皆さんにお勧めします。至る所にキリストを見いだしてください。主は必ずおられると約束します!³ 真の喜びは、進んでキリストのもとへ近づき、証人になりたいと願うわたしたちの意志にかかっています。

わたしたちは末日に、イエスはキリストであると、「すべてのひざがかがみ、すべての舌が……告白〔する〕」ことを知っています。⁴ この証人となることが、今のわたしたちにとって普通で自然な経験となるよう祈ります。喜びをもって、イエス・キリストが生きておられることをあらゆる機会を捉えて証することができますように。

わたしは主を心から愛しています。主の無限の贖罪が、「〔わたしたちに〕対して永

遠の命への可能性〔を〕開〔き〕、不死不滅〔を〕現実のものに〔してくれた〕」⁵ ことに心から感謝します。救い主の慈しみと大いなる栄光を、イエス・キリストの聖なる御名によって証します。アーメン。■

注

1. 3 ニーファイ 11:14 - 16; 強調付加
2. ラッセル・M・ネルソン「彼に聞きなさい」『リアホナ』2020年5月号, 88 - 92 参照
3. アルマ 30:44; 教義と聖約 6:36; モーセ 6:63 参照
4. モーサヤ 27:31. 教義と聖約 88:104 も参照
5. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 93



メキシコ



七十人会長会
カール・B・クック長老

信仰をもって進み続ける

救い主イエス・キリストを信じる信仰を働かせるならば、どのような障害に遭ったとしても、落胆を乗り越えることができます。

使徒のジョージ・A・スミス長老は、非常に困難な時期に預言者ジョセフ・スミスから次の勧告を受けました。「ジョセフはわたしに、どのような困難に取り囲まれようとも、決して落胆してはいけなと言いました。ノバスコシアの炭鉱の底に沈められ、ロッキー山脈全体が頭上にのしかかってきたとしても、落胆せずに踏ん張り、信仰を働かせ、勇気を持ち続けるならば、ついには山の頂に出ることができるのです。」¹

なぜ預言者ジョセフは苦しんでいる人に対してそのように言えたのでしょうか。それが真実であると知っていたからです。身をもって知っていたのです。ジョセフは人生で何度も厳しい苦難を経験しました。しかし、イエス・キリストとその贖罪を信じる信仰を働かせて進み続け、乗り越えられないように思える障害を乗り越えていきました。²

今日わたしは、失望やつらい経験、自分のふがいなさ、そのほかの試練に直面したとき落胆に打ちのめされないようにという、ジョセフのこの嘆願を改めて皆さんに申し上げたいと思います。

落胆と言っても、うつ病や不安障害など、特別な治療の必要な病気について話しているわけではありません。³ 人生の浮き沈みに伴ってよく起こる、一般的な落胆に

ついて話しています。

わたしは、何が起ころうと信仰をもって進み続けるヒーローたちに励まされます。⁴ モルモン書には、ラバンの僕ゾーラムが登場します。ニーファイが真鍮の版を手に入れたとき、ゾーラムはニーファイとその兄たちについて荒れ野に行くか、さもなくば命を失うかのどちらかを選ばなければなりませんでした。

何という選択でしょう！ 最初、ゾーラムは逃げようとしませんが、ニーファイはゾーラムを押さえつけて、もし自分たちと一緒に行けば自由になり、自分たちの家族とともに暮らすことができると誓って言いました。そこでゾーラムは勇気を得て、ニー

ファイたちと一緒にいったのでした。⁵

ゾーラムは新しい生活の中で多くの苦難に遭いましたが、信仰をもって力強く進みました。ゾーラムが過去への未練を抱き続けたことや、神やほかの人たちに憤慨していたことを示す記録はありません。⁶ ゾーラムは預言者ニーファイの真の友であり、彼も子孫も約束の地で自由に暮らし、栄えました。自分の道に立ちだかった大きな障害が、最終的には豊かな祝福につながったのです。それはゾーラムが信仰をもって、忠実に喜んで進み続けたからでした。⁷

最近、ある勇敢な姉妹が困難を乗り越えた経験を話すのを聞きました。⁸ 幾つかの試練を抱えていた彼女は、ある日曜日、扶助協会で教師の話に耳を傾けていると、その教師が絵に描いたように完璧な人生を送っているように思えました。自分の人生とは大違いです。彼女は疲れ切り、落胆しました。自分についていけない、居場所もないと感じ、立ち上がってその場を去りました。もう二度と教会には戻らないつもりでした。ところが、車に向かって歩いていると、「礼拝堂に入って聖餐会の話者の話を聞きなさい」と促されるのをはっきりと感じたのです。その促しには疑問を感じましたが、再び強く促されるのを感じたので、聖餐会に出ました。

そこで聞いたメッセージは、まさに彼女



オーストラリア

が必要としていたものでした。御霊を感じました。主のもとにとどまるように、主の弟子となるように、教会に出席するようにと主が自分に望んでおられることを知り、彼女はそうにしました。

彼女が何に感謝したか分かりますか。自分が諦めなかったことです。彼女は、つらいときでも、イエス・キリストを信じる信仰をもって進み続けました。そして力強く進むことによって、家族とともに豊かな祝福を受けています。

天地の神は、わたしたちが神に頼り、聖霊の促しに従い、⁹ 信仰をもって進み続けるならば、落胆しても、どのような障害に遭遇しても、それを乗り越えられるよう助けてくださいます。

ありがたいことに、わたしたちが弱いときや能力に欠けているとき、主はわたしたちの信仰を強めてくださいます。わたしたちの能力を増し加えてくださいます。わたしはそれを経験してきました。20年以上前のことですが、わたしは思いがけず地域七十人に召され、自分にはその力がないと痛切に感じました。訓練の割り当ての後、わたしは初めてステーキ大会を管理することになりました。¹⁰ ステーキ会長とわたしは細部にわたって綿密に計画しました。大会の少し前、当時十二使徒定員会会長代理であったボイド・K・パッカー会長から電話があり、自分も同行してよいかと尋ねられました。驚きましたが、もちろん同意しました。パッカー会長が管理することになったので、大会の進め方について意向を伺いました。パッカー会長は、計画を白紙に戻して、御霊に従う備えをすることを提案しました。幸いなことに、わたしにはまだ、研究し、祈り、備える時間が10日間ありました。

定められたアジェンダがないまま、指導者集会が始まる20分前、わたしたちは壇上に座っていました。わたしはステーキ会長に近づいて、「すばらしいステーキですね」とささやきました。

パッカー会長はわたしを優しくひじでつつ

いて、「話さないでください」と言いました。

話すのをやめると、パッカー会長の「啓示をもたらす敬虔さ」¹¹ という総大会の説教が思い浮かびました。パッカー会長が参照聖句を書き留めているのが見えました。パッカー会長は集会について導きを受けているのだという御霊の確認を、わたしは受けました。わたしの学習経験は始まったばかりでした。

パッカー会長は最初の15分間話し、すべての集会を聖なる御霊によって導かれるままに執り行うことの大切さを強調しました。¹² そして言いました。「これからクック長老の話を聞きます。」

わたしは説教壇に向かう途中で、どのくらいの時間話したらよいか、話してほしいテーマはあるか、パッカー会長に尋ねました。「15分です。靈感を感じるままに話してください」とのことでした。わたしは14分ほどかけて、頭の中にあることをすべて話しました。

パッカー会長は再び立ち上がると、また15分間話し、次の聖句を分かち合いました。

「わたしがあなたがたの心の中に入れる思いを語りなさい。そうすれば、あなたがたは人々の前で辱められることはないであろう。

あなたがたの言うべきことは、……まことにその瞬間にあなたがたに授けられる

からである。」¹³

そして、「では、クック長老から話を聞きます」と言ったのです。

わたしは驚きました。一つの集会で2度話すよう言われることがあるなど、考えたこともなかったのです。頭の中には何も言うべきことはありませんでした。熱烈に祈り、助けを求めて主に頼ったところ、どうにか言うべきことと、一つの聖句を授かり、また15分間話すことができました。わたしはすっかり疲れ果てて腰を下ろしました。

パッカー会長は御霊に従うことについて再び15分間話し、わたしたちは「人間の知恵が教える言葉」を話すのではなく、「御霊の教える言葉」¹⁴ を話すべきであるというパウロの教えを分かち合いました。御想像のとおり、パッカー会長は3度目の靈感を受けて、「では、クック長老から話を聞きます」と言ったのです。わたしは途方に暮れました。

もう空っぽです。話すことなどありません。さらに信仰を働かせる時が来たと思いました。ゆっくりと説教壇に向かいながら、神に助けを請い求めました。マイクの前に立つと、主は奇跡的にわたしを祝福してください、何とかもう一度15分間のメッセージを述べることができました。¹⁵

ようやくこの集会は終わりましたが、わ



コートジボワール



マダガスカル

わたしは成人部会が1時間後に始まることにすぐに気がつきました。さて、困りました。ゾーラムのように、逃げたいと心から思いましたが、ニーファイがゾーラムを捕まえたように、パッカー会長がわたしを捕まえることは分かっていました。成人の集会もまったく同じ方式でした。わたしはさらに3回話しました。翌日の一般部会では、わたしは1度話しました。

大会後、パッカー会長は愛情を込めて、「いつかまた同じようにやりましょう」と言いました。わたしはボイド・K・パッカー会長を愛しています。学んだすべてのことに対して感謝の気持ちでいっぱいです。

わたしが何に感謝しているのかわかりませんか。自分が諦めたり、抵抗したりしなかったことです。あの集会から逃げたいという切実な気持ちに負けていたら、信仰を増し加え、天の御父から豊かな愛と支援を受ける機会を逃していたことでしょう。わたしは主の憐れみと、イエス・キリストとその贖罪の持つ、人に能力を授ける奇跡的な力、そして聖霊の力強い影響について学びました。わたしは弱さが

ありますが、¹⁶ それでも奉仕できることを学びました。信仰をもって進み続けるならば、主がそばにいてくださるときに役に立つことができるのです。

人生で直面する問題の規模や範囲、深刻さにかかわらず、わたしたちは皆、やめたいとか、その場から去りたい、逃げたい、諦めたいと思うことがあります。しかし、救い主イエス・キリストを信じる信仰を働かせるならば、どのような障害に遭ったとしても、落胆を乗り越えることができます。

救い主は、御自身に与えられた業を終えられたように、わたしたちが自分に与えられた業を終えることができるように助ける力をお持ちです。¹⁷ どんなに岩だらけの道になろうとも、わたしたちは祝福を受けて聖約の道を前進することができ、最終的には永遠の命を受けることができます。¹⁸

預言者ジョセフ・スミスが言ったように、「神の聖徒である皆さん、引き続き忠実であって、いましばらくの間堪え忍んでください。そうすれば人生の嵐は過ぎ去り、皆さんは自分が仕える御方である神から報いを受けるでしょう。」¹⁹ イエス・キ

リストの御名により、アーメン。■

注

1. ジョージ・A・スミスの言葉、『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』235で引用
2. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』227-236参照
3. わたしは落胆について話していますが、「キリストを信じる信仰をもって進み続ける」ことだけが、臨床的うつ病や不安障害などを患っている人に必要な努力だと言っているわけではありません。この話を聞いている友人や家族、そのほかの人たちには、主を信頼しながら、医療や精神的、霊的な治療を受けるようにという教会指導者たちの勧告を重ねてお伝えします。人にはそれぞれ本人にしか分からない問題があるものだとことを、わたしは知っています。皆さんのために心から祈っています。
4. 聖文の中のわたしのヒーローには、カレブ(民数14:6-9, 24参照)やヨブ(ヨブ19:25-26参照)、ニーファイ(1ニーファイ3:7参照)などがいます。それに加えてわたしには現代のヒーローたちもいます。
5. 1ニーファイ4:20, 30-35, 38参照
6. デール・G・レンランド「憤りを感じるほどの不公平」『リアホナ』2021年5月号, 41-45参照
7. 2ニーファイ1:30-32参照。「[ゾーラムは]多少の困難に耐えなければなりませんでしたが、自分が陥った状況こそが、神がゾーラムに祝福を与えるために定められた状況だったのです。ゾーラムは故郷を捨てなければなりませんでしたが、神はさらに良い地を備えておられました。」(David B. Paxman, “Zoram and I: Getting Our Stories Straight” [Brigham Young University devotional, July 27, 2010], 8, speeches.byu.edu)
8. わたしは2022年12月11日、ユタ州リバーデールステークのあるワードで、この姉妹の証を聞きました。彼女が話しているのは、以前所属していたワードで経験したことです。
9. 教義と聖約11:12-13参照
10. わたしの割り当ては、2001年11月3-4日、ユタ州ベンソンステークにおいてでした。ジュリー・トゥームズ会長がステーク会長でした。
11. ボイド・K・パッカー「啓示をもたらす敬虔さ」『聖徒の道』1992年1月号, 23-25参照
12. 教義と聖約46:2参照
13. 教義と聖約100:5-6。7-8節も参照
14. 1コリント2:13
15. ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように言っています。「あなたが霊的に、かつてないほど熱心に手を伸ばすとき、[救い主]の力はあなたに流れ込みます。」(「イエス・キリストの力を生活に取り入れる」『リアホナ』2017年5月号, 42)
16. エテル12:27参照
17. ヨハネ17:4参照
18. 2ニーファイ31:20; モーサヤ2:41; アルマ36:3参照
19. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』235



十二使徒定員会
ゲレット・W・ゴング長老

ミニスタリング

主がなさるように人に手を差し伸べ、関心を示そうではありませんか。特に、ミニスタリングを愛により、割り当てにより行う特権にあずかった人に、そのようにしましょう。

愛する兄弟姉妹、友人の皆さん、総大会へようこそ！

昨年10月の総大会の後、ゴング姉妹とわたしはカンファレンスセンターの中を歩いて、人々にあいさつし、総大会の感想を聞きました。

メキシコから来た教会員は、「オイ・エス・エル・ティエンポ・デ・メヒコ（今はメキシコの時代だ）」と言っていました。

イギリスから来ていた友人同士のジリーとメアリーとも出会いました。メアリーは、教会に入ったときに住所を失いました。ジリーは寛大な心で、メアリーと一緒に住むよう招きました。ジリーは信仰で胸をいっぱいにして、こう言っています。「わたしは主がともにいてくださることを疑ったことはありません。」総大会で彼女は、47年前に彼女を教えた姉妹宣教師との喜びの再会もしました。

ジェフと妻のメリッサは総大会に出席していましたが、ジェフは総大会が初めてでした。プロ野球の選手だったジェフは（キャッチャーでした）、今は麻酔の専門医です。ジェフはわたしに言いました。「自分でも驚いているのですが、わたしはバプテスマの準備をしています。それがいちばん正しく、正直に生きる道のような気がするものですから。」

白いワイシャツを着た人（つまり教会員）を家に入れたくないというジェフの考えを、最初のころ、メリッサは謝りながらミニスタリングブラザーに伝えていました。ミニスタリングブラザーは、「何か方法を

見つけます」と言いました。このミニスタリングブラザーとジェフは、今ではいい友達です。ジェフのバプテスマ会には、ジェフやメリッサ、娘のシャーロットも大好きなワードの会員の方々が集っていました。

人生が変わるのを待っている人々がいるので、わたしたちはイエス・キリストに従う者として、主のようにミニスタリングをしようと努めます。

わたしの知り合いのペギーから、彼女の旦那さんのジョンが、結婚して31年たつ今、バプテスマを受けることになったと聞いて、何があったのかと尋ねました。

ペギーは言いました。「ジョンとわたし

は、『わたしに従ってきなさい』の新約聖書を勉強していたのですが、教会の教義についてジョンは質問してきました。」

でも、「じゃあ、宣教師を呼びましょう」とペギーが言うと、

「ぼくの友達が来れないかぎり、宣教師はだめだ」とジョンは言ったのです。10年かけて、ジョンのミニスタリングブラザーは、ジョンが信頼する友達になりました。（ジョンのミニスタリングブラザーが1年や2年、または9年で来るのをやめていたらどうなっていたかと、わたしは思いました。）

ジョンは宣教師の教えを聞きました。真剣にモルモン書を読みました。そして、宣教師がバプテスマを受けるよう勧めると、ジョンは「はい」と言ったのです。ペギーは「腰を抜かすほど驚いて、泣き出しました」と言いました。

「わたしは主に近づくにつれて変わったのです」とジョンは言っています。その後、ジョンとペギーは聖なる神殿で結び固められました。去年の12月、ジョンは92歳で亡くなりました。ペギーはこう言っています。



妻のメリッサとともに写真に収まるジェフ。ジェフは、ミニスタリングブラザーのおかげで心の変化を経験しました。

「ジョンはもともといい人でしたが、バプテスマを受けてすばらしい変化を遂げました。」

コロナのパンデミックのころ、ゴング姉妹とわたしは、メブとジェニー夫妻とビデオ通話で話しました。(わたしたちはコロナ蔓延中に、彼らのステーク会長がよく祈って紹介してくれた多くのすばらしい夫婦や個人と、ビデオ通話をしました。)

メブとジェニーは、結婚生活で懸念していることがあるため、自分たちの神殿結婚を守ることができるのか、できるとすればどうしたらよいのか疑問に思っているとつましく話しました。イエス・キリストの贖罪と、自分たちの交わした聖約を確固として守ることが助けになると、二人は信じていました。

メブとジェニーが新しい神殿推薦状を受け取って、一緒に主の宮に再び参入したとき、わたしがどんなにうれしかったか想像してみてください。その後メブは、命を失いかけるような経験をしました。メブとジェニーが主とお互いに交わした聖約の関係に戻ることができ、周囲の多くの人からミニスタリングの愛を感じていることは、何という祝福でしょうか。

どこへ行っても、救い主がなさるようにミニスタリングを行い、思いやりを示している人々から学べることに、感謝しています。

ゴング姉妹とわたしはペルーで、サルバドールとそのきょうだいたちと知り合いました。¹サルバドールとそのきょうだいは、孤児です。その日はサルバドールの誕生日でした。忠実にこの家族にミニスタリングをする教会の指導者と会員に、わたしは鼓舞されます。「清く汚れない信心とは、困っている孤児や、やもめを見舞い」、²「弱い者を助け、垂れている手を上げ、弱くなったひざを強め」³とということです。

香港のある長老定員会の会長は、定員会でミニスタリング面接を常に100パーセント行っていることを謙虚に話しています。「よく祈って同僚を決め、だれもがだれかを気にかけ、だれかから気かけられるよ



サルバドールとそのきょうだいたちに忠実にミニスタリングを行うペルーの教会員に、わたしは啓発されます。

うにしています」とこの会長は言います。「各組に、ミニスタリング先の人たちについて定期的に聞いています。リストをチェックするものではありません。ミニスタリングをしてくれている人たちに、わたしたちはミニスタリングをしているのです。」

コンゴ民主共和国キンシャサでは、ボコロステーク会長が、家族とともにフランスで教会に入ったことを話しています。ボコロ兄弟は、ある日祝福師の祝福文を読んでいて、家族とともにコンゴ民主共和国に帰るべきだと御霊が促すのを感じました。コンゴに戻ればいろいろな困難があることが、ボコロ兄弟には分かっていました。しかも、自分たちの通っている末日聖徒イエス・キリスト教会は、そのころキンシャサにはまだなかったのです。

それでも、ほかの多くの会員と同じように、ボコロ家族は信仰をもって主の御霊に従いました。キンシャサでは、ミニスタリングを行って周りの人たちを祝福し、困難を克服して、霊的にも物質的にも祝福を受けました。現在、彼らは自国に主の宮があることを喜んでいました。⁴

ある改宗者は、個人の模範というミニスタリングを受けました。彼は若いころ、ビーチでブラブラする日々を過ごしていたそうです。ある日、「肌の露出の少ない水着を着ているとてもすてきな女性を見か

けたんです」と彼は言います。彼は驚いて、とても美人なのになぜそんなに地味な水着を着ているのかと尋ねたところ、その女性は末日聖徒イエス・キリスト教会の会員でした。彼女は笑顔でこう聞いてきました。「日曜日に教会に来ませんか。」若者は、「行きます」と答えました。

何年も前、ある割り当てで行動を共にしていたとき、L・トム・ペリー長老は、ボストンのスラム街に一人で住む姉妹と同僚とミニスタリングを定期的にしてきたときの話をしてくれました。ペリー長老と同僚が来ると、その姉妹は用心してこう言いました。「お二人の神殿推薦状をドアの下から入れてください。」2枚の推薦状を確認してからでないと、彼女は幾つもの鍵を外してドアを開けることはありませんでした。⁵もちろん、ミニスタリングをするために神殿推薦状が必要だと言っているわけではありません。でもわたしは、聖約を尊んでミニスタリングをするなら、家の鍵と心が開かれるという考えはすばらしいと思います。

ペリー長老は、実践的なアドバイスも与えてくれました。「ミニスタリングを行う二人組に、移動時間がうまく使えるよう地理的に近い所に住む人たちを、よく祈って選び、妥当な人数を割り当ててください。」また、このように助言しました。「いちばん訪問する必要がある人から始めます。



果樹園の主人とその僕たちは實い実を結ばせ、ワードまたは支部という靈的なエコシステムの中でそれぞれの木を強い木に育てます。

訪問をいちばん歓迎してくれる、反応の良い人から、関係を築くようにしてください。」そして、最後にこう言いました。「忠実に続ければ、奇跡が起こります。」

より高く、より神聖なミニスタリング⁶は、「キリストの純粹な愛」⁷を求めて祈り、御靈に従うときに、できるようになります。それはまた、長老定員会と扶助協会の会長会がビショップの指示の下で、ミニスタリングの同僚の割り当てを含むミニスタリングの働きの監督を行うときに、できるようになります。どうか、教会の若い男性と若い女性に、経験豊富なミニスタリングブラザーやシスターとミニスタリングに同行して教わる、彼らに必要な機会を与えてください。教会の若者たちに、同僚のミニスタリングブラザーやシスターを鼓舞してもらおうのです。

場所によっては、教会の中で、ミニスタリングにギャップが生じています。ミニスタリングを行っていると言う人の数が、ミニスタリングを受けていると言う人の数よりも多いことがあるのです。割り当てを受けているから関心を示してほしいのではありません。しかし、多くの場合、廊下で心を込めてあいさつをしたり、駐車場で気軽に「助けましょうか」と言葉を掛けた

りすること以上のことが必要です。会員の家庭を定期的に訪問して、そのときに手を差し伸べ、その人の状態を知り、人間関係を築くことは、多くの場所ですることです。靈感を受けた勧めは、人の人生を変えます。勧められることによって神聖な聖約を交わして守る助けとなれば、わたしたちは主に近づき、お互いに近づきます。

ミニスタリングの眞の精神を理解している人は以前より多くのことを行うようになり、そうでない人は行うことが少なくなる、と言われていました。救い主がなされるであろうように、より多くのことを行いましょう。賛美歌で歌っているように、それは「愛と義務の恵み」⁸なのです。

ワード評議会や長老定員会、扶助協会の皆さん、どうか良い羊飼いの声に聞き従って、主が「うせたものを尋ね、迷い出たものを引き返し、傷ついたものを包み、弱ったものを強く」⁹なさるのを助けてください。わたしたちは、すべての人のために、主の宿で彼らのいる余地を作るならば、¹¹「気づかないで御使たちを」もてなすかもしれない¹⁰のです。

靈感に基づくミニスタリングは家族や個人を祝福し、ワードや支部も強めます。自分のワードや支部を、靈的なエコシステ

ムと考えてください。モルモン書に出てくるオリーブの木のたとえを使うならば、果樹園の主人とその僕は、すべての木の強い部分と弱い部分を一緒にすることによって、尊い実を实らせ、それぞれの木を強い木に育てます。¹²果樹園の主人とその僕は、「これ以上何ができたであろうか」¹³と繰り返し問いかけています。彼らは靈感に基づくミニスタリングを継続して行うことによって、人の心と家庭、ワードや支部とともに祝福しているのです。¹⁴

ミニスタリング、つまり羊を養うことは、わたしたちの果樹園を「一つの体」¹⁵つまり、聖なる森にします。その森にある木々はそれぞれ、生きた家族という木です。根や枝が絡まり合っています。ミニスタリングは、複数の世代にわたって祝福を与えます。奉仕が必要なとき、賢いビショップや長老定員会の会長会、扶助協会の会長会は、「ミニスタリングブラザーまたはシスターはだれですか」と問いかけます。ワード評議会やミニスタリング面接では、課題や問題を尋ねるだけではありません。見る目をもって見て、主がなさるであろうミニスタリングを行うときに、生活の中に主の深い憐れみが多く注がれるのを喜ぶのです。

救い主は完全な模範であられま

す。¹⁶ 主は善良であるため、良い働きをしながら巡回することがおできになります。¹⁷ 主は1匹の羊も、残りの99匹の羊も祝福されます。主はミニスタリングを体現しておられます。わたしたちは「最も小さい者のひとりに」何かをするとき、¹⁸ 自分を愛するように隣人を愛するとき、¹⁹ 「[主が] あなたがたを愛したように……互に愛し合」うとき、²⁰ そして、「偉くなりたと思う者[が] 仕える人とな[る]」とき、²¹ イエス・キリストにより似た者になっていくのです。

イエス・キリストがミニスタリングをなさいます。天使たちがミニスタリングをします。²² イエス・キリストに従う者は、「互いに仕え合」い、²³ 「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣き」、²⁴ 「民を見守り、義にかかわることをもって彼らを養」い、²⁵ 「貧しい者と乏しい者、病気の者と苦しんでいる者を……思い起こし」、²⁶ 自分の働きによって主の名が知られるようになります。²⁷ 主が行われるようにミニスタリングを行うとき、わたしたちは主の奇跡、主の祝福を見ますし、²⁸ 「はるかにすぐれた務」²⁹ を得るのです。

肉体は疲れたとしても、主のために奉仕するならば「善を行うことに疲れ果て[ません。]」³⁰ わたしたちは最善を尽くし、自分の力以上に早く走らず、³¹ しかし、使徒パウロが教えているように「神は喜んで施す人を愛して下さる」³² ことを信じます。

なぜなら、「種まく人に種と食べるためのパンとを備えて下さる[神は]、あなたも種を備え、それをふやし」³³ くださるからです。言い換えれば、神は「すべてのことに豊かに」³⁴ なるようにして下さるのです。「豊かにまく者は、豊かに刈り取ることに」³⁵ なります。

どこにいようと、この復活祭のときに、主がなさるように人に手を差し伸べ、関心を示そうではありませんか。特に、ミニスタリングを愛により、割り当てにより行う特権にあずかった人に、そのようにしましょう。そうすることによって、わたしたちがイエス・キリストにも、周りの人にも近づいていき、主が望まれるように一人一人がさらに主に似た者となり、イエス・キリストに従う者になれるように。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. ゴング姉妹とわたしは、この訪問をエンリケ長老とルース・ファラベラ姉妹とともにしました。サルバドルとそのきょうだいは、以前に撮られたこの写真よりも現在は大きくなっていますが、今でも、思いやりのあるミニスタリングを忠実にしてくれる兄弟姉妹に囲まれて愛されています。
2. ヤコブの手紙 1: 27
3. 教義と聖約 81: 5
4. ポコロ会長と家族の写真は、ゴング姉妹とわたしが会ったときのものです。
5. See L. Tom Perry, "Strive to Be Temple Worthy" (Ricks College devotional, Sept. 19, 1989), byui.edu/devotionalsandspeeches.
6. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 100 参照

7. モロナイ 7: 47 - 48 参照。1 - 8 節も参照
8. 「今日われ善きことせしか」『賛美歌』137 番
9. エゼキエル 34: 16。エゼキエル 34 章で主は、羊に世話や養いが与えられなかった場合の結果についてもイスラエルの羊飼いらに警告しています。
10. ヘブル 13: 2
11. ルカ 2: 7: 10: 33 - 34 参照
12. ここで言っていることは、モルモン書ヤコブ 5 章の随所にあります。17 - 18, 20, 24, 75 節を参照してください。28 節では、こう言っています。「果樹園の主人と僕は、果樹園のすべての実に養いを与えた。」(強調付加)
13. 果樹園の主人は、「わたしの果樹園のために、これ以上何ができたであろうか」(モルモン書ヤコブ 5: 41, 49; 強調付加) と 2 度言っており、「わたしは、果樹園でこれ以上何ができたであろうか」(モルモン書ヤコブ 5: 47; 強調付加) と 1 度言っています。
14. モーサヤ 18: 21 およびマタイ 25: 40 の精神で、これを行います。
15. モルモン書ヤコブ 5: 74 参照: 「また、これらの木は一つの体のようになり、実はすべて同じであった。」また、例えば、1 コリント 12: 12: 「からだの一つであっても肢体は多くあり、また、からだのすべての肢体が多くあっても、からだは一つであるように、キリストの場合も同様である」も参照
16. 聖文では、救い主がミニスタリングをされた例が随所に出てきます。例えば、群衆が押し迫る中で、ある女が自分の衣の裾に触れた瞬間に、救い主はほかにしていたことをやめて、癒しの力がその女に流れてゆくのを意識されます(マルコ 5: 24 - 34 参照)。また、「食事をする暇もなかった」(マルコ 6: 31) ために、イエスと弟子たちは疲れた体で休む場所を探していたにもかかわらず、救い主は、飼う者のない羊のような群衆を見て、彼らを癒し、教え、食べさせられます。後にパンと魚の残りを集め、幾つかのかごをいっぱいになります(マルコ 6: 31 - 44 参照)。
17. 使徒 10: 38 参照
18. マタイ 25: 35 - 40 参照
19. マルコ 12: 31 参照
20. ヨハネ 13: 34
21. マタイ 20: 26。ルカ 22: 26 - 27 も参照
22. 例えば、マタイ 4: 11; ルカ 22: 42 - 44; 使徒 10: 1 - 7; 12: 5 - 11; 2 ニーファイ 32: 3; モロナイ 7: 22, 29 - 30 参照
23. 3 ニーファイ 26: 19
24. ローマ 12: 15。モーサヤ 18: 9 も参照
25. モーサヤ 23: 18
26. 教義と聖約 52: 40
27. アブラハム 1: 19 参照
28. 使徒 26: 16 では、主についてのことを「あかしし、これを伝える務」について語っています。
29. ヘブル 8: 6
30. 教義と聖約 64: 33。アルマ 37: 34 も参照
31. モーサヤ 4: 27 参照
32. 2 コリント 9: 7
33. 2 コリント 9: 10
34. 2 コリント 9: 11
35. 2 コリント 9: 6



ボコロ家族は御霊の導きに従ってコンゴ民主共和国に戻り、ほかの人々に祝福を与え、自分たちも祝福を受けました。



十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老

無事集められて 家に帰る

わたしたちは、御父の計画の下でかつてないほど幕の両側でイスラエルを集めるという、特別な立場にいます。

わたしたちの愛する預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長は、わたしたちにしかできない責任は散らされたイスラエルを集めて、イエス・キリストの再臨のために世を備える助けをすることであると、深く強調しています。¹わたしたちの霊の御父は、御自分の子供たちが無事集められて家に帰ることを願っておられます。

御自分の子供たちを集めて無事天の家に帰すための天の御父の計画は、世俗的な成功や経済状況、教育、人種、性別に基づくものではありません。この御父の計画は、義にかなう行いをする事と、御父の戒めを守ること、神聖な儀式を受けて交わした聖約を尊ぶことを基にしているのです。²

わたしたちは皆、兄弟姉妹であり、「すべての人が神にとって等しい存在……である」という神から靈感された教義が、この偉大な集合の業の根底にあります。この教義は、様々な経済状況や人種の人々がより良い生活を送れるようにと強く願う人たちの思いに合致しています。わたしたちはそのような取り組みに拍手を送って協力します。さらにわたしたちは、神のすべての子供たちが神のみもとに来て、福音の与える永遠の祝福を受けることを願っています。³教義と聖約の、御自分が与えたはしがきの中で主は、「遠くの民よ、

聴きなさい。海の島々にいる者よ、ともに耳を傾けなさい」⁴と宣言しておられます。

教義と聖約の最初の節で「海の島々」にいる人々のことが述べられている点が、わたしは大好きです。わたしは、海の島々で奉仕し、生活する召しを3回受けました。最初は若い宣教師としてイギリス諸島で、2回目は新任の中央幹部としてフィリピン諸島で、その後、地域会長としてポリネシア諸島の多くの島々を含む太平洋諸島で奉仕したのです。

これら3つの地域のすべてで、信じる人々が、回復されたイエス・キリストの福音のもとに順調に集められてきました。宣教師が初めてイギリス諸島に到着したのは、1837年です。これは、ジョセフ・スミスがカートランド神殿を奉献してから1年ほどたったころのことです。この神殿で、モーセは、「地の四方からのイスラエルの集合と北の地からの十部族の導きの鍵」⁵を託しました。イギリス諸島での初期の伝道の成功は、伝説になっています。1851年には、教会員の半数以上が、バプテスマを受けたイギリス諸島在住の改宗者でした。⁶

1961年に、ゴードン・B・ヒンクレー長老がフィリピン諸島を訪れ、専任宣教師による伝道を開始しました。当時、フィリピン人のメルキゼデク神権者はたった一人



でした。驚くべきことに、現在、フィリピン諸島には85万人以上の教会員がいます。わたしはフィリピンの人々を尊敬しています。彼らは救い主に、深く、尽きることのない愛を抱いています。

恐らくあまり知られていないでしょうが、ポリネシア諸島の伝道活動は今も続いています。それは、アディソン・プラットが現在のフランス領ポリネシアに到着した1844年に始まりました。⁷多くのポリネシア人は、家族のつながりが永遠に続くことをすでに信じており、イエス・キリストを救い主として受け入れていました。現在、ポリネシア諸島では、ポリネシア人のほぼ25パーセントがこの教会の会員です。⁸

わたしはかつて、タヒチの遠い島で、第



7世代の17歳の少女が話すのを聞いたことがあります。彼女は、トゥブアイで1845年に改宗した先祖に感謝していました。1845年という、初期の教会員がソルトレーク盆地に到着する2年前です。⁹

福音のメッセージを受け入れ、それに応じるには、すべての人に時と時期があるということ、教会の教義から明らかです。これまで挙げた例は、はるかに多くの事実の中の、ほんの一部です。ネルソン大管長は、イスラエルの集合が、「今日この地上における最も大いなるチャレンジ、……大義、……業である」¹⁰ことを常に強調しています。

モルモン書の出現や預言者ジョセフ・

スミスに啓示と神権の鍵が与えられたことを含む、イエス・キリストの教会の回復が行われるまで、イスラエルの集合に関する理解は、断片的で限られていました。¹¹

「イスラエル」という独特の名称は、ヤコブに授けられた呼び名です。¹²それが、イサクとヤコブを通して生まれたアブラハムの子孫を表すようになりました。父祖アブラハムに与えられた最初の約束と聖約が、アブラハム2:9-10にありますので、その一部を読んでみましょう。

「わたしはあなたを大いなる国民とし、……

わたしはあなたの名によって〔すべての国民を〕祝福しよう。この福音を受け入れるすべての者はあなたの名によって呼

ばれ、あなたの子孫と見なされ、立ち上がってあなたを父としてたたえるであろう。」

前世の天上の会議で、救いの計画が話し合われ、支持されました。その計画には、創世の前に定められて集合の前提となった、特定の律法と神権の儀式が含まれていました。¹³また、最も重要な選択の自由の原則も含まれていました。

イスラエルは、サウルやダビデ、ソロモンの統治の下で有力な民として数世紀を経た後に、分裂しました。ユダの部族とベニヤミンの部族の一部がユダ王国になり、十部族とされるその残りが、イスラエル王国になったのです。¹⁴分裂から200年後の紀元前721年に、イスラエル

の最初の散乱が起こり、イスラエルの十部族が、アッスリヤの王により囚われの身となって連れ去られました。¹⁵ 彼らは後に北の国々に向かいました。¹⁶

モルモン書の物語が始まった紀元前600年に、父祖リーハイは、イスラエルの民の団をアメリカ大陸に導きました。リーハイは、自分もその一部であるイスラエルの散乱を理解していました。ニーファイはリーハイの言葉を引用し、「イスラエルの家は、枝が折られて地の全面に散らされる、1本のオリーブの木にたとえられる¹⁷」と記録しています。

いわゆる新世界におけるニーファイ人とレーマン人の歴史は、モルモン書に記されているように、およそ紀元400年に終わります。父祖リーハイの子孫は、アメリカ全土に広がっています。¹⁸

モルモンは、第三ニーファイ第5章20節の中ではっきりとこう述べています。「わたしはモルモンであり、リーハイの生粋の子孫である。神であって救い主であるイエス・キリストをわたしが賛美するのは正当である。神はわたしたちの先祖をエルサレムの地から連れ出された。」¹⁹

イスラエルの年代史のクライマックスは、明らかに、わたしたちの主なる救い主イエス・キリストの誕生、メッセージ、教導の業、使命です。²⁰

永遠を形造る救い主の死と復活の後、ユダの2回目の散乱が紀元70年から135年の間に起こり、ユダヤ人は、ローマによる弾圧と迫害のために、当時知られていた世界中に散らされました。

ネルソン大管長はこう教えています。「モルモン書は、主が聖約の子供たちを集め始めたことのしるしとして、出現しました。」²¹ このように、預言者ジョセフ・スミスが神の賜物と力によって翻訳したモルモン書は、リーハイの子孫と、散らされたイスラエル、イスラエルの部族に養育縁組される異邦人のために書かれたものです。ニーファイ第一書第22章の前書きに

こう記されています。「イスラエルはやがて地の全面に散らされる。終わりの時に、異邦人は福音でイスラエルを養い育てる。」モルモン書のタイトルページに書かれているように、モルモン書の目的の一つは、「ユダヤ人と異邦人に、イエスがキリストである……ことを確信させる」ことです。回復とモルモン書により、「イスラエルの集合」の概念は、大幅に拡大されました。²²

イエス・キリストの福音を受け入れる人は、血統にかかわらず、集められたイスラエルに含まれるようになるのです。²³ その集合と、数多くの神殿が建設され、発表されていることにより、わたしたちは、御父の計画の下でかつてないほど、幕の両側でイスラエルを集めるという特別な立場にいます。

スペンサー・W・キンボール大管長は、イスラエルの文字どおりの集合について話し、次のように述べました。「イスラエルの集合は、まことの教会に加わること、……まことの神を知ることから成っています。……したがって、回復された福音を受け入れ、今、自国の聖徒たちとともに自分の国の言葉で主を礼拝しようとしている人はだれでも、イスラエルの集合の律

法に従っているものであり、主がこの終わりの日に聖徒に約束しておられるすべての祝福を受け継ぐ者なのです。」²⁴

「イスラエルの集合は今や、改宗を含んでいます。」²⁵

透明なレンズを通して見ると、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員には、主の聖約の祝福を十分に受けるために、愛し、分かち合い、招き、イスラエルの集合を助けるという大きな特権があります。これには、アフリカ人やヨーロッパ人、南北のアメリカ人、アジア人、オーストラリア人、海の島々に住む人々が含まれます。「まことに、主の声はすべての人に及ぶ。」²⁶ 「この集合は、義人が世界の国々の聖徒の集まりに加わるまで続くでしょう。」²⁷

ラッセル・M・ネルソン大管長ほど直接的に集合について語った人はいません。「だれかを助けるために何かを行うときはいつでも、それが幕のどちら側であろうと、神と聖約を交わして、救いに不可欠なバプテスマと神殿の儀式を行うことに向かって進むのであれば、あなたはイスラエルの集合を助けているのです。それだけのことなのです。」²⁸

今日、教会はどこまで発展しているでしょうか。わたしが1960年に伝道活動



マダガスカル



北アイルランド

を始めてから62年の間に、預言者から召されて奉仕してきた専任宣教師の数は、7,683人から6万2,544人に増加しました。伝道部の数は、58から411に増えました。会員数は、およそ170万人からおよそ1,700万人に増加しました。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、福音を伝える機会に一時的に影響を与えました。また、それによって新たなテクノロジーを使用する経験もできたために、集合は今後大いに加速されます。会員と宣教師が現在、散らされたイスラエルを集める取り組みを拡大していることに、わたしたちは感謝しています。あらゆる地で、特に南米とアフリカで、教会の発展が続いています。わたしたちはまた、宣教師の奉仕をさらに活発に行うようにというネルソン大管長の力のこもった呼びかけに、世界中のこれほど多くの人々が応じていることに感謝しています。それでも、愛し、分かち合い、招く決意を大幅に強化していきましょう。

この伝道の取り組みの最も重要な部分は、個々の会員が、どこに住んでいようと、³⁰ 灯台の明かりのような模範²⁹ になることです。教会員であることを隠してはいけません。親切で正しい行いをし、幸せ

であって、すべての人を心から愛するというキリストのような模範を示すならば、わたしたちは人々を導く光になるだけでなく、回復されたイエス・キリストの福音の救いと昇栄の儀式に安全な防波堤があることを、世の人々に理解してもらうことができます。

イエス・キリストの福音を分かち合うことにはすばらしい祝福があることを、どうぞ理解してください。聖文は、喜びと平安、罪の赦し、誘惑からの守り、支えとなる神の力について語っています。³¹ この死すべき生涯の次に来る世を見据えて、わたしたちは、「死者の霊たちの大いなる世界において暗闇と罪の束縛の下にいる」³² 者たちに福音を伝える準備をします。

現在わたしが具体的に祈っているのは、すべての子供、若い男性、若い女性、家族、定員会、扶助協会、クラスが、イスラエルを集めるのを助けるようにという、主と愛する預言者から与えられた劇的な勧告を、個人として、集団としてどう受け止めているかを再確認するようにということです。

教会員は選択の自由を大切にしています。世間の人たちの多くは、イスラエルの集合の呼びかけに答えてそれに参加する

ことはないでしょう。しかし、この呼びかけに応じる人はたくさんいます。そして、主は、福音を受け入れた人が、ほかの人たちを神のもとに導く灯台の光のような模範になるよう直ちに努力することを期待しておられます。そうすることによって、世界各地の兄弟姉妹は、回復されたイエス・キリストの福音のすばらしい祝福と儀式を享受し、集められて無事天の家に帰れるようになるのです。

わたしは、イエス・キリストが神であられ、わたしたちのために天の御父が計画を用意しておられるという確かな使徒の証を、イエス・キリストの御名によっていたします。アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「歓迎の言葉」『リアホナ』2021年5月号、7
2. 教義と聖約20:37 参照
3. 2ニューファイ26:33 参照
4. 教義と聖約1:1。教義と聖約1:4で、主はこう続けておられます。「警告の声は、この終わりの時にわたしが選んだ弟子たちの口を通して、すべての民に及ぶ。」
5. 教義と聖約110:11
6. 1851年の教会員の総数は、5万2,165名でした。イングランドとウェールズの「1851年宗教科勢調査」によると、この両地域には2万8,000人を超える会員がいました (see Robert L. Lively Jr., "Some Sociological Reflections on the Nineteenth-Century British Mission," in *Mormons in Early Victorian Britain*, ed. Richard L. Jensen and Malcolm R. Thorp [1989], 19-20)。
7. 『聖徒たち—末日におけるイエス・キリスト教会の物語』第1巻「真理の旗」1815-1846年、467-468、486-487、547 参照
8. トンガ—45パーセント；サモア—31パーセント；アメリカ領サモア—22.5パーセント；フランス領ポリネシア—7パーセント
9. 『聖徒たち』542-543 参照
10. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(青少年対象のワールドワイド・ディボーション、2018年6月3日)、HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org
11. この独特な力強い教義は、モルモン書の中に含まれており、「わたしたちは、イスラエルの文字どおりの集合と十部族の回復とを信じる」という言葉で始まる信仰簡条第10条に簡潔に記されています (see James E. Talmage, *The Articles of Faith*, 12th ed. [1924], 314-44)。
12. 創世32:28にこう記録されています。「あなたはもはや名をヤコブと言わず、イスラエルと言いなさい。あなたが神と人との間に、力を争つ



- て勝ったからです。]
13. See Joseph Smith, in "History, 1838-1856, volume D-1," 1572, josephsmithpapers.org; see also Joseph Smith, "Discourse, 11 June 1843-A, as Reported by Wilford Woodruff," [42-43], josephsmithpapers.org; Joseph Smith, "Discourse, 11 June 1843-A, as Reported by Willard Richards," [241], josephsmithpapers.org.
 14. See Bible Dictionary, "Israel, Kingdom of"; James E. Talmage, *The Articles of Faith*, 315. レハベアムとその臣民はユダ王国として知られ、現代のイスラエルの南部に住みました。
 15. 列王下 17 : 23 参照
 16. 教義と聖約 133 : 26 参照。教義と聖約 110 : 11 も参照
 17. 1 ニーフアイ 10 : 12。後にアンモンはこう言っています。「イスラエルの木の一枝であって、親木から分けられて異郷でさまよっているこの民を心にかけてくださった神の御名がほめられたように。」(アルマ 26 : 36)
 18. スペンサー・W・キンボール大管長は、レーマン人はイスラエルであると語り、シオンはアメリカ全土であると教えました。キンボール大管長はこう言っています。「わたしたちはイスラエルに属し、集められています。」(*The Teachings of Spencer W. Kimball*, ed. Edward L. Kimball [1982], 439)
 19. 父祖リーハイが家族を連れて荒野へ旅立つように命じられたとき、少なくともその理由の一つに、エルサレムの滅亡がありました(1 ニーフアイ 2 章参照)。ソロモンの神殿の破壊とエルサレムの陥落、ユダの部族の捕囚は、紀元前 586 年に起こりました。
「イスラエルは紀元前 720 年ごろに征服され、その十部族は国外に追放され、[エルサレムでは]ソロモンの神殿は外国からの何度かの攻撃に耐えたが、ついに紀元前 586 年、バビロニアの王ネブカデネザルの軍隊によって完全に破壊された。」(David B. Green, "The History of the Jewish Temple in Jerusalem," *Haaretz*, Aug. 11, 2014, haaretz.com/jewish/premium-history-of-the-temple-in-jerusalem-1.5256337) 列王下 25 : 8 - 9 も参照
 20. See Tad R. Callister, *The Infinite Atonement* (2000).
 21. ラッセル・M・ネルソン「誓約にあずかる者」『聖徒の道』1995 年 7 月号, 37 参照。「聖約」『リアホナ』2011 年 11 月号, 88 も参照
 22. See Russell M. Nelson, in R. Scott Lloyd, "Seminar for New Mission Presidents: 'Swift Messengers' to Scattered Israel," *Church News*, July 13, 2013, thechurchnews.com. ラッセル・M・ネルソン大管長が述べたように、集合は「物理的な場所の問題ではありません。個人の献身の問題なのです。人々は郷里を離れることなく『主……を知るようになり』ます [3 ニーフアイ 20 : 13]。」「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006 年 11 月号, 81) 3 ニーフアイ 21 : 1 - 7 も参照
 23. わたしたちの教義は明確です。主はイスラエルの部族を、彼らの背反と不義のゆえに散らされたのです。しかし主は、選ばれた民を世界の国々の中に散らし、それによってその国々の民に祝福をもたらすようにもされました(『聖句ガイド』「イスラエル—イスラエルの散乱」の項, scriptures.churchofjesuschrist.org 参照)。
 24. Spencer W. Kimball, *The Teachings of Spencer W. Kimball*, 439.
 25. Summary heading in Spencer W. Kimball, *The Teachings of Spencer W. Kimball*, 438. See also "All Are Alike unto God," ed. E. Dale LeBaron (1990), a collection of 23 conversion stories by Black African Latter-day Saints. ジュリア・N・マビンブラ姉妹は、教会に入る前は、イスラエルという言葉に出くわすと、「本を脇に置いて、『それは白人に対するものであり、わたしたちへのもではありません。わたしたちは選ばれていません』と言ったものです。しかし、今日わたしは、義になつた生活をすれば、神の家の者になるということを知っています。わたしはイスラエル人です。神殿で儀式を受けているときに、わたしたちは皆一つの家族として地上にいるのだと感じました。」(in "All Are Alike unto God," 151)
 26. 教義と聖約 1 : 2
 27. Spencer W. Kimball, *The Teachings of Spencer W. Kimball*, 438.
 28. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」
 29. 使徒パウロは、「信者の模範になりなさい」(1 テモテ 4 : 12) と、若い友人テモテに言いました。
 30. 3 ニーフアイ 18 : 24 参照
 31. モーサヤ 18 : 8 - 13 ; 3 ニーフアイ 18 : 25 ; 教義 18 : 10 - 16 ; 31 : 5 ; 62 : 3 参照
 32. 教義と聖約 138 : 57



七十人
アレン・D・ヘイニー長老

末日のための生ける 預言者

天の御父は、預言者を通して御自分の子供たちに真理を明らかにするという方法を選んでおられます。

幼いころ、わたしは土曜日が大好きでした。その日にすることのすべてが冒険のように思えたからです。でも何をするにしても、必ず先に行く最も大切なことがありました。テレビでアニメを見ることです。ある土曜日の朝、テレビのそばに立ってチャンネルを変えていたとき、期待していたアニメの番組が末日聖徒イエス・キリスト教会の総大会の放送に代わっているのを知りました。テレビを見ながら、アニメがないことを嘆いていたとき、スーツにネクタイ姿の白髪の男性がすてきな椅子に座っているのを見ました。

その人は何かが違っていたので、いちばん上の兄に、「あれはだれ？」と尋ねました。

兄は、「デビッド・O・マッケイ大管長。預言者だよ」と言いました。

わたしは何かを感じ、どういうわけか、この人は預言者だと分かったのを覚えています。その後、アニメに夢中の少年であったわたしは、チャンネルを変えました。でもあの短い、予期せぬ啓示の瞬間に感じたものは決して忘れたことがありません。預言者については、一瞬で分かることがあります。¹

地上に生ける預言者がいることを啓示によって知ると、すべてが変わります。² 預言者がいつ預言者として語っているか、ま

たは預言者の勧告のうち、あるものについて従わないことを選ぶことは正当とみなされるか、といった議論に関心がなくなります。³ そのような啓示による知識があれば、生ける預言者の勧告を、たとえ完全に理解していなくても信頼するようになります。⁴ 結局のところ、完全に愛にあふれた御方である天の御父が、預言者を通して御自分の子供たちに真理を明らかにするという方法を選ばれたのです。預言者となるのは、そのような神聖な召しを求めたことがなく、自身の不完全さに気づくのにわたしたちの助けを必要としない人で

す。⁵ 預言者は、神御自身によって備えられ、召され、正され、靈感を与えられ、叱責され、聖められ、支えられてきた人です。⁶ ですから、わたしたちは預言者の勧告に従うことで、霊的に危険にさらされることは決してありません。

好むと好まざるとにかかわらず、わたしたちは皆、何らかの方法で前世で選ばれ、この末日に生まれてきました。末日に関する二つの現実があります。第一の現実には、キリストの教会が再び地上に設立されることです。第二の現実には、間違いなく困難が増していくことです。聖文では、終わりの時には「激しい雹を伴う嵐が送られて、地の作物を損な[い]」、⁷ 悪疫があり、⁸ 「戦争と戦争のうわさが聞かれ、全地が混乱し、……不法がはびこる」⁹ ことが明らかにされています。

わたしは子供のころ、終わりの時についてのこれらの預言が怖くて、自分が生きている間に再臨が来ないように祈っていました。今のところ、その祈りはかなっていません。でも今は反対のことを祈っています。たとえ預言されている苦難が確実であるとしても、¹⁰ キリストが戻って来て統治されるときには、主のすべての創造物が「安らかに伏[す]」¹¹ からです。





アルゼンチン

世界の現在の状況に、うろたえている人々もいます。神の聖約の子孫として、わたしたちはこの困難な時代を乗り切る方法を知るために、あれこれと追いかける必要はありません。わたしたちは恐れるには及びません。¹² わたしたちが霊的に生き残り、肉体的に堪え忍ぶために従わなければならない教義と原則は、生ける預言者の言葉の中にあります。¹³ M・ラッセル・バラード会長が、「神の預言者がわたしたちに与えられているのは、決してささいなことではありません¹⁴」と述べているのはそのためです。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、こう証しています。「神が預言者を通して御自分の子供たちを教えられるという方式が昔から確立されているのですから、神は確かに、すべての預言者を祝福し、預言者の勧告に従う人を祝福してくださるのです。」¹⁵ つまり、重要なのは、生ける預言者に従うことです。¹⁶ 兄弟姉妹の皆さん、年代物のマンガ本やクラシックカーとは違い、預言者の教えは年月とともに価値が増すものではありません。ですから、過去の預言者の言葉を用いて生ける預言者の教えを否定しようとしてはいけません。¹⁷

わたしは、イエス・キリストが福音の原則を教えるために使われたたとえが大好きです。今朝、皆さんにある種のたとえのような実話を紹介したいと思います。

ある日、わたしは昼食のために教会本

部のカフェテリアへ行きました。トレイを受け取って食事エリアに入ると、大管長会の3人が一つのテーブルに座っていて、そこに空席が一つあるのが目に入りました。わたしは緊張して、さっと回り道をしてそのテーブルから遠ざかりました。すると、わたしたちの預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長の声が聞こえてきました。「アレン、ここの席が空いていますよ。来て、一緒に座ってください。」わたしは応じました。

食事を終えようとしていたとき、バリバリという大きな音が聞こえ、驚いて顔を上げると、ネルソン大管長がペットボトルをまっすぐに立てて、それをつぶし、ふたを戻していました。

すると、ダリン・H・オークス管長が、わたしが尋ねたいと思った質問をしました。「ネルソン大管長、なぜペットボトルをつぶしたのですか。」

大管長は答えました。「こうすればリサイクル用のゴミ箱の中のスペースを取らないから、リサイクルできる物を処理する人たちが楽でしょう。」

その返答について思い巡らしていると、また同じバリバリという音が聞こえました。右を見ると、オークス管長が、ネルソン大管長と同じようにペットボトルをつぶしていました。次に、左から音が聞こえました。ヘンリー・B・アイリング管長がペットボトルをつぶしていたのです。ただ、アイリング管長は異なる方法を取り入

れて、ボトルを横にしていました。それだと、ボトルを立てたときよりも手間がかかりました。それに気づいたネルソン大管長は、もっと簡単につぶせるようにボトルを立ててつぶす方法を、優しくアイリング管長に教えました。

そのとき、わたしはオークス管長の方に体を寄せて、小声で尋ねました。「ペットボトルをつぶすのが、カフェテリアの新しいリサイクルのルールですか。」

オークス管長は笑顔で答えました。「そうですね、アレン、預言者に従う必要があります。」

わたしはネルソン大管長がその日カフェテリアで新たなリサイクルの教義を宣言していたわけではないと確信しています。しかし、ネルソン大管長の模範にオークス管長とアイリング管長が即座に応じたことと、¹⁸ かかわった人を助けてより良い方法を教えたネルソン大管長の気配りから、わたしたちは学ぶことができます。¹⁹

何年も前、ニール・A・マックスウェル長老はわたしたちの時代に関して、次のような実を射た預言的な所見と勧告を述べています。

「今後、それぞれの会員が大管長会に従うかどうかを決める必要のあるような出来事があるでしょう。会員たちは二つの考えの間で立ち止まっていることがますます難しくなっていきます。……

……選択肢が明確であるように記録を残し、預言者の勧告を前に、人々には思うようにしてもらいましょう。……

イエスは、いちじくの木が葉をつけると『夏の近い』ことが分かると言われました。ですから、わたしたちは夏を迎えていると警告されているので、暑さに不平を言わないようにしましょう!」²⁰

若い世代は、いちじくがさらに多くの葉をつけている、さらに暑い時期に育っています。その現実から、すでに大人である世代には、特に預言者の勧告に従うこと

に関して、さらに重い責任が課せられています。親が生ける預言者の勧告をないがしろにするとき、親自身が約束された祝福を失うだけでなく、さらに悲劇的なこととして、その子供たちに、預言者の言うことは重要ではない、あるいは預言者の勧告はビュッフェ形式で選ぶことができ、霊的な栄養失調になる心配はないと教えることとなります。

リチャード・L・エバンス長老はかつてこう述べました。「時々、誤った考えを持つ親がいます。教会の教えに従うことに多少厳密さを欠いてもよいだろう、……基本的なことを教える責任を少しおろそかにしても家族の現在や将来に何も影響はないだろうと考えている人がいます。しかし、親が少し道からそれると、子供は親よりもはるかにそれる傾向があります。」²¹

わたしたちには若い世代を末日の預言された役割に備える神聖な務めがあります。²² 彼らはその役割をサタンの影響力がピークを迎える時代に果たさなければならず、²³ 彼らを備える世代であるわたしたちが、預言者の勧告に従うことの重要性について混乱の源になるわけにはいきません。まさにその勧告によって、若い世代は「敵がまだ遠くにいる間に」敵を見て、その攻撃を防ぐ「備えを」することができ

るのです。²⁴ 預言者の勧告に対して、一見少しだけ逸脱したり、静かに無視したり、ひそひそと批判したりするとき、わたしたちは聖約の道の端近くを危なっかしく歩くことになるだけかもしれません。しかし、サタンによって次の世代の人生の中で増幅されると、そうした行為は彼らをその道から完全に離れさせるような影響を及ぼすかもしれません。後の世代に、あまりに高い代価を求めることになるのです。²⁵

皆さんの中には、自分はラッセル・M・ネルソン大管長の勧告に従う努力が足りていないと感じている人がいるかもしれません。もしそうであれば、悔い改めて、神から選ばれた預言者の勧告に再び従い始めてください。子供のアニメに気持ちをそらされることなく、主の油注がれた人を信頼してください。喜んでください。再び「イスラエルに預言者」²⁶ がいるのです。

たとえ皆さんに確信がないとしても、わたしたちは末日の暑さに耐えることができ、その中で繁栄することさえできると証します。わたしたちは末日の聖徒であり、今は大いなる時代です。わたしたちはこの時期に地上に来ることを切望していました。ますます深まり混乱を招く敵の暗黒の霧に直面するときにつまずくままに放っておかれることなく、²⁷ わたしたちや全世界に対して「主なる神はこう言われ

る」²⁸ と言う権能を持つ人からの勧告と指示を受けることができると、わたしたちは確信していたのです。神が立てられた預言者、イスラエルの聖者、²⁹ イエス・キリストの神聖な御名により、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン大管長は最近、ブリガム・ヤング大学で学生たちに、同じ個人の啓示を経験するよう勧めました。「わたしたちがほんとうに主の使徒であり預言者であるかどうか、天の御父に尋ねてください。このことやほかの事柄についてわたしたちが啓示を受けているかどうか、尋ねてください。」(“The Love and Laws of God” [Brigham Young University devotional, Sept. 17, 2019], speeches.byu.edu) ニール・L・アンダーセン「神の預言者」『リアホナ』2018年5月号、25も参照。「末日聖徒として、わたしたちはネルソン大管長が神によって召されたという個人的な確認を受ける特権があります。」アルマが預言者アビナダイの言葉を聴いて改心した話は、預言者に関する啓示をわたしたち全員が受けることができるというさらなる証拠を提供しています(モーサヤ13:5;17:2参照)。
2. 「わたしたちには預言者がいるか、それとも何もないかのどちらかです。そして預言者がいるとき、わたしたちはすべてのものを持っています。」(Gordon B. Hinckley, “We Thank Thee, O God, for a Prophet,” *Ensign*, Jan. 1974, 122)
3. 「彼らは、預言の霊と啓示の霊を信じなくなり、神の裁きは彼らの目前に迫っていた。」(ヒラマン4:23。教義と聖約11:25も参照)「わたしたちは『感謝を神に捧げん、予言者の導き』と歌い、いつもそのようにしています。この一節に『もし預言者がわたしたちの望みや考えどおりに、導いてくれるなら』……と言葉をつけ足す人が大勢います。』(『歴代大管長の教え—ヒーバー・J・グラント』80)
4. 「時折わたしたちは、十分に祈って考えた後でさえ、受けた勧告が理解できなかつたり、自分には当てはまらないと感じたりすることがあります。そのようなときでも、その勧告を無視せず、心に留めておくようにしてください。もしだれか信頼する人から、どう見ても砂にしか見えないものを渡されて、金が入っているよと言われたら、賢明な皆さんでしたらそれをしばらく手に持った後、そっとふるいにかけてみることでしょう。わたしは預言者からの勧告を聞く度にこれを実践してきました。そしてしばらくすると、金のかげらが見え始めるのです。そのことに感謝しています。」(ヘンリー・B・アイリング「助言の中に安全を見いだす」『聖徒の道』1997年7月号、31。3ニーファイ1:13;教義と聖約1:14も参照)
5. 2ニーファイ4:17-18参照。「不完全なところがあるからということで、わたしを非難してはならない。わたしの父をも、不完全なとこ



ニュージーランド

ろがあるからということで非難してはならない……。むしろこれまでのわたしたちよりも、あなたがたがもっと賢くなれるようにと、わたしたちの不完全なところをあなたがたに明らかにしてくださった神に、感謝しなさい。」(モルモン9:31)

6. 教義と聖約3:6-8 参照。教義と聖約93:47も参照
7. 教義と聖約29:16
8. 教義と聖約84:97 参照。教義と聖約87:6も参照
9. 教義と聖約45:26, 27
10. 教義と聖約1:38 参照
11. ホセア2:18。「わたしは力と大いなる栄光とをもって、天のすべての衆群とともに天から姿を現し、千年の間地上で人々とともに義のうちに住む。そして、悪人は耐えられない。」(教義と聖約29:11)
12. 1ニーファイ22:16-17 参照。教義と聖約59:23も参照
13. 「まことに、エルサレムの民は預言者たちの言葉を拒みました。だから、もし父がこの地から逃げるように命じられながらこの地にとどまるなら、父もまたきつと滅びるでしょう。」(1ニーファイ3:18。2ニーファイ26:3; 教義90:5も参照)
14. M・ラッセル・バラード「彼の言葉を受け入れなければならない」『リアホナ』2001年7月号, 80
15. ラッセル・M・ネルソン「求めよ、捜せ、門をたたけ」『リアホナ』2009年11月号, 82 参照。「生ける預言者の勧告に従うこと以上に、人を幸せにするものはありません。」(The Teachings of Lorenzo Snow, ed. Clyde J. Williams [1996], 86)
16. 「古代の預言者がどのように見ていたか、どのように考えていたか、どのように語ったかを考えるのではなく、今日、あるいは明日教会を管理する人々に目を向け、彼らに倣って生活してください。」(The Teachings of Harold B. Lee [1996], 525)
17. スペンサー・W・キンボール大管長はかつてこう述べました。「亡くなった預言者たちの墓を飾る人々は、生ける預言者に石を投げることから始めます。」(The Teachings of Spencer W. Kimball, ed. Edward L. Kimball [1982], 462)「わたしたちが聞いて深く考え、従うことができる最も大切な言葉は、生ける預言者を通して明らかにされる言葉です。」(ロナルド・A・ラズバンド「わたし自身のこと」『リアホナ』2021年11月号, 40)
18. 「教会の預言者の言葉を通して示される主の勧告を聞いたなら、わたしたちは前向きに、即座に従う必要があるのです。」(M・ラッセル・バラード「彼の言葉を受け入れなければならない」『リアホナ』2001年7月号, 80)
19. 「イエス・キリストの教会は常に、生ける預言者と使徒によって導かれてきました。主の僕たちは、死すべき状態で人間として不完全でありながら、靈感を受けて、わたしたちが霊的に命を危うくする障害物を避けられるように、また死すべき世を無事に通り抜けて最後の究極の目的地である天に行けるようにわたしたち



スペイン

- を助けています。」(M・ラッセル・バラード「神が舵を取っておられる」『リアホナ』2015年11月号, 24)
20. Neal A. Maxwell, "A More Determined Discipleship," *Ensign*, Feb. 1979, 6970.
 21. Richard L. Evans, "Foundations of a Happy Home," in *Conference Report*, Oct. 1964, 135-36.
 22. 教義と聖約123:11 参照。ロバート・D・ヘイルズ「神に対するわたしたちの義務—次の世代に対する親と指導者の使命」『リアホナ』2010年5月号, 95-98も参照
 23. 教義と聖約52:14 参照
 24. 教義と聖約101:54
 25. モーサヤ26:1-4 参照
 26. 列王下5:8
 27. 「彼がわたしの言葉と戒めを受けるとき、あなたがた……は、彼があなたがたに与えるそれらのすべてを心に留めなければならない。……これらを行えば、……主なる神はあなたがたの前から闇の力を追い払い、また、あなたがたのためと、神の名の栄光のために天を震わせるであろう。」(教義と聖約21:4, 6)「主の代表として立つ人の教えや忠告、勧告を受け入れて道を踏み外した者は一人もいない。」(『救いの教義』: ジョセフ・フィールデン

- グ・スミスの説教及び著作集』ブルース・R・マッコッキー編, 第1巻, 236)
28. エゼキエル3:27。「あなたがたは忍耐と信仰を尽くして、あたかもわたし自身の口から出ているかのように、彼の言葉を受け入れなければならない。」(教義と聖約21:5)
 29. 1ニーファイ22:20-21 参照。3ニーファイ20:23も参照



大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

個人の平安を見いだす

皆さんが平安を見いだし、多くの人がそれを見いだせるように
助け、それを伝えることができますように。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは、総大会のこの最初の部会で、靈感された教えと美しい音楽を聴く機会に恵まれています。皆さんの参加と信仰に感謝しています。

今日わたしは、どんな状況にあっても個人の平安を見いだすという奇跡について、自分が学んできたことをお話しします。天の御父の子供たち全員が平安を切望していることを、救い主は御存じであり、それをお与えになることができると言われました。ヨハネ書に記されているイエス・キリストの御言葉を思い出してください。「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」¹

平安とは何を指し、主がそれをどのように与えてくださるのかは、主が語られたその言葉を聞いた人々の状況から分かります。キリストの御業の絶頂期に関する、ヨハネの記述に耳を傾けてください。すさまじい悪の力がキリストに襲いかかり、間もなく弟子たちにも襲いかかろうとしていました。

救い主は次のように述べておられます。

「『もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。

わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

それは真理の御霊である。この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない。あなた

がたはそれを知っている。なぜなら、それはあなたがたと共におり、またあなたがたのうちにいるからである。

わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。

もうしばらくしたら、世はもはやわたしを見なくなるだろう。しかし、あなたがたはわたしを見る。わたしが生きるのも、あなたがたも生きるからである。

その日には、わたしはわたしの父におり、あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおることが、わかるであろう。

わたしのいましめを心にいだいてこれを守る者は、わたしを愛する者である。わたしを愛する者は、わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、その人にわたし自身をあらわすであろう。』

イスカリオテでない方のユダがイエスに

言った、「主よ、あなたご自身をわたしたちにあらわそうとして、世にはあらわそうとされないのはなぜですか。』

イエスは彼に答えて言われた、「もしだれでもわたしを愛するならば、わたしの言葉を守るであろう。そして、わたしの父はその人を愛し、また、わたしたちはその人のところに行つて、その人と一緒に住むであろう。

わたしを愛さない者はわたしの言葉を守らない。あなたがたが聞いている言葉は、わたしの言葉ではなく、わたしをつかわされた父の言葉である。

これらのことは、あなたがたと一緒にいた時、すでに語ったことである。

しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわれる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう。

わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。』²

わたしは、救い主のこの教えから少なくとも5つの真理を学びました。

まず、平安の賜物は、主の戒めを守る信仰を持った後に与えられます。聖約を



コロムビア



ポーランド

交わした主の教会の会員にとって、従順であることは、自分がそうするとすでに約束していることです。

第2に、聖霊が訪れて、わたしたちとともにいてくださいます。わたしたちが忠実であり続けるなら、聖霊がわたしたちの中に宿ると、主は言っておられます。それが聖餐の祈りの約束であり、御霊が伴侶となり、心と思いの中で御霊の慰めを感じることができるということです。

第3に、救い主は、わたしたちが聖約を守るのであれば、御父と御子が互いに対して持っておられる愛、またわたしたちに対して持っておられる愛を感じられると約束しておられます。わたしたちは、将来永遠に御二方とともにいる祝福にあずかるときと同じように、現世で御二方を身近に感じることができます。

第4に、主の戒めを守るには、従順以上のものがが必要です。心、力、思い、精神を尽くして神を愛さなければなりません。³

神を愛さない人は神の戒めを守りません。そのような人には、この世でも来るべき世でも平安の賜物はありません。

第5に、主はわたしたちを愛しておられ、わたしたちの罪の代価を払ってくださいました。そのため、わたしたちが主を信じる信仰と悔い改めによって、主の贖罪の効力によって、「人知ではとうてい測り知ることのできない」⁴平安の賜物を現世で、また主とともに永遠に得ることができるとは明らかです。

皆さんの中には、主の約束してくださった平安を感じていない方が多くいるかもしれません。個人の平安と霊的な慰め

を祈ってきたにもかかわらず、平安をお与えくださいとの嘆願に天が沈黙していると感じているかもしれません。

皆さんや皆さんの愛する人たちが平安を得るのを望まない敵がいます。その敵は平安を得ることができません。救い主と天の御父があなたに得させたいと思っておられる平安を、あなたが見いだしたいと望むことさえ妨げようとして、その敵は働きかけます。

サタンは、わたしたちの周りに憎しみと争いの種をまこうとさらに努めているようです。わたしたちは、国々や方々の都市、地域、電子メディア、また世界中でそれが起きている証拠を目にしています。

しかし、悲観する必要はありません。この世に生まれてくるすべての新生児がキリストの光を受けているからです。その普遍的な賜物とともに、何が正しいか

の感覚、愛し愛されたいという思いがあります。死すべき世に来る、神のすべての子供には、生まれながらに正義と真理という感覚が備わっているのです。

子供の個人の平安についてわたしたちが楽観的でいられるかは、子供を養う人々にかかっています。救い主から平安の賜物を受け取るように努めながら子供を育て、接するならば、自分自身の模範と努力を通して、崇高な平安の賜物を受けるにふさわしくあるよう子供の信仰を鼓舞することでしょう。

聖文は次のように約束しています。「子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。」⁵ そのためには、平安の賜物にふさわしくあるように子供を世話し養育する責任を負う人が必要です。



悲しいことに、霊的な両親一時には独り親一によって育てられた子供たちが、信仰と平安の一時期を過ぎた後に悲しみの道を歩むことを選ぶとき、わたしたちは皆、痛みを感じます。

その悲しみが生じるときでさえ、主から頂くもう一つの賜物があるのでわたしは楽観的です。それは、主は信頼できる弟子たちの中から、平和を作り出す多くの人を立てられるということです。彼らは神の平安と愛を感じてきました。彼らの心には聖霊がおられ、主は、迷っている羊に手を差し伸べるように彼らを導かれます。

わたしは、生涯を通じて、世界中でそれを見てきました。皆さんも目にしています。皆さんは、だれかを助けるよう導かれているとき、それを偶然と思うことがあるかもしれません。

わたしはかつて、旅先で出会った人に、「御家族のことを少し話していただけますか」と一言尋ねました。その会話が基で、彼女が悩んでいるという成人した娘さんの写真を見せていただき、わたしは、写真に写るその女性の、表情の善良さに心を打たれました。わたしは、彼女のメールアドレスを教えられるか尋ねるようにとの促しを感じました。その娘さんは当時、道を見失い、神から自分へのメッセージがあるのかどうか知りたいと思っていたのです。神はそれに応じられ、そのメッセージがこれでした。「主はあなたを愛しておられます。いつもです。主は、あなたが戻って来てほしいと思っておられます。約束された祝福は今も有効です。」

教会の会員たちは、個人の平安という主の賜物を感じています。主のみもとに来て同じ平安を得るにふさわしくなる機会をほかの人たちが得られるよう助けるため、主はすべての人を鼓舞しておられます。すると、今度はその人たちが靈感を求めて、その賜物をほかの人々に伝える方法を知るようになります。

若い世代が、その後の世代を育てる人に

なることでしょう。相乗効果が奇跡を生み出します。それは時の経過とともに広がり、増大し、地上の主の王国は、ホサナの叫びで主をお迎えする準備をして、その準備が整います。地上に平安があることでしょう。

わたしは確かな証を述べます。救い主は生き、この教会を導いておられます。わたしはこれまで自分の生活の中で主の愛を、また、天の御父の子供たちすべてに対する主の愛と思いやりを感じてきました。救い主のみもとへ来るようにとの招きは、平安への招きです。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、全地の神の生ける預言者です。大管長はこのように述べています。「世の中の状態や個人的な状況にかかわらず、楽観と喜びをもって将来と向き合うことができることを約束します。」⁶

皆さんにわたしの愛をお伝えします。皆さんの深い信仰と愛は、人々に届いています。そのおかげで主は人々の心を変えて、人知を超えた平安の賜物を分かち合う望みを与えることがおできになるのです。

皆さんが平安を見だし、多くの人がそれを見いだせるように助け、それを伝えることができますように。主が再び来られるとき、すばらしい千年の平安があるでしょう。わたしは喜びをもって、イエス・キリストの御名により証します。アーメン。 ■

注

1. ヨハネ 14 : 27
2. ヨハネ 14 : 15 - 27
3. 申命 6 : 5 ; マタイ 22 : 37 ; モロナイ 10 : 32 参照
4. ビリビ 4 : 7
5. 箴言 22 : 6
6. Russell M. Nelson, "Look Forward to the Future with Faith," *New Era*, June 2018, 5.



タヒチ



土曜午後の部会 | 2023年4月1日

大管長会第一顧問
ダリン・H・オクス管長

中央幹部，地域七十人， ならびに中央役員の 支持

兄弟姉妹の皆さん、これから教会の中央幹部，地域七十人，および中央役員の名前を、皆さんの賛意の表明を頂くために提示します。

皆さんがどこにしようと、これまでと同様の方法で表明をしてください。提議のいずれかに反対の方がいれば、御自分のステーク会長に連絡してください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソン、また、大管長会第一顧問としてダリン・ハリス・オクス、大管長会第二顧問としてヘンリー・ベニオン・アイリングを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。



反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会長として、ダリン・H・オクスを、十二使徒定員会会長代理として、M・ラッセル・バラードを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会員として、M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ワークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラズバンド、ゲーリー・E・スティーブソン、デール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレスを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者、聖見者、啓示者として支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方がいれば、同様にその意を表してください。

次の中央幹部七十人は、2023年8月1日付けで割り当てから解任され、名誉職を付与されます。ベンハミン・デ・オヨス長老、ファン・A・ウセダ長老、山下和彦長老。

世界中で何年にもわたり献身的に奉仕してこられた、これらの兄弟たちと彼らの伴侶や御家族に対して、感謝を示してください。手を挙げてその意を表してください。

次の地域七十人は割り当てを解任されました。J・キモ・エスプリン、アラン・T・フィリップス。

彼らの卓越した働きに対して、ともに感謝を示してください。その意を表してください。

また、今年奉仕を完了する地域七十人に感謝をお伝えします。奉仕を完了する地域七十人の名前は、教会ウェブサイトで見ることができます。

この兄弟たちの無私な奉仕に、感謝を示してください。その意を表してください。

本日付けでアーマド・S・コービット兄弟とブラッドリー・レイ・ウィルコックス兄弟を中央若い男性会長会第一および第二顧問の職から解任します。

これらの兄弟たちの奉仕に対して感謝を示してください。その意を表してください。

2023年8月1日付けで次の中央若い女性会長会を解任します。会長としてボニー・H・コードン、第一顧問としてミッシェル・D・クレーグ、第二顧問としてレベッカ・L・クレーブン。

この姉妹たちの献身的な奉仕に、ともに感謝を示してください。その意を表してください。

次の方々を中央幹部七十人として支持するよう提議します。アーマド・S・コービット、ロバート・M・デインズ、J・キモ・エスプリン、クリストフ・G・ジロー・カリエール、アラン・T・フィリップス。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

3月30日木曜日の総大会指導者集会で、新たに61名の地域七十人が支持され、教会ウェブサイトで発表されました。

この新しい割り当てにおいて、これらの兄弟たちを支持するよう提議します。



賛成の方は、その意を表してください。
反対の方がいれば、同じ方法でその意を表してください。

わたしたちは、2023年8月1日よりの新しい若い女性会長会として以下の方々を支持するよう提議します：会長としてエミリー・ベル・フリーマン、第一顧問としてタマラ・ウッド・ルニア、第二顧問としてアンドレア・ムニョス・スパンナウス。

賛成の方は、その意を表してください。
反対の方は、その意を表してください。

わたしたちは、本日からの召しとして、ブラッドリー・レイ・ウィルコックスを中央若い男性会長会第一顧問、マイケル・T・ネルソンを第二顧問として支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。
反対の方は、その意を表してください。

そのほかの中央幹部、地域七十人、ならびに中央役員を現在のまま支持するよう提議します。

賛成の方は、手を挙げてその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

兄弟姉妹の皆さんの変わらぬ信仰と、教会の指導者のための祈りに感謝します。

地域七十人の変更

総大会の一部として開かれた指導者部会において、次の地域七十人がそれぞれ支持を受けました：

イサイアス・アルカラ、ジョン・D・アモス、ジョニー・O・バドウ、ビクター・O・バシー、エイドリアン・ベトリッジ、A・カウレ・ベゼラ、カルロス・G・カンテロ、エマーソン・B・カーナベール、オーランド・A・カスターニョス、ブーン・フォーク・エング、ハッチ・U・ファレ、フェルナンド・R・ガルシア、トマス・ガルシア、C・アラン・ガウデン、アロン・T・ホール、ダーウィン・W・ハルヴォーソン、ジェド・J・ハンコック、ヘンリー・エレラ、ンダランバ・イルンガ、サミュエル・M・T・コイビスト、カルロス・J・ランティグア、エサウ・ララ、ステイブン・J・ラーソン、タボ・レベソア、G・ケネス・リー、イスラエル・マリ、ウエイン・E・マウラー、リー・G・マッキン2世、ロバート・メンデンホール、アドリアン・メンデス、シヤボンガ・ムキゼ、ハビエル・F・モネステル、トマス・B・モーガン、ジャレド・V・オームズビー、Z・ルディー・バルア、アルトゥーロ・D・バルミエリ、ケネス・パンブ、ヒューゴ・O・パナメーニョ、ケビン・J・パークス、ポール・ピカード、デビッド・J・ピケット、マーティン・ピルカ、イリネウ・E・ブラド、クリストファー・R・ブライス、ミゲル・リベイロ、ジェームズ・N・ロビンソン、エドワード・B・ロウ、ロバート・シュワルツ、グレゴリー・A・スコット、ドミニク・R・セネシャル、コフィ・G・ソス、マイケル・B・ストロング、ニシャ・クマール・サンダーラジ、トマス・A・トーマス、アレハンドロ・H・トレヴィーニョ、ネ

ファイ・M・トルヒーヨ、チマロケ・G・ウデイチ、フェルナンド・バルデス、ヘルトン・C・ベッキ、ブレント・B・ワード、トマシト・S・ザパンタ。

2023年8月1日までに、以下の地域七十人が解任されます：

リチャード・K・アハジェ、デュエイン・D・ベル、フーバーマン・ビアナメ、ピクトール・R・カルデロン、ミシェル・J・カーター、ダニエル・コルドバ、ジョン・N・クレイグ、ウィリアム・H・K・デイビス、フェルナンド・P・デル・カルビオ、リチャード・J・デヴリーズ、キラル・G・ドミンゲス、トルベン・エングビエルグ、ケネス・J・ファーマイジ、エドガー・フロレス、シルビオ・フロレス、カルロス・A・フエナロ、マーク・A・ギルモア、セルジオ・A・ゴメス、ロベルト・ゴンザレス、ヴィルヒリオ・ゴンザレス、スベンサー・R・グリフィン、マルセル・グエイ、オレクシー・H・ハカレンコ、マシュー・S・ハーディング、デビッド・J・ハリス、ケビン・J・ハサウエイ、ホセ・エルナンデス、グレン・M・ホームズ、リチャード・ナイツェル・ホルツアップフェル、オケチクウ・I・イモ、マイケル・D・ジョーンズ、バングウェ・S・コンゴロ、リカルド・C・レイテ、アレテミオ・C・マリゴン、エドガル・A・マンティヤ、リンカーン・P・マーティンズ、カール・R・マウラー、ダニエル・S・メヘル二世、グレン・D・メラ、トマス・S・マルデヒア・ジュニア、アリストテア・B・オジャーズ、R・ジェフリー・パーカー、ビクター・P・バトリック、デニス・E・ピネダ、エンリケ・S・シンプリシオ、ジェフリー・H・シンガー、マイケル・L・スタヘリ、ジェフリー・K・ウエツェル、マイケル・S・ウィルステッド、デビッド・L・ライト。■

2022年度 教会監査部報告

末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会に対する報告

愛する大管長会の皆さん、教義と聖約第120章に記録されている啓示によって指示されているとおり、大管長会、十二使徒定員会、および管理ビショップリックで構成される什分の一配分評議会が教会基金の支出の承認を行います。教会の各部門は承認された予算、方針および手続きに従って基金を使います。

教会監査部門は、資格のある専門家によって構成され、教会の他のあらゆる部門および組織から独立しており、受領した献金、支出および教会資産の保全に関し

て合理的な保証を提供するという目的のために監査を行う責任があります。

監査の結果、教会監査部の見解によると、2022年に受領した献金、支出、および教会資産は、あらゆる面で、教会の承認された予算、会計実務および方針に従って記録され、管理されています。教会は、予算内で賄い、負債を避け、必要時に備えて貯蓄するという、教会員に対して教えられている慣行に従っています。

以上、謹んでご報告いたします。



インド

教会監査部
実務運営ディレクター
ジェレド・B・ラーソン ■





十二使徒定員会
デール・G・レンランド長老

聖約を通して神の力にあずかる

皆さんが生涯を通じてバプテスマから神殿へと聖約の道を歩むとき、世の中の自然な流れに逆らって進む力が与えられることを約束します。

昨年11月、わたしはブラジル・ベレン神殿を奉獻する特権にあずかりました。ブラジル北部の献身的な教会員とともに集うのは喜びでした。そのときわたしは、ベレンが世界最強の川、アマゾン川を擁する地域の河口に位置していることを知りました。

その川の威力にもかかわらず、年に2度、自然現象とは思えないことが起こります。太陽と月と地球の位置関係がある特定の状態のとき、強力な潮が自然の流れに逆らって、川をさかのぼるのです。これまで、高さ最大6メートルの波が¹はるか50キロ先の上流まで²さかのぼったという記録があります。この現象は、一般に「潮津波」として知られ、地元では、激しい騒音を伴うことから「ポロッカ」、「巨大な叫び」と呼ばれています。このことから、強大なアマゾン川でさえ天の力に従わざるを得ないという、正しい結論に至ることができます。

アマゾン川のように、わたしたちの生活には自然な流れがあって、自分にとって容易なことを行う傾向があります。アマゾン川のように、天からの助けにより、わたしたちは自然にはできないようなことを行うことができます。結局のところ、謙遜で柔和になり、自分の意志を進んで神に従わ

せるのは、自然にできることではありません。しかしながら、そうすることで初めて、わたしたちは変化を遂げ、神のみもとに戻って生活し、永遠の行く末に達することができるのです。

アマゾン川と違って、わたしたちは天の力に従うか、それとも「流れに身を任せるか」選択することができます。³流れに逆らうのは、難しいことかもしれませんが、「聖なる御霊の勧めに」従い、「生まれながらの人」の利己的な傾向を捨てる時、⁴救い主の、本質を変える力、困難な事柄を行う力を生活の中で受けることができます。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、それを行う方法を教えています。大管長は次のように約束しています。「バプテスマフロントや神殿で聖約を交わしてそれを守る人は皆、イエス・キリストの力にさらにあずかることができるようになります。……[わたしたちは]この世に引きずり込む力から……引き上げて[いただけるのです]。』⁵言い換えれば、神の力にあずかることができるのは、神聖な聖約を通して神と結ばれているときだけです。

地が創造される前、神の子供であるわたしたちが自らを神に結び合わせることができる仕組みとして、神は聖約を定められました。永遠不変の律法に基づき、わたしたちが変化と救いと昇栄に至る、交渉の余地のない条件を特定されたのです。この世において、わたしたちは神権の儀式に参加してこれらの聖約を交わし、神から求められていることを行うと約束し、それに対して神は、定められた祝福を約束されます。⁶

聖約とは、わたしたちが備え、明確に理解し、全面的に尊ぶべき誓約なのです。⁷神と聖約を交わすことは、気軽に約束するのはと異なります。第一に、神権の権能が必要です。第二に、約束を守る意志が弱ければ、自然の流れに引きずり込む力からわたしたちを引き上げてくれる力につ



グアム

ながることはできません。精いっぱい約束を果たすと心に決めて初めて、聖約を交わすのです。⁸わたしたちは特に、あらゆる面で自らを聖約に重ね合わせるとき、神の聖約の子となり、神の王国の相続人となります。

「聖約の道」という言葉は、わたしたちがキリストのもとに向かい、主と結ばれるための一連の聖約を指しています。この聖約のきずなを通して、わたしたちは神の永遠の力にあずかるのです。この道は、イエス・キリストを信じる信仰と悔い改めに始まり、バプテスマと聖霊を受けることがそれに続きます。⁹イエス・キリストは、自らバプテスマを受けて、その道に入る方法を示されました。¹⁰新約聖書のマルコとルカの福音書によれば、イエスがバプテスマを受けられたとき、天の御父が直接語って言われました。「あなたはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。」わたしたちがバプテスマを通して聖約の道に入るとき、天の御父が一人一人に同様の言葉をかけておられることが想像できます。「わたしの愛する、心にかなう子よ。進んで行きなさい。」¹¹

バプテスマのときに、そして聖餐を取るときに、¹²わたしたちはイエス・キリストの御名を進んで受けることを証明します。¹³これ

に関連して、旧約聖書の戒めを心に留めましょう。「あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。」¹⁴現代のわたしたちの耳には、これが主の名を不敬に扱うことを禁ずる戒めのように響きます。この戒めにはそういった意味合いもありますが、命じていることはさらに深遠です。「唱える」と訳されているヘブライ語は、運び手が特定のグループまたは個人とかかわりがあることを示す、旗のようなものを「高く掲げる」または「運ぶ」ことを意味します。¹⁵「みだりに」と訳されている単語には、「むなしく」または「欺いて」という意味があります。¹⁶ですから、主の名をみだりに唱えてはならないという戒めは、このように解釈できるのではないのでしょうか。「あなたは、主を正しく代表するつもりがないのであれば、イエス・キリストの弟子を名乗ってはならない。」

意図的かつ漸進的に、聖約を通してイエス・キリストの名を受けるなら、わたしたちは主の弟子となり、主を正しく代表することになります。聖約はわたしたちに、聖約の道にとどまる力を与えてくれます。なぜなら、イエス・キリストおよび天の御父との関係が変わるからです。わたしたちは、聖約のきずなによって御二方に結

ばれるのです。

聖約の道は、神殿のエンダウメントなど、神殿で受ける儀式に通じています。¹⁷エンダウメントは、神聖な聖約という神の賜物であり、わたしたちをさらに完全に神に結びつけます。わたしたちはエンダウメントの中で、第一に神の戒めを守るように努め、第二に打ち砕かれた心と悔いる霊をもって悔い改め、第三にイエス・キリストの福音に従って生活することを聖約します。主を信じる信仰を働かせ、救いと昇栄の儀式を受ける中で神と聖約を交わし、それらの聖約を生涯にわたって守り、神と隣人を愛するという二つの大切な戒めに従って生きるように努めることで、この約束を果たします。わたしたちは第四に、純潔の律法を守ることを聖約し、第五に、自分自身および主から恵まれたすべてのものを主の教会を確立するために奉獻することを聖約するのです。¹⁸

神殿の聖約を交わして守ることにより、主の目的についてさらに学び、「聖霊の全き」を受けます。¹⁹わたしたちは、人生において導きを受けます。弟子として成熟し、永遠に無知な子供ではいられなくなります。²⁰むしろ、永遠の視点をもって生活し、神と人に仕えたいというさらなる思いがかき立てられます。現世における目的を達成する能力が増大します。わたしたちは悪から守られ、²¹誘惑に抵抗し、間違いを犯したときに悔い改める力が強くなります。²²つまずくときには、神との聖約の記憶が、聖約の道へ戻れるように助けられます。神の力とつながることにより、わたしたちは「ポロロッカ」となり、生涯を通じて、また永遠において、世の流れに逆らって進むことができます。最終的に、わたしたちの行く末は変わります。聖約の道が、昇栄と永遠の命へと導いてくれるからです。²³

また、バプテスマフォントや神殿で交わす聖約を守ることにより、現世の試しや心痛に耐える強さが与えられます。²⁴これら



北アイルランド



アメリカ合衆国

の聖約に関連する教義は、進むべき道を容易にし、希望や慰めや平安をもたらします。

わたしの祖母、レナ・ソフィアとマッツ・レアンダー・レンランドは、1912年にフィンランドで教会に加わったとき、バプテスマの聖約を通して神の力を受けました。フィンランドに初めてできた教会の支部の一員になれたことを、二人はうれしく思っていました。

5年後にレアンダーが結核で亡くなったとき、レナは10人目の子供を身ごもっていました。その子供がわたしの父で、レアンダーの死から2か月後に生まれました。レナは最終的に、夫だけでなく、10人の子供のうち7人を埋葬することになります。夫を亡くし、貧困にあえいでいました。20年の間、夜もろくに眠れませんでした。

日中は家族を食べさせるために奔走し、夜は死に瀕した子供の世話をしました。どうやって対処したのか、想像もできませ

ん。

レナは、亡くなった夫や子供たちが永遠に自分と結ばれていることを知っていたので、やり抜いたのです。結び固めの力を信じていたので、永遠の家族という教義を含め、神殿の祝福の教義から平安を得ていました。この世において、彼女はエンダウメントも、レアンダーとの結び固めも受けませんでした。しかし、レアンダーはレナの人生に重大な影響を与え、将来への大いなる希望の一部となっていたのです。

レナは1938年に、亡くなった家族のために神殿の儀式を行えるように、記録を提出しました。最初のころは、フィンランドから提出しました。レナが亡くなった後、彼女とレアンダー、そして亡くなった子供たちのために、ほかの人々によって、神殿の儀式が執行されました。代理により、レナはエンダウメントを受け、夫のレアンダーと結び固められ、亡くなった子供たちとわたしの父が、二人に結び固められ

たのです。レナはほかの人々のように、「信仰をいだいて死〔に、〕まだ約束のものは受けていなかったが、はるかにそれを望み見て喜び」ました。²⁵

レナは、現世でこれらの聖約をすでに交わしたかのように生活しました。バプテスマと聖餐の聖約が自分を救い主に結びつけていることを知っていました。「贖い主の聖なる場所を切に願うことで、彼女のわびしき心に希望がもたらされた」のです（賛美歌〔英文〕4番より和訳）。²⁶レナは、人生の悲劇に見舞われる前に、永遠の家族について学んだことは、神の偉大な憐れみの一つと考えました。聖約を通して、彼女は神の力を受け、人生のチャレンジや苦難という、下へと引きずり込む力を堪え忍び、乗り越えたのです。

皆さんが生涯を通じてバプテスマから神殿へと聖約の道を歩むとき、世の中の自然な流れに逆らって進む力が与えられることを約束します。すなわち、学ぶ力、悔い改め、聖めを受ける力、また人生のチャレンジに直面する中であっても、希望と慰め、さらには喜びを見いだす力です。とりわけ、人生において神殿に大きな重点を置かなら、皆さんと家族が敵対する者の影響力から守られることを約束します。

皆さんがキリストのもとに向かい、聖約によって主と天の御父に結ばれるとき、不自然と思えることが起こります。皆さんは変化を遂げ、イエス・キリストにあって完全になるでしょう。²⁷神の聖約の子となり、神の王国の相続人となるのです。²⁸御父の声を想像できます。「わたしの愛する、喜ばしい子よ、よくぞ帰って来た。」イエス・キリストの御名により、アーメン。

注

1. およそ20フィート
2. およそ30マイル
3. 神はわたしたちに、自分自身で選び、行動する特権を授けておられるので、わたしたちは選択することができます。「聖句ガイド」「選択の自由」の項、scriptures.ChurchofJesus



ブラジル

- Christ.org: 2 ニーファイ 2: 27; モーセ 7: 32 参照
4. モーサヤ 3: 19 参照
 5. ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」『リアホナ』2022年11月号, 96, 97
 6. 『聖句ガイド』『聖約(契約)の項, scriptures. ChurchofJesusChrist.org 参照
 7. だれでも時にはつまずきますが、神は忍耐強く見守っておられ、たとえ聖約を破った後でも、悔い改めという賜物を与えてくださいます。リチャード・G・スコット長老が教えたように、「主〔は〕弱さと背きをまったく異なった見方でみておられ〔ま〕す。〔なぜなら〕……弱さについては、常に憐れみをもって語って〔おられるからです〕。」「〔イエス・キリストの贖罪から得られる個人の強さ〕」『リアホナ』2013年11月号, 83) したがって、自分の弱さに関しては、助けてくださる救い主の力を疑うべきではありません。しかし、後で悔い改めるといふ無神経な計画を抱いて故意に聖約を破ること、言い換えれば、あらかじめ計画された罪と悔い改めは、主にとっていまわしいものです(ヘブル 6: 4-6 参照)。
 8. See Robert Bolt, *A Man for All Seasons: A Play in Two Acts* (1990), xiii-xiv, 140.
 9. 2 ニーファイ 31: 17 - 18 参照
 10. 2 ニーファイ 31: 4 - 15 参照
 11. ルカは次のように記録しています。「聖霊がはどのような姿をとってイエスの上へ下り、そして天から声がした、『あなたはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。』」(ルカ 3: 22) マルコは次のように記録しています。「すると天から声があった、『あなたはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。』」(マルコ 1: 11) ウィリアム・ティンダルの翻訳は、欽定訳より鮮明で、親しみやすくなっています。彼の翻訳では、天の御父の声がこう告げます。「あなたはわたしの愛する、喜ばしい子である。」(in Brian Moynahan, *God's Bestseller: William Tyndale, Thomas More, and the Writing of the English Bible — A Story of Martyrdom and*

- Betrayal* [2002], 58) マタイだけが、より語られたままに記録しています。「また天から声があったと言った、『これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。』」(マタイ 3: 17) バプテスマのヨハネの視点でバプテスマについて伝えられているのは、ヨハネの福音書だけです。「わたしはそれを見たので、このかたこそ神の子であると、あかしをしたのである。」(ヨハネ 1: 34)
12. 2 ニーファイ 31: 13; 教義と聖約 20: 77 参照
 13. ダリン・H・オークス管長は、聖餐とともにバプテスマの聖約を新たにする際の、「進んで」という言葉の重要性について説明しています。「わたしたちは聖餐を受けるときに、イエス・キリストの御名を単に受けることを証明するものではありません。進んで受けることを証明するのです〔教義と聖約 20: 77 参照〕。そのため、実際に神聖な御名を最も重要な意味において受ける前に、何かもっとほかのことをしなければなりません。」「〔イエス・キリストのみ名を受ける〕」『聖徒の道』1985年7月号, 82) 「何かもっとほかのこと」とは、神殿の祝福と将来の昇栄を表しています。
 14. 出エジプト 20: 7
 15. See James Strong, *The New Strong's Expanded Exhaustive Concordance of the Bible* (2010), Hebrew dictionary section, page 192, number 5375.
 16. See Strong, *The New Strong's Expanded Exhaustive Concordance of the Bible*, Hebrew dictionary section, page 273, number 7723.
 17. デビッド・A・ベドナー長老は、次のように教えています。「バプテスマの聖約は確かに、将来の出来事についてしっかりと考え、神殿を目指すためのものです。……バプテスマの水で始まるイエス・キリストの御名を受ける過程が主の宮で続けられ、展開されてい〔き〕ます。バプテスマの水の中に立つとき、わたしたちは神殿に心向けます。聖餐を受けるときにも、神殿に心向けます。神殿の神聖な儀式に携わり、主イエス・キリストの御名と権能を通して得られる最高の祝福を受ける準備として、

- 救い主をいつも覚え、その戒めを守ることを誓います。こうして、聖なる神殿の儀式でイエス・キリストの御名をいっそう完全に、余すところなく受けるのです。」「〔名と地位を立派に維持する〕」『リアホナ』2009年5月号, 97-98) わたしたちが「御子に似た者」(モロナイ 7: 48) となり、完全に変えられるときまで、その過程が終わりを告げることはないでしょう。
18. 『総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕』27.2 (ChurchofJesusChrist.org) で説明されているように、聖約には、従順の律法に従って生活すること、犠牲の律法に従うこと、イエス・キリストの福音の律法に従うこと、純潔の律法を守ること、奉獻の律法を守ることが含まれます。デビッド・A・ベドナー「わたしの名のためにこの家を建てなさい」『リアホナ』2020年5月号, 84-87も参照
 19. 教義と聖約 109: 14 - 15 参照。D・トッド・クリストファーソン長老はこう教えています。「『聖霊の全き』には、イエスが次のように述べられたものが含まれます。「永遠の命、すなわち日の栄えの王国の栄光について、わたしがあなたがたに与える約束である。この栄光は、長子の教会の栄光、すなわちすべての中で最も聖なる御方である神の栄光であって、神の子イエス・キリストを通じて来る。』」(教義と聖約 88: 4 - 5) (『聖約の力』『リアホナ』2009年5月号, 23, 注5)
 20. 教義と聖約 109: 15 参照
 21. 教義と聖約 109: 22, 25 - 26 参照
 22. 教義と聖約 109: 21 参照
 23. 教義と聖約 109: 15, 22; ラッセル・M・ネルソン「霊的推進力」『リアホナ』2022年5月号, 98 参照
 24. ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」96; 教義と聖約 84: 20 参照。ネルソン大管長がこのように述べている点に注目してください。「皆さんは、御霊の促しを求め、その促しに従うたびに、また『生まれながらの人』ならしなものであろう善い行いをするたびに、世に打ち勝っているのです」(『世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう』97)。
 25. ヘブル 11: 13
 26. 「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番, 5番の歌詞を参照。これはレナ・ソフィア・レンランドの大好きな賛美歌でした。
 27. モロナイ 10: 30 - 33 参照
 28. 教義と聖約 132: 19 - 20 参照



七十人
ピーター・F・マーズ長老

救い主はわたしを癒す ことがおできになる

救い主の癒しと贖いの力は、犯した罪だけに限らず、予期せぬ失敗にも、判断の誤りにも、悩みにも、あらゆる試練にも及びます。

モルモン書を読み、それが真実であるかどうかキリストを信じながら永遠の父なる神に誠心誠意問うならば、神はこれが真実であることを聖霊の力によって明らかにしてくださる、とモロナイは約束しています。¹何百万もの人々がこの約束を試して、イエス・キリストの完全な福音が回復されたという確かな証を受けてきました。

モロナイは、モルモン書を読むときに、「アダムが造られてから……〔現在まで、〕主が人の子らにどれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こし、それを心の中で深く考え」るように勧めています。²モルモン書の物語や教えは、救い主の愛と思いやり、憐れみをわたしたちに思い起こさせ、証しています。

わたしの父は2013年の4月に亡くなりました。葬式の弔辞を準備しているときに、父のお気に入りの聖句を知っていたこと、そしてわたし自身もその聖句を愛していることから、自分がいかに祝福を受けていたかに気がつきました。父は家族が集まったときにそれを分かち合ってくれましたし、わたしがアドバイスや導きを必要としているときや、信仰を強める必要があるときには、わたしと一緒に読んでくれました。父がそれらの聖句を話や割り当てで分かち合うのも聞きました。わたしはその聖句

を知っているだけではありません。父がそれを分かち合ったときの声の響きや、そのときに感じた霊的な気持ちを、今でも思い出することができるのです。聖句と気持ちを分かち合うことによって、父はわたしがイエス・キリストを信じる信仰の堅固な土台を築くことができるよう助けてくれました。

父は特に、救い主がニーファイの民を訪れられた話が好きでした。³これは、主イ

エス・キリストが復活して昇栄されたという神聖な話です。主は苦い杯から飲み、あらゆる苦しみを負い、わたしたちが悔い改めるならば苦しむことのないようにしてくださいました。⁴霊界を訪れて、そこで福音が組織的に宣べ伝えられるようにされました。⁵死者の中からよみがえって御父のもとに帰り、後の世代の人々にとって祝福となる聖文をニーファイの民に伝えるようにという命令を御父からお受けになりました。⁶主は、昇栄して、あらゆる永遠の力と能力を持つようになられたのです。わたしたちは、主の教えの隅々から学ぶことができます。

第3ニーファイ11章には、救い主が天から降ってきて、世に来ると預言者たちが証したイエス・キリストは自分であると、ニーファイの民にお教えになったと書いてあります。主は、御自分は世の光であり、世の罪を負うことによって父に栄光をささげたと宣言されました。一人一人に来るようにと招き、御自分のわきに手を入れさせ、御自分の手と足のくぎ跡に触れさせられました。御自分が世の罪のために殺



フィリピン

されたイスラエルの神であることを、彼らに知ってほしいと思われたのです。民は喜んでその招きにこたえ、一人ずつ進み出て、まさしくこの御方が将来来られると預言者たちによって書き記された主であることをすべての者が見て感じました。⁷

イエスはニーファイの民に、悔い改めることの大切さや幼子のようになるべきこと、御自分の権能を持つ人からバプテスマを受ける必要があることを教えられました。そして、わたしたちが今年新約聖書で学んでいる教義の多くを教えられたのです。

第3 ニーファイ 17 章には、御自分が御父のみもとに帰り、イスラエルの行方の知れない部族にも御自分を現す時が来たとき、イエスが民に言われたことが書かれています。⁸ 群衆を見回して、彼らが涙を流しながら、もうしばらくとどまってほしい

と願うかのように御自分をじっと見詰めているのに気づかれました。⁹

主がこれを見てニーファイの民になされたことは感動的であり、そこから多くのことが学べます。主は言われました。「見よ、わたしの心は、あなたがたに対する哀れみに満たされている。」¹⁰

この哀れみは、単に民の涙を見て湧き起こったものではないとわたしは強く思います。主は、彼らを御自分の贖いの犠牲の目で御覧になったと思うのです。主は、彼らの苦痛と苦難、試練をすべて御存じでした。彼らの病も御存じでした。主はゲツセマネとゴルゴタで激しい苦しみを経験したために、彼らの弱さを見て、その弱さに応じてどのように救うかを知っておられたのです。¹¹

これと同じように、救い主イエス・キリ

ストはわたしたちを見て、わたしたちの罪の痛みと重荷がお分かりになります。主はわたしたちの依存症や試練を御存じです。わたしたちのどんな悩みも苦しきも御存じです。そして、わたしたちへの哀れみに満ちておられます。

主は次に、ニーファイの民を丁重に招かれました。「あなたがたの中に病気の者がいるか。彼らをここに連れて来なさい。足の不自由な者、目の見えない者、足の悪い者、手の不自由な者、重い皮膚病にかかっている者、体のまひしている者、耳の聞こえない者、あるいはどんなことでも苦しんでいる者がいるか。彼らをここに連れて来なさい。癒してあげよう。わたしはあなたがたのことを哀れに思い、わたしの心は憐れみに満たされている。」¹²

そこで民は「どんなことでも苦しんでいる





者たちを伴って」前に進み出ました。「するとイエスは、御自分のところに連れて来られた者をことごとく癒された」¹³のです。

1990年のことです。わたしたちはオーストラリア、ビクトリア州のセールという小さな町に住んでいました。家庭でも教会でも忙しく過ごし、職場でも精力的に働いていて、幸せでした。クリスマス間近のある晴れた土曜日、わたしたちは公園やお気に入りの海岸に行くことにしました。家族で遊んで楽しい一日を過ごした後、わたしたちは車に乗り込み帰路に就きました。運転しながら、わたしは一瞬居眠りをしてしまい、正面衝突の事故を起こしてしまいました。しばらくして車の中を見回すと、妻のマキシンは足をひどく骨折し、苦しそうに息をしていました。胸骨も折れていました。3人の娘は、ショックを受けていましたが、有り難いことに大丈夫なようでしたし、わたしはかすり傷程度でした。しかし、5か月の息子は無反応でした。

事故現場のストレスと混乱の中で、11歳の長女ケイトが「お父さん、ジェロムに祝福して」と切羽詰まった口調で言いました。娘たちとわたしは、どうにかして車の外に出ました。マキシンを動かすことはできません。わたしはジェロムをそっと抱き上げると、地面の上で仰向けになって自分の胸の上に寝かせ、神権の祝福を施しました。およそ40分後に救急車が到着するころまでに、ジェロムの意識は戻っ

ていました。

その晩わたしは、家族のうち3人を病院に残し、二人の娘を連れて、急いでタクシーで家に帰りました。長い夜の間、自分の家族と、相手の車に乗っていた人たちが回復するようにと天の御父に祈りました。幸いにも、わたしの祈りと、ほかの多くの人たちからの熱烈な祈りはこたえられました。時間の経過とともに全員が回復したのです。これは偉大な祝福であり、深い憐れみでした。

それでもわたしは、このような悲惨な事故を起こしてしまったことに対する深い罪悪感と苦しみから逃れることができませんでした。時々夜中に目が覚めると、その恐ろしい出来事を思い出すのです。自分を救って平安を見いだせるようになるまで、何年も苦しみました。そして、悔い改められるようほかの人を助け、彼らが救い主の哀れみと思いやりと愛を感じられるよう助けているときに、救い主がわたしを癒すことがおできになることに気がついたのです。

救い主の癒しと贖いの力は、犯した罪だけに限らず、予期せぬ失敗にも、判断の誤りにも、悩みにも、あらゆる試練にも及びます。救い主に頼るようになると、わたしの罪の意識や苦しみは徐々に薄れて、代わりに平安と安息を感じられるようになりました。

ラッセル・M・ネルソン大管長はこう教えています。「救い主は、全人類のために贖いをされたとき、御自分に従う人々が主

の癒しと強化と贖いの力に近づける道を開かれました。主にお聞きし、主に従うように努めるすべての人は、これらの霊的な特権を得ることができます。』¹⁴

兄弟姉妹の皆さん、解決していない罪の重荷を背負ってしようと、遠い昔に人から傷つけられたことで苦しんでしようと、予期せぬ失敗を犯した自分が救せなくて悩んでしようと、皆さんは、救い主イエス・キリストの癒しと贖いの力にあずかることができるのです。

わたしは証します。主は生きておられ、主はわたしたちの救い主であり贖い主であられます。主はわたしたちを愛しておられます。主はわたしたちを哀れんでくださり、憐れみに満ちておられます。そして、主はわたしたちを癒してくださいませ。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. モロナイ 10:4 参照
2. モロナイ 10:3
3. 3 ニーフай 11 - 26 章参照
4. 教義と聖約 19:16 - 19 参照
5. 教義と聖約 138:29 - 32 参照
6. 3 ニーフай 26:2 参照
7. 3 ニーフай 11:8, 10 - 11, 14 - 15 参照
8. 3 ニーフай 17:4 参照
9. 3 ニーフай 17:5 参照
10. 3 ニーフай 17:6
11. アルマ 7:11 - 12 参照
12. 3 ニーフай 17:7
13. 3 ニーフай 17:9
14. ラッセル・M・ネルソン「霊的推進力」『リアホナ』2022年5月号, 100



七十人
ランドール・K・ベネット長老

祝福師の祝福— 天の御父からの、 靈感あふれる導き

祝福師の祝福のおかげで、自分の永遠の本質、すなわち自分がほんとうは何者であり、どのような人物になれるのかを理解することができました。

わたしは、子供を愛し、忠実に福音を教えてくれる、すばらしい両親に育てられました。しかし、彼らの結婚はうまくいかず、わたしが初等協会の子供だったころに、いつか両親が離婚し、わたしときょうだいたちは、どちらの親と暮らすか選ばなければならない日が来ると知らされました。その結果、長期にわたってかなりの不安を経験しましたが、やがて天の御父からのある賜物により、すべてが変わりま

した—それは、祝福師の祝福でした。

両親の関係についての不安が増していた11歳のころ、わたしは祝福師の祝福を受けたいと切に望むようになりました。天の御父はわたしのことも、置かれた状況も完全に御存じだと、そして御父から導きを得られると確信していました。12歳の誕生日を迎えるとすぐに、祝福師の祝福を受けました。半世紀以上も前のことですが、その神聖な経験の詳細を鮮明に覚えています。

有り難いことに、教会の『総合手引き』には、祝福師の祝福について、靈感に満ちた指示が載っています。

「バプテスマを受けたふさわしい会員はだれでも、天の御父から靈感あふれる指示が与えられる祝福師の祝福を受ける権利があります。」

会員は、「祝福の意味と神聖さを理解できるほど十分に成熟し」、「福音の基本的な教義を理解している」べきです。

「理想的には、この会員は人生においてこの先多くの重要な決断を控えている若人であるべきです。……神権指導者は、祝福師の祝福を受ける会員の年齢の下限

を設けてはなりません。……」

「祝福師の祝福は、神聖で内密を要する個人的なものです。……」

「祝福師の祝福を受ける人は、祝福の言葉を心に銘記し、深く思い巡らし、この世においても永遠にわたっても、約束された祝福を受けるにふさわしい生活をしなければなりません。」¹

愛するラッセル・M・ネルソン大管長は、祝福師の祝福の重要性について²、それを受ける一人一人に、「アブラハム、イサク、ヤコブにまでさかのぼって、その人の血統を宣言[し]」³、一つ一つの祝福は「個人的な聖典」⁴だということを繰り返して教えてきました。

祝福師の祝福は、多くの理由で、若いころのわたしにとってきわめて重要なものでした。まず、聖霊の力を通して、祝福師の祝福を受けたわたしは、自分の永遠の本質、すなわち自分がほんとうは何者であり、どのような人物になれるのかを理解することができました。ネルソン大管長が教えたように、自分は「神の息子」であり、「聖約の子供」であり、「イエス・キリストの弟子」であることが分かりました。⁵ 天の御父と救い主がわたしを御存じであり、愛してくださっていて、御二方が個人的にわたしの生活にかかわっておられることを知りました。そのおかげで、御二方に近づき、御二方への信仰と信頼を増したという望みを抱くようになりました。

ヤングアダルトのときに改宗した友人がこう言いました。「祝福師がわたしの頭に手をおいて、わたしの名前を口にしたときに、すべてが変わりました。……そのときだけでなく、残りの人生を一変させたのです。祝福師の言葉の源である力を通して、天の御父がわたしを親しく、深く御存じであると一瞬にして感じました。その言葉はわたしの全存在を貫きました。天の御父がわたしのことを隅々まで御存じであることが分かりました。」

わたしは、自分が何者であるかを知る



コロンビア



ことで、神が自分に期待されていることを理解し、それを行いたいと思うようになりました。⁶

そのため、自分が交わした聖約について、また、神がアブラハムと交わした聖約の中で約束された祝福について研究しました。⁷ 祝福師の祝福のおかげで、永遠の観点を得て、さらに完全に聖約を守ろうと思うようになりました。

わたしは度々祝福師の祝福を研究しました。青少年のころはほぼ毎日でした。祝福師の祝福を研究することで、聖霊の慰めと導きを感じることができました。また、聖霊の促しに従うにつれ不安が和らいでいきました。そのおかげで、日々の聖文研究と祈り、神の預言者と使徒たちの教えをより熱心に研究し、従うことで、積極的に光と真理と聖なる聖霊を招きたいという望みが増しました。祝福師の祝福のおかげで、天の御父の御心に従いたいという望みも増しました。そのことに焦点を向けることにより、たとえ困難な状況にあっても大きな喜びを味わうことができました。⁸

わたしは、祝福師の祝福を研究するたびに、霊的な強さをもらいました。両親が最終的に離婚したときには、トーマス・S・モンソン大管長が教えたように、祝福

師の祝福が自分にとって「かけがえのない、貴い賜物」であり、「個人的なリアホナ」となりました。⁹

ここで、誤解しないでいただきたいと思えます。わたしは完璧だったわけではなく、様々な間違いを犯しました。わたしの永遠の伴侶は、今でもそうだと言うでしょう。しかし、祝福師の祝福は、行いを改善し、もっと良い人になりたいという望みを持てるよう助けくれましたし、今でも助けてくれます。¹⁰ 祝福師の祝福を度々研究することにより、誘惑に抗いたいという望みが増しました。悔い改めるための望みと勇気を得て、悔い改めが次第に喜びあふれる過程となっていきました。

証がまだ育まれつつある若いころに祝福師の祝福を受けることは、わたしにとってとても重要なことでした。そして、祝福師の祝福を望んでいることこそが、準備ができたしるしだと理解してくれた両親とビショップに永遠に感謝します。

わたしが12歳だったころは、今の世の中に比べれば、はるかに混乱も気を散らすものも少ない世界でした。ネルソン大管長は、現代は「世界史上最も複雑な時代」であり、「罪に満ちた」「利己的な」世の中だと述べています。¹¹ 幸い、今日の青少年は、わたしが12歳のころよりもずっ

と成熟しています。彼らもまた、若いうちにきわめて重要な決断をしなければなりません。彼らも、自分が何者であるか、また神が彼らを愛し、彼らのことを完全に御存じであることを知る必要があるのです。

すべての人が、わたしと同じ年齢で祝福師の祝福を受けたいと望むわけではないでしょう。しかし、まだ祝福師の祝福を受けていない会員の皆さんが、祈りをもって、自分がいつ準備ができるかを知ろうと努めるようお祈りします。霊的に備えるならば、皆さんの経験も、わたしが経験したように、神聖なものとなることを約束します。また、すでに祝福師の祝福を受けている皆さんがそれを研究し、大切にしよう祈ります。若いころに祝福師の祝福を尊ぶことで、わたしは落胆したときには勇気を、恐れのあるときには慰めを、不安なときには平安を、絶望したときには希望を、そして心が最も必要としているときに喜びを頂きました。祝福師の祝福のおかげで、天の御父と救い主に対するわたしの信仰と信頼、そして愛が増しました。それは今も増し続けています。¹²

祝福師の祝福が、天の御父からの靈感あふれる導きを確かにもたらしてくれることを証します。天の御父と御子、わたしたちの救い主であられるイエス・キリストが実際に生きておられ、わたしたちを御存じで、愛しておられ、祝福を授けたいと望んでおられることを証します。また、ラッセル・M・ネルソン大管長が地上における現代の神の預言者であることを確かに知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 『総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕』18.17, 18.17.1, Church of Jesus Christ.org
2. 以下を参照: ラッセル・M・ネルソン, “Thanks for the Covenant” (Brigham Young University devotional, Nov. 22, 1988), speeches.byu.edu; “A More Excellent Hope” (Brigham Young University fire-

side, Jan. 8, 1995), speeches.byu.edu; "Identity, Priority, and Blessings" (Brigham Young University fireside, Sept. 10, 2000), speeches.byu.edu; 「根と枝」『リアホナ』2004年5月号, 27-29; 「聖約」『リアホナ』2011年11月号, 86-89; "Youth of the Noble Birthright: What Will You Choose?" (Brigham Young University-Hawaii devotional, Sept. 6, 2013), broadcasts.Churchof JesusChrist.org; 「モルモン書, イスラエルの集合, そして再臨」『リアホナ』, 2014年7月号, 24-29; 「神に勝利を」『リアホナ』2020年11月号, 92-95; 「永遠の聖約」『リアホナ』2022年10月号, 4-11

3. ラッセル・M・ネルソン「聖約」88

4. ラッセル・M・ネルソン "Thanks for the Covenant," speeches.byu.edu.
5. ラッセル・M・ネルソン「永遠にわたる決断」(ヤングアダルトのためのワールドワイド・ディベーション, 2022年5月12日), Churchof JesusChrist.org; 強調付加
6. ラッセル・M・ネルソン「聖約」86-89 参照
7. 創世 17:1-10 参照。ラッセル・M・ネルソン「誓約にあずかる者」『聖徒の道』1995年7月号, 35-39も参照
8. ラッセル・M・ネルソン「喜び—霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 81-84 参照
9. トーマス・S・モンソン「祝福師の祝福は光の羅針盤」『聖徒の道』1987年1月号, 68-69
10. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より

良くなれます」『リアホナ』2019年5月号, 67-69 参照

11. ラッセル・M・ネルソン, 「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」『リアホナ』, 2022年11月号, 95-96
12. ジェームズ・E・ファウスト「神権の祝福」『リアホナ』1996年1月号, 66-69 から着想を得て



チリ



七十人
クレグ・C・クリステンセン長老

「わたしはほかには あり得ないほど麗しく、 また快い喜びを 味わった」

日々悔い改めてイエス・キリストのみもとに来ることこそが、
想像を超えるほどの喜びを受ける方法です。

救い主は地上で教導の業を行われていたとき、神のすべての子供たち、特に苦しんでいる人々や道をそれてしまった人々に対して深い憐れみを示されました。罪人とかかわりがあることや食事を共にしていることについてパリサイ人から批判された際に、イエスは3つのたとえをお教えになりました。¹ それぞれのたとえの中で、主

は迷い出た人々を探し出すことの大切さと、戻ったときに感じる喜びを強調されました。例えば、迷い出た羊のたとえの中で主は、「罪人がひとりでも悔い改めるなら……大きいよろこびが、天にあるであろう」と言われました。²

今日のわたしの願いは、喜びと悔い改めの結びつきが強化されることです。そ



ポーランド



メキシコ

の喜びとは、より具体的に言うと、悔い改めるときにもたらされる喜びです。そしてキリストのみもとに来て、キリストの贖いの犠牲を自分の生活に受け入れるよう人々を招くときに味わう喜びの気持ちのことです。

わたしたちが存在するのは喜びを得るためである

聖文の中での喜びという言葉には概して、一時的な満足感や幸福感以上の意味があります。この文脈での喜びは神の属性であり、わたしたちが神のみもとに戻って住むときにその完全さが見いだされます。³ それは、この世のどんな喜びや慰めよりも深遠で、崇高で、永続する、人生を変えるものです。

わたしたちは喜びを享受するよう創造されました。それは愛にあふれた天の御父の子供としてのわたしたちの行く末です。主は御自身の喜びをわたしたちに分かち合いたいと望んでおられます。一人一人に用意された神の計画は、「喜びを得る」ためであると、預言者リーハイは教えました。⁴ 墮落した世に住んでいるわたしたちには、永続する喜び、永遠の喜びは手の届かないものと思うことがよくあります。しかしリーハイはそのすぐ後の節で、「[わたしたちを] 墮落から贖うためにメシヤが[来られ]」たと続けています。⁵ 救い主イエス・キリストによる贖いが喜びを可能にします。

福音のメッセージは希望のメッセージで、「大きな喜び〔の知らせ〕」⁶であり、すべての人がこの世で平安と喜びを、次の世では満ちみちる喜びを受けることができる手段です。⁷

この喜びは、忠実な者に与えられますが、受けるには代価が伴います。喜びは安価で手に入るものでも、何気なく与えられるものでもありません。それは「〔イエス・〕キリストの尊い血」によって買われたのです。⁸ 真の敬虔な喜びの価値をほんとうに理解していれば、この世の所有物を犠牲にすることや、その喜びを受けるために必要な生活を変えることをいとわないでしょう。

モルモン書の中の権力を有しながらも謙遜であった王は、これを理解し、「この悪い霊をわたしの胸からことごとく取り除いて、神から生まれ、神の御霊を受けて、喜びに満たされ〔るために、何をすればよいか〕」と尋ね、「見よ、この大きな喜びを得るために、わたしは持ち物をすべて捨てよう。まことに、王位も譲ろう」と言いました。⁹

王の質問に答え、宣教師のアロンは、「あなたがこのことを願い、神の御前にひ

れ伏すならば、まことに、あなたの罪をすべて悔い改め〔なさい〕」¹⁰と言いました。悔い改めは喜びへの道です。¹¹ なぜなら、その道が救い主イエス・キリストに通じているからです。¹²

喜びは心からの悔い改めを通してもたらされる

悔い改めを喜びへの道と考えるのは矛盾している、と思う人がいるかもしれません。悔い改めは、時につらく、困難なものです。自分の考えや行動の一部、または信じていることの一部が間違っていたことを認めることが求められます。悔い改めには、時に不快感を伴う変化も必要です。しかし、喜びと心地よさは同じではありません。自己満足の罪も含め、罪はわたしたちの喜びを制限します。

詩篇作者は述べています。「夜はよもすがら泣きかなしんでも、朝と共に喜びが来る」と。¹³ 罪を悔い改めるとき、その後が続く大きな喜びに目を向けなければなりません。夜が長く思えても、朝は来ます。救い主の贖罪がわたしたちを罪と苦しみから解放してくださる際に感じる平安と栄えある喜びは、何と美しいことでしょう。

ほかにあり得ないほど麗しく、また快い喜び

モルモン書のアルマの経験について考えてみてください。彼は「永遠の苦痛に責めさいなまれ」、罪のために心に「ひどい苦しみを受け」ました。しかし、憐れみを求めて救い主に頼ると、彼は「苦痛を忘れることができ〔ました〕」。¹⁴

「おお、何という喜びであったことか。何という驚くべき光をわたしは見たことか。……ほかにあり得ないほど麗しく、また快い喜びを味わった」と、彼は述べています。¹⁵

悔い改めを通してイエス・キリストのみもとに来る人々には、このような喜びが与えられます。¹⁶ ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。

「悔い改めはイエス・キリストの贖いの力に手を伸ばせるようにしてくれます。……

悔い改めを選ぶとき、わたしたちは変わることを選びます。自らを救い主に委ねて、最高の自分に変えていただくのです。わたしたちは霊的に成長し、喜びを受けることを選びます。それは主による贖いの喜びです。悔い改めを選ぶとき、もっとイエス・キリストのようになることを選んでいくのです。」¹⁷

悔い改めは、聖霊の影響を受けられるように心を備えるものであり、喜びをもたらします。聖霊に満たされることは、喜びに満たされることを意味します。喜びに満たされることは、聖霊に満たされることを意味します。¹⁸ 御霊を生活に取り入れようと日々努めるとき、わたしたちの喜びは増します。預言者モルモンはこう述べています。「彼らは断食して祈り、ますます謙遜になり、ますますキリストを信じる信仰を確固としたものにしたので、喜びと慰めで満たされ……た。」¹⁹ 主は、御自身に従うすべての人に、「わたしはあなたにわたしの御霊を授けよう。わたしの御霊はあなたの思いを照らし、あなたの霊に喜びを満たすであろう」²⁰と約束しておられます。



アメリカ合衆国



アルゼンチン

人々が悔い改めるのを助ける喜び

心からの悔い改めによりもたらされる喜びを感じた後にその喜びをほかの人と分かち合いたいと思うのは、ごく自然なことです。そうするときに、わたしたちの喜びは増し加わります。それがまさにアルマに起こったことです。

アルマはこう述べています。「神の御手に使われる者となって幾人かでも悔い改めに導けること、これがわたしの誇りであり、喜びである。

見よ、わたしは、多くの同胞が心から悔いて、主なる神のみもとに来るのを見るとき、喜びに満たされる。またそのとき、わたしは主がわたしのために行ってくださったこと、……まことに、わたしはそのときに、主がかつてわたしに憐れみ深い御腕を伸べてくださったことを思い出す。」²¹

人々が悔い改めるのを助けることは、救い主に対する感謝の気持ちを自然に表す行為であり、大きな喜びの源です。主は次のように約束しておられます。

「あなたがたは……一人でもわたしのもとに導くならば、わたしの父の王国で彼とともに受けるあなたがたの喜びはいかに大きいことか。

さて、あなたがたがわたしのもとに導いた」……一人の人とともに受けるあなたがたの喜びが大きいならば、もし多くの人をわたしのもとに導くとすればその喜びはいかに大きいことか。」²²

人が悔い改めるとき、主の喜びはいかに大きいことか

わたしたちが生活の中で主の贖いの犠

牲による祝福を受ける度に、救い主が感じられるに違いない喜びを想像することは、助けになります。²³ ネルソン大管長が引用したように、²⁴ ヘブル人への手紙の中で使徒パウロは、次のような洞察を分かち合っています。「いっさいの……からみつく罪とをかなぐり捨てて……信仰の導き手であり、また完成者であるイエスを仰ぎ見[よう]。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、……十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。」²⁵ わたしたちはしばしばゲツセマネとカルバリでの苦痛と苦しみについて話します。しかし、救い主が命をささげられた際に予期しておられたに違いない大きな喜びについて話すことはめったにありません。明らかに、主の苦痛と苦しみはわたしたちのために、わたしたちが神のみもとに戻る喜びを味わえるようにするためでした。

古代アメリカの人々を教えられた後、救い主は、彼らへの深い愛を込めてこう言われました。

「さて見よ、あなたがた……についてのわたしの喜びは、大きくて限りがない。また父も、……すべての聖なる天使たちも喜んでい。……

……[あなたがた]のことでわたしは満ちみちる喜びを得ている。」²⁶

キリストのもとに来て、キリストの喜びを受ける

兄弟姉妹の皆さん、最後に、神聖な賜物と思っている個人的な証を分かち合います。イエス・キリストは世の救い主、贖い

主であられます。主がわたしたち一人一人を愛しておられることを知っています。主の唯一の焦点、「[主の]業……[主の]栄光」²⁷ は、わたしたちが主にあって満ちみちる喜びを受けられるようにすることです。日々悔い改めてイエス・キリストのみもとに来ることこそが、想像を超えるほどの喜びを受ける方法であると、証します。²⁸ そのためにわたしたちはこの地上にいます。その理由で、神は偉大な幸福の計画をわたしたちのために備えられたのです。イエス・キリストは確かに、「道であり、真理であり、命であ[られます]。」「²⁹ そして、「このほかには人を神の王国に救う道も名も天下に与えられて[いません]。」「³⁰ このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します。アーメン。■

注

1. ルカ 15 章参照
2. ルカ 15 : 7
3. 詩篇 16 : 11 参照
4. 2 ニーファイ 2 : 25
5. 2 ニーファイ 2 : 26
6. ルカ 2 : 10
7. モーサヤ 3 : 13 - 19 参照
8. 1 ペテロ 1 : 19
9. アルマ 22 : 15
10. アルマ 22 : 16
11. 近年、何名かの預言者と使徒が悔い改めの喜びを強調しています。例として、ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなれます」『リアホナ』2019年5月号、67 - 69；ダリン・H・オークス「悔い改めによる清め」『リアホナ』2019年5月号、91 - 94；デール・G・レナランド「悔い改め—喜びに満ちた選択」『リアホナ』2016年11月号、121 - 124；D・トッド・クリストファーソン「悔い改めという神の賜物」『リアホナ』2011年11月号、38 - 41 参照
12. ネルソン大管長は、このように教えています。「喜びは[イエス・キリスト]から始まり、キリストによってもたらされるものです。主はすべ



七十人
エバン・A・シュムツ長老

キリストの教義を 信頼する

キリストとの聖約の関係という土台の上に家を建てる時、
わたしたちはキリストの教義を信頼しているのです。

わたしは頭の中で、年老いた預言者
ニーファイが尖筆^{せんびつ}を手に、金版を広げた机
に向かっている様子を思い描いています。

ニーファイは、記録に最後の言葉を刻
む作業を終えるところでした。「さて、わ
たしの愛する同胞よ、わたしはこれでわた
しの言葉を終える」と記したのです。¹し
かしその後間もなく、御霊はニーファイ
に、記録を再開して結びの言葉を書き足
すよう強く促しました。そこでこの偉大な
預言者は、聖霊の力強い影響の下、再び
尖筆を手に取りこう刻んだのです。「しかし、
これまで書き記してきたことで十分で
ある。ただ、キリストの教義については少
し述べておかなければならない。」²

この「少し」³という言葉に対して、ま
た、それらを書き記すようにとニーファイ
を駆り立ててくださった御霊に対して、わ
たしたちはどれほど永遠の感謝の念を抱
いていることでしょうか。キリストの教義に
関するニーファイの論考は、それをよく味
わう人々にとっての宝物となります。そこ
には、救い主のバプテスマの示現⁴に加
え、御自身に従い⁵、「〔御自身〕が行うの
を見たそのことを〔行う〕」ようにとすべ
ての人を招かれる御子の声⁶が記録されて
います。また、キリストを信じる信仰を
持って心から罪を悔い改め、救い主に従っ
てバプテスマの水に入る人は「聖霊を受け

る。すなわち、そのとき火と聖霊によるバ
プテスマを受ける」というニーファイの証
が含まれています。⁷さらに、御父が証さ
れる声も聞こえてきます。「まことに、わた
しの愛する者の言葉は真実であり、確か
である。最後まで堪え忍ぶ者は救われ
る。」⁸

ラッセル・M・ネルソン大管長は、新た
に召された伝道部指導者を対象とする話
の中で、キリストの教義が唯一無二の重
要性を持つことをこのように強調しまし
た。「わたしたちが宣教師に対して、何に
も増して望むことは、キリストの教義が彼
らの心に刻まれ、骨の髄にまで染み渡る
ことです。」⁹

キリストの教義における5つの重要な
要素が、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』
に要約されています。こうあります。
「〔わたしたちは〕人々をキリストのもとへ
来るよう招〔きます〕。そのために〔わた
したち〕は、イエス・キリストとキリストの
贖いを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、
聖霊の賜物を受けること、最後まで堪
え忍ぶことを通して、彼らが回復された福
音を受け入れられるよう助けるのです。」¹⁰

しかし、キリストの教義の重要性は、宣
教師にかざられた話ではありません！キ
リストの教義は、その主要な5つの要素
を単に要約して繰り返すこと以上の、はる

での喜びの源であられます。……末日聖徒
にとって、イエス・キリストは喜びです。』
〔喜び—霊的に生き抜く道〕『リアホナ』
2016年11月号、82)

- 13. 詩篇 30:5
- 14. アルマ 36:12, 19
- 15. アルマ 36:20-21。12-19 節も参照
- 16. アルマ 27:18 参照
- 17. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、よ
り良くなれます」67
- 18. 使徒 13:52; モーサヤ 4:3 参照
- 19. ヒラマン 3:35
- 20. 教義と聖約 11:13
- 21. アルマ 29:9-10
- 22. 教義と聖約 18:15-16
- 23. 教義と聖約 18:13 参照
- 24. ラッセル・M・ネルソン「喜び—霊的に生
き抜く道」83 参照
- 25. ヘブル 12:1-2; 強調付加
- 26. 3 ニーファイ 27:30-31。救い主のニーファイ
人の3人の弟子は、人々を主のもとに導くとい
う唯一の目的を持って現世にとどまることを
望みました。これらの忠実な弟子に、イエスは
言われました。「このために、あなたがたは
満ちみちる喜びを得、父の王国で座に着くで
あろう。父が満ちみちる喜びをわたしに与え
てくださったように、まことに、あなたがたの
喜びは満ちるであろう。そして、あなたがたは
わたしのようになる。」(3 ニーファイ 28:10)
- 27. モーセ 1:39
- 28. 「〔目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に
思い浮びもしなかったことを、神は、ご自分
を愛する者たちのために備えられた』ので
ある。」(1 コリント 2:9)
- 29. ヨハネ 14:6
- 30. 2 ニーファイ 31:21



南アフリカ



タヒチ

かに深遠なもの、福音の律法を包括するものであり、永遠の命へと至る、偉大な計画なのです。

兄弟姉妹、キリストの教義がわたしたちの骨の髄まで染み渡すようにというネルソン大管長の招きを受け入れるためには、研究と祈り、忠実な生活、絶えざる悔い改めによって、主への改心を深める必要があります。ニーファイがキリストの教義を深く永く金版に刻んだように、「[わたしたちの]心の板」¹¹にも、その教えを深く永く刻んでくださるよう、聖霊を招かなければなりません。

昨年10月、ネルソン大管長は、「世に打ち勝つとはどういうことでしょうか」と問いかけました。大管長はとりわけ、「人の哲学よりもキリストの教義を信頼することであ[る]」と述べています。¹²

「信頼」という言葉は、「だれかや何かに関して、その性格や性質、能力、強さ、真実性に確信をもって頼ること」¹³と定義されます。その「だれか」とはイエス・キリストであり、「何か」とは主の教義です。

では、キリストの教義を意図的に信頼することで、わたしたちの生き方はどのように変わのでしょうか。

キリストの教義を信頼するなら、キリストの言葉一つ一つに従って生きるほどにキリストを信頼することでしょう。¹⁴ わたしたちはイエス・キリストについて生涯学びを深めるでしょう。¹⁵ 主の務め、主の教え、また主の栄えある復活を含め、主の無限の贖罪について知ろうとするのです。また、主の約束と、その約束が果たされる条件について学ぶでしょう。¹⁶ 研究する中で、わたしたちは主に対するいっそうの愛

で満たされるはずで

です。キリストの教義を信頼するならば、謙遜な、ひそかな祈りをもって、日々天の御父に近づくことでしょう。御子という贈り物、また受けている祝福のすべてに感謝を述べることができます。¹⁷ 啓示の源である聖霊を伴侶とするべく祈り求めること¹⁸、また思いを主の御心に沿わせ¹⁹、聖約について考え、聖約を守る決意を新たにできるよう²⁰ 祈ることができるのです。預言者、聖見者、啓示者を支持し、愛を示すために祈りをささげ²¹、赦しがもたらす清めの力²²、また誘惑を退ける力²³を祈り求めることができます。人生にあって祈りに重きを置き、日々神との対話を改善しようと努めるように皆さんをお招きします。

キリストの教義を信頼するならば、この世の魅力的な物事を脇に置き、世の贖い主に心を注ぐことができるようにするでしょう。²⁴ ソーシャルメディアやデジタルゲーム、無益で過度な娯楽や不適切な娯楽、この世の宝と虚栄という誘惑、また偽りの言い伝えや人の誤った哲学に場所を与えるその他の活動に費やす時間を制限したり、なくしたりするはずで

す。わたしたちはキリストにのみ、真理と永続する充足感を見いだすことができるのです。心からの悔い改め²⁵ は人生にあって喜ばしい要素となり²⁶、罪の赦しを受けるとともに、キリストの面影を受けた者へと変化を遂げるでしょう。²⁷ キリストへの信仰を伴う悔い改めにより、キリストの贖罪にあずかることができます。ダリン・H・オークス管長は、救い主が赦しをもたらされることに関して、このように教えています。主は、「罪から清める以上のことをしてください。新たな強さをくださるのです。」²⁸ 神の戒めを守り、人生の永遠の目的を果たすうえで、人はだれしもこの強さを必要としています。

イエスとその教義から、わたしたちは強さを得ます。主はこのように語られました。「まことに、まことに、あなたがたに



言う。これがわたしの教義である。この教義の上に建てる者はわたしの岩の上に建てるのである。地獄の門もこれらの者に打ち勝つことはない。」²⁹

この約束は、忠実な人々の人生において成就しています。わたしがトラビスとケイシーに出会う幸運に恵まれたのは、一年余り前のことです。二人は2007年に市民結婚をしていました。当時、トラビスは教会の会員ではなかったのです。ケイシーは活発な末日聖徒の家庭で育ちましたが、10代のころに信仰から離れ、その土台からさまよい出てしまいました。

2018年、トラビスは宣教師に出会い、2019年にバプテスマを受けます。その後、トラビスはケイシーにとっての宣教師となり、ケイシーもまた人生を一変させるような改心を経験しました。そうして2020年9月、二人は神殿で結び固められたのです。バプテスマを受けてから約2年後、トラビスはピシヨップリックで奉仕するよう召されました。

トラビスには、内臓に腫瘍の塊が絶えず形成されてしまう希少疾患があります。繰り返し生じる腫瘍を摘出するために、これまで何度も手術を受けてきました。しかし、これは不治の病であり、トラビスは数年前に、余命10年足らずと宣告されていたのです。

一方ケイシーには、不可逆的に視野が狭くなっていき、やがては完全な失明に至る、「網膜色素変性症」という珍しい遺伝性疾患があります。

ケイシーは自分の将来について、わたしに語ってくれました。そう遠くはない未来

に、夫を亡くし、視力を失い、経済的な支援を受けられない中、育ちざかりの4人の子供を独りで育てる時が来るだろうと、彼女は考えていました。どうしてそのような暗い未来を受け止めることができるのかと、わたしはケイシーに尋ねました。すると彼女は穏やかにほほえんで、こう答えました。「わたしの人生で、今ほど幸せと希望に満ちている時はありません。わたしたち二人は神殿で受けた約束を堅く守っているのですから。」

トラビスは現在、ピシヨップとなっています。2か月前に、またもや大きな手術を受けたばかりです。それでも、彼は楽観的で穏やかです。ケイシーの視力は悪化しています。今や盲導犬を必要とし、車の運転もできません。それでも、彼女は子供たちを育て、若い女性会長会の顧問として奉仕しながら、満ち足りて暮らしています。

トラビスとケイシーは、岩の上に家を建てています。トラビスとケイシーは、キリストの教義と、神が「苦難を聖別して〔彼らの〕益としてくださる」³⁰という約束を信頼しています。神の完全な計画において、キリストへの信仰を伴う苦難は、キリストによって完全になる道へと通じているのです。³¹ 岩の上に家を建てた賢い人のたとえのように³²、雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹き、トラビスとケイシーが建てた家に打ちつけても、家が倒れることはないでしょう。岩を土台としているからです。³³

雨や洪水、風は、人生において生じる可能性があることではなく、むしろ嵐が起こるのは確実なことであると、イエスは語ら

れました。このたとえにおいて変えられる部分は、嵐が来るか来ないかではなく、主の教えに耳を傾けて行うようにという、主の愛ある招きにどう応じるかなのです。³⁴ 生き延びる方法はほかにありません。

キリストとの聖約の関係という土台の上に家を建てるとき、わたしたちはキリストの教義を信頼しているのであり、主のもとに向かうなら、永遠の命という主の約束を受けるのです。キリストの教義を信頼する人々は、キリストを確固として信じながら力強く進み、最後まで堪え忍びます。このほかに、天の王国における救いへと至る道はありません。³⁵

イエス・キリストがよみがえられ、今も生きておられることを個人的に証します。わたしたちを罪から贖い³⁶、憂いから癒そうと³⁷その御子を遣わされたほどに、父なる神がこの世を愛してくださったことを証します。神はこの時代における御自身の預言者、すなわちラッセル・M・ネルソン大管長を召されたこと、神が大管長を通して語り、わたしたちを導いておられることを証します。

キリストの教義を信頼し、贖い主の岩の上に人生を築くよう、心の底から皆さんをお招きします。主は決して皆さんをお見捨てにはなりません。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 2 ニーファイ 30 : 18
2. 2 ニーファイ 31 : 2 ; 強調付加
3. 2 ニーファイ 31 - 32 章参照
4. 2 ニーファイ 31 : 7 - 8 参照
5. 2 ニーファイ 31 : 10 参照
6. 2 ニーファイ 31 : 12
7. 2 ニーファイ 31 : 13
8. 2 ニーファイ 31 : 15
9. In Marianne Holman Prescott, "Elder Russell M. Nelson: 'Epistles of the Lord,'" *Church News*, July 1, 2015, thechurchnews.com.
10. 「わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド」1。「宣教師の目的」は、キリストの教義の5つの柱を反映しています。2 ニーファイ 31 - 32 章の教えには、キリストの言葉にしっかりとつかまることや(2 ニーファイ 31 : 19 - 20 : 32 : 3 参照)、戒めを守ること(2 ニーファイ 31 : 7, 10, 18 参照)、祈り

(2ニーファイ 32:8-9 参照) など、キリストの教義の一部である重要な要素がほかにも幾つか挙げられ、さらにその中核として、キリストの贖いの犠牲こそ、わたしたちが救われる唯一の道であるという教義が記されています(2ニーファイ 31:21 参照)。キリストの教義の要素は聖典の至る所に見られますが、教義に関する最も詳細な論考は、2ニーファイ 31:5-21, 3ニーファイ 11:31-39, 3ニーファイ 27:13-21, モーセ 6:59-62 に記載されています

11. 2 コリント 3:3
12. ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」『リアホナ』2022年11月号, 96: 強調付加
13. Merriam-Webster.com Dictionary, "trust."
14. 教義と聖約 84:44 参照
15. マタイ 11:29 参照
16. ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリストの力を生活に取り入れる」『リアホナ』2017年5月号, 39 参照: 「まず、主について学びましょう。……救い主の教導の業と使命について知れば知るほど、主の教義と、主がわたした

ちのためにしてくださったことを理解するようになります。……末日聖徒版の欽定訳聖書(英語)の項目別索引にある「イエス・キリスト」(訳注—『聖句ガイド』の「イエス・キリスト」の項目を参照)についての参照聖句を、個人の基礎教科課程とするよう勧めます。】

17. マタイ 6:6-13 参照
18. 3ニーファイ 19:9 参照
19. 2ニーファイ 4:35; 3ニーファイ 19:24; 教義と聖約 46:30 参照
20. ラッセル・M・ネルソン「神殿とあなたの霊的な基」『リアホナ』2021年11月号, 95 参照: 「自分が交わした聖約を心の中で繰り返す時間を定期的を持つようにお勧めします。」
21. 教義と聖約 107:22 参照
22. モーサヤ 4:10 参照
23. マタイ 6:13 参照
24. マタイ 6:19-21, 33 参照
25. ベニヤミン王は、心からの悔い改めについてこのように説明しました。「さらにあなたがたは、罪を悔い改めてその罪を捨て、神の御前にへりくだらなければならないことを信じなさい。そして、神があなたがたを赦してくださいるように真心から求めなさい。これらのことを

すべて信じるならば、必ずそれを実行しなさい。」(モーサヤ 4:10)

26. ラッセル・M・ネルソン「霊的推進力」『リアホナ』2022年5月号, 98-99: 「生まれながらの人を捨てることの喜びを、今日から感じてください。救い主は常にわたしたちを愛しておられますが、わたしたちが悔い改めるときは特にそうです。……悔い改めの喜びと安らぎを得られるように[するのです]。』
27. アルマ 5:14-15 参照
28. Dallin H. Oaks, "Our Message for Missionaries" (worldwide missionary broadcast, Jan. 20, 2016)。ダリン・H・オークス「罪と苦しみ」『聖徒の道』1994年4月号, 31も参照
29. 3ニーファイ 11:39: 強調付加
30. 2ニーファイ 2:2
31. ヘブル 5:8-9 参照
32. 3ニーファイ 14:24-27 参照
33. 3ニーファイ 14:24-25 参照
34. 3ニーファイ 14:24 参照
35. 2ニーファイ 31:20-21 参照
36. ヨハネ 3:16-17 参照
37. ヨハネ 16:20 参照





七十人
ベンハミン・デ・オヨス長老

神殿と家族歴史活動— 一つの同じ業

家族をこの世で永遠に結ぶことこそが、天の御父の計画の
焦点です。

この「時の満ちる神権時代」(教義と聖約 128:18)において、神殿が建設され続けていることにとても感謝しています。回復の時代のはじめから、忠実な聖徒たちは神殿の儀式と聖約を受けるために多くの犠牲を払ってきました。彼らの偉大な模範にならい、わたしの愛する妻エベリアとわたしは、経済的な犠牲を払ってメキシコシティから旅立ち、愛する両親が見守る中、1975年にアリゾナ州メサ神殿で永遠の夫婦として結び固められました。それは、主の宮で神権の権能によって結ばれたわたしたちにとって、まさに天国を垣間見るかのような体験でした。

神殿活動とその目的

この経験から、オハイオ州カートランドの聖徒たちが、3年にわたる労働と多大な犠牲の末、1836年の春、この時代で最初の美しい神殿を完成させたことを、より深く理解することができました。その年の3月、奉獻式のために、1,000人以上の人々が神殿とその入り口に集まりました。預言者ジョセフ・スミスは、啓示によって与えられていた奉獻の祈りをささげるために立ち上がりました(教義と聖約 109章参照)。祈りの中でジョセフは、ふさわしい状態で主の神殿に入る人々に授けられる数々の特別な祝福について述べていま

す。その後、聖歌隊が賛美歌「主のみたまは火のごと燃え」を歌い、会衆は立ち上がり、「屋根を建物から持ち上げるほどの力」でホサナ斉唱をしました(『歴代預言者の教え—ジョセフ・スミス』307)。

その一週間後、預言者は神殿に主が御姿を現されたことを説明しました。主はこのように言われました。

見よ、わたしはこの家を受け入れた。そして、わたしの名はここにあるであろう。わたしは憐れみをもってこの家でわたしの民にわたし自身を現すであろう。……

そして、この家の名声は諸外国に広まるであろう。これはわたしの民の頭に注が

れる祝福の初めである。まことにそのとおりである。アーメン。」(教義と聖約 110:7, 10)

いくつかの示現の後、死を味わうことなく天に召された預言者エリヤが、預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリの前に現れ、このように言いました。

「『見よ、マラキの口を通して語られた時がまさに来た。』マラキとは、主の大いなる恐るべき日が来る前に彼〔預言者エリヤ〕が遣わされ、

先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に向けさせ、全地がのろいをもって打たれることのないようにする、と証した人である。

『それゆえ、この神権時代の鍵はあなたがたの手にゆだねられている。これによってあなたがたは、主の大いなる恐るべき日が近く、まさに戸口にあるのを知ることができる。』(教義と聖約 110:14-16)

神殿と家族歴史

主がジョセフ・スミスに結び固めの鍵を回復された後、幕の両側における救いの業がわたしたちの時代において始まりました(1コリント 15:22, 29, 教義と聖約 128:8-18 参照)。

ボイド・K・パッカー長老は次のように



コートジボワール



ケニア

教えました。「世の人々に知られずに起きたこの出来事がかつて世に生きた人々、これから生まれて来るすべての人々の行く末に影響を及ぼすことになりました。事はひそかに始まりました。こうして教会は、神殿を建てる教会となります。

以来、世界のそこかしこから、人に強いられるでもなく系図探求に興味を持つ人や組織、各種の団体が出てきました。このようなことは皆、エリヤがカートランド神殿に現れて以来、起こり始めました(*The Holy Temple*, 141)。

こうして1836年4月3日、まさにその日から子孫の心はその先祖に向けられるようになりました。以後、教会で行われる諸儀式は一時的なものではなく、永遠に続くものとなりました。結び固めの力は、わたしたちとともにありました。どのような権威も、その効力においてこの力に勝るものはありません。この力は、生者に対しても死者に対しても正当な権威をもって行われるもろもろの儀式に、意義と永遠の効力を与えるものなのです」(『聖なる神殿に参入する備え』28)。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、どの時代においても、神殿の建設と適切な使用は、イエス・キリストの真の教会のしるしとなってきたのです。1893年にソルトレーク神殿が奉献された後、ウィルフォード・ウッドラフ大管長は、救いと昇栄の儀式を行うために、先祖の記録を見つけ、できるだけさかのぼって家系図を作り、神殿に名前を提出するよう教会員を励ました

(『歴代預言者の教え：ウィルフォード・ウッドラフ』174)。

家族歴史と神殿活動—一つの業

その1年後(1894年)、ウッドラフ大管長はユタ系図協会の設立を指揮しました。それから100年後の1994年、当時十二使徒定員会の会員であったラッセル・M・ネルソン長老はこのように述べています。「歴史に残るこの年の一連の出来事により、家族歴史の探求と神殿での奉仕は、教会におけるひとつの〔業〕として確立されました。」(『エライジャの霊』『聖徒の道』, 1995年1月号, 94ページ)。

家族歴史活動

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、主は教会の会員であるわたしたちに、自分の家族歴史を保存し、先祖から学ぶように、そし



エクアドル

て彼らが福音の儀式を受け、聖約の道を歩み、永遠の家族という祝福にあずかることを可能にするために、必要な手続きをするよう勧めておられます。こうして家族をこの世で永遠に結ぶことこそが、天の御父の計画の焦点です。

この業を行う能力がないと感じている方々は、皆さんは自分一人ではないことを知ってください。わたしたちは、教会が提供している、かつて家族歴史センターとして知られていたファミリーサーチセンターにある支援ツールを利用することができます。ファミリーサーチセンターは、少しの助けで、ほとんどだれでも先祖の情報を見つけ、それを適切に整理し、主の宮に持っていくことができるようにしてくれる場です。ワードや支部にいる家族歴史相談員に連絡してみてください。丁寧に一つ一つ案内してくれるでしょう。

預言者の導きに従い、家族歴史や先祖のための神殿儀式を行う方法を学ぶとき、自ら継続したいと思うほど大きな喜びを経験するでしょう。聖霊がわたしたちの心にあふれ、業を進める能力を引き出し、先祖の名前を探すように導いてくれるでしょう。しかし、家族歴史とは、単に名前、日付、場所を探すだけではないことを忘れてはなりません。それは、家族のきずなをつなぎ合わせ、彼らの福音の儀式を通して得られる喜びを感じることです。

わたしたちの愛する預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長の靈感に満ちた教えが大好きです。「神殿は、救い主



と主の教義のまさに中心に据えられているため、わたしたちの信仰と不屈の霊性を強めるうえで最も重要です。神殿で指示と御霊を通して教えられるすべてのことは、イエス・キリストに対する理解を深めてくれます。主の必須の儀式は、神聖な神権の聖約を通して、わたしたちを主に固く結びつけてくれます。そして、わたしたちが聖約を守るならば、主はわたしたちを癒し強める力を授けてくださいます。】
〔「神殿とあなたの霊的基盤」『リアホナ』2021年11月号, 93〕。

間違いなく、神殿の働きと家族歴史は、教会において一つの同じ業です。

わたしは、これらが真実であることを証します。この教会が、わたしたちの救い

主、贖い主であり、この復活祭の時期にわたしたちが思い起こし、尊ぶ主イエス・キリストの教会であることを知っています。主はわたしたちを愛しておられ、わたしたちが聖約を守り、主に信頼を置くとき、主は癒しと強める力を授けてくださることを知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■



十二使徒定員会
ディーター・F・ウークトドルフ長老

イエス・キリストは 親の強さです

皆さんの子供たちがイエス・キリストを信じる信仰を築き、主の福音と教会を愛し、生涯にわたって義にかなった選択をする備えができるよう助けてください。

昔々、ある父親が夜のビショップリック集会に出かけようとしていました。すると4歳の娘が、パジャマ姿で『モルモン書ものがたり』を1冊手にして目の前にやってきました。

「なぜ集会に行かなくちゃいけないの?」と娘が尋ねると、

「ビショップリックの顧問だからだよ」と、父親は答えました。

「でも、パパはわたしのお父さんなのよ!」と、娘は言い返します。

父親は娘の前にひざをつき、言いました。

「ねえ、それを読み聞かせて、眠るのを手伝ってほしいのは分かるけど、今晚は、ビショップのお手伝いをしないとイケないんだよ。」

娘はこう答えました。「ビショップには、眠るのを手伝ってくれるパパはいないの?」

日々イエス・キリストの教会で熱心に奉仕している、数え切れないほどの会員の皆さんに、絶えず感謝しています。皆さんの犠牲は、実に神聖なものです。

しかし、この少女が恐らく理解していた。

ように、同じくらい神聖でかけがえのないものがあります—それは、親が子供を養い育てることであり、天の規範を反映するものです。¹わたしたちの天の御父、神であられる親は、御自分の子供たちが地上の親から教えと養いを受けるとき、確かに喜ばれます。²

親の皆さん、子供を育てるために皆さんが行っているすべてのことに感謝しています。そして子供の皆さん、親を育てるために皆さんが行っているすべてのことに感謝しています。なぜなら、どの親も承知しているとおおり、子供が親から学ぶのと同じくらい、親は子供から信仰、希望、慈愛について度々学ぶからです!³



親には神聖な義務がある

皆さんは、子供を地上に送り出す度に天の御父が負われる、とてつもないリスクについて考えたことがありますか。その子供たちというのは、御父の霊の息子および娘です。無限の可能性を有しており、慈しみと恵みと真理の栄えある存在となるべく運命づけられています。それでも、助けを求めて泣く以外には何もできないほど、どうしようもなく無力な状態で、地球にやって来るのです。神のみもとにいたころの記憶は、自分がほんとうは何者で、どのような人物になり得るのかという知識とともに、覆い隠されています。子供たちは周囲の人々、とりわけ親を通じて観察したことに基づき、人生、愛、神、神の計画に対する理解を形成していきますが、実のところその親自身も、いまだ様々なことを理



ニュージーランド



スペイン

解しようと努めているさなかなのです。

神は親に、「愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また……神の戒めを〔守る〕ように教えるという神聖な義務」を与えておられます。⁴

最高の親であっても、これだけで、安眠を妨げられるに十分です。

親の皆さんに対するわたしのメッセージは、次のとおりです。

主は皆さんを愛しておられます。

皆さんとともにおられ、
その傍らに立っておられます。

義にかなった選択をするよう子供たちを導くに当たり、皆さんに強さをもたらしてください。

この特権と責任を、勇気と喜びをもって受け入れてください。この天の祝福の源を、ほかのだれにも譲らないでください。福音の価値観と原則という枠組みの中で、日々の選択に関して子供たちを細部にわたり導くのは、皆さんなのです。皆さんの子供たちがイエス・キリストを信じる信仰を築き、主の福音と教会を愛し、生涯にわたって義にかなった選択をする備えができるよう助けてください。実に、それが親のために備えられた神の計画です。

サタンは皆さんに敵対し、心をかき乱し

ては、落胆させようとしています。

しかし、子供は一人残らず、天に直接つながるキリストの光を受けています。また救い主は皆さんを助け、導き、励ましてくださいます。主の助けを求め、主に尋ねてください。

イエス・キリストが青少年の強さであるように、イエス・キリストは親の強さの源でもあられます。



「キリストは神の子に似て」の1部、ハイマン・コッペン画

主は愛を大いなるものとしてくださる

わたしたちは、子供に導きと教えをもたらすうえで、自分より適任とされる人がほ

かにいるのではないかと思うことがあるかもしれません。しかし、自分がどれほど不十分だと感じていても、皆さんには比類なき、適任とされる要素があります—それは、子供に対する皆さんの愛です。

子供に対する親の愛は、宇宙で最も強い力の一つです。この地球上で真に永続するものはわずかですが、そのうちの一つが親の愛なのです。

さて、もしかすると、皆さんは子供との関係が理想には程遠いと感じているかもしれません。それこそ、救い主の力が発揮される場と言えます。病を癒される主は、人間関係を癒すこともおできになります。パンと魚を皆に行き渡らせた主は、皆さんの家庭における愛と喜びを増し加えることもおできになるのです。

子供に対する皆さんの愛は、真理を教え、信仰を築くうえで、恵まれた環境を整えてくれます。皆さんの家庭を、祈りと学びと信仰の家、喜びあふれる経験の家、居場所のある家、神の家としてください。⁵そして、「御父が御子イエス・キリストに〔従う者〕に授けられ〔る主の〕愛で満たされるように、……熱意を込めて御父に〔祈つて〕」ください。⁶

主は小さな、簡単な努力を大いなるものとしてくださる

親として皆さんが持てるもう一つの強みは、日々、継続的に影響をもたらす機会です。仲間や教師、メディアのインフルエンサーが来ては去って行く一方で、皆さんは、子供の人生に最も絶え間なく、安定した影響を及ぼすことができます。

皆さんの努力は、子供たちが世にあって耳にする大声に比べれば、か弱く思われるかもしれませんが、あまり功を奏していないように感じることもあるでしょう。しかし、「主は小さな手段によって大いなることを成し遂げられること」を心に留めてください。⁷ 1回の家庭の夕べ、1回の福

音に関する会話、あるいは1回の模範で、子供の人生が瞬時に変わることはないかもしれませんが、1滴の雨粒で、植物がたちまち成長するわけではないのと同じです。しかし、小さな簡単なことを、来る日も来る日も一貫して行うことが、ふいに起こる洪水よりもはるかに豊かに子供たちを養うのです。⁸

それが主の方法です。主は、雷のような声ではなく、静かな細い声で、皆さんおよび皆さんの子供に語りかけられます。⁹ 主はナアマンを「何か大きなこと」によってではなく、身を洗うという簡単な行いの繰り返しによって癒されました。¹⁰ イスラエルの子らは荒れ野にあってウズラのごちそ

うを楽しみましたが、彼らを生き長らえさせたのは、日ごとの食物—マナというささやかでシンプルな奇跡でした。¹¹

兄弟姉妹の皆さん、日ごとの食物を整え、提供するうえで最善の場は家庭です。信仰と証は、普通で自然な方法で、一口ごとに、小さなちょっとした瞬間に、また日常生活の絶え間ない流れの中で、最もよく育まれるのです。¹²

あらゆる瞬間が、教える機会です。あらゆる言葉や行いが、選択の指針となり得るのです。¹³

努力の効果をすぐには目にできないかもしれませんが、諦めないでください。「すべてのことは時節にかなまって起こる」と、主は言われました。「それゆえ、善を行うことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大きな業の基を据えつつあるからである。」¹⁴ 神の貴い子供たちが、自分の真の姿を学び、イエス・キリストとその福音、また主の教会に対する信仰を築くのを助けること以上に、大いなる業があるでしょうか。イエス・キリストは、皆さんのたゆまぬ努力を祝福し、大いなるものとしてくださいます。

主は啓示を与えてくださる

主が親を支援してくださるもう一つの力強い方法は、個人の啓示という賜物です。神は親を導くうえで、御自分の御霊を注ぎたいと切に願っておられます。

祈りを覚え、御霊に敏感であるなら、主は隠れた危険について警告してください。¹⁵ 主は皆さんの子供の賜物、強み、口に出さない心配事を明らかにしてください。¹⁶ 神は御自分と同じ目をもって子供たちを見ることができるよう—子供の外の顔かたちではなく心を見られるように、皆さんを助けてくださいます。¹⁷

神の助けがあれば、純粋な天の方法をもって、子供のことを理解できるようになります。個人の啓示によって家族を導くようにという神の申し出に応じるよう、皆さ



ウルグアイ



ブルトリコ

んをお招きします。祈りの中で神の導きを求めてください。¹⁸

大きな変化

恐らく、イエス・キリストが親に与えてくださる最も重要な助けは、心の「大きな変化」です。¹⁹ それは、だれもが必要としている奇跡です。

少しの間、次の状況を想像してみてください。あなたは教会で、家族についての話を聴いています。話者は、完璧な家庭、ひいては完璧な家族について話しています。夫婦がけんかをするなどありません。子供たちが聖典を読むのを中断するのは、宿題をする時だけです。BGMには「共に愛し合え」の曲が流れています。²⁰ 皆が楽しげにトイレ掃除に協力するという話に移る前から、あなたはすでにこう思っています—「うちの家族は絶望的だ。」

愛する兄弟姉妹、気を楽しんでください！ その場にいる聴衆の全員が同じことを思っています！ 実際のところ、すべての親が、自分は力不足ではないかと心配しているのです。

幸い、親には神聖な助けの源があります。それは、イエス・キリストです。キリストこそ、わたしたちの心が大きな変化を遂げる源なのです。

救い主とその教えに心を開くなら、主は皆さんの弱さを示してください。謙遜な心をもってイエス・キリストを信頼するならば、主は弱さを強さに変えてくださいます。²¹ 主は奇跡の神なのです。

それは、皆さんと皆さんの家族が、絵にかいたような理想像に至るということでしょうか。そうではありませんが、皆さんはよりよくなることができます。救い主の恵みによって一歩ずつ、親に必要な特質、すなわち神とその子供たちに対する愛、忍耐、無私心、キリストを信じる信仰、義になつた選択をする勇気をさらに育んでいくようになるのです。

イエス・キリストは教会を通じて支援を与えてくださる

イエス・キリストを信じる信仰を築く努力は、家庭中心か個人に焦点が当たるものであり、それをサポートするのが教会です。聖



文と預言者の言葉のほかにも、救い主の教会は、親と子供が義になつた選択をするのに役立つ多くのリソースを提供しています。

- 『青少年の強さのために—選択の指針』は、「すべきこと」と「すべきでないこと」のリストではありません。イエス・キリストの生涯と教えを中心とした選びをするのに役立つ、永遠の真理を教えるものです。子供と一緒に読み、子供の意見を聞きましょう。これらの永遠かつ神聖な真理が、彼らの選択の指針となるように助けるのです。²²
- FSY カンファレンスもまた、素晴らしいリソースです。青少年全員が参加するようにと願っています。ヤングシングルアダルトの皆さんには、こうしたカンファレンスにメンターやカウンセラーとして参加するようお招きします。親の皆さんには、青少年がFSY から持ち帰る霊的推進力をさらに発展させるようお招きします。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会の子供と青少年には、教師やアドバイザー、メンターがいます。多くの場合、皆さんは、若人の信仰と証を築き、支えるうえで肝心な時期に、彼らの人生に携わることになります。中には独身成人の方、自分の子供を持ったことのない方もいます。神の子供たちに皆さんが喜びをもってささげる奉仕は、神の目に神聖なものです。²³

奇跡を決して諦めない

愛する友人、愛する兄弟姉妹の皆さん、子供の中に信仰を築くことは、花の成長を助けるのに似ています。茎をぐいっと引っ張って、背丈を伸ばすことはできません。つぼみをこじ開けて、開花を早めることはできません。また、花を放置しておきながら、花が成長し、自然と咲き誇るのを期待することはできません。

次世代のために行えること、行わなければならないことは、栄養豊富な肥えた土壌

とよみない天の水へのアクセスを提供することです。雑草や、天からの光を遮るものを何であれ取り除き、成長に向けて最良の条件を整えます。次世代が靈感に基づく選びをするのを忍耐強く待ち、神に奇跡を起こしていただきましょう。その結果は、独力で成し得たものよりも美しく、見事で、喜びに満ちたものとなるでしょう。

天の御父の計画において、家族関係は永遠に続くものと意図されています。だからこそ、過去の成果に誇りを持ってなかったとしても、親として、皆さんは決して諦めないのです。

偉大な癒し主、救い主であられるイエス・キリストには、常に新たな始まりがあります。主は絶えず希望をもたらしてください。

イエス・キリストは家族の強さです。

イエス・キリストは青少年の強さです。

イエス・キリストは、親の強さです。

このことを、イエス・キリストの御名により証します、アーメン。 ■

注

1. 「ほとんどの親が、自分の子供たちに道徳を教えるという、本能的な願いを持っています。これは天の御父の計画における奇跡の一端です。御父は御自分の子供たちが、天にある家族の永遠の規範に倣い、地上に来ることを望んでおられます。家族は永遠の王国における基本的な組織単位であり、御父は、地上においても家族が基本単位となるよう意図されています。地上の家族は完全ではありませんが、神の子供たちをこの世界に歓迎する最善の機会を与えてくれます。地上で唯一、わたしたちが天で感じた愛にもっとも近い愛、すなわち両親の愛によって迎えるのです。家族はまた、わたしたちを神のみもとへ導くのに最も優れた、道徳や真の原則を守り、伝える最善の方法でもあります。」(ヘンリー・B・アイリング「神の家族の集合」『リアホナ』2017年5月号、20)
2. もちろん、神の御心が必ずしも「天に行われる」とおり、地にも」(マタイ6:10)行われている現状ではないことを、わたしたちは知っています。現世でわたしたちが果たし得る親の務めは、神という理想的な親に比べれば確かに見劣りします。神は疑いなく、そのことを理解しておられます。神は家族関係における、あらゆる悲しみと心痛のために涙しておられるに違いありません。それでも、神がこれまでに家族を見捨てられることはありませんでした。これからもそうです。なぜなら、神は御自分の子供たちの永遠の行く末のために、栄えあ



マレーシア

る計画を備えておられるからです。その計画の中核を成すのが、家族なのです。

3. マタイ18:1-5; モーサヤ3:19 参照
4. 「家族—世界への宣言」ChurchofJesus Christ.org. 教義と聖約68:25-28も参照
5. 「家庭での学びの土台は人間関係」『救い主の方法で教える—家庭と教会で教えるすべての人のために』30-31参照。教義と聖約109:8も参照
6. モロナイ7:48
7. 1ニーファイ16:29。アルマ37:6-7も参照
8. 「家庭での学びには簡単で小さな、一貫した努力が必要」『救い主の方法で教える』31参照。デビッド・O・マッケイ大管長はこう教えています。「小さくさいなことだからといって、取るに足りないなどと考えないようにしようではありませんか。結局人生とは、小さな事柄の積み重ねなのです。わたしたちの命も、物理的には心臓の小さな鼓動によって保たれているのです。もしもこの小さな鼓動が停止してしまつたら、この世の命は断たれてしまいます。巨大な太陽は宇宙における強大な力ですが、わたしたちが太陽光線から祝福を受けられるのは、それが小さな光線として注がれ、日光として地球全体を照らしてくれるからです。暗い夜は、小さく見える星の瞬きによって心地よいものとなります。同様に、まことのクリスチャンとしての生活は、家庭〔における〕この時、この一瞬に示される小さな、キリストのような行いによって形成されていくのです。」(『歴代大管長の教え—デビッド・O・マッケイ』219)
9. ヒラマン5:30 参照
10. 列王下5:9-14 参照
11. 出エジプト16章参照
12. 「生涯にわたって神の聖約の道を歩めるよう

子供たちを備える」『わたしに従ってきなさい—個人と家族用:新約聖書 2023年』付録(デジタル版のみ)参照

13. 「家庭での学びは計画することもできるが、自然にできる場合もある」『救い主の方法で教える』31:1ペテロ3:15参照
14. 教義と聖約64:32-33
15. マタイ2:13参照
16. アルマ40:1; 41:1; 42:1参照
17. サムエル上16:7参照
18. 1ニーファイ15:8参照
19. アルマ5:13
20. 「共に愛し合え」『賛美歌』192番参照
21. エテル12:27参照
22. 「子供であれば、道徳について教える責任が両親にあります。両親は子供一人一人の性質や理解力、知能をよく知っています。そして、各々の子供とよいコミュニケーションを確立して維持するために、生涯にわたって努力します。両親は、自分の子孫の繁栄と幸福にかかわる道徳上の究極の決定をする最良の立場にいます。」(ジェームズ・E・ファウスト「律法の中でもっと重要な、公平とあわれみと忠実」『聖徒の道』1998年1月号、63)
23. そのほかに特筆すべきリソースが二つあります。今年の「わたしに従ってきなさい」のデジタル版には、「生涯にわたって神の聖約の道を歩めるよう子供たちを備える」と題する新たなセクションがあります。これには、子供たちがバプテスマその他の聖約と儀式に備えるうえで助けとなる、簡単な家庭中心のアイデアが提案されています。また、新たに改訂された「救い主の方法で教える」には、「家庭と家族」と題するセクションがあり、キリストのような教え方の原則を家庭で適用する方法が述べられています(30-31ページ参照)。



七十人
マーク・A・ブラッグ長老

キリストのような 冷静さ

「イエスは起きあがって風をしかり、海にむかって、『静まれ、黙れ』と言われると、風はやんで、大なぎになった。」(マルコ4:39)

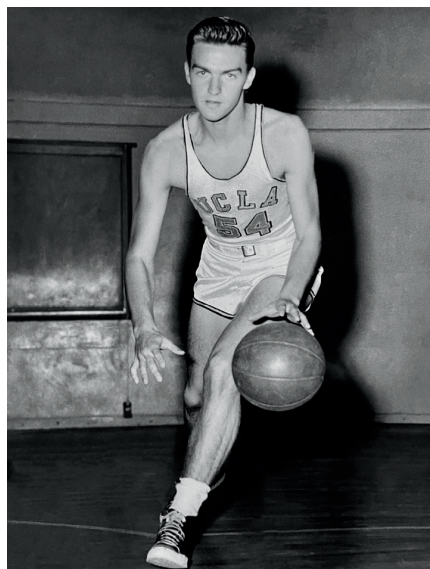
前回わたしが総大会で話をした後、義理の息子のライアンが見せてくれたツイートにこう書かれていました。「ほんとう？名前がブラッグ、『自慢』っていう意味なのに、謙遜をテーマにしないなんてあり得る？もったいない！」悲しいことに、その失望は今回も続きます。

わたしのすばらしい父は、伝説のコーチ、ジョン・ウッデン氏の下でプレーする、UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校) の全米代表バスケットボール選手でした。二人の交流は父の生涯を通じて続き、時折、ウッデン氏が奥さんを伴い、我が家に来て夕食を共にするような仲でした。彼はバスケットボールについて、またわたしの頭に浮かんだ様々な話題について、いつも喜んで話してくれました。高校3年生になったころ、何かアドバイスをもらえないかと尋ねたことがあります。生粋の教師であるウッデン氏はこう答えました。「君がイエス・キリストの教会に入ったとお父さんから聞いたから、主への信仰があることは分かっているよ。その信仰で、どんな状況でも冷静さを保ちなさい。嵐の中でも善良でいることだ。」

何年たってもその言葉が心に残っています。どんな状況でも、特に逆境やプレッシャーの時に、冷静沈着で、落ち着いてい

るようにとの助言は、わたしの心に響きました。ウッデンコーチのチームがいかに冷静にプレーして大きな成功を取めたかが分かります。10回にわたり全米制覇を果たしたのです。

しかし、近ごろは冷静さが話題に上ることもあまりなく、また激動と対立の時代にあってはますます実践されなくなっています。スポーツでよく言われるように、冷



父はジョン・ウッデンコーチの下でプレーしました。ウッデンコーチはわたしに「嵐の中でも善良でいることだ」と言いました。

静な選手は接戦でも動じることなく、冷静さを欠いたチームは崩壊します。しかし、このすばらしい特質は、スポーツにとどまりません。冷静さは人生に広く当てはまり、親や指導者、宣教師、教師、生徒、また人生の嵐に直面しているその他すべての人に祝福をもたらし得るものです。

霊的な冷静さは、特にプレッシャーを受けるとき、平静を保ち、最も重要なことに集中できる祝福をもたらします。ヒュー・B・ブラウン管長はこう述べています。「神への信仰と、最終的に正義が勝利するという信仰は、困難に直面する中で精神のおよび霊的な冷静さをもたらしてくれます。」¹

ラッセル・M・ネルソン大管長は、霊的な冷静さのすばらしい模範です。ある時、ネルソン医師による冠動脈の4枝バイパス手術中に、患者の血圧が急激に低下しました。ネルソン医師は冷静に状況を評価し、チームメンバーの一人がクランプ(鉗子)を誤って外したことを突き止めました。すぐさまそれを元の位置に戻すと、ネルソン医師は、そのチームメンバーを慰めて言いました。「大丈夫、君を愛しているよ。」そしてジョークを交え、「愛は時によって波があるけどね!」と言い添えました。こうして、緊急事態にどのように対応すべきか、すなわち、冷静さを保って、最も重要なことにのみ集中するということを示しました。ネルソン大管長はこう述べています。「それは徹底的な自制力の問題です。自然な反応はこれです。『わたしを外してください、コーチ!家に帰りたいです。』しかしながら、もちろんそんなことはできません。命は外科チーム全体にかかっているのです。ですから、これまでと同じように、落ち着き、リラックスし、賢明でなければなりません。」²

もちろん、救い主は冷静さに関して究極の模範です。

ゲツセマネの園における、想像を絶する苦しみの中で、救い主は「血の滴りのよ



うな汗をかきつつも」,³「わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください」⁴という簡潔ながらも荘嚴な言葉をもって、神聖な冷静さの模範を示されました。全人類の救いを可能にするという計り知れないプレッシャーの下で、イエスは、わたしたちがイエスの偉大な冷静さを理解するのに役立つ3つの重要な状態を体現されました。第1に、イエスは御自分が何者であるかを御存じであり、神聖な使命に忠実でした。次に、イエスは、偉大な幸福の計画があることを御存じでした。そして最後に、神権の儀式によって神聖な聖約を交わし、それらを守ることによって忠実にイエスにつながる者は皆、イエスの無限の贖罪により救われるということを、イエスは御存じでした。そのことを、今日、デール・G・レンランド長老が明確に教えてくださいました。

冷静さを失うことと保つことの違いを対比するために、キリストとその弟子たちがゲツセマネの園を去るときに起こったことを考えてみてください。イエスを捕らえようとした兵卒たちに向かい合ったときのペテロの反応は、冷静さを失うもので、大

祭司の僕マルコスの耳を切り落とすという激しい対応に出ました。それに対して、イエス・キリストの反応は、冷静さを保つもので、マルコスを癒すことにより緊迫した状況に落ち着きをもたらされました。⁵

また、冷静さを保つのに苦労し、恐らく落胆してしまった人々のために、ペテロの話の続きを考えてみてください。この出来事と、キリストとの関係を否定したことで悲嘆に暮れた⁶少し後、ペテロは、救い主を責めたのとまったく同じ宗教指導者たちの前に立ち、厳しい尋問を受けながらも非常に冷静に、イエス・キリストの神性について雄弁に証を述べました。⁷

自分が何者であるかを知り、自らの神聖な特質に忠実である

キリストのような冷静さの要素について考えてみましょう。まず、自分が何者であるかを知り、自らの神聖な特質に忠実であることは、落ち着きをもたらします。キリストのような冷静さに欠かせないのは、ほかの人との比較や、偽りの自分を演じるのを避けることです。⁸ ジョセフ・スミスはこう教えています。「神の性質を理解し

なければ、人は自分自身を理解することができません。」⁹ わたしたちが愛にあふれた天の御父の神聖な息子、娘であることを知らずに、神聖な冷静さを身につけることは確実に不可能です。

ネルソン大管長は、「永遠にわたる決断」という話の中で、自分が何者であるかということに関して、次の永遠の真理を説いています。すなわち、わたしたちは神の子供、聖約の子供、キリストの弟子なのです。それから、大管長はこのように約束しています。「これらの真理を受け入れるときに、天の御父は、永遠に神聖な主のもとで暮らすという最終的な目標を達成できるよう助けてくださいます。」¹⁰ わたしたちは実に、死すべき状態を経験している神聖な霊的存在です。自分が何者であるかを知り、その神聖な特質に忠実であることは、キリストのような冷静さを育む基本です。

神聖な計画があることを知る

次に、崇高な計画があることを思い出すことは、困難な状況の中で勇気と冷静さを生み出します。ニーファイが、主の命じられたように「行って〔行う〕」ことができ



え、祝福するという特権になります。永遠の視点は、キリストのような冷静さを現実のものとしてくれるのです。

人に能力を授けるイエス・キリストの力とイエスの贖罪について知る

そして最後に、キリストの贖いの犠牲によって可能となった、人に能力を授けるキリストの力は、堪え忍び、勝利を得る強さをわたしたちにもたします。イエス・キリストのおかげで、わたしたちは、神と聖約を交わし、その聖約を守る強さを得られます。一時的な状況にかかわらず、喜びをもって穏やかに救い主とつながりを持つことができます。¹⁵ アルマ第7章は、人に能力を授けるキリストの力に関するすばらしい教を説いています。罪からの贖いのほかに、救い主は、この世における弱さ、恐れ、困難に関して、わたしたちを強めることができになります。

キリストに焦点を当てると、ヘラムの地におけるアルマの民のように、わたしたちも恐れを静めることができます。¹⁶ 脅威の軍隊が集まっている中で、キリストの忠実な弟子たちは、冷静さを示しました。デビッド・A・ベドナー長老はこのように教えました。「アルマは信者たちに、主を覚え、主だけが与えることのおできになる助けを思い起こすように勧めたのです(2ニーファイ2:8参照)。そして救い主の見守りを知ること、民は自分自身の恐れを静めることができました。」¹⁷ これは冷静さの良い例です。

嵐の中の偉大な御方

ノアは、嵐に見舞われる中、忍耐について多くのことを教えました。嵐を乗り切る方法に関する最も偉大な教師は救い主です。救い主は嵐の中の偉大な御方です。ある日、使徒たちとともに長い間教を説かれた後、休息を必要とされた救い主は、舟でガリラヤの海の対岸へ向かうようにと弟子たちに告げられました。救い主が休んでおられると、激しい嵐になりました。風と波で舟が沈みそうになったとき、使徒たちは命の

たのは、¹¹ 自分のなすべきことを「前もって……知ら〔ずとも〕」、¹² 愛にあふれた御父の永遠の計画を果たすためであれば、御霊によって導かれると知っていたからです。わたしたちは、永遠の観点から物事を見るとき、

冷静になります。主は弟子たちに「目をあげ……なさい」¹³、「永遠の厳粛さを心にとどめなさい」¹⁴と勧告しておられます。困難な時期を永遠の計画の中に組み入れることによって、プレッシャーは、愛し、仕え、教

危険を感じ始めました。思い出してください。その使徒たちの幾人かはかつて漁師であり、ガリラヤの海で起こる嵐についても熟知していたのです。それでも不安に駆られた使徒たちは、¹⁸ 主を起こして尋ねました。「〔主よ、〕わたしどもがおぼれ死んでも、おかまいにならないのですか。」すると、模範的な冷静さをもって、救い主は「起きあがって風をしかり、海にむかって、『静まれ、黙れ』と言われ」ました。そして、「風はやんで、大なぎに」になりました。¹⁹

その後、冷静さに関する使徒たちへの偉大な教訓として、主はこのようにお尋ねになりました。「なぜ、そんなにこわがるのか。どうして信仰がないのか。」²⁰ 主は、御自分が世の救い主であること、また神の子供たちに不死不滅と永遠の命をもたらすために御父から遣わされたことを、彼らに思い起こさせられたのです。確かに、神の御子が舟の上で亡くなることはあり得ません。主は神聖な冷静さの模範を示されました。御自分の神性を理解しておられたからであり、また救いと昇栄の計画が存在すること、その計画が永遠の成功を取めるうえで、御自分の贖罪がいかに不可欠であるかを御存じだったからです。

キリストとその贖罪によってこそ、あらゆる良いものがわたしたちの人生にもたらされるのです。自分が何者であるかを心に留め、神聖な憐れみの計画があることを知り、主の力によって勇気を引き出すとき、わたしたちは何事でもすることができます。わたしたちは静けさを見だし、いかなる嵐の中でも善良な男女でいられるのです。

困難なときに自分の助けになるだけでなく、ほかの人々を祝福し、人生の嵐を経験している彼らを助けられるように、キリストのような冷静さという祝福を求めることができますように。この「パームサンデー」(しゅろの日曜日)の前夜に、わたしは、喜びをもってイエス・キリストについて証します。主はよみがえられました。わたしは証します。主によってのみ、わたしたちの人生に平安、平穩、天なる冷静さがもたらされます。

イエス・キリストの聖なる御名により証します、アーメン。■

注

1. Hugh B. Brown, in Conference Report, Oct. 1969, 105.
2. See Sheri Dew, *Insights from a Prophet's Life: Russell M. Nelson* (2019), 66–67.
3. See Joseph Smith Translation, Luke 22:44.
4. ルカ 22:42
5. ルカ 22:50–51; ヨハネ 18:10–11 参照
6. マタイ 26:34–35, 69–75 参照
7. 使徒 4:8–10 参照。ニール・A・マックスウェル「与えられたもので満足する」「リアホナ」2000年7月号, 89:「霊的な波長が合うと、『すべてのことの意味』を知らなくとも(1 ニーファイ 11:17)、霊的な確信が生まれます。」
8. See John R. Wooden, *Wooden on Leadership* (2005), 50:「わたしは、冷静さとは、環境や状況に関係なく、取り乱したり、うろたえたり、情緒不安定になったりせず、自分自身に忠実であることと定義します。簡単に聞こえるかもしれませんが、冷静さは、困難な時に非常に捉えどころのない特質となる可能性があります。冷静さを欠く指導者は、プレッシャーを受けるとパニックになります。冷静さとは、状況が悪くても良くても、自分の信念を堅持し、それに従って行動することを指します。冷静さとは、ポーズや見せかけを避け、自分をほかの人と比較せず、自分ではないだれかのような振る舞いをしないということを指します。冷静さとは、どんな状況でも勇敢な心を持つことを指します。」
9. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』40
10. ラッセル・M・ネルソン「永遠にわたる決断」(ヤングアダルトのためのワールドワイド・ディボーションアル、2022年5月15日)、churchofjesuschrist.org/study/broadcasts/worldwide-devotional-for-young-adults/ 2022/05/12nel-

- son?lang=jpn
11. 1 ニーファイ 3:7
 12. 1 ニーファイ 4:6
 13. ヨハネ 4:35
 14. 教義と聖約 43:34。ジェームズ・E・ファウスト「個人の尊厳」「聖徒の道」1981年9月号, 12も参照:「自己の尊厳は清くなりたいたいという望みをもって天を仰ぎ見ることによって高められます。わたしたちは大木のように光に向かってまっすぐに進んで行かなければなりません。わたしたちが知り得る最も重要な光の源は聖霊の賜物です。それはまた、心に力と平安をもたらす源でもあるのです。」
 15. ラッセル・M・ネルソン「喜び—霊的に生き抜く道」「リアホナ」2016年11月号, 82参照:「愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちが感じる幸せは、生活の状況ではなく、生活の中で何に目を向けるかにかかっているのです。」
 16. モーサヤ 23:27–28 参照
 17. デビッド・A・ベドナー「そこで彼らは恐れを静め」「リアホナ」2015年5月号, 46–47
 18. See Jeffrey R. Holland, *Our Day Star Rising: Exploring the New Testament with Jeffrey R. Holland* (2022), 61–62:「さらに、主とともに舟に乗っていたのは、経験豊かな人たちでした。最初の12人のうちの11人はガリラヤ人でした(ユダの地の人は、イスカリオテのユダだけでした)。そして、その11人のうちの6人が漁師でした。彼らはこの湖のそばに住んでいました。そこで漁をして生計を立てていました。子供のときからそこに住んでいました。父親たちは、彼らの幼いときに、彼らに網の繕いや舟の修理をさせました。彼らはこの海を知っており、風と波を知っていました。経験豊かでしたが、彼らはおびえました。彼らが恐れたのであれば、これは相当な嵐です。」
 19. マルコ 4:35–39 参照
 20. マルコ 4:40





中央日曜学校会長会第一顧問
ミルトン・カマルゴ兄弟

イエス・キリストに 焦点を当てる

主イエス・キリストはわたしたちの問題の解決策ではありますが、主を見るには視線を上げ、照準を合わせなければなりません。

父はよくわたしにこう言ったものです。「解決策が見えなくなるほど問題に集中してはいけないうい。」

主イエス・キリストは、わたしたちの最も困難な問題に対しても解決策であることを証します。具体的に言えば、主はわたしたち一人一人が直面し、だれも自力では解決することのできない4つの問題を克服されました。

1. 第一の問題は、肉体の死です。死を遅らせたり、向き合わないにすることはできません。自力で克服することはできません。しかし、イエス・キリストがわたしたちのために死に打ち勝たれたので、わたしたちは皆、いつか復活するのです。¹
2. 第二の問題は、この世の艱難、困難な経験、悲しみ、痛み、不公平さなどです。イエス・キリストは、それらすべてに打ち勝たれました。主は御自分に従おうと努力する人々のために、いつの日か「人の目から涙を全くぬぐいと(り)」物事を再び正してくださいます。²それまでの間、主はわたしたちが自信と勇気と平安をもって試練を乗り越えられるように、わたしたちを強めてくださるのです。³
3. 第三の問題は、罪から生じる霊の死

です。イエス・キリストは、わたしたちの「平安のために懲らしめ(を)」御自身に受けられることで、この問題を克服されました。⁴ 主の贖いの犠牲のおかげで、わたしたちは自らの罪の結果から解放されます。そのために、救い主を信じる信仰をもち、心から悔い改めて、御父が用意して下さっているバプテスマなどの不可欠な儀式を受けて最後まで堪え忍ぶのです。⁵

4. 第四の問題は、限りがあって不完全なわたしたちの性質です。イエス・キリストは、この問題の解決策もお持ちです。主は、わたしたちの過ちをただ消し去って罪のない状態に戻すのではなく、「わたしたちが悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望みを持つように、……わたしたちの心の中に大きな変化を生じさせ」ることがおできになります。⁶ わたしたちは、キリストの恵みによって完全となり、いつの日か主のようになることができるのです。⁷

残念なことに、わたしたちは自分の問題に集中するあまり、解決策であられる救い主イエス・キリストに焦点を当てるのを忘れてしまうことがよくあります。どうすれば、そのような過ちを避けることがで



きるでしょうか。その答えは、わたしたちが主と、そして天の御父と交わすよう招かれている聖約にあると思います。

聖約を通してイエス・キリストに焦点を当てる

聖約は、わたしたちの注意力や考え、行動をキリストに集中させるのに役立ちます。「交わした聖約を固く守る」とき、わたしたちは、「捨てる」べき「この世のもの」と、熱心に求めるべき「この世に勝る世のもの」を容易に見分けられるようになります。⁸

モルモン書のアンモンが民がしたのは、まさにそれです。イエス・キリストについて知り、主に焦点を当てた生活を始めた彼らは、戦争の武器を埋めるべきだと悟って、まったく正直になり、「神……に貢献する熱心さでも秀で(る)」ようになりました。⁹

聖約を守ることは、御霊を招くものほどんなものでも追い求め、御霊を退けるもの



はどんなものでも拒むということにつながります。「それは、聖霊とともにいたただけるにふさわしい者になれば、天の御父とその御子イエス・キリストの御前で生きるにふさわしい者にもなれることをわたしたちが知っているからです。」¹⁰ そのために、言葉遣いを変え、より優しい言葉を使わなければならないかもしれません。また、霊的に不健康な習慣を、個人や家族で毎日祈り、聖文を研究するというような、主との関係を強める新しい習慣に置き換える必要があるかもしれません。

ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように述べています。「バプテスマフォントや神殿で聖約を交わしてそれを守る人は皆、イエス・キリストの力にさらにあずかることができるようになります。……

神と交わした聖約を守ることで得られる報いは天の力であり、それは、試練や誘惑、心の痛みにもっとよく耐えられるよ

うにわたしたちを強めてくれます。」¹¹

毎週日曜日、聖餐式で聖約を新たにすることは、自分を見つめ直し、生活の焦点をイエス・キリストに当て直す絶好の機会です。¹² 聖餐を受けることによって、わたしたちは「いつも御子を覚え」と宣言します。¹³ 「いつも」という言葉が非常に重要です。それが、救い主の影響力をわたしたちの生活の細部まで広げてくれるからです。教会にいるときや朝の祈りの間だけ、あるいは困っているときや何か必要なときだけ、主を覚えるわけではありません。

確かに、気が散ることはあります。忘れてたり、集中を欠くこともあります。しかし、聖約を新たにすること、つまりいつも救い主を覚えていたいと思えば、それからの一週間を通してそうするよう努め、そして翌週聖餐の席で再び救い主に焦点を当てる決意をするという意味表示でもあるのです。

家庭においてイエス・キリストに焦点を当てる

イエス・キリストに焦点を当てるとは、日曜の教会での活動以上のものであるべきなのは明らかです。2018年、『わたしに従ってきなさい』を紹介するに当たり、ネルソン大管長は「今こそ、教会が家庭を中心としたものに……なるときです」と述べています。¹⁴ また、「[自分の] 家庭を信仰の聖所に変え」、「福音学習の中心の場所に改める」べきであると言いました。そうするときに、4つのすばらしいことが起こると約束しました。¹⁵

第一の約束：「皆さんの安息日は真の喜びの日となります。」安息日は、わたしたちを救い主に近づけてくれる日になるでしょう。ペルー出身のある若い女性はこう言いました。「主の日は、主から一番答えをいただける日です。」

第二の約束：「皆さんの子供たちは奮い



立って救い主の教えを学び、教えに従って生活するようになります。」だからこそ、「どこに罪の赦しを求めればよいかを、わたしたちの子孫に知らせるため〔に〕」、「キリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教……〔する〕」のです。¹⁶

それは、いつか息子が仕事に出かけた後、山にハイキングに行ったり、エノスのように森に獣を狩りに行ったりするとき、わたしたちがキリストと福音に従って生きる喜びを教えたことを思い出してもらいたいです。もしかすると、それが、彼がいつか霊的な渇きを覚えてイエス・キリストに向かい、「あなたの罪は赦された。あなたは祝福を受けるであろう」と言う主の声を聞くことができる日になるかもしれません。¹⁷

第三の約束：「皆さんの生活と家庭におけるサタンの影響力は減少します。」なぜでしょうか。イエス・キリストに焦点を当てれば当てるほど、罪の魅力が失われるからです。¹⁸ 家庭が救い主の光で満ちあふれるとき、サタンの暗闇が入り込む余地がどんどん少なくなります。

第四の約束：「皆さんの家族は劇的に変わり、その変化は持続します。」なぜで

しょうか。イエス・キリストがもたらす変化は、「大きな変化」だからです。¹⁹ 主はわたしたちの性質そのものを変えてくださいます。わたしたちは「新たな者」となるのです。²⁰ わたしたちは次第に救い主のようになり、神のすべての子供に対する主の純粋な愛で満たされるようになります。

自分の人生や家族の中でこのような約束が成就することを望まない人がいるでしょうか。このような祝福を享受するために、何を行う必要があるでしょうか。家庭を信仰の聖所、福音学習の中心の場所に変えるのです。どうしたら、そうできるでしょうか。天の御父とイエス・キリストに焦点を当てることによって、御二方を家庭生活の中心に据え、家庭内で最も重要な影響力となっていくのです。

聖文にあるキリストの言葉を毎日の生活の一部にすることから始めてみてはどうでしょうか？ 聖文研究のための完璧なやり方などありません。毎日5分または10分でも、できるならそれ以上でも大丈夫です。一日一章でも数節でも構いません。朝、通学や通勤の前に勉強するのを好む家族もいれば、夜寝る前に勉強する

のを好む家族もいます。若い夫婦の中には、通勤途中にそれぞれ勉強して得た洞察を、携帯メールで共有することで、コメントや話し合いを記録するようにしていると話してくれた人もいます。

『わたしに従ってきなさい』には、個人や家族が聖文から福音の原則を学ぶことができる活動やリソースが数多く提案されています。聖書ビデオとモルモン書ビデオも、聖典を家族にとってより身近なものにするための貴重なツールとなり得ます。青少年や子供たちは、聖文にある印象的な物語から靈感を受けることがよくあります。そのような物語とそこから学べる福音の原則は、子供たちが奉仕や徳、従順、忍耐、粘り強さ、個人の啓示、慈愛、謙遜さ、イエス・キリストを信じる信仰について良い模範を必要とするとき、信頼できる友人のように一緒にいてくれるでしょう。やがて、皆さんが一貫して神の言葉をよく味わうことで、子供たちはますます救い主に近くなり、かつてないほど主を知るようになるでしょう。

主イエス・キリストは今日も生きておられます。主はわたしたちの生活の中で、



七十人
K・ブレット・ナットレス長老

積極的かつ日常的な存在となられます。主はわたしたちの問題の解決策であられますが、主を見るには視線を上げ、照準を合わせなければなりません。主は言われました。「あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見なさい。疑ってはならない。恐れてはならない。」²¹わたしたちが主と天の御父に焦点を当て、御二方と聖約を交わして守り、御二方を家庭と家族の最も重要な影響力とすると、わたしたちはネルソン大管長が思い描いた人物、すなわち「主が再び来られるときに主を受け入れることのできる備えのできたふさわしい人、すなわち、この墮落した世よりもイエス・キリストをすでに選んでいる人、選択の自由を使ってイエス・キリストのより高く、より神聖な律法に従って生きることを喜んで選ぶ人」²²になることができるのです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

- 1 コリント 15: 21 - 22 参照
- 2 黙示 21: 4
- 3 マタイ 11: 28 - 30; ヨハネ 16: 33 参照
- 4 イザヤ 53: 5
- 5 2 ニーファイ 31: 10 - 13, 15 - 17 参照
- 6 モーサヤ 5: 2
- 7 モロナイ 10: 32 参照
- 8 教義と聖約 25: 10, 13
- 9 アルマ 27: 27。アルマ 24: 17 - 18 も参照
- 10 「改心がわたしたちの目標です」「わたしに従ってきなさい—個人と家族用: 新約聖書 2023 年」
- 11 ラッセル・M・ネルソン、「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」『リアホナ』2022 年 11 月号, 96
- 12 1 コリント 11: 28 参照
- 13 モロナイ 4: 3: 5: 2
- 14 ラッセル・M・ネルソン「開会のあいさつ」『リアホナ』2018 年 11 月号, 7
- 15 ラッセル・M・ネルソン「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018 年 11 月号, 113 参照
- 16 2 ニーファイ 25: 26
- 17 エノス 1: 5
- 18 モーサヤ 5: 2; アルマ 13: 11 - 12 参照
- 19 アルマ 5: 12 - 14 参照
- 20 モーサヤ 27: 25 - 26 参照
- 21 教義と聖約 6: 36
- 22 ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」98

ほんとうに赦されたのでしょうか

完全な赦しの約束がすべての人に、イエス・キリストの無限の贖罪によって与えられています。

何年前に、わたしたち夫婦はアイダホへ移り、新しいビジネスを始めました。オフィスで長い時間、昼夜にわたって仕事をしました。幸いなことに、自宅はオフィスから数ブロックの所にありました。毎週、妻のショーナは6歳にもならない3人の娘を連れ、一緒に昼食を取るためにオフィスに来てくれました。

ある日、いつものように家族で昼食を取った後、5歳の娘のミッシェルがわたしにメッセージを残してくれていたことに気

づきました。それは付箋に書かれ、オフィスの電話機に貼られていました。

そこには簡潔に、「パパ、わたしのことも愛してね。愛をこめて、ミッシェル」とありました。何が最も大切かを年若い父親に思い起こさせてくれた、力強いリマインダーでした。

兄弟姉妹の皆さん、天の御父は常にわたしたちを覚えていてくださること、そしてわたしたちを完全に愛してくださっていることを証します。皆さんにお聞きしま



す。わたしたちは天の御父を覚え、愛しているでしょうか。

何年も前、わたしは地元の教会指導者として奉仕しました。若い男性の一人だったダニーは、すべての面で優れていました。従順、親切、善良で高潔な人間でした。しかし高校を卒業すると、荒っぽい仲間と付き合いはじめました。メタンフェタミンなどの薬物を使用するようになり、依存症と破滅の坂を転がり落ち始めました。程なく、彼の見た目は完全に変わってしまい、面影はほとんどありませんでした。最も大きな違いは目で、彼の目にかつてあった光は失われていました。何度も助けようとしたのですが、だめでした。わたしの言うことに耳を傾けてはくれませんでした。

すばらしい青年が苦しみ、彼が送るはずではなかった生活を送っているのを見るのは、やりきれない思いでした。もっと多くのことができる人だったのです。

そしてある日、奇跡が起きました。

彼の弟が伝道へ出る前に聖餐会で証をする日に、彼は聖餐会に出席したのです。集会中、ダニーは長い間感じたことのないようなものを感じました。主の愛を感じたのです。ついに希望を持ってました。

しかし、変わりたいと思いはしたものの、それはダニーにとって難しいことでした。依存症とそれに伴う罪悪感は、耐え難いものでした。

ある日の午後、わたしが外で芝刈りをしていると、突然ダニーが車でやって来ました。彼はひどく悩んでいました。わたしは芝刈り機を止め、陰になっている玄関前の階段に二人で一緒に座りました。すると彼は、心の思いを打ち明けてくれました。戻って来たいと心から望んでいました。しかしながら、依存症と自分の生活スタイルから離れることはとても難しいことでした。それに加え、大きな罪悪感を抱え、はるか下まで落ちてしまったことを恥じていました。彼はこう尋ねました。「僕はほんとうに赦されることができるのでしょうか。戻る方法がほんとうにありますか。」

彼がそうした不安を吐露した後、わたしたちは一緒にアルマ36章を読みました。「まことに、わたしは自分のあらゆる罪と不義を思い出し、……
神の御前に行くことを考えるだけで、わたしは言いようのない恐怖に責めさいなまれた。」(13-14節)
これらの節を読むとダニーは言いました。「まさに僕が感じていることです！」

わたしたちはアルマがとても罪深かったことについて話し合いました。しかし一度悔い改めたアルマは、二度と以前の状態に戻ることはありませんでした。イエス・キリストの忠実な弟子になり、預言者になりました。ダニーは目を丸くして、「預言者に?」と尋ね、

わたしは「そう、預言者。プレッシャーに感じないでね!」と答えました。

わたしたちは、ダニーの罪はアルマ程ではないけれども、同じ完全な赦しの約束がすべての人に、イエス・キリストの無限の贖罪によって与えられていることを話しました。

ダニーは理解しました。何を必要があるか分かったのです。それは、主を信頼し自分自身を赦すという旅路を歩み始めることでした。

ダニーの大きな心の変化は、まさに奇跡にほかなりません。時がたつにつれ、彼の顔つきは変わり、目に輝きが戻りました。神殿にふさわしくなりました。彼はついに戻って来たのです。

何か月かたち、専任宣教師になる申請をしたかダニーに尋ねました。その返答は、衝撃と畏怖に満ちていました。

彼はこう言いました。「伝道に出たいとは思いますが、僕がどんな状態だったか、何をしたか知っていますよね。資格が

続けて読みました。

「わたしは自分の多くの罪を思い出してひどく苦しみながら、見よ、かつて父がイエス・キリストという御方の来臨について民に預言するのを聞いたことを思い出した。イエス・キリストは神の御子であり、世の罪を贖うために来られるというのである。……

おお、何という喜びであったことか。何という驚くべき光をわたしは見たことか。」(17, 20節)

この聖句を読んでいると、涙が流れ始めました。アルマの感じた喜びは、ダニーが探し求めていた喜びだったのです。

わたしたちはアルマがとても罪深かったことについて話し合いました。しかし一度悔い改めたアルマは、二度と以前の状態に戻ることはありませんでした。イエス・キリストの忠実な弟子になり、預言者になりました。ダニーは目を丸くして、「預言者に?」と尋ね、

わたしは「そう、預言者。プレッシャーに感じないでね!」と答えました。

わたしたちは、ダニーの罪はアルマ程ではないけれども、同じ完全な赦しの約束がすべての人に、イエス・キリストの無限の贖罪によって与えられていることを話しました。

ダニーは理解しました。何を必要があるか分かったのです。それは、主を信頼し自分自身を赦すという旅路を歩み始めることでした。

ダニーの大きな心の変化は、まさに奇跡にほかなりません。時がたつにつれ、彼の顔つきは変わり、目に輝きが戻りました。神殿にふさわしくなりました。彼はついに戻って来たのです。

何か月かたち、専任宣教師になる申請をしたかダニーに尋ねました。その返答は、衝撃と畏怖に満ちていました。

彼はこう言いました。「伝道に出たいとは思いますが、僕がどんな状態だったか、何をしたか知っていますよね。資格が





オーストラリア

ないと思っていました。」

わたしは答えました。「君の言う通りかもしれないね。でも、申請をしてはいけない理由はないよ。もし宣教師になれなかったとしても、主に仕えたいという心からの望みを表したことにはなるんじゃないかな。」彼は目を輝かせ、その考えにワクワクしていました。大きな賭けだと思いましたが、彼はやってみることにしました。

数週間後、彼を驚かせたもう一つの奇跡が起きました。専任宣教師の召しを受けたのです。

ダニーが伝道地に着任して数か月後、わたしに電話がありました。伝道部会長

でした。「この青年は一体どうしたのですか。今までで最高の宣教師です！」そうです。この伝道部会長の下に送られたのは、現代の息子アルマだったのです。

2年後、心と勢力と思いと力を尽くして主に仕えたダニーは、名誉の帰還をしました。

聖餐会でダニーの伝道の話聞いた後、家に帰るとすぐに、だれかが玄関のドアをたたくのが聞こえました。そこに立っていたのは、目に涙が浮かべたダニーでした。彼は「少し話せますか」と言い、一緒に外に出て、あの日と同じ玄関前の階段に座りました。

「会長、わたしがほんとうに赦されたと思いますか」と彼が尋ねました。

わたしの目にも涙が込み上げてきました。わたしの前に立っていたのは、救い主について教え、証するためにすべてをささげたイエス・キリストの忠実な弟子でした。彼は、救い主の贖罪による癒しの力と強める力を具現化していました。

わたしは言いました。「ダニー。鏡を、自分の目を見たかい？ 光に満ちていて、君は主の御霊で輝いている。もちろん赦されているさ！ 君はすばらしいよ。今の君に必要なのは、人生において前に進むことだよ。過去を振り返らないで。次の儀式を、信仰を持って待ち望むんだ。」

ダニーの奇跡は、今日も続いています。神殿で結婚し、学校に戻って修士号を取得しました。名誉と尊厳をもって召しを果たし、主に仕え続けています。さらに重要なのは、すばらしい夫、誠実な父親になったことです。彼はイエス・キリストの献身的な弟子です。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、次のように教えています。「〔救い主の〕無限の贖罪が無ければ、すべての人類は取返しつかないほど失われた状態だったことでしょう。』¹主にとって、ダニーは失われてはいませんでしたし、わたしたちもそうです。主はわたしたちを高め、強め、赦すために、扉の前に立っておられます。常にわたしたちを愛することを覚えておられます。」

神の子供たちに対する救い主の愛を見事に表している記録がモルモン書にあります。「イエスはこのように言う、もう一度群衆を見回して、彼らが涙を流しながら、もうしばらくとどまっていたほしいと願うかのように、イエスをじっと見詰めているのを御覧になった。」(3 ニーフай 17:5)

救い主はすでに丸一日、民に教え、導き、仕えておられました。しかし、まだすることがありました。ほかの羊を訪れ、御



七十人
フアン・A・ウセダ長老

主イエス・キリストは 人に仕えるように 教えておられる

父のみもとに行く必要があったのです。

それらの責務にもかかわらず、もうしばらくとどまることを民が願っているのを主は見て取られました。そして、救い主の心は哀れみで満たされ、歴史上最も偉大な奇跡の一つが起きました。

主はとどまられたのです。

民を祝福されました。

子供たちを一人一人抱いて祝福されました。

主は彼らのために祈り、ともに涙を流されました。

そして彼らを癒されました。(3 ニーファイ 17 章参照)

わたしたちを癒してくださるという主の約束は、永遠のものです。

聖約の道から離れてしまった皆さん、希望が必ずあるということ、癒しが必ずあるということ、戻る道が必ずあるということ、どうか忘れないでください。

希望という主の永遠のメッセージは、問題を抱えた世界に住むすべての人のための、癒しの乳香です。救い主は言われました。「わたしは道であり、真理であり、命である。」(ヨハネ 14:6)

兄弟姉妹の皆さん、主を求めること、主を愛すること、常に主を覚えていることを、忘れないでいましょう。

神が生きていて、わたしたちを愛しておられることを証します。わたしはさらに証します。イエス・キリストは世の救い主、贖い主であられます。主は偉大な癒し手であられます。わたしの贖い主が生きておられることを知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。



注

1. Russell M. Nelson, "Prepare for Blessings of the Temple," *Ensign*, Mar. 2002, 21.

救い主の助けがあれば、わたしたちは主が行われるであろう方法で主の貴い羊を愛し、仕えることができます。

主イエス・キリストは、こう言っておられます。「わたしはよい羊飼^{ひつじかい}である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。

それはちょうど、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。そして、わたしは羊のために命を捨てるのである。」¹

ギリシャ語版の聖典では、「よい」という言葉には、「すばらしい、見事な」とい

う意味もあります。今日は、「よい羊飼い」「すばらしい羊飼い」「見事な羊飼い」、すなわちイエス・キリストについてお話ししたいと思います。

新約聖書で、主は「羊の大牧者」²「大牧者」³「牧者であり監督であるかた」⁴と呼ばれておられます。

旧約聖書で、イザヤは「主は牧者のようにその群れを養〔う〕」と記しています。⁵





大管長会



第一顧問
ダリン・H・オークス



大管長
ラッセル・M・ネルソン



第二顧問
ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会



M・ラッセル・バラード



ジェフリー・R・ホランド



ディーター・F・ウクトドリフ



デビッド・A・ベドナー



クエンティン・L・クック



D・トッド・クリストファースン



ニール・L・アンダーセン



ロナルド・A・ラズバンド



ゲアリー・E・ステイブンソン



デール・G・レンランド



ゲレット・W・ゴング



ウォリセス・ソアレズ

七十人会長会



パトリック・キアロン



カール・B・ケック



ジョセ・A・テイシエラ



カルロス・A・ゴドイ



ブレント・H・ニールソン



ポール・V・ジョンソン



S・マーク・ハマー



W・クリストファー・ワイル



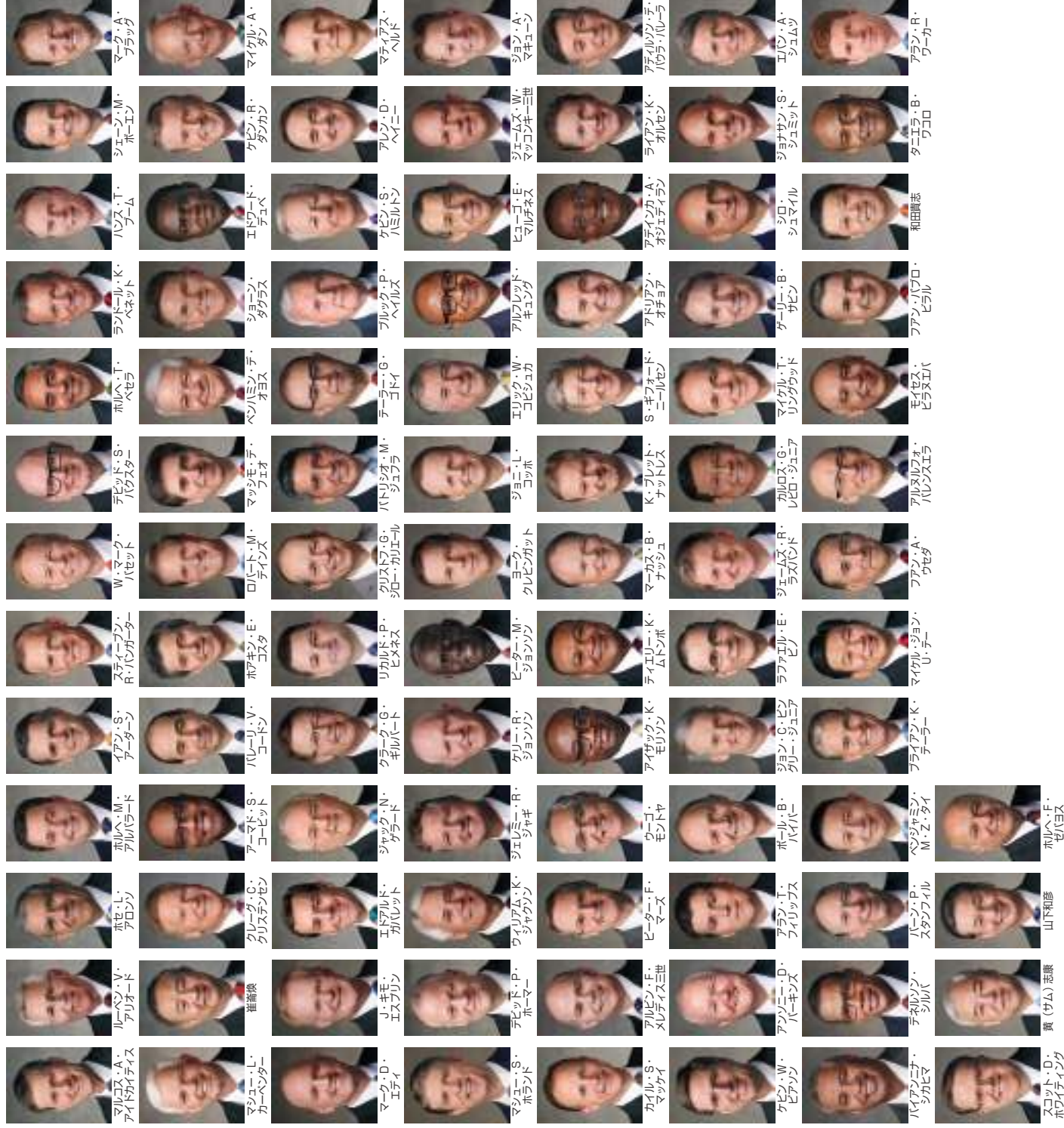
管理ビショップ
ジェラルド・コセー



第二顧問
L・タッド・バツシ

管理ビショップブリック

中央幹部七十人
(アルファベット順)



中央役員

扶助協会



第一顧問
J. アネット・
テニス



会長
カミール・N.
ジョンソン



第二顧問
クリスティーン・M.
イー

日曜学校



第一顧問
ミルトン・カマルゴ



会長
マーク・L. ベイス



第二顧問
ジャーン・E.
ニューマン

若い女性



第一顧問
ミッシェル・D.
クレーグ



会長
ボニー・H.
コードン



第二顧問
レベッカ・L.
クレーグ

若い男性



第一顧問
フラッドリー・R.
ウイルコックス



会長
スティーブン・J.
ランド



第二顧問
マイケル・T.
ネルソン

初等協会



第一顧問
エイミー・A.
ライト



会長
スーザン・H.
ホーター



第二顧問
トレーシー・Y.
ブラウニング

スコット・D.
ポロイティング

山下和彦

ホルヘ・F.
セハコス

マイケル・ジョン
U. ティ

アルナルフォ
バルンエイラ

モイゼス
ピラズエバ

フアン・パブロ
ヒラル

和田陽彦

タニエラ・B.
アッコ

アラン・R.
ウーカー

ジョナサン・S.
シュミット

エロブ・A.
シュムツ

アチルソフ・チ
バウラ・バルーラ

ライアン・K.
オルセン

ジエームス・W.
マッコネー三世

マティアス
ヘルド

黄 (ザム) 志康

バスター・P.
スタンフィル

ベンジャミン
M. Z. タイ

フアン・A.
ウセダ

カルロス・G.
レピロ・ジュニア

マイケル・T.
リングウッド

S. キフオード
ニールセン

アトリアン
オチョア

ジョー・B.
ザビン

アインカ・A.
オジェチラン

ジョー・E.
マルチネス

アレックス・W.
マッコネー三世

アレン・D.
ヘイニ

ケビン・R.
ダンカン

ケビン・S.
ハミルトン

マック・A.
マキューン

ハイアンニチ
シカヒマ

チネリオン
シルバ

アンソニー・D.
パーキンス

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

カイル・S.
マッケイ

アルビン・D.
メレチイス三世

ビーター・F.
マーズ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

マシュー・S.
ボランド

デビッド・P.
ホーマー

ウィリアム・K.
ジャクソン

ジェレミー・R.
ジャキ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

マシュー・S.
ボランド

デビッド・P.
ホーマー

ウィリアム・K.
ジャクソン

ジェレミー・R.
ジャキ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

マシュー・S.
ボランド

デビッド・P.
ホーマー

ウィリアム・K.
ジャクソン

ジェレミー・R.
ジャキ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

マシュー・S.
ボランド

デビッド・P.
ホーマー

ウィリアム・K.
ジャクソン

ジェレミー・R.
ジャキ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

マシュー・S.
ボランド

デビッド・P.
ホーマー

ウィリアム・K.
ジャクソン

ジェレミー・R.
ジャキ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

マシュー・S.
ボランド

デビッド・P.
ホーマー

ウィリアム・K.
ジャクソン

ジェレミー・R.
ジャキ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

マシュー・S.
ボランド

デビッド・P.
ホーマー

ウィリアム・K.
ジャクソン

ジェレミー・R.
ジャキ

ウーゴ
モントヤ

ポール・B.
ハイバー

アイザック・K.
モリソン

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ

ジョー・C.
ピネリ



モルモン書では、主は「良い羊飼い」⁶「大いなるまことの羊飼い」⁷と呼ばれておられます。

教義と聖約で、主は「それゆえ、わたしはあなたがたの中にいる。わたしは良い羊飼いであ[る]」⁸と宣言しておられます。

現代では、ラッセル・M・ネルソン大管長が次のように宣言しています。「良い羊飼いは、その群れにいるあらゆる羊たちを、愛をもって、見守っています。そして、わたしたちはその大切な働きを進めるに当たって、主のお手伝いをしたいと願っています。わたしたちの特権は、主の愛について証し、それにわたしたち自身の愛を付け加えて、友人や隣人に伝えることです。つまり、救い主がわたしたちに望んでおられるように、養い、世話をし、育てていくことです。」⁹

ごく最近、ネルソン大管長はこのようにも述べています。「主のまことの生ける教会の特徴は、組織として導かれて神の子供一人一人とその家族に仕えるよう常に努力が図られることです。主の教会に属するわたしたちは主の僕として、主がなされたように、個人に対して仕え、教え、導きます。また、わたしたちは主の御名により、主の力と権能と愛にあふれた優しさをもって仕えます。」¹⁰

パリサイ人と律法学者が主につぶやいて、「『この人は罪人たちを迎えて一緒に食事をしている』と言った」とき¹¹、主はそれに応じて、3つのすばらしい物語を話されました。迷い出た羊のたとえ、なくした銀貨のたとえ、放蕩息子のたとえとして知られるようになった話です。

この福音書を記したルカがこの3つの物語を紹介する際に、「たとえ」という言葉を複数形ではなく単数形で使ったことは興味深いことです。¹²主は3つの物語を使って一つの比類ない教訓を教えようとされたように見えます。この3つの物語では、100匹の羊、10枚の銀貨、二人の息子、という異なる数が出てきます。

しかし、それぞれの物語の鍵となる数字



は、「1」です。この数字から分かる教訓は、わたしたちが長老定員会に属する長老と長老見込み会員100人の羊飼いであろうと、10人の若い女性のアドバイザーであろうと、二人の初等協会の子供の教師であろうと、常に一人ずつ、個人的にその人たちに仕え、世話をし、愛するということです。「なんて愚かな羊だ」「まあ、銀貨一枚くらい別にいいか」あるいは「なんて反抗的な息子だろう」などは決して言いません。迷い出た羊の物語の男性のように、皆さんとわたしに「キリストの純粋な愛」¹³があるなら、「九十九匹を野原に残しておいて、

いなくなった一匹を見つけるまで〔ずっと、ずっと、ずっと〕捜し歩〔く〕」¹⁴でしょう。あるいは、なくした銀貨の物語の女性のように、「あかりをつけて家中を掃き、それを見つけるまで〔ずっと、ずっと、ずっと、一生懸命に〕注意深く捜〔す〕」¹⁵でしょう。わたしたちに「キリストの純粋な愛」があれば、放蕩息子の物語に出てくる父親の模範に倣うでしょう。この父親は、その息子が「まだ遠く離れていたのに、……彼をみとめ、哀れに思って走り寄り、その首をだいて接吻し〔ました。〕」¹⁶

羊を一匹だけ失った男性が心に抱いて

いた緊急性を感じられるでしょうか。あるいは、銀貨を一枚だけ失った女性が心に抱いていた緊急性を感じられるでしょうか。または、放蕩息子の父親が心に抱いていた、言葉で言い表せない愛と憐れみを感じられるでしょうか。

妻のマリア・イサベルとわたしは、中央アメリカのグアテマラシティで奉仕しました。そこでわたしは、忠実な教会員であるフリアと出会いました。わたしは、彼女の家族についてフリアに尋ねるべきだという印象を受けました。フリアの母親は2011年にがんで亡くなりました。父親はステーキの忠実な指導者として、何年もの間、ビショップや、ステーキ会長の顧問として奉仕しました。彼は主に仕える忠実な羊飼いでした。フリアは、父親が人々を訪ね、仕え、奉仕するために、たゆまぬ



努力を続けていたことを話してくれました。彼は主の貴い羊を養い、世話をすることに、確かに喜びを感じていました。彼は再婚し、引き続き活発な教会員でした。

数年後、彼は離婚し、再び一人で教会に集わなければならなくなりました。居場所がないと感じ、また離婚のために一部の人が彼に対して批判的になったと感じました。否定的な気持ちで心がいっぱいになり、教会に行かなくなりました。

フリアは、勤勉で、愛に満ちた、心優しい、このすばらしい羊飼いを称賛していました。彼女が父親について話しているときに、居てもたってもいられない気持ちになったことを鮮明に覚えています。何年もの間多くのことを行ってきたこの男性のために、とにかく何かしたいと思いました。

フリアから父親の携帯電話の番号を教えてもらい、わたしは彼に電話をかけました。できれば直接会いたいと思っていましたが、数週間後のある日、ようやく彼が電話に出てくれました。

わたしは彼に、娘のフリアに会ったこと、彼女から何年にもわたって主の貴い羊のために奉仕し、仕え、愛してきた彼の様子を聞き、心を奪われたことを伝えました。彼は、そのような言葉をかけられるとは思っていませんでした。わたしは、顔を合わせて直接会いたいと心から願っていると伝えました。彼から、そのようにして会おうと提案することの目的は何かと尋ねられました。わたしは「あのようなすばらしい女性のお父さんにぜひお会いしたいのです」と答えました。すると、数秒間、電話の向こうで沈黙がありました。その数秒がわたしには永遠のように感じられました。彼は「いつ、どこですか」とだけ言いました。

彼と会った日、わたしは彼に、主の貴い羊を訪ね、仕え、奉仕した経験について幾らか話してくれるようお願いしました。彼が幾つかの心を動かされる経験について話すうちに、声の調子が変わり、彼が主

の羊飼いとして何度も感じたのと同じ気持ちが彼に戻ってきたことに、わたしは気づきました。彼の目は涙でいっぱいになっていました。今こそ何か言うべきだと分かってはいましたが、何と行ってよいか分かりませんでした。わたしは心の中で「お父様、助けてください」と祈りました。

突然、わたしはこう語り始めました。「フロリアン兄弟、主の僕として、わたしたち教会員があなたに寄り添えなかったことをお詫びします。どうか赦してください。わたしたちがあなたのことを確かに愛していることを示す機会をもう一度ください。わたしたちにはあなたが必要で、大切だということを示させてください。」

次の日曜日に、彼は戻ってきました。彼はビショップとの長い話し合いの末、活発に教会に集うようになりました。数か月後に彼は亡くなりましたが、その前に戻って来ました。戻って来たのです。救い主の助けがあれば、わたしたちは主が行われるであろう方法で主の貴い羊を愛し、仕えることができることを証します。グアテマラシティで、主イエス・キリストは、大切な羊をもう一匹、ご自分の囲いに連れ戻されました。さらに、ミニスタリングの教訓を与えてくださったのです。よい羊飼い、すばらしい羊飼い、見事な羊飼い、すなわち主イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ヨハネ 10：11、15
2. ヘブル 13：20
3. 1ペテロ 5：4
4. 1ペテロ 2：25
5. イザヤ 40：11
6. アルマ 5：38、60
7. ヒラマン 15：13
8. 教義と聖約 50：44
9. ラッセル・M・ネルソン「羊飼い、小羊、そしてホームティーチャー」『リアホナ』1999年4月号、44-45
10. ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号、69
11. ルカ 15：2
12. ルカ 15：3 参照
13. モロナイ 7：47
14. ルカ 15：4
15. ルカ 15：8
16. ルカ 15：20



日曜午前の部会 | 2023年4月2日

十二使徒定員会
D・トッド・クリストファーソン長老

キリストにあって 一つとなる

イエス・キリストに対する個人の忠誠心と、イエス・キリストの愛を通してのみ、わたしたちは一つとなる望みを抱くことができます。

ダリン・H・オックス管長が言ったように、今日はしゅろの日曜日であり、聖週間の始まりです。聖週間では、主のエルサレムへの勝利の入場とゲツセマネにおける苦しみ、そのわずか数日後の十字架での死、そして、復活祭の日曜日の主の栄えある復活を記念します。わたしたちを贖うためにキリストが堪え忍ばれた事柄を、決して忘れないと決意しましょう。¹また、主が墓に勝利し、万人に復活の賜物をもたらしてくださったことについて深く考え、復活祭を迎える度に感じる、あふれる喜びを決して失わないようにしましょう。

イエスは、御自分を待ち受ける裁判と十字架の刑の前夜に、使徒たちとともに逾越の食事の席に着かれました。この最後の晩餐の終わりに、イエスは聖なる執り成しの祈りをささげ、次のような言葉で御父にお願いされました。「聖なる父よ、あなたの御名によって、わたしに賜った〔弟子たち〕を守って下さい。それはわたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためです。」²

それから、思いやりを込め、主は対象をすべての信者へ広げて嘆願されました。

「わたしは彼らのためばかりではなく、彼らの言葉を聞いてわたしを信じている人々のためにも、お願いいたします。

父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためでありませぬ。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり〔ます。〕³

一つとなることは、イエス・キリストの福音でも、神が御自分の子供を導かれる際にも、繰り返し登場するテーマです。エ

ノクの時代のシオンの町に関しては「〔彼らは〕心を一つにし、思いを一つにし〔た〕」⁴とされていますし、初期のイエス・キリスト教会の聖徒たちについては、「信じた者の群れは、心を一つにし思いを一つにし〔た〕」⁵と新約聖書に記録されています。

今日のわたしたちの神権時代では、主はこう勧告されています。「わたしはあなたがたに言う。一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」⁶ ミズーリ州の初期の聖徒たちがシオンの地を確立できなかった理由の一つとして、彼らが「日の栄えの王国の律法により求められている和合一致に従って結束していな〔かった〕」⁷と、主は挙げておられます。

皆の心と思いにおいて神が勝利を得ているとき、人々は「一つであり、キリストの子であ〔る〕」⁸とされます。

復活された救い主が古代のモルモン書の民に御姿を現されたとき、過去にバプテスマなどについて人々の中に論争があったこ



とを指摘され、次のように命じられました。

「これまであったような論争が、今後は決してあなたがたの中にあってはならない。また、わたしの教義の要点について、これまでにあったような論争が、今後決してあなたがたの中にあってはならない。

まことに、まことに、あなたがたに言う。争いの心を持つ者はわたしにつく者ではなく、争いの父である悪魔につく者である。」⁹

あまりにも論争の多いこの世において、特に「主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ」¹⁰と説いている教会において、どうすれば一致することができるのでしょうか。パウロはその鍵を与えています。

「キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。

もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト……にあって一つだからである。」¹¹

何らかの基準、あるいは何らかの名の下に一致団結するには、わたしたちはあまりにも違いが多く、時として、調和とは程遠い状態にあります。イエス・キリストにあってのみ、わたしたちは真に一つとなることができるのです。

キリストにあって一つとなることは、各個人から始まります。だれもが自分から始めるのです。わたしたちは肉体と霊を持つ二重の存在であり、自分の中で不和が起こることがあります。パウロが説明したとおりです。

「すなわち、わたしは、内なる人としては神の律法を喜んでいますが、

わたしの〔肉体における〕肢体には別の律法があって、わたしの心の法則に対して戦いをいどみ、そして、肢体に存在する罪の法則の中に、わたしをとりこにしているのを見る。」¹²

イエスもまた、肉体と霊から成る御方でした。試練に遭われたので、理解してください。自分の中の不和を解決できるよう助けてくださいます。¹³ですから、キ

リストの光と恵みに頼って、わたしたちは肉体を霊と聖なる御霊に従えるために努力します。うまくできなかったときも、キリストは贖罪によって悔い改めの賜物と、やり直す機会を与えてくださっています。

一人一人が「キリストを着る」ならば、わたしたちはともに一つになり、パウロが言った「キリストのからだ」になる望みを持つことができます。¹⁴「キリストを着る」のであれば、主の「いちばん大切な、第一のいましめ」¹⁵を、自分にとっていちばん大切な第一の戒めとするはずですし、神を愛するならば、神の戒めを守るはずです。¹⁶

第二の戒めに心を留めるとき、キリストの体において兄弟姉妹は一致するようになります。第二の戒めは、自分を愛するように人を愛することであり、第一の戒めと切り離すことができないほどにつながっています。¹⁷そして、この第二の戒めは、救い主によってより高く、より神聖に表現されました。「自分を愛するようにだけでなく、主が愛してくださったように互いに愛し合いなさい。」¹⁸これに従うとき、わたしたちはさらに完全に一致するようになるでしょう。要するに、「すべての者はその隣人の益を図るように努め、また神の栄光にひたすら目を向けてすべてのことをなすようにしなければならない」¹⁹のです。

以前大管長会の顧問だったマリオン・G・ロムニー管長は、永続する平安と一致に至るにはどうすればよいかを、次のように説明しています。

「もしも一人の人がサタンに屈し、『肉の働き』ばかり考えるようになれば、その人は心の中で争いを起こすでしょう。また、もしも二人の人がサタンに屈したら、彼らはそれぞれ心の中で争いを起こし、やがて互いに争うようになるでしょう。また、もしも大勢の人がサタンに屈したら、社会は大変な闘いと不和〔という結果を刈り取る〕でしょう。そしてもし国の支配者たちがサタンに屈したときには、全世界的な不和が起こるでしょう。」

ロムニー管長はこう続けています。「『肉の働き』が世界に広まると同様に、平和の福音も世界に宣伝されています。もしも一人の人が福音に従って生活するならば、心の中に平安な気持ちを持つでしょう。またもしも、二人の人が福音に従って生活するならば、彼らはそれぞれ心の中に平安を持ち、互いに平安な気持ちを抱くようになるでしょう。そしてもしも、国民全体がそのように生活するならば、国は平和になるでしょう。そして、十分な数の国が『御霊の実』を享受し、世界の紛争を鎮めることができれば、そのときには、もはや戦いの太鼓は鳴らず、戦いの旗が翻ることもないでしょう（See Alfred Lord Tennyson, "Locksley Hall," *The Complete Poetical Works of Tennyson*, ed.W. J. Rolfe, Boston, Houghton-Mifflin Co., 1898, p. 93, lines 27-28.）」²⁰

「キリストを着る」ときに、違いや不一致、論争を解決することも、捨て去ることもできるようになります。不和を克服することに関する大変劇的な例が、教会歴史にあります。ブリガム・ヘンリー・ロバーツ長老（一般にB・H・ロバーツとして知られている）は、1857年にイングランドで生まれ、七十人第一評議会という、今日の七十人会長会に相当する組織の一員



ブリガム・ヘンリー・ロバーツ長老

として奉仕していました。ロバーツ長老は、回復された福音と教会を、教会史上最も困難な時期に精力的に擁護した、有能な人物でした。

ところが1895年、ロバーツ長老の教会での立場は、論争のために危機に陥ります。ロバーツ長老は、州に昇格したユタの州憲法を起草した会議で代表に指名されていました。後に、合衆国議会への立候補を決意したのですが、その件について大管長会に知らせず、許可を求めることもしませんでした。大管長会の顧問であったジョセフ・F・スミス管長は、総大会の神権会で、これに関してロバーツ長老を厳しく批判しました。ロバーツ長老はその選挙に敗れ、敗北のおもな原因はスミス管長の発言にあると感じていました。彼は複数の政治的演説や取材の場で教会指導者に批判的なことを述べ、教会での活発な奉仕から身を引いてしまったのです。ソルトレーク神殿において、大管長会および十二使徒評議会の面々と長時間にわたる会合が持たれましたが、ロバーツ長老は自己弁護に徹して譲りません。しばらくして、「[ウィルフォード・] ウッドラフ大管長は、[ロバーツ長老に] 3週間の猶予を与えて、自分が置かれている立場をもう一度よく考えるようにと言いました。もし悔い改めなければ、彼は七十人から解任されることになります。』²¹

その後の、使徒であったヒーバー・J・グラントとフランシス・ライマンとの個人的な会合で、ロバーツ長老は最初はかたくなな態度だったものの、最終的には愛と聖なる御霊が打ち勝ちました。彼の目に涙が浮かびました。この二人の使徒は、ロバーツ長老が冷遇や侮辱として受け取り、悩まされていたことについて対応することができました。そして和解するようにとロバーツ長老に懇願して、会合を後にしたのです。翌朝、長い祈りをささげた後、ロバーツ長老はグラント長老とライマン長老に、中央幹部の兄弟たちと再び一致する用意がで



北アイルランド

きたという短い手紙を送りました。²²

その後大管長会と面会して、ロバーツ長老はこう言いました。「わたしは主のもとに行き、光と教えを受けました。神の権能を持つ者に従うよう、主の御霊を通して教えられたのです。」²³ 神への愛に突き動かされて、B・H・ロバーツはその後最期まで、忠実な優れた教会指導者であり続けました。²⁴

この例からも分かるように、一致とは、皆がそれぞれ自分の思ったとおりに行動するとか、我が道を行くとかということに、単に合意することではありません。共通の大義に向かって全員が努力を傾けなければ、一つとなることはできません。一致とは、B・H・ロバーツの言葉を借りれば、神の権能を持つ者に従うということなのです。わたしたちはキリストの体にあって異なる肢体であり、異なるときに、異なる機能を果たしています。耳、目、頭、手、足、そのすべてが一つの体に属しているのです。²⁵ ですから、わたしたちが目指すのは、「からだの中に分裂がなく、それぞれの肢体が互にいたわり合う」²⁶ 状態です。

一致するには、同じである必要はありませんが、調和が求められます。愛によって心が結ばれ、信仰と教義において一つとなっていながらも、違うチームを応援したり、あらゆる政治問題で意見が食い違ったり、目標やそれを達成する正しい方法について議論したりしてもよいのです。ただ

し、決して怒りに任せて反対したり、論争したり、互いに軽蔑し合ったりしてはいけません。救い主は言われました。

「まことに、まことに、あなたがたに言う。争いの心を持つ者はわたしにつく者ではなく、争いの父である悪魔につく者である。悪魔は互いに怒って争うように人々の心をおり立てる。

見よ、互いに怒るように人々の心をおり立てるのは、わたしの教義ではない。このようなことをやめるようにというのが、わたしの教義である。」²⁷

1年前、ラッセル・M・ネルソン大管長は、次の言葉でわたしたちに嘆願しました。「わたしたちはだれも、国々やほかの人々の行為を、あるいは自分の家族さえも、コントロールできません。しかし、自分自身をコントロールすることはできます。愛する兄弟姉妹、今日のわたしの呼びかけは、皆さんの心、皆さんの家庭、皆さんの生活の中で激しさを増している対立を終わらせることです。短気であっても、とげとげしい言葉であっても、皆さんを傷つける人に対する恨みであっても、ほかの人を傷つけようとする気持ちはたとえ何であっても埋めてください。救い主は、ほかの頬を向けるように〔3ニーファイ12:39参照〕、敵を愛するように、そして人々を不当に扱う者のために祈るようにと命じておられます〔3ニーファイ12:44参照〕。』²⁸



ケニア

繰り返します。イエス・キリストに対する個人の忠誠心と、イエス・キリストの愛を通してのみ、わたしたちは一つとなる望みを抱くことができます。それらがあれば、自分の中の一致、家庭内での一致、教会での一致、ついにはシオンにおける一致、そして何より

も、御父と御子、聖霊との一致という望みが、持てるようになるのです。

聖週間に起こった出来事と、贖い主の究極の勝利に話を戻します。イエス・キリストの復活は、キリストが神であり、すべてのものに打ち勝たれたことを証しています。主の復活

は、聖約によって主に結ばれているわたしたちもまた、すべてのものに打ち勝ち、一つとなることができることを証しています。主の復活は、主を通して不死不滅と永遠の命が現実のものになったことを証しているのです。

この朝、わたしは文字どおり主が復活されたことと、復活によってもたらされるすべての事柄について、イエス・キリストの御名により証します。アーメン。■

注

1. 教義と聖約 19:18 - 19 参照
2. 欽定訳聖書ヨハネ 17:11 [英文] より和訳
3. ヨハネ 17:20 - 21
4. モーセ 7:18
5. 使徒 4:32
6. 教義と聖約 38:27
7. 教義と聖約 105:4
8. 4 ニーフアイ 1:17; 強調付加。モーサヤ 5:7 も参照
9. 3 ニーフアイ 11:28 - 29
10. エベツ 4:5
11. ガラテヤ 3:27 - 28
12. ローマ 7:22 - 23
13. ヘブル 4:15 参照:「この大祭司は、わたしたちの弱さを思いやることのできないようなかたではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試練に会われたのである。」
14. 1 コリント 12:12 - 13, 27 参照
15. マタイ 22:37 - 38 参照
16. ヨハネ 14:15 参照
17. マタイ 22:39 参照
18. ヨハネ 15:12 参照
19. 教義と聖約 82:19
20. マリオン・G・ロムニー「平和の代価」『聖徒の道』1984年2月号, 6
21. 『聖徒たち—末日におけるイエス・キリスト教会の物語』第3巻「大胆かつ気高く、悠然と1893-1955年」42-45 参照
22. 『聖徒たち』第3巻, 45-46 参照
23. B・H・ロバーツ, 『聖徒たち』第3巻, 47 で引用
24. 興味深いことに、1898年、この度は大管長会の許可を得たうえで、B・H・ロバーツは再び議会議員に立候補し、当選しました。しかしながら、当時教会に向けられていた根深い偏見や、ロバーツ長老自身が多妻結婚に携わっていた事実を考慮して、下院は彼が議席に就くのを拒みました。それにもかかわらず、下院議員らの前で自身の政治活動に関して発言の場を与えられたロバーツ長老は、教会とその教義を雄弁に、切々と擁護しました(『聖徒たち』第3巻, 83-86; Truman G. Madsen, Defender of the Faith, the B. H. Roberts Story [1980], 241-72 参照)。
25. 1 コリント 12:14 - 27 参照
26. 1 コリント 12:25
27. 3 ニーフアイ 11:29 - 30
28. ラッセル・M・ネルソン「霊的推進力」『リアホナ』2022年5月号, 97; 強調は原文どおり



中央扶助協会会長
カミール・N・ジョンソン会長

イエス・キリストは 安らぎです

わたしたちは救い主のパートナーとして、助けの必要な人々に物質的および霊的な安らぎを提供し、その過程で自分自身の安らぎを見いだすことができるのです。

イエス・キリストへの信仰と、主が行われた奇跡について聞いてきたことに対する希望を抱いて、中風の者を介抱していた人たちは、彼をイエスのもとに連れて来ました。彼らは画期的な方法を探りました。屋根の瓦をはぎ、男性を床に寝かせたままイエスが教えておられた場所に下ろしたのです。イエスが「彼らの信仰を見て、〔中風の者に、〕『……あなたの罪はゆるされた』¹」と言われ、さらに、「『……起きよ、床を取り上げて家に帰れ』²」と言われ〔まし〕た。³すると中風の者は即座に起き上がり、床を取り上げ、「神をあがめながら」³ 帰路に就きました。

中風の者を介抱していた友人たちについて、わたしたちがさらに知っていることはあるでしょうか。救い主が彼らの信仰を認められたことは知っています。そして、救い主について見聞きし、その奇跡の証人となった彼らは、「驚嘆し」、「神をあがめ」⁴ ました。

イエス・キリストは、願いどおりの癒し、つまり、慢性的な病による苦痛と、手足が不自由になるという結果に対する身体的な安らぎをお与えになりました。意義深いことに、救い主は、この人を罪から清めるという霊的な安らぎもお与えになりました。

そして友人たちは、助けの必要な人の

世話をする中で、安らぎの源であるイエス・キリストを見いだしたのです。

イエス・キリストこそが、わたしたちにとっての安らぎであることを証します。イエス・キリストの贖罪により、わたしたちは重荷と罪の結果から解放され、自分の弱さから救われることができます。

そして、神を愛し、神に仕えるという聖約を交わしたため、わたしたちは救い主のパートナーとして、助けの必要な人々に物質的および霊的な安らぎを提供し、その過程で自分自身の安らぎをイエス・キリストに見いだすことができるのです。⁵

わたしたちの愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長は、この世に打ち勝

ち、休みを見いだすようにわたしたちを招きました。⁶ そして、「真の休み」を「安らぎと平安」とであると定義しました。ネルソン大管長は、こう述べました。「救い主が無限の贖罪を通してわたしたち一人一人を弱さや過ち、罪から贖ってくださり、さらに、皆さんが味わってきたあらゆる苦痛や不安、重荷を経験されたのですから、心から悔い改め、主の助けを求めるならば、皆さんはこの現在の不穏な世に打ち勝つことができます。」⁷ それこそが、イエス・キリストがわたしたちに与えてくださる安らぎなのです。

わたしたちは皆それぞれ、比喩的な意味でリュックサックを背負っています。頭の上でバランスを取っているバスケット、またはショルダーバッグや、肩に背負った風呂敷包みの荷物かもしれません。ですが、ここではそれらを「リュックサック」と呼ぶことにしましょう。

この比喩的なリュックサックは、墮落した世界で生きるわたしたちの重荷を入れるものです。わたしたちの重荷は、リュックサックの中に入っている石のようなものです。一般的に、その石には3つの種類があります：

- 自分の罪のために、自ら作り出した石。
- 他人の愚かな判断や間違った行動、不親切のせいでリュックサックに入った石。
- そして、墮落した状態で生きているた



フランス

めにわたしたちが抱えている石です。これらの石には、病気、苦痛、慢性疾患、悲しみ、失望、孤独、自然災害の影響などが含まれます。

わたしは喜びをもって宣言します。この世での重荷、わたしたちの比喩的なリュックサックに入ったこれらの石を重いと感じる必要はありません。

イエス・キリストは、わたしたちの荷を軽くしてくださいます。

イエス・キリストは、わたしたちの重荷を取り除いてくださいます。

イエス・キリストは、わたしたちが罪の重さから解放される道を用意してくださいます。

イエス・キリストは、わたしたちの安らぎです。

主は言われました。

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。〔それは安らぎと平安である。〕

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」⁸

くびきは負いやすく、荷は軽いということは、わたしたちが救い主とともにくびきを負い、主と重荷を分かち合うときに、主がわたしたちの荷を持ち上げてくださると捉えることができます。それは、神と聖約の関係になり、その聖約を守ることを意味します。ネルソン大管長が説明したように、「人生のすべてがより容易にな〔る〕」のです。大管長は言いました。「救い主とともにくびきを負うということは、主の力と贖いの力にあずかることができるようになるということなのです。」⁹

では、なぜわたしたちは石を出し惜しむのでしょうか。野球のリリーフ投手がそこにいて、試合を引き継いで終わらせる用意ができていのに、疲れたピッチャーはマウンドを去るのを拒むでしょうか。救援者が一緒にそのポジションを守ろうと準備しているのに、なぜ一人で守ろうとこだわるのでしょうか。

ネルソン大管長はこう教えています。「イエス・キリスト……は両腕を広げて立ち、喜んでわたしたちを癒し、救し、汚れを取り、強め、清め、聖くしたいと望んでおられます。」¹⁰

では、なぜわたしたちは一人で石を運ぶことにこだわってしまうのでしょうか。

これは各自が考えるべき個人的な質問です。

わたしの場合、それはプライドという古くからある悪い習慣だと思います。わたしはこのように言うでしょう。「わたしならできる」、「心配ないわ、きっと自分でやれる」と。そのような考えは、大いなる欺く者によるもので、わたしが神から身を隠し、神に背を向け、一人でやっていくことを望んでいます。

兄弟姉妹の皆さん、わたしには一人ではできません。その必要もありませんし、そうすることはありません。神と交わした聖約によって救い主イエス・キリストとつながることを選ぶとき、「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる」¹¹のです。

聖約を守る人は祝福され、救い主の安らぎを得ます。

モルモン書のこの例を考えてみましょう。アルマの民は「苦役を課〔され〕、彼らを見張る監督を置」¹²かれ、迫害されていました。声を出して祈ることを禁じられた彼らは、「自分たちの心を〔神〕に注ぎ出し〔、〕……主は、彼らの心の思いを御存じで」¹³した。

「そして、苦難の中にいる彼らに主の声が聞こえて、言われ〔まし〕た。『あなたがたの頭を上げて喜びなさい。わたしは、あなたがたがわたしと交わした聖約を知っている。わたしは自分の民と聖約を交わし、その民を奴隷の状態から救い出す。

またわたしは、あなたがたの肩に負わせる荷を軽くし、……あなたがたの背にその荷が感じられないほどにしよう。』」¹⁴

そして彼らの重荷は「軽く」になりました。「主は、彼らが容易に重荷に耐えられるように彼らを強くされ〔、〕……そこで彼らは心楽しく忍耐して、主の御心にすべて従った」¹⁵のです。

聖約を守る人々は、慰め、さらなる忍耐と喜び、軽いと感じられるくらい重荷が軽くされること、そして最終的には解放という形で安らぎを受けたのです。¹⁶

さて、自分たちの比喩的なリュックサッ



マダガスカル



ポーランド

クに戻りましょう。

イエス・キリストの贖罪による悔い改めは、わたしたちを罪による石の重さから解放してくれるものです。そして、このすばらしい贈り物によって、神の恵みが、正義の重く乗り越えられない要求からわたしたちを解放して下さいます。¹⁷

また、イエス・キリストの贖罪によって、わたしたちは赦す強さを得ることができ、それによって、他人からの不当な扱いのために背負っている重荷を下ろすことができます。¹⁸

では、救い主は、墮落した世界で、悲しみや苦痛を伴う死すべき肉体を持って生活するわたしたちの重荷を、どのように和らげて下さるのでしょうか。

多くの場合、主はわたしたちを通してそのような安らぎを与えて下さいます。主の教会の聖約の会員として、わたしたちは「悲しむ者とともに悲しみ」、「慰めの要る者を慰めること」¹⁹を約束しています。わたしたちは、「神の羊の群れに入って、神の民と呼ばれたいと願っており、重荷が軽くなるように、互いに重荷を負い合うことを望」²⁰んでいるからです。

わたしたちの聖約による祝福は、イエス・キリストのパートナーとなり、すべての神の子供たちに、物質的および霊的な安らぎを提供することです。わたしたちは、イエス・キリストが安らぎを提供される際の伝令係なのです。²¹

そして、中風の男性の友人たちのように、「弱者を助け、垂れている手を上げ、弱くなったひざを強め〔る〕」²²のです。わたしたちは、「互に重荷を負い合〔うこと〕……キリストの律法を全うする」²³ことができます。そのようにすることで、わたしたちは主を知り、主のようになり、主の安らぎを見いだすことができます。²⁴

英語の relief (安らぎ) とはどのような意味でしょうか。

つらいこと、困ったこと、負担になることが取り除かれたり、軽くなったりすること、あるいはそれに耐える強さのことです。ほかの人の身代わりになる人のことを指します。間違いを法的に正すことです。²⁵ アングロ・フランス語の語源は、古いフランス語の relever (「上げる」) という言葉と、ラテン語の relevare (「再び上げる」) という言葉から来ています。²⁶

兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストは安らぎを与えて下さいます。わたしは、イエス・キリストが3日目によみがえられ、愛ある無限の贖罪を果たした後、両手を広げて、わたしたちにも、よみがえり、救われ、そして昇栄して主のようになる機会を与えて下さっていることを証します。主がわたしたちに下さる安らぎは、永遠に続くのです。

最初の復活祭の朝に、天使の訪れを受けた女たちのように「大喜びで、急いで」、わたしも主が復活されたことを伝えることができますらと思います。²⁷ わたしたちの救い主イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ルカ 5:20
2. マルコ 2:11
3. ルカ 5:25
4. ルカ 5:26
5. See D. Todd Christofferson, "The First Commandment First" (Brigham Young University devotional, Mar. 22, 2022), 2, speeches.byu.edu:「わたしたちは実質的に、神と力を合わせて神の子供たちの世話をしているため、神を愛することで、ほかの人々をもっと十分に、もっと完全に愛する能力が高まるのです。」(強調付加)
6. ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」【リアホナ】2022年11月号, 95-98 参照
7. ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。」

- そうすれば、休みが与えられるであろう」96
8. マタイ 11:28 - 30
 9. ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。そうすれば、休みが与えられるであろう」97
 10. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなります」『リアホナ』2019年5月号, 67
 11. ビリビ 4:13
 12. モーサヤ 24:9
 13. モーサヤ 24:12
 14. モーサヤ 24:13 - 14; 強調付加
 15. モーサヤ 24:15
 16. モーサヤ 24:13 - 14 参照
 17. アルマ 34:14 - 16 参照。モーサヤ 15:8 - 9も参照
 18. ラッセル M・ネルソン「イエス・キリストが授ける4つの賜物」(大管長会クリスマスディボーションナル, 2018年12月2日), broadcasts.ChurchofJesusChrist.org 参照:「救い主が与えてくださる2番目の賜物は、赦す力です。主の無限の贖罪を通して、皆さんを傷つけた人や、残虐な行為の責任を決して取ろうとしない人を赦すことができます。心からへりくだって赦しを求める人を赦すのは、普通は簡単なことです。しかし、救い主は、何らかの方法で不当な扱いをしてきた人をすべて赦す力を与えてくださいます。そうすれば、有害な行為はもはや皆さんの心をむしばむことはないのです。」
 19. モーサヤ 18:9
 20. モーサヤ 18:8
 21. 末日聖徒イエス・キリスト教会の女性組織である扶助協会は、1842年3月17日に預言者ジョセフ・スミスによって組織され、「それは神権に付属するものとして神によって設けられたものである。」(ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号, 51) 新組織の名称を決める際、benevolent (慈善) という言葉も検討されたが、女性たちの間では relief (扶助) が好まれました。扶助協会の初代会長エマ・スミスと、その書記で後に組織の第2代会長を務めたエイザ・R・スノーは、benevolent (慈善) という言葉は当時の団体で人気のある言葉でしたが、だからといってその流行が「我々の指針になるべきではありません」と説明しました。エマは、relief (扶助) という言葉の方が自分たちの使命をよりよく表現していると説きました。「わたしたちはすばらしいことを成し遂げるでしょう。……思いも及ばない出来事に出遭い、緊急を要する働きを求められるでしょう。」(Emma Smith, in Nauvoo Relief Society Minute Book, Mar. 17, 1842, 12, josephsmithpapers.org [訳注—「わたしの王国の娘」14に掲載あり]) 実際、扶助協会の務めは常に、物質的および霊的な扶助を提供することです。ジョセフ・スミスはこのように教えました。「扶助協会は貧しい人を助けるだけでなく、人を救うために存在します。」(in Nauvoo Relief Society Minute Book, June 9, 1842, 63, josephsmithpapers.org [訳注—「リアホナ」2008年11月号, 115に掲載あり]) ですから扶助協会は引き続き、「貧困、病気、疑い、無



カナダ

知など、女性の喜びと進歩を妨げるすべてのものから〔relief〕解放すること」を提供してくのです (John A. Widtsoe, *Evidences and Reconciliations*, arr.G. Homer Durham, 3 vols. in 1 [1960], 308 [訳注—「リアホナ」2007年11月号, 111に掲載あり])。

22. 教義と聖約 81:5。ヘブル 12:12も参照
23. ガラテヤ 6:2
24. 新たに組織された扶助協会の初期の集会において、預言者ジョセフ・スミスの母であるルーシー・マック・スミスは、こう述べました。「わたしたちは慈しみ合い、見守り合い、慰め

合い、導きを得て、わたしたちすべてがともに天で座に着けるようにしなければなりません。」歴史家ジェニファー・リーダーはこのように書いています。「扶助するという目的の下に一つとなり、キリストのパートナーとなった女性たちは、それを行う中で、主の安らぎを見いだした。」(First: The Life and Faith of Emma Smith [2021], 130)

25. See Merriam-Webster.com Dictionary, “relief.”
26. See Dictionary.com, “relief.”
27. マタイ 28:1 - 8 参照



十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

平和の君に従う者

わたしたちが救い主のような特質を伸ばすように努めるとき、世界に主の平安をもたらす者になることができます。

ゼカリヤに与えられた預言の成就として、¹ イエスは、ろばに乗り、堂々と聖なる都に入られました。それは、文学上、「ユダヤの王者であることを表す古代の象徴」²と見なされ、実に王の王、平和の君にふさわしいものでした。³ イエスは歓喜する大勢の弟子たちに囲まれ、弟子たちはイエスの通られる道に上着やしゅろの葉、そのほかの木の葉を敷きました。彼らは神をたたえて大声で叫びました。「主の御名によってきたる王に、祝福あれ。天には平和、いと高きところには栄光あれ。」⁴ 重ねてこう叫びました。「ダビデの子に、ホサナ。主の御名によってきたる者に、祝福あれ。いと高き所に、ホサナ。」⁵ わたしたちは、「しゅろの日曜日」として知られるこの日を祝います。この荘厳な出来事は、あの運命の1週間における数々の過酷な出来事に対する喜ばしい前触れでした。その1週間は、救い主の無私の犠牲と、墓が空になるという崇高な奇跡で幕を閉じました。

主に従う者として、わたしたちは、主の美德を宣言するために召されている、神につける民、⁶ すなわち、主とその贖いの犠牲によって惜しみなく与えられる平安を広める者です。この平安は、救い主に心に向けて義にかなった生活を送るすべての人に約束されている賜物です。このような平安は、死すべき生涯を楽しむ強さを与え、わたしたちの旅路のつらい試練に耐えることも可能にします。

1847年に、主は、開拓者の聖徒たちに

具体的な指示をお与えになりました。彼らは、西に向かう旅で数々の予期せぬ困難に直面する中で、平静さと団結を保つために平安を必要としていました。とりわけ主は、聖徒たちにこう指示されました。「互いに言い争うのをやめなさい。互いに悪口を言い合うのをやめなさい。」⁷ 聖文は、義の業を行い、主の御霊の柔和な道を歩む者は、わたしたちが今日生きている混乱の時代を生き抜くために必要な平安を約束されると断言しています。⁸

平和の君の弟子として、わたしたちは「互いに和合し、愛し合って結ばれた心」⁹を持って生活するよう指示されています。わたしたちの愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長は、最近こう述べました。「争いは救い主が擁護し、教えられたすべてのことに反していません。」¹⁰ また預言者は、わたしたちの心と生活の中で今激しさを増している個人的な対立を終わらせるために、できることをすべて行うようにとも述べています。¹¹

わたしたちに対するキリストの純粋な愛と、主に従う者としてその愛を互いに抱くように努めるという観点から、これらの原則を考えてみましょう。聖文は、このような愛を慈愛と定義しています。¹² 慈愛について考えるとき、通常、身体的、物質的、あるいは情緒的な苦難を経験している人々の苦しみを和らげる惜しみない行為や寄付を思い浮かべます。慈愛は、だれかに提供するものだけに関連しているのではなく、救い主の特質でもあり、わたし

たちの人格の一部にもなり得るのです。「完全と平和のきずなである慈愛のきずなを……身にまといなさい」¹³と、主がわたしたちに告げられたことは驚くに当たりません。慈愛がなければ、わたしたちは何の価値もなく、¹⁴ 天の御父の住まいに主が用意してくださっている場所を受け継ぐ¹⁵ ことはできません。

イエスは、この完全と平和のきずなを持つことの意味を、特に殉教に先立つ苦痛に満ちた出来事に直面したときに、完全な模範として示されました。その夜に弟子の一人から裏切られることを御存じでありながら、謙虚に弟子たちの足を洗われたイエスが何を感じておられたか¹⁶ 少し考えてください。または、その数時間後、裏切り者であるユダとともに、御自分を捕らえるために来た者たちのうちの一人の耳をイエスが優しく癒されたときの気持ちを考えてください。¹⁷ あるいは、救い主がピラトの前に立っておられ、祭司長たちや長老たちから不当に告発され、その偽りの嫌疑に対して一言も発せられず、ローマの総督を驚かせたときの気持ちについて考えてください。¹⁸

これらの3つの悲劇的な出来事を通じ



アルゼンチン



日本

て、救い主は、深い悲しみと重圧を抱えながらも、御自身の模範によりこう教えられました。「愛は寛容であり、愛は情深い。……ねたむことをしない。……高ぶらない、誇らない。不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。」¹⁹

強調すべきもう一つの重要な側面、そしてわたしたちの弟子の務めと救い主の平安を広める方法に直接かかわるのは、互いにどのように接するかということです。地上での務めの間の救い主の教えは、以下のことだけではありませんが、特に愛、慈愛、忍耐、謙遜、思いやりという、さらに主に近づき、主の平安を広めたいと願う人々の基本的な特質に焦点を当てています。このような特質は神からの賜物であり、これらを伸ばそうと努めるときに、わたしたちはさらなる共感と感受性、敬意、寛容さをもって隣人の違いや弱さを見る

ようになります。わたしたちがさらに救い主に近づいていて、救い主のようになりつつあることの最も明らかなしるしのうちの一つは、どんな状況にあっても、愛と忍耐と思いやりをもって同胞に接するというものです。

ほかの人の特徴や弱さ、意見について、否定的、また軽蔑的なことさえ述べる人をよく見かけます。大体は特徴や意見が、自分の行動や考え方と異なる場合や相反する場合です。これらの人々がそのようなことをほかの人に伝え、伝え聞いた人が状況を取り巻くすべての事情をほんとうに知ることなく聞いたことを繰り返す、というのはごく普通に見られることです。残念ながら、ソーシャルメディアは、相対的な真理と透明性の名の下に、このような行動を助長します。デジタル上の会話は、際限なく、個人攻撃や激しい論争に人々をしばしば誘導し、失望を生み、心を

傷つけ、激しい敵対心を広げます。

ニーファイは、末の日に敵は猛威を振るい、善であるものに怒るよう人々をあおると預言しました。²⁰ 聖文ではこう教えられています。「善を行い、神を愛し、神に仕えるように誘い、促すものはすべて、神の靈感を受けているのである。」²¹ その反面、「悪いものは悪魔から出る。悪魔は神に対する敵であって、絶えず神と戦い、また人を誘い、そそのかして罪を犯させ、いつも悪いことを行わせようとする。」²²

この預言的な教えを考えると、サタンの戦術の一つが、神の子供たちの心に敵意と憎しみを引き起こすことであるのは驚くに当たりません。サタンは、人々が互いに批判し、あざけり、中傷し合うのを見て喜びます。この行動は、特にだれかが不当に裁かれた場合に、その人の人格、評判、自尊心を打ち砕く可能性があります。このような態度を許した生活をする、敵が

わたしたちの間に不和の種をまく余地を心の中に作ってしまい、敵の貪欲なわなに陥る危険があります。

わたしたちが自分の思いや言葉、行いに注意していなければ、結果的に敵の狡猾なわなに捕らわれ、周囲の人々や愛する人々との関係を破壊してしまうかもしれません。

兄弟姉妹の皆さん、主の選ばれた、平安を広める人々として、悪者のわながわたしたちの心の中に居場所を得るのを許すことはできません。感情や関係性、または命までをもむしばむ重荷を負うことはできません。福音は大きな喜びを表しています。

もちろん、人はだれも完全ではありません。そして確かに、だまされてこのような行動に引き込まれるときがあります。救い主は、その完全な愛と、人間の傾向に関する完全な知識により、このような危険に対して常に警告を与えようとされています。こう教えておられます。「あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ、あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられるであろう。」²³

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちが救い主のような特質を伸ばすように努めるとき、主御自身が定められた方式に従って、世界に主の平安をもたらす者になることができます。人を高めて支える人、理解と救いの心を持っている人、ほかの人の最良の点を探す人になれる方法を考えるよう、皆さんにお願いします。「どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば、わたしたちはこれらのことを尋ね求めるものである」²⁴という言葉も覚えていてください。

皆さんに約束します。これらの特質を追求して伸ばすときに、わたしたちは、よりいっそう親しい人たちの必要に対して親身になり、敏感になり、²⁵ 喜びや平安、霊的な成長を経験するようになりま

す。²⁶ 疑いようもなく、主はわたしたちの努力を認めてくださり、互いの違いや弱さ、不完全さに対してもっと寛容で忍耐強くなるために必要な賜物を与えてください。さらに、わたしたちは、自分を傷つけた人に対して気分を害したり、怒らせたりする衝動をもっと抑えられるようになります。救い主がされたように自分を不当に扱う人や悪口を言う人を赦したいというわたしたちの願いが確実に強まり、それが自分の人格の一部になるでしょう。

今日、このしゅろの日曜日に、墓が空になった次の日曜日の奇跡を祝う用意をするうえで、わたしたちの愛の上着と慈愛のしゅろの葉を敷き、平和の君の足跡をたどることができるようになります。キリストによる兄弟姉妹として、喜びをもって宣言しましょう。「ダビデの子に、ホサナ。主の御名によってきたる者に、祝福あれ。いと高き所に、ホサナ。」²⁷

イエス・キリストが生きておられることを証します。また、主の贖いの犠牲によって示された完全な愛は、主とともに歩み、



タビチ

この世と来るべき世で主の平安を享受したいと願うすべての人に及ぶと証します。これらのことを救い主、贖い主イエス・キリストの聖なる御名により申し上げます。アーメン。■

注

- ゼカリヤ 9:9 参照
- ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』503
- ジョセフ・スミス訳詩篇 24:9 (末日聖典「ジョセフ・スミス訳付録」: オンライン「学習ヘルプ」); イザヤ 9:6; 1テモテ 6:15; 黙示 17:14; 19:16; 2ニーファイ 19:6 参照
- ルカ 19:38
- マタイ 21:9。マルコ 11:8-10; ヨハネ 12:12-14 も参照
- 1ペテロ 2:9 参照
- 教義と聖約 136:23
- ピリピ 4:7; 3ニーファイ 11:29; 教義と聖約 19:23; 59:23 参照
- モーサヤ 18:21
- ラッセル・M・ネルソン「平和の福音を宣べ伝える」『リアホナ』2022年5月号, 6
- ラッセル・M・ネルソン「霊的推進力」『リアホナ』2022年5月号, 97, 100 参照
- 2ニーファイ 26:30; 33:7-9; エテル 12:33-34; モロナイ 7:47 参照
- 教義と聖約 88:125
- 2ニーファイ 26:30; モロナイ 7:44-47 参照
- エテル 12:34; モロナイ 10:20-21 参照
- ヨハネ 13:14-18 参照
- ルカ 22:50-51; ヨハネ 18:10-12 参照
- マタイ 27:12-14 参照
- 1コリント 13:4-5。モロナイ 7:45-47 も参照
- 2ニーファイ 28:20 参照
- モロナイ 7:13
- モロナイ 7:12
- マタイ 7:2
- 信仰簡条 1:13
- モーサヤ 2:17 参照
- 「キリストのような特質を伸ばすにはどうしたらよいでしょうか」『わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド』121-132 参照
- マタイ 21:9



七十人
山下和彦長老

祝福師の祝福は、 いつ受けるべきか

祝福を受けるとき、皆さんは御二方がどれほど自分を愛し、自分を心にかけてくださっているかに気づくでしょう。

昨日、わたしの愛する友人であるランドール・K・ベネット長老が、祝福師の祝福について話してくれました。素晴らしいお話に、皆感銘を受けました。愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしも祝福師の祝福についてお話したいと思いますが、よろしいでしょうか。祝福師の皆さん、祝福師の祝福の要請が増すにつれ、皆さんが引き続き召しを尊んで大いなるものとするときに、主が祝福してくださるように祈ります。

ステーキ大会を訪問すると、わたしはステーキ祝福師とその奥様にお会いします。祝福師は、神に召された、穏やかで、従順な、素晴らしい指導者です。彼らは、数々の素晴らしい霊的な経験について話してくれます。祝福を受けた会員の中で、最年長と最年少の人の年齢を尋ねたところ、いちばん若い人が11歳、最年長の方は93歳でした。

わたしはバプテスマを受けて2年後、19歳の新会員のところに祝福師の祝福を受けました。わたしの祝福師は大変高齢でした。彼は1916年に教会に加わった、日本の教会の開拓者でした。その素晴らしい主の弟子から祝福師の祝福を受けられて、大変光栄に思いました。彼の日本語はやや難しかったのですが、その言葉には力がありました。

わたしがお会いしてきた祝福師の皆さん

の話によると、多くの人が、伝道に出る直前に祝福師の祝福を受けるそうです。愛する若い男性、若い女性、御両親、ビショップの皆さん、祝福師の祝福は伝道の備えのためだけにあるわけではありません。バプテスマを受けたふさわしい会員は、ふさわしい時期に祝福師の祝福を受けることができます。¹

愛する成人の会員の皆さん、皆さんの中にはまだ祝福師の祝福を受けていない人がいます。祝福を受けられる年齢に上限はありません。

わたしの義理の母は、非常に活発な教会員で、91歳で亡くなるまで扶助協会の教師として奉仕をしていましたが、祝福師の祝福を受けなかったと知ってわたしは残念に思いました。彼女は人生で多くの困難を経験しましたが、家庭に神権者がいなかったため、神権の祝福を受けることがそれほど多くありませんでした。母が祝福を最も必要としていたときに、祝福師の祝福が励ましとなっていたかもしれません。

成人の皆さん、まだ祝福師の祝福を受けていなくても、心配しないでください。それぞれの霊的な時間軸は異なります。35歳であろうと85歳であろうと、望むならば、祝福を受けることについてビショップに相談してください。



チリ



コートジボワール

新会員の皆さん、祝福師の祝福について聞いたことがありますか。わたしは、教会に加わったときには、祝福師の祝福を受ける機会があるということを知りませんでした。しかし、バプテスマを受けた後に、愛するビショップが祝福師の祝福について教えてくれて、そのために備えるよう勧めてくれました。愛する新会員の皆さんも、祝福師の祝福を受けることができます。主は、皆さんがこの神聖な機会に備えるのを助けてくださるでしょう。

祝福師の祝福の二つの目的について考えてみましょう：

1. 祝福師の祝福には、主から自分への個人的な勧告が含まれます。²
2. 祝福師の祝福の中では、イスラエルの家における自分の血統が告げられます。

皆さんの祝福師の祝福も天の御父からのメッセージであり、皆さんの人生を通じて指針となる約束や、靈感された勧告が含まれます。祝福師の祝福は、人生の計画を詳細に示したり、すべての疑問に答えるわけではありません。人生の重要な出来事が告げられなかったとしても、その機会がないものと誤解しないでください。

同様に、祝福で述べられたすべてのことがこの世で実現することが保証されているわけでもありません。祝福師の祝福は永遠のものであり、ふさわしい生活を送るならば、この世で果たされない約束は、次の世で授けられるでしょう。³

血統が宣言されると、自分がイスラエルの家に属する、アブラハムの子孫であることを知ります。⁴ このことの重要性を理解するには、アブラハムを通して主がイスラエルの家に約束された事柄に焦点を当ててください。

約束には次のことが含まれます：

- 「アブラハムは多くの子孫に恵まれる（創世 17:5 - 6；アブラハム 2:9: 3:14 参照）。」
- 「アブラハムの種、すなわち子孫は福音を受け入れ、神権を持つ（アブラハム 2:9 参照）。」
- 「アブラハムの子孫の働きを通して、『地のすべての氏族は……救いの祝福すなわち永遠の命の祝福である福音の祝福を授けられる……。』（アブラハム 2:11）」⁵

教会員であるわたしたちは、聖約の子です。⁶ わたしたちは福音の第一の原則と

儀式に従って生活するときに、アブラハムの聖約の祝福を受けます。

祝福師の祝福を受ける備えをすることで、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰を増すことができるでしょう。そして、祝福を受け、それを読み返し、それについて考えるときに、さらに頻繁に御二方に心を向けることができます。

トーマス・S・モンソン大管長はこのように説明しています。「リーハイに羅針盤をお与えになったその主は、今も、わたしたちの進むべき方向を示すために一つの非常にすばらしい、価値ある賜物を用意してくださっています。それはわたしたちの安全のために危険を示し、道すなわち安全な道を目に見えるように示して、わたしたちを約束の地ならぬ天の家へと導いてくれるものです。」⁷

愛するビショップ、御両親、長老定員会会長、扶助協会会長、ワード伝道主任、ミニスタリングブラザーとシスターの皆さん、まだ祝福師の祝福を受けていない、若い男性、若い女性、成人会員、新会員に、主の導きを求めるよう勧め、祝福師の祝福を受ける備えをするのを助けてください。

わたしは、度々、祈りの気持ちで祝福師の祝福を読み、その度に励ましを受けま



す。また、主が自分に期待しておられることに気づき、悔い改めて謙遜になる助けとなっています。祝福文を読み、それについて考えるときに、約束された祝福を受けるのにふさわしい生活をしたという望みが湧きます。

何度も読んだことのある聖文が、後になって新たな意味を帯びることがあるように、祝福師の祝福もその時々で異なる意味を持つでしょう。今のわたしにとって、祝福師の祝福は、30歳のときや50歳のときとは異なる意味を持っています。言葉が変わるのではなく、捉え方が変わるのです。

ダリン・H・オークス管長は次のように宣言しています。「[祝福師の祝福]は聖なる御霊の靈感の下に与えられ、その同じ御霊の影響の下で読み、解釈されるべきです。祝福師の祝福の意味と重要性は、祝福をもたらした同じ御霊の力によって、時間をかけて、教えに教えを加えて授けられます。」⁸

兄弟姉妹の皆さん、天の御父と、御父の愛する独り子、主イエス・キリストは生きておられます。御二方はわたしたちを愛しておられます。祝福師の祝福は、御二方からの神聖な贈り物です。祝福を受

けるとき、皆さんは御二方がどれほど自分を愛し、自分を心にかけてくださっているかに気づくでしょう。

モルモン書はイエス・キリストについてのもう一つの証です。生ける預言者ラッセル・M・ネルソン大管長に導かれていることに感謝しています。

救い主イエス・キリストに心から感謝します。この復活祭の日曜日に、主と主の復活に心を向け、主を礼拝し、主の犠牲に感謝をささげます。主はわたしたちを深く愛しておられるために、非常な苦しみを受けられました。わたしは、主がわたしたちへの愛のために復活されたことを知っています。主は実在の御方です。イエス・キリストの御名により証します。アーメン。■

注

1. 『総合手引き—末日聖徒イエス・キリスト教会における奉仕』18.17, Church of Jesus Christ.org 参照
2. 『真理を守る』の112にある「祝福師の祝福」の項を参照
3. 『真理を守る』の113にある「祝福師の祝福」の項を参照
4. アブラハム2:10 参照
5. 『真理を守る』の5にある「アブラハムの聖約」の項
6. 3ニーファイ20:25-26 参照
7. トーマス・S・モンソン「祝福師の祝福は光の羅針盤」『聖徒の道』1987年1月号, 69 参照

8. ダリン・H・オークス「祝福師の祝福」『世界指導者訓練集会』2005年1月8日, 10



十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

心にイエス・キリスト への思いがはっきりと 浮かんできた

イエス・キリストへの思いがはっきりと浮かぶように心を配り続けるなら、天からの導きだけでなく、天の力がもたらされることを約束します。

この美しい復活祭の時季に、わたしはこの力強い賛美歌「導きたまえよ」の祈りをそのまま繰り返します。¹

モルモン書には、アルマという名家出身の若者について驚くべき話が記録されています。アルマは、聖文によると、偶像を礼拝する不信仰な者と表現されています。² 雄弁で説得力のある男で、世辞を述

べては言葉巧みに人々を自分に従えていました。ところが驚いたことに、天使がアルマと仲間たちのもとに現れました。アルマは地に倒れて力を失い、身動きができないまま、父親の家に運ばれました。それから3日間、昏睡状態が続いているように見えました。³ 後にアルマは、周りの人から意識を失っていると思われていた

間にも、心の動きは活発で、神の戒めをないがしろにしていた自分の生き方を思い、霊的な悲嘆に暮れていたことを明らかにしています。その心境を、「自分の多くの罪を思い出してひどく苦しみながら」、⁴ 「永遠の苦痛に責めさいなまれた」⁵ と説明しています。

アルマは深い絶望の中で、「イエス・キリストは神の御子であり、世の罪を贖うために来られるという」⁶ ことについて、若いころに教わったのを思い出しました。それから、この非常に切実な言葉を語っています。「心にこの思いがはっきりと浮かんできたとき、わたしは心の中で、『おお、神の御子イエスよ、……わたしを憐れんでください』と叫んだ。」「⁷ 救い主の聖なる力にすぎると、奇跡が起こりました。アルマはこう述べています。「このことを思ったとき、わたしはもはや苦痛を忘れることができた。」「⁸ 突如として、アルマは平安と光を感じたのです。「ほかにあり得ないほど美しく、また快い喜びを味わった」⁹ と語っています。

アルマの心に、イエス・キリストに関する真理が「はっきりと浮かんできた」のです。「はっきりと浮かぶ」の英語“caught



日本

hold upon”には、物理的に言うと「落ちそうになってガードレールをしっかりとつかむ」というように、安定した土台にがっしりと固定されたものにすぐさま手を伸ばし、しっかりとすがりつくという意味があります。

アルマの場合は、心の中で、イエス・キリストの贖いの犠牲というこの力強い真理に手を伸ばし、身を委ねました。その真理に基づく信仰をもって行動したこと、また、神の力と恵みによって、彼は絶望から救われ、希望に満たされたのです。

わたしたちの経験はアルマのように劇的ではないかもしれませんが、永遠にわたって大きな影響を及ぼします。わたしたちの心も、イエス・キリストと、主の憐れみに満ちた犠牲への「思いがはっきりと浮かんできた」ときに、霊的な光と喜びを感じるのです。

イエス・キリストへの思いを定着させる

この復活祭の時季にわたしが願うこと

は、わたしたちの心の部屋に、このきわめて重要なイエス・キリストへの思いを、さらに意識的に形作り、強くし、定着させることです。¹⁰それがしきりに心へ流れ込むようにし、考えや行動の指針となり、継続的に救い主の愛という快い喜びがもたらされますように。¹¹

イエス・キリストの力で心を満たすとは、イエスのことだけを考えるという意味ではありません。わたしたちの思いがすべて、主の愛や生涯、教え、贖いの犠牲、輝かしい復活のうちにあるということです。イエスを忘れ去られた心の隅に追いやることは決してありません。主イエスへの思いが常に心にあり、「心[を]込めて主を賛めたたえ」¹²るからです。祈りをささげ、主に近づいたときの経験を心の中で反芻します。忙しい生活の中で心を駆け巡る無数の思いをそっと和らげる、神聖なイメージや聖文、靈感あふれる賛美歌を、心に喜んで迎え入れるのです。主に對する愛が、この死すべき世における不

幸や悲しみの盾となってくれるわけではありませんが、自分の力をはるかに超える強さを得て苦難を乗り越えていくことができるようになります。

「主イエスよ、〔汝れを思えば〕
わが胸 喜び満つ
み前に出づれば
さらにうれし」¹³

自分が天の御父の霊の子供だということを感じていてください。使徒パウロが説明しているように、わたしたちは「神の子孫」¹⁴なのです。地上に来るずっと前に、今ある個々の特質を持って生きていました。御父は、わたしたちが地上に来て学び、御父のみもとに戻るといって、完璧な計画を立てられました。御父が御自分の愛する御子を遣わしてくださったので、わたしたちは、御子の無限の贖罪と復活の力によって墓を超えて生きられるようになりました。そして、進んで御子を信じる信仰を働かせて罪を悔い改める¹⁵ことで、わたしたちは救われ、永遠の命への希望を受けます。¹⁶

自分の心と霊に特に注意を払う

この現世では、自分の心と霊に特に注意を払う必要があります。¹⁷わたしたちは自分の心で善と悪を識別し、選択し、実行するのです。¹⁸わたしたちの霊は、神がわたしたちの御父であり、イエス・キリストが神の御子であり、御二方の教えがこの世と、墓を超えた永遠の世においても、幸福へと導く指針であるという確認の証を受けます。

アルマの心にはっきりと浮かんできたのは、このイエス・キリストへの思いでした。それが彼の人生を変えたのです。総大会は、主がわたしたちに何を行ってどのような人になってほしいと望まれているのかを理解する時です。また、自分の進歩成長を振り返る機会です。わたしは割り当



インド



妻サラが亡くなると、マット・ジョンソンは、神殿以外に家族がいるべき場所はないではないかと言いました。

てを受けて世界各地を旅する中で、義にかなった献身的な教会員に、霊的な強さが増し加わるのを見てきました。

5年前、わたしたちは「末日聖徒イエス・キリスト教会」という正しい名称を用いることにより、あらゆる行いにおいて救い主をより前面に出すよう求められました。¹⁹そして、主の名をさらに熱心に語るようになりました。

4年前、集会の時間が短縮され、わたしたちは主の聖餐を取ることにさらに心を向けました。もっとイエス・キリストのことを思い、いつも御子を覚えるという約束をさらに真剣に交わしています。²⁰

世界的なパンデミックによる隔離、また『わたしに従ってきなさい』の助けにより、救い主の教えが家庭の中でさらに重要なものとなり、週の間に救い主を礼拝する助けとなっています。

ラッセル・M・ネルソン大管長の「主の声を聞く」²¹という勧告に従うことにより、聖霊のささやきに気づく能力に磨きがかかり、自分の人生に主の御手を見るようになりました。

何十もの神殿が発表され、完成したことにより、わたしたちはもっと頻繁に主の宮に参入して約束された主の祝福を受けています。救い主、贖い主の類いまれな貴さを、さらに力強く感じています。

ネルソン大管長はこう述べました。「たくましい弟子に、たやすく自動的になれる

わけではありません。救い主とその福音に焦点を絞る必要があります。あらゆる思いの中で主を仰ぎ見ようと努めるには、精神的な強さが求められます。」²²

イエス・キリストに注意を傾けるなら、依然として存在する周囲の物事も、主への愛を通して見るようになります。あまり大切でないことに惑わされることが減り、主の光と属性に調和しないものを排除します。このイエス・キリストへの思いがはっきりと浮かぶように絶えず心を配り、主を信頼し、戒めを守り続けるならば、天からの導きだけでなく、天の力がもたらされることを約束します。この力は、聖約に強さを、苦難に平安を、そして祝福に喜びをもたらすものです。

イエス・キリストを覚える

数週間前、妻のキャシーとわたしは、マットとサラ・ジョンソン夫妻の家を訪れました。壁には、大切な家族の写真と美しい救い主の絵と、神殿のイラストが飾ってありました。

4人の娘、マディー、ルビー、クレア、ジューンは、どんなにお母さんが好きか、楽しそうに話していました。

これまで1年以上にわたり、サラは通常土曜日に家族で神殿に参入する予約を入れ、かつてこの世に生を受けた親族のバプテスマに娘たちが参加できるようにしていました。

昨年11月、サラは12月の最後の週に、土曜日ではなく木曜日に、家族で神殿に行く予約を入れました。「これで大丈夫だといいいけれど」と、サラはマットに言いました。

サラはがんが診断されていて、余命は2、3年だろうと医師から告げられていました。聖餐会で、サラはこの先何が起きても、心を尽くして救い主を愛して、また主が「すでに勝利を得ておられる」ことを力強く証しました。12月が進み行く中、予期せず容体が急変し、サラは入院することになりました。そして、12月29日の木曜日の早朝に、彼女はこの世での生涯を静かに終えたのです。マットは一晩中サラに付き添っていました。

胸が張り裂ける思いで、心身ともに疲れ果てて家に帰り、娘たちとともに悲しみに暮れました。ふとマットが携帯に目をやると、その日の午後、サラが最後に作った、あの木曜日の神殿の予約が入っていることに気づきました。マットはこう話しています。「最初にそれを見たとき、行けるわけがないと思いました。」

しかし、マットの心に、このような思いがはっきりと浮かんできました。「救い主は生きておられる。主の聖なる宮以外に、家族でいるべき場所があるだろうか。」

マット、マディー、ルビー、クレア、ジューンは、サラが予約してくれた儀式を行うために、神殿に到着しました。涙が頬を伝



う中、マツは、娘たちにバプテスマを施しました。家族はサラへの愛と永遠のきずなを深く感じ、救い主の大きな愛と慰めをもたらす平安に包まれました。マツは穏やかにこう話してくれました。「深い悲しみと嘆きの中で、わたしは喜びの声を上げました。御父のすばらしい救いの計画を知っているからです。」

この復活祭の時に、わたしは、救い主の比類なき贖いの犠牲と輝かしい復活という、完全かつ絶対的な真理について証します。心にイエス・キリストへの思いを、永遠に揺るがず、はっきりと浮かべ続け、また、さらに救い主を中心とした人生を歩み続けるなら、主の希望と平安、そして主の愛を感じることを、わたしは約束します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「導きたまえよ」『賛美歌』41 番
2. モーサヤ 27:8 参照
3. アルマ 36:10 参照
4. アルマ 36:17
5. アルマ 36:12
6. アルマ 36:17
7. アルマ 36:18。「はっきりと浮かんできた」の原語「caught hold」という言葉は、モルモ

ン書のほかの箇所では「鉄の棒の端をつかんだ」人たちの描写で「つかんだ」(1 ニューフェイス 8:24, 30)と訳されています。

8. アルマ 36:19
9. アルマ 36:21
10. 「人生で最も大きな戦いは、あなた自身の心という静かな部屋で繰り広げられます。」(David O. McKay, in Conference Report, Apr. 1967, 84)
11. 「あらゆる行動は、思いから始まります。人の心は、行動をつかさどる配電盤、つまりコントロールパネルです。」(Boyd K. Packer, That All May be Edified [1982], 33)
オックス管長はこう教えています。「わたしたちは邪悪な欲望を抑えて、代わりに義にかなった望みを持つようにする必要があります。教育や習慣についてもそうです。ジョセフ・F・スミス大管長はこう述べています。『何を望むべきかを教えることが、……非常に大切な要素となります。』」(Dallin H. Oaks, Pure in Heart [1988], 149)
12. 「造り主の主を」『賛美歌』37 番
13. 「主イエスよ、わが胸」『賛美歌』80 番参照
14. 使徒 17:29
15. 教義と聖約 58:42 - 43 参照
16. 教義と聖約 14:7 参照
17. 「あなたの心の思いと志を知っている者は神のほかにだれもいない……。」(教義と聖約 6:16)
18. 「善人は良い心の倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。心からあふれ出ることを、口が語るものである。」(ルカ 6:45)
19. ラッセル・M・ネルソン「教会の正しい名称」『リアホナ』2018 年 11 月号, 87 - 89 参照
20. 毎週、聖餐の祈りで、わたしたちは「いつも御

子を覚え[る]」(モロナイ 4:3; 教義と聖約 20:77) ことを聖約します。モルモン書は、「覚えておきなさい」または「記憶にとどめ[なさい]」という言葉を重ねて使って(モーサヤ 2:41; アルマ 37:13; ヒラマン 5:9 参照)、覚えることを勧めています。霊的に覚えるには、聖霊の力が必要です。「聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう。」(ヨハネ 14:26)

21. ラッセル・M・ネルソン「彼に聞きなさい」『リアホナ』2020 年 5 月号, 90
22. ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリストの力を生活に取り入れる」『リアホナ』2017 年 5 月号, 41。ラッセル・M・ネルソン大管長は次のようにも言っています。「[末日聖徒]が感じる幸せは、生活の状況ではなく、生活の中で何に目を向けるかにかかっているのです。」(「喜び—霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016 年 11 月号, 81)



七十人
ケビン・R・ダンカン長老

喜びの声です！

神殿の建設は、預言者ジョセフ・スミス以降のすべての預言者にとって最優先事項のうちの一つとなっています。

「さて、わたしたちの受けた福音について、何を聞くでしょうか。喜びの声です〔！〕天からの憐れみの声、地からの真理の声……生者と死者のための喜びの声、胸躍る大いなる喜びのおとずれ。」¹

兄弟姉妹の皆さん、預言者ジョセフ・スミスからこの言葉を聞いて、満面の笑みを浮かべないことはほとんど不可能でしょう！

ジョセフの喜びに満ちた表現は、まさしく天の御父である神の偉大な幸福の計画によりもたらされる、あふれんばかりの喜びを捉えています。神は、「人が存在するのは喜びを得るためである」²と断言しておられるからです。

わたしたちは皆、前世で神の幸福の計画を聞いたときに、喜び呼ばわり³しました。そして、現世でも神の計画に従って生きることにより喜びの声を上げ続けています。しかし、この預言者の幸福の宣言が生まれた背景は正確にはどのようなものだったのでしょうか。何が、この深い感動をもたらしたのでしょうか。

預言者ジョセフ・スミスは、死者のためのバプテスマについて教えていました。これは実に輝かしい啓示であり、大きな喜びをもって受け入れられました。亡くなった、愛する人のためにバプテスマを受けることができるということを初めて知った教会員たちは喜びました。ウィルフォード・ウッドラフはこう述べています。「それを聞いた瞬間、わたしの魂は喜びで舞い上がりました！」⁴

主が明らかにし、回復しようとしておられる真理は、亡くなった、愛する人々のためのバプテスマだけではありませんでした。ほかに、神が御自分の息子や娘に与えたいときりに願っておられた賜物や贈り物がたくさんありました。

これらの賜物には、神権の権能、聖約と儀式、永続する結婚、神の家族の中で子供と両親を結び固めること、そして最終的に天の父なる神とその御子イエス・キリストの御前に戻るという祝福が含まれています。これらの祝福はすべて、イエス・キリストの贖罪により可能となったものです。

神はこれらを最高かつ最も神聖な祝福の一部と見なされたため、⁵御自分の子供たちにこれらの貴重な賜物を受けることのできる場所として、神聖な建物を建てるよう指示されました。⁶これらの建物は、地上における主の宮となります。これらの建物は、主の御名と言葉と権能によって地上で結び固められる、またはつながれることが、天でもつながれる神殿となります。⁷

今日の教会員として、わたしたちはこの輝かしい永遠の真理を当然のこととして受け止めてしまいがちです。わたしたちにとって、初めから明らかにされていた真理のようになっているのです。時々、これらの真理について初めて学ぶ人の観点から見ると、助けになることもあります。最近の経験を通して、わたしはこのことを目の当たりにしました。

昨年、日本東京神殿の再奉獻に先立ち、わたしたちとは異なる信仰を持つ多くの方が神殿の見学ツアーに参加しました。あるツアーに、ほかの宗教の思慮深い指導者がいました。わたしたちは招待





エクアドル

客の皆様は、天の御父の幸福の計画、その計画においてイエス・キリストが果たされる贖いの役割、そして結び固めの儀式によって家族が永遠に結ばれるという教義を伝えました。

ツアーの終わりに、わたしはその友人に今感じている気持ちを分かち合っていたくようお願いします。この善良な男性は、過去、現在、そして未来の家族をつなぐことについて、真摯な態度で尋ねてこられました。「あなたの教会の会員の皆さんは、この教義がどれほど深遠なものであるか、ほんとうに理解されていますか。」さらにこう付け加えました。「これは、これほどまでに分断されたこの世界を、一つにすることができる唯一の教えのうちの一つかもしれません。」

何と力強い見解でしょう。この男性は、単に神殿の精巧な造りに感動したのではなく、むしろ家族が天の御父とイエス・キリストと永遠に一致し、結び固められるという驚くべき深遠な教義に感動していたのです。⁸

わたしたちの信仰を持たない人でさえ、神殿で行われる事柄の荘厳さを認識する

ことがあるのです。それは驚くべきことではありません。わたしたちにとっては身近で当たり前になりかねない事柄でも、初めて聞いたり感じたりする人には、すばらしく荘厳に見えることがあります。

神殿は古くから存在していましたが、イエス・キリストの福音の回復により、神殿の建設は、預言者ジョセフ・スミス以降のすべての預言者にとって最優先事項のうちの一つになっています。その理由を理解するのは簡単です。

預言者ジョセフは死者のためのバプテスマについて教える中で、もう一つの偉大な真理を明らかにしました。こう教えました。「わたしはあなたがたに断言します。これらは死者と生者に関する原則であり、わたしたちの救いに関して軽々しく見過ごすことのできないものです。彼らの救いはわたしたちの救いにとって必要であり、不可欠だからです。……わたしたちなしには彼らが完全な者とされることはな[く]……わたしたちの死者なしには、わたしたちも完全な者とされることはないのです。」⁹

御覧のとおり、神殿や、生者と死者のた

めに行われる業の必要性は非常に明確です。

サタンは警戒しています。敵対する者の力は神殿で行われる儀式や聖約によって脅かされるため、できる限りのことをしてその業を止めようとしてきます。なぜでしょうか。それは、この聖なる業を通してもたらされる力を知っているからです。それぞれ新しい神殿が奉献されるとき、イエス・キリストの救いの力は、サタンの働きに対抗するために世界中に広がり、キリストのもとに来るときにわたしたちを贖います。神殿や聖約を守る人々の数が増えれば、サタンは弱まります。

教会の初期の時代には、新しい神殿が発表されると心配する人がいました。「わたしたちが神殿の建築を始めると、必ず地獄の鐘が鳴り始める」と言うのです。しかし、プリガム・ヤングは勇敢にもこう切り返しています。「それならばわたしは地獄の鐘が鳴るのをもう一度聞きたいと思います。」¹⁰

この死すべき人生において、わたしたちはその闘いから逃れることはできませんが、敵に打ち勝つ力を持つことはできます。その力と強さは、神殿の聖約を交わし、守るときに、イエス・キリストによりもたらされます。

ラッセル・M・ネルソン大管長はこう教えています。「主に従わない人々が従う人々から切り離される時が来ています。わたしたちを守る最も安全な手段は、主の聖なる宮に参入する資格を維持することです。」¹¹

神が預言者を通してわたしたちに約束された祝福をさらに幾つか紹介します。

奇跡が必要ですか。預言者はこう述べました。「わたしは皆さんに約束します。皆さんが犠牲を払って主の神殿で奉仕し礼拝するとき、主は、皆さんに必要なだと知っておられる奇跡を起こしてくださいませ。」¹²

救い主イエス・キリストの癒しと強さを



もたらず力が必要ですか。ネルソン大管長は、こう保証しています。「神殿で……教えられるすべてのことは、イエス・キリストに対する理解を深めてくれます。……そして、わたしたちが聖約を守るならば、主はわたしたちを癒し強める主の力を授けてくださいます。ああ、これから先、何と主の力が必要なことでしょう。」¹³

イエス・キリストが勝利を見据えてエルサレムへの入城を果たされた最初のしゅろの日曜日、イエス・キリストの弟子たちから成る群衆は喜びあふれ、「みな喜んで、……声高らかに神をさんびして言いはじめ〔まし〕た、『主の御名によってきたる王に、祝福あれ。』」¹⁴

1836年のしゅろの日曜日にカートランド神殿が奉献されたのは、何とふさわしいタイミングだったことでしょう。そのときにもイエス・キリストの弟子たちは喜んでいました。奉献の祈りで、預言者ジョセフ・スミスは以下の賛美の言葉を宣言しました。

「おお、全能の主なる神よ、わたしたちのこれらの願いを聞き、あなたが栄光、誉れ、力、尊厳、威勢……をもって……御座に着いておられる……天からわたしたちにおこたえください。……」

あなたの御霊の力によってわたしたちを助けて、わたしたちがあなたの御座の周りの光り輝くセラフたちと声を合わせ、『神と小羊に、ホサナ』と歌いながら賛美の叫び声を上げられるようにしてください。

……あなたの聖徒たちを声高らかに喜び呼ばわらせてください。」¹⁵

兄弟姉妹の皆さん、今日このしゅろの日曜日に、イエス・キリストの弟子として聖なる神を賛美し、わたしたちに対する神の慈しみを喜びましょう。「わたしたちの受けた福音について、何を聞くでしょうか。」実にそれは「喜びの声です〔!〕」¹⁶

皆さんが主の聖なる宮に参入するときに、ますます喜びを感じられると証します。また、主が持つておられる喜びを皆さんが経験できるということを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。

注

1. 教義と聖約 128 : 19
2. 2 ニーファイ 2 : 25。イザヤ 55 : 12 も参照
3. ヨブ 38 : 7 参照
4. Wilford Woodruff, "Remarks," *Deseret News*, May 27, 1857, 91; punctuation modernized.
5. 教義と聖約 14 : 7 参照
6. 教義と聖約 124 : 39 参照
7. 教義と聖約 132 : 45 - 46 参照
8. ジョセフ・F・スミス大管長はこう教えています。「親と子、子と親が一つとなって、神の家族の鎖のすべてが一本の鎖としてつながり、神とキリストの家族とならなければならないのです。」(『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』411)
9. 教義と聖約 128 : 15
10. 『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』300
11. ラッセル・M・ネルソン「教会の将来：救い主の再臨に世を備える」『リアホナ』2020年

4月号、9

12. ラッセル・M・ネルソン「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018年11月号、113
13. ラッセル・M・ネルソン「神殿とあなたの霊的な基」『リアホナ』2021年11月号、93 - 94
14. ルカ 19 : 37 - 38
15. 教義と聖約 109 : 77, 79 - 80
16. 教義と聖約 128 : 19





末日聖徒イエス・キリスト教会大管長
ラッセル・M・ネルソン大管長

平和をつくり出す人が 必要です

皆さんには選択の自由があり、争いを選ぶことも、和解を選ぶこともできます。どうか、今も、そしていつも、平和をつくり出す人になることを選んでください。

愛する兄弟姉妹の皆さん、皆さんと御一緒できることをうれしく思います。この半年間、常に皆さんのことを思い、祈ってきました。これからわたしが話すときに、主が皆さんに聞いてほしいと望んでおられることを聖霊が伝えてくださるよう祈ります。

何年も前、外科の研修期間中に、感染力の高い壊疽が至る所にある脚を切断する外科医の助手を務めたことがあります。大変な手術でした。さらに、緊張に拍車をかけたのは、チームの一人が作業をうまく行えず、執刀医が怒りを爆発させたことでした。かんしゃくを起こした彼は、病原菌にまみれたメスを放り投げ、それがわたしの腕に落ちたのです！

取り乱した外科医以外の手術室にいた全員が、外科手術の常識に反するこの危険な行為におびえました。幸い、わたしは感染せずに済みました。しかし、この出来事から受けた衝撃は今でも残っています。まさにそのときわたしは、自分の手術室で何が起ころうとも、決して自制心を失うまいと自分に誓ったのです。またその日、メスであろうと、言葉であろうと、怒りに任せて何かを投げることは決してするまいと誓いました。

何十年もたった今でもわたしは考えるのですが、わたしの腕に落ちたあの汚染されたメスよりもよほど有害なのは、今日の市民活動に関する対話や、あまりにも多くの個人的な人間関係を浸食する、毒の

ある論争なのではないでしょうか。礼節や良識は、二極化と激しい対立のこの時代に姿を消してしまったかのようです。

下品な言動や人のあら探し、悪口が、すべて日常的になりすぎています。あまりにも多くの評論家や政治家、芸能人など、影響力の強い人たちが、絶えず無礼な言葉を投げつけています。わたしが深く懸念していることは、あまりにも多くの人々が、自分と意見の異なるあらゆる人を、非難し、中傷し、けなしても何らかまわらないと思込んでいるように見えることです。多くの人々が、痛ましいとげのある言葉で人の評判を損なおうとしているように思えます。

怒りで人を説得することはできません。敵意はだれの益にもなりません。論争が靈感された解決につながることは決してないのです。残念ながら、教会の中でさえ、論争を引き起こす行為が見られることがあります。伴侶や子供を軽視したり、怒りを爆発させることによってほかの人を自分の意に従わせようとしたり、家族に「無視」という仕打ちをししたりする人たちがいる、と聞いています。また、いじめを行う青少年や子供たち、同僚を中傷する従業員の話も耳にしています。

愛する兄弟姉妹の皆さん、そのようなことがあってはなりません。イエス・キリストの弟子として、わたしたちは、人との接し方の手本とならなければなりません。意見の相違がある場合には、特にそうです。イエス・キリストに真に従う者を見分ける最も簡単な方法の一つは、その人がどれくらい思いやりを持って人に接しているかを見ることです。

救い主はこのことを、両半球の弟子たちへの説教の中で明らかにされています。「平和をつくり出す人たちは、さいわいである」¹と言われました。「もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。」²そして、言うまでもなく、次のことをするよう求める勧告をお与えになりました。「敵を愛し、あなた



南アフリカ



がたをのろう者を祝福し、あなたがたを憎む者に親切にせよ。あなたがたを不当に扱い迫害する者のために祈れ。」³

亡くなる前に、救い主は御自分が弟子たちを愛したように互いに愛し合うようにと、十二使徒たちにお命じになりました。⁴そしてこう付け加えておられます。「互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。」⁵

救い主のメッセージは明快です。主の真の弟子は、どれほど困難な状況にあろうとも、人を育て、高め、励まし、説得し、鼓舞するということです。イエス・キリストの真の弟子は、平和をつくり出す人です。⁶

今日はしゅろの日曜日です。わたしたちは、地上でこれまで記録されてきた中で最も重要で卓越した出来事、すなわち主イエス・

キリストの贖罪と復活を祝う備えをしています。救い主をたたえる最善の方法のうちの一つは、平和をつくり出す人になることです。⁷

救い主の贖罪は、わたしたちが争いを含むすべての悪に打ち勝つことを可能にしました。間違わないでください。争いは確かに悪です！ イエス・キリストは、「争いの心を持つ者」は主につく者ではなく、「争いの父である悪魔」につく者であると断言されました。「悪魔は互いに怒って争うように人々の心をあおり立てる」⁸とっておられます。争いを助長する人は、気づいているかいないかにかかわらず、サタンと同じ術を使っているのです。「だけれども、二人の主人に兼ね仕えることはできません。』」⁹言葉による攻撃をしてサタンの肩を持ちながら、自分はまだ神に仕えることができると思うことはできません。

愛する兄弟姉妹の皆さん、人との接し方は実に大切です！ 家庭や教会、職場、オンラインでだれかと話す態度やだれかについて話すときの態度は、ほんとうに大切なのです。今日、皆さんにお願いします。より高く、より神聖な方法で人と交流してください。よく耳を傾けてください。だれかについて「どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば」、¹⁰面と向かって言うか、相手のいない所で言うかにかかわらず、それを言うことがわたしたちの会話の標準となるべきです。

同じワードの夫婦が離婚したり、若い宣教師が早期帰還したり、10代の若者が自分の証に疑問を抱いたりしても、彼らは皆さんからの裁きを必要としてはいません。彼らは、皆さんの言動に表れる、イエス・キリス



わたしの二人の高潔な顧問は慈愛に満たされているので、わたしたちは主の御霊の導きを受けながら議論することができます。

トの純粋な愛を味わう必要があるのです。

たとえソーシャルメディア上の友達があなたの信じていることをすべて真っ向から否定するような、強い政治的、あるいは社会的な見解を持っていたとしても、あなたの怒りに任せた痛烈な反論は役に立ちません。理解の橋を架けるには、それ以上のあなたの努力が必要ですが、それこそがその友達には必要なのです。

争いは御霊を遠ざけます。いつでもそうです。争いは、衝突することこそが意見の相違を解決する方法だという誤った考え方を助長しますが、決してそうではありません。争いは選択です。平和をつくり出すことも選択です。皆さんには選択の自由があり、争いを選ぶことも、和解を選ぶこともできます。どうか、今も、そしていつも、平和をつくり出す人になることを選んでください。¹¹

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは、一人ずつ、一つの会話ごとに、文字どおり世界を変えることができます。どのようにして変えられるのでしょうか。率直な意見の

相違は互いへの敬意と品格のある会話によって対処できることを示すことによって、世界を変えるのです。

意見の相違は人生に付いて回ります。わたしは毎日主の献身的な僕たちとともに働いていますが、彼らは必ずしも問題に対して同じ見方をしているわけではありません。しかし、話し合うすべての事柄についてわたしが彼らの意見や率直な気持ちを聞きたいと思っていることを、彼らは理解しています。慎重に扱うべき問題については、特にそうです。

わたしの二人の高潔な顧問、ダリン・H・オークス管長とヘンリー・B・アイリング管長は、特に意見の相違があるときに、自分の気持ちを伝える方法の手法を見せてくれます。相手に対する純粋な愛をもってそれをしてくれるのです。二人とも、ほかのだれよりも自分の方がよく分かっているのだから自分の立場を徹底的に擁護しなければならない、という態度を取ることはありません。相手と競う素

振りも見せません。それぞれが慈愛、すなわち「キリストの純粋な愛」¹²で満たされているため、主の御霊の導きを受けながら議論することができます。わたしはこの二人のすばらしい男性を、とても愛し、尊敬しています。

慈愛は争いの解毒剤です。慈愛は、利己的で自分を守ろうとし、高慢で嫉妬深い生まれながらの人を捨てることができるようにしてくれる、霊的な賜物です。慈愛は、イエス・キリストに真に従う者が持つ主要な特徴です。¹³ 慈愛は平和をつくり出す人の特徴です。

神の前にへりくだり、心を尽くして祈るときに、神は慈愛を与えてくださいます。¹⁴

祝福されてこの天からの賜物を持っている人は、長く堪え忍び、親切です。人をねたまず、尊大ではありません。容易に怒らず、人のことを悪く考えません。¹⁵

兄弟姉妹の皆さん、キリストの純粋な愛は、現代のわたしたちを悩ます争いに対する答えです。慈愛は、重荷を負わせ

合うのではなく、「互いに重荷を負い合う」¹⁶よう駆り立てます。キリストの純粋な愛があると、特に緊迫した場面で、「永遠の命を得られるように、いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、……神の証人になる」¹⁷ことができるようになります。慈愛があると、特に攻撃にさらされているときに、キリストに従う人がどのように語り、行動するかを示すことができるようになります。

ここで言う平和は、「宥和」¹⁸とは異なります。聖餐を取るときに交わす聖約を守ることに矛盾しない方法で人と接するということです。聖餐では、いつも救い主を覚えると聖約します。きわめて緊迫していて論争が激しい状況では、皆さんに、イエス・キリストのことを思い出すようお招きします。イエスが言われるであろうことを言い、なさるであろうことを行う勇氣と知恵を、祈り求めてください。平和の君に従うときに、わたしたちは主の平和をつくり出す人になることができます。

この時点で、このメッセージが自分の知っているだけかにとっても役立つのではないかと考えている人がいるかもしれません。このメッセージを聞いて、その人が自分にもっと優しくなってくればいいのにと思っているのかもしれませんが。そうなることを願います！しかし、もう一つお願いしたいことがあります。わたしは皆さんに、自分自身の心の奥底を見詰めて、自分が平和をつくり出す人になるのを妨げている高慢やねたみが、かけらでもありはしないか、探ってもらいたいのです。¹⁹

イスラエルの集合を助け、永遠にわたって続く人間関係を築こうと真剣に思っているならば、今こそ敵意を捨てるときです。今こそ自分の方法に固執するのをやめるときです。今こそ皆さんの気分を害することを恐れさせ、相手に気を遣わせるようなことをやめるときです。今こそ戦いの武器を地に埋めるときです。²⁰もし、普段使っている言葉の中に人を侮辱する言葉や非難

する言葉がたくさんあるなら、今こそそれを捨てるときです。²¹霊的に強い、キリストに従う者として立ち上がりましょう。

神殿は、そのための助けとなります。神殿で、わたしたちは神の力を授けられ、すべての争いの扇動者であるサタンに打ち勝つ能力を頂きます。²²人間関係からサタンを追い出してください！誤解を解き、腹を立てるのをやめるときはいつもサタンを懲らしめているのだということも覚えておいてください。わたしたちは、イエス・キリストに真に従う者に特有の深い憐れみを示すことができます。平和をつくり出す人には、サタンの付け入る余地はありません。

わたしたちが一つの民として、丘の上の真の光、つまり「隠れることができない」²³光になれるように。平和的で相手を尊重しながら複雑な問題を解決する方法があり、意見の相違に対処する見識ある方法があるということを示そうではありませんか。イエス・キリストに真に従う者の慈愛を皆さんが示すならば、主は皆さんのその働きを、想像できないほど大いなるものにしてくださるでしょう。

福音のネットワークは世界最大のもので、神は、「黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も」²⁴すべての人を御自分のもとに来るよう招いておられます。すべての人のために場所が用意されています。しかし、あらゆる種類の偏見や非難、争いの入る余地はまったくありません。

愛する兄弟姉妹の皆さん、ほかの人を成長させることに人生を費やす人には、やがて最善のものが授けられます。今日わたしは、皆さんに、人との接し方という観点から弟子としての自分の生き方を吟味するようお招きします。必要に応じて改善して、皆さんの行いが、人を高め、敬意に満ちた、イエス・キリストの真の弟子を代表するようなものになるよう祝福します。

けんか腰の態度を嘆願に、敵意を理解に、争いを平安に代えられるよう皆さんを祝福します。

神は生きておられます。イエスはキリストであり、この教会の頭であられます。わたしたちは主の僕です。主はわたしたちが平和をつくり出す者になれるよう助けてくださいます。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します。アーメン。■

注

1. マタイ 5:9。3 ニーファイ 12:9も参照。救い主は、平和をつくり出す者たちは「神の子と呼ばれる」であろうと約束されています。
2. マタイ 5:39。3 ニーファイ 12:39も参照
3. 欽定訳[英文] マタイ 5:44から和訳。3 ニーファイ 12:44も参照
4. ヨハネ 13:34 参照
5. ヨハネ 13:35
6. モロナイ 7:3-4 参照
7. モーサヤ 3:19 参照
8. 3 ニーファイ 11:29。啓示者ヨハネは、悪魔が「激しい怒りをもって」(黙示 12:12) 地上に来るのを示現で見ました。
9. 3 ニーファイ 13:24
10. 信仰簡条 1:13
11. モロナイ 7:3-4 参照
12. モロナイ 7:47
13. モロナイ 7:48 参照
14. モロナイ 7:48 参照
15. モロナイ 7:45。1 コリント 13:4-5も参照
16. モーサヤ 18:8
17. モーサヤ 18:9
18. 平和をつくり出す人になるために、人の考えや信念に同意する必要はありません。
19. ヒラマン 3:33-36 参照
20. アルマ 24:19; 25:14 参照
21. 1 コリント 13:11 参照
22. 教義と聖約 109:22, 26 参照
23. 3 ニーファイ 12:14
24. 2 ニーファイ 26:33



ウルグアイ



大管長会第一顧問
ダリン・H・オックス管長

イエス・キリストの 教え

**わたしたちには、人生の指針となる聖文が与えられています。
今日わたしは、救い主の言葉、すなわち主が語られたことを抜粋してお伝えします。**

わたしたちはキリストを信じています。また、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、わたしたちは主を礼拝し、聖文にある主の教えに従っています。

墮落前、天の御父はアダムとエバに直接語りかけておられました。その後、御父は御自身の独り子であるイエス・キリストをわたしたちの救い主、贖い主として紹介し、「彼に聞きなさい」¹と命じられました。この指示から、聖文に記録されている「神」や「主」が語られた言葉のほとんどは、復活された主イエス・キリストであるエホバの言葉であったと結論づけられます。²

わたしたちには、人生の指針となる聖文が与えられています。預言者ニーファイはこう教えています。「キリストの言葉をよく味わうように〔しなさい〕。見よ、キリストの言葉はあなたがたがなすべきことをすべて告げるからである。』³ イエスの現世での務めを伝える聖文のほとんどは、イエスが行われたことを記述したものです。今日わたしは、救い主の言葉、すなわち主が語られたことを抜粋してお伝えします。これらは、新約聖書（ジョセフ・スミスが靈感によって付け加えた部分も含む）やモルモン書に記録されている言葉です。抜粋した聖句のほとんどは、救い主が語られた順序に従って紹介していきます。



「よくよくあなたに言うておく。だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。」⁴

「義に飢え渴いている人々は……幸いである。彼らは聖霊に満たされるからである。」⁵

「平和をつくり出す人たちは、さいわいである。彼らは神の子と呼ばれるであろう。」⁶

「『姦淫するな』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

しかし、わたしはあなたがたに言う。

だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。』⁷

「『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、あなたがたをのろう者を祝福し、あなたがたを憎む者に善をなし、あなたがたを不当に扱い迫害する者のために祈りなさい。

こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも、良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。』⁸

「もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。

もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。』⁹

「もしあなたがたがこの世から出たものであったなら、この世は、あなたがたを自分のものとして愛したであろう。しかし、あなたがたはこの世のものではない。かえって、わたしがあなたがたをこの世から選び出したのである。だから、この世はあなたがたを憎むのである。』¹⁰

「だから、この世のものを求めないで、まず、神の王国を築き、神の義を打ち立てることを求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて添えて与えられるであろう。』¹¹

「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。』¹²

「にせ預言者を警戒せよ。彼らは、羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである。

あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集める者があるか。

そのように、すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。』¹³



「わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。』¹⁴

「すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。』¹⁵

「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。

ところで、人が自分の十字架を負うとは、すべての不信心とあらゆる世の欲を捨て、わたしの戒めを守ることである。』¹⁶

「だから、世を捨てて、自分の命を救いなさい。全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得になろうか。人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができようか。』¹⁷

「神のみこころを行おうと思う者であれば、だれでも、わたしの語っているこの教が神からのものか、それとも、わたし自身

から出たものか、わかるであろう。』¹⁸

「そこでわたしはあなたがたに言う。求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。』¹⁹

「わたしにはまた、この囲いにいない他の羊がある。わたしは彼らをも導かねばならない。彼らも、わたしの声に聞き従うであろう。そして、ついに一つの群れ、ひとりの羊飼となるであろう。』²⁰

「イエスは彼女に言われた、『わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。

また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。』²¹

「〔律法において大切な戒めとはこれである。〕『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。』

これがいちばん大切な、第一のいましめである。

第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。』

これらの二つのいましめに、律法全体と預言者とが、かかっている。』²²

「わたしのいましめを心にいだいてこれを守る者は、わたしを愛する者である。わたしを愛する者は、わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、その人にわたし自身をあらわすであろう。』²³

「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。』²⁴

「わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。』²⁵

「わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしなのだ。さわって見なさい。霊には肉や骨はないが、あなたがたが見るとおり、わたしにはあるのだ。』²⁶

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、

あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。』²⁷

聖地で教導の業を行われた後、イエスキリストはアメリカ大陸の義にかなった人々に御姿を現されました。主がその地

で語られた言葉の一部を紹介します。

「見よ、わたしは神の子イエス・キリストである。わたしは天地とそこにある万物を創造した。わたしは初めから父とともにいた。わたしは父におり、父はわたしにおられる。そして、わたしによって父は御名に栄光を受けられた。」²⁸

「わたしは世の光であり命である。わたしはアルパでありオメガであり、初めてあり終わりである。

あなたがたは、もはや血を流すことをわたしへのささげ物としてはならない。あなたがたの犠牲と燔祭は取りやめなさい。わたしはこれから、あなたがたの犠牲と燔祭を受け入れないからである。

あなたがたは打ち砕かれた心と悔いる霊を、犠牲としてわたしにささげなさい。打ち砕かれた心と悔いる霊をもってわたしのもつて来る者に、わたしは……火と聖霊によってバプテスマを授けよう。……

見よ、わたしは、世に贖いをもたらし、世の人々を罪から救うために世に来た。」²⁹

「もう一度あなたがたに言う。あなたがたは悔い改め、わたしの名によってバプテスマを受け、幼子のようにならなければならない。そうしなければ、あなたがたは決して神の王国を受け継ぐことができない。」³⁰

「わたしや天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたがたも完



ブルトリコ

全になることを、わたしは望んでいる。」³¹

「まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは悪魔に誘惑されないように、また悪魔に捕らえられないように、常に目を覚ましていて祈らなくてはならない。」³²

「だからあなたがたは、わたしの名によって常に父に祈らなければならない。」³³

「だから、あなたがたが行うことは何事

でも、わたしの名によって行いなさい。あなたがたは教会をわたしの名で呼びなさい。」³⁴

「見よ、わたしはあなたがたに、わたしの福音について告げた。わたしがあなたがたに告げた福音とは、次のとおりである。すなわち、父がわたしを遣わされたので、わたしは父の御心を行うために世に来た。

父は、わたしが十字架に上げられるようにと、わたしを遣わされた。十字架に上げられた後で、わたしはすべての人をわたしのもつて引き寄せた。……自分の行いが善いか悪いかによって、行いを裁かれるのである。」³⁵

「さて、戒めは次のとおりである。地の果てに至るすべての者よ、悔い改めて、わたしのもつて来て、わたしの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊を受けて聖められ、終わりの日にわたしの前に染みのない状態で立てるであろう。」³⁶

わたしたちはキリストを信じています。最後に、わたしたちがどのように主の教え



ポーランド



十二使徒定員会会長代理
M・ラッセル・バラード会長

を知り、従うべきなのか、主が語られたことを紹介します。

「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう。」³⁷

これらの教えが真実であることを、イエス・キリストの御名により断言します。アーメン。■

注

1. ジョセフ・スミス訳マタイ 3:46 (「ジョセフ・スミス訳付録」); マタイ 17:5; マルコ 9:7; 3 ニーファイ 11:7; ジョセフ・スミス—歴史 1:17 参照
2. See "The Father and the Son: A Doctrinal Exposition by the First Presidency and the Twelve," June 30, 1916, *Improvement Era*, Aug. 1916, 934, 939
3. 2 ニーファイ 32:3
4. ヨハネ 3:5
5. 3 ニーファイ 12:6; 強調付加
6. マタイ 5:9
7. マタイ 5:27-28
8. マタイ 5:43-45 参照
9. マタイ 6:14-15
10. ヨハネ 15:19
11. ジョセフ・スミス訳マタイ 6:38 (「ジョセフ・スミス訳付録」)
12. マタイ 7:12
13. マタイ 7:15-17
14. マタイ 7:21
15. マタイ 11:28-30
16. ジョセフ・スミス訳マタイ 16:25-26 (「ジョセフ・スミス訳付録」)
17. ジョセフ・スミス訳マタイ 16:29 (「ジョセフ・スミス訳付録」)
18. ヨハネ 7:17
19. ルカ 11:9-10
20. ヨハネ 10:16
21. ヨハネ 11:25-26
22. マタイ 22:37-40
23. ヨハネ 14:21
24. ヨハネ 14:27
25. ヨハネ 15:12
26. ルカ 24:39
27. マタイ 28:19-20
28. 3 ニーファイ 9:15
29. 3 ニーファイ 9:18-21
30. 3 ニーファイ 11:38
31. 3 ニーファイ 12:48; 強調付加
32. 3 ニーファイ 18:15; 強調付加
33. 3 ニーファイ 18:19
34. 3 ニーファイ 27:7
35. 3 ニーファイ 27:13-14
36. 3 ニーファイ 27:20
37. ヨハネ 14:26

最も大切なことを覚えておく

最も大切なことは、天の御父とその愛する御子との関係、自分の家族と隣人との関係、そして、御霊に導いていただくことです。

この週末、救い主が贖いの犠牲をささげる前に行われた勝利のエルサレムの入城を思い起こし、救い主の希望と慰めの言葉が頭に浮かんできます。「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。」¹

わたしは主を愛しています。主を信じています。主がよみがえりであり、命であられることを、わたしは証します。

この証は、妻のバーバラが亡くなってからの4年半、わたしにとって慰めとなり、力となってきました。妻を恋しく思います。

妻との永遠の結婚や、妻との生活について何度も考えてきました。

わたしは以前に、妻と初めて会ったときのことや、そのときに伝道で身につけた「フォローアップ」の技術を使うことを学んだことを話したことがあります。妻と出会ってからすぐにフォローアップをしなければなりません。妻は美人で人気者で、予定がいっぱいだったからです。愛想がよく親しみやすかった彼女に、わたしはすぐに夢中になりました。彼女の善良さに引かれました。彼女と自分はお似合いだと、わたしは思いました。単純にそう思ったのです。

バーバラとわたしはデートを重ねて仲良くなっていきましたが、バーバラにはわたしと結婚してよいのか確信がありません



でした。

わたしに確信があるだけではだめで、バーバラが自分で確信を得る必要があったのです。二人で断食してこれについて祈ればバーバラは天からの確証を得るだろうと、わたしは思いました。

ある週末、わたしたちはデートをせず、各々が自分で知ることができるように、個別に断食しました。ありがたいことに、彼女はわたしが受けたのと同じ確信を受けたのです。その後どうなったかは、御存じのとおりです。

バーバラが亡くなったとき、子供たちはバーバラから覚えておきなさいと言われた幾つかの教訓を墓石に刻みました。そのうちの一つは、「最も大切なものが最も長く残る」という教訓です。

今日わたしは、最も大切だと思うことを、幾つか心を込めて話したいと思います。

第一に、天の御父と、その御子であるイエス・キリストとの関係が、最も大切です。この関係は、この世でも永遠の世でも、最も大切です。

第二に、家族との関係は最も大切なものの一つです。

わたしは使徒の召しを果たす中で、自

然災害の被害に遭った大勢の個人や家族に会ってきました。多くの人が家を失い、おなかを空かせ、おびえていました。医療や食べ物、住む場所が必要でした。

彼らには、家族も必要でした。

身近な家族がいない人もいるので、ここでは親族や友人、ワードという家族も「家族」に含めます。このような人たちとの関係は、心身の健康に欠かせません。

その人たちがいるから愛や喜び、居場所があるととってもよいでしょう。

この大切な人たちとの関係を育むことは、一つの選択です。家族の一員となることを選ぶからには、固い決意と愛、忍耐、意思の疎通、赦しがなければなりません。² 他の人に賛同できないこともあるかもしれませんが、相手を不快にさせない方法で反対意見を伝えることができます。わたしたちは、結婚を前提とした交際をしたり、結婚生活を送ったりする中で、チェスの駒が動かされるかのように、だれかの手によって恋に落ちたり失恋したりするわけではありません。愛し、支え合うことを選んでいなのです。これは、伴侶以外の家族や、家族同然の友人との関係でも同じです。

家族の宣言にはこうあります。「神の

幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。聖なる神殿において得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなることを可能にするのです。」³

最も大切なもう一つのことは、御霊の促しに従うことです。最も大切な人間関係の中でも、自分を愛するように隣り人を愛する努力をする中でも、公私にわたるミニスターリングでも、御霊に従ってください。わたしはこの教訓を、人生の早い時期に、ビショップを務めていたときに学びました。

雪の降る寒い冬の日のことです。わたしは、夜遅くビショップ室を出ようとする時、夫を亡くしているワードの高齢の女性を訪問するべきだと強く感じました。腕時計をちらりと見ると、午後10時です。そういう女性を訪問するには遅すぎる、とわたしは考えました。しかも、雪が降っています。こんなに遅い時間は迷惑だから、この愛する姉妹を訪問するのは明日の朝いちばんにしようかと決め、車を運転して家に帰り、ベッドに入りました。しかし、御霊がずっと働きかけたので、一晩中眠れませんでした。

翌朝早く、わたしは車で真っ先にその姉妹の家に向かいました。玄関に出たのはその姉妹のお嬢さんで、涙を流しながらこう言ったのです。「ああビショップ、来てくださってありがとうございます。母が2時間前に亡くなりました。」一わたしは打ちのめされました。そのときの気持ちは決して忘れません。涙が流れました。夫に先立たれたこの愛する姉妹ほど、ビショップから手を取って慰めてもらい、最後の祝福をしてもらうべき人が、ほかにいたでしょうか。わたしがその機会を失ったのは、理屈で考えて、御霊の強い促しを払いのけてしまったからなのです。⁴

兄弟姉妹の皆さん、若い男性・女性の皆さん、初等協会の子供たち、わたしは証



ブラジル



ウルグアイ

します。御霊の促しに従うことは、あらゆる人間関係において最も大切なことの一つです。

最後に、このしゅろの日曜日の週末に、わたしは証します。主に改心して主について証を述べ、主に仕えることも、最も大切なことの中に含まれます。

イエス・キリストを信じる信仰が、わたしたちの証の根底にあります。証とは、聖霊によって人の心と霊に焼き付けられる永遠の真理の証明であり、確証です。イエス・キリストについての証は、御霊によって生まれ、御霊によって強くなり、人生を変えます。人の考え方や生き方を変えるのです。証があると、人は天の御父と聖なる御子に心を向けるようになります。

アルマはこう教えています。

「見よ、わたしは、自分が語ってきたこれらのことが真実であることを知っている。あなたがたは、わたしがどのようにしてこれらのことが確かであるのを知ったと思うか。

見よ、わたしはあなたがたに言う。これらのことは、神の聖なる御霊によってわたしに知らされているのである。見よ、わたしは自分でこれらのことを知ることができるように、幾日もの間、断食をして祈ってきた。そして、これらのことが真実であることを、わたしは今、自分自身で知っている。主なる神が神の聖なる御霊に

よってこれらのことをわたしに明らかにされたからである。」⁵

証があるだけで十分というわけではありません。イエス・キリストへの改心が深まるにつれ、当然のことながら、わたしたちはイエスのことを証したくなります。イエスの善良さと愛、思いやりについて証したくなるのです。

断食安息日の証会では、「感謝しています」「愛しています」という言葉の方が、「知っています」「信じています」という言葉よりもよく聞きます。

もっと頻繁にイエス・キリストについて証するよう、皆さんをお招きします。感謝していることだけでなく、知っていることや信じていること、感じていることについて、証を述べるのです。救い主を知って愛するようになった経験や、救い主の教えを实践したこと、救い主の贖いの力と人に能力を授ける力を身をもって知ったときのことを、証してください。知っていることや信じていること、感じていることを証するならば、その証にじっと耳を傾けている人に、それが真実であることを聖霊が証されるでしょう。その証に彼らが聞き入るのは、証をしているあなたがイエス・キリストに穏やかに従う者になるのを見てきたからです。彼らはイエスの弟子となることの意味を知るでしょう。また、それまでに感じたことのないような気持ちを感じる

でしょう。心が変化した人の語る純粋な証は、心を開いてそれを受け入れようとする人に、聖霊の力によって選ばれていきます。

あなたの証を聞いて何かを感じた人は、それが真実かどうか祈って主に尋ねるかもしれません。そしてその人は、自分で知ることができるのです。

兄弟姉妹の皆さん、わたしは皆さんに証します。イエス・キリストが世の救い主、贖い主であられることを、わたしは知っています。主は生きておられます。主は神の復活された御子であり、この教会は、主の預言者と使徒によって導かれる主の教会です。いつの日かわたしがこの世を去って次の世に行くときに、赤々と燃える証を持っていくことができるようにと祈ります。

わたしが使徒の召しを果たす中で最も大切なことであると分かったのは、天の御父とその愛する御子との関係であり、自分の家族と隣人との関係です。そして、その関係を主の御霊に導いていただけるようにして、最も大切に、最も長く残るものについて証できるようにすることが、大切なのです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ヨハネ 11:25
2. 「福音ライブラリー」(ChurchofJesusChrist.orgもしくは携帯用アプリ)の「福音トピックス」にある「家族」「一致」「愛」という記事を参照して、このテーマに関する聖句や、預言者・使徒・他の教会指導者の話を読んでください。
3. 「家族—世界への宣言」, ChurchofJesusChrist.org
4. An account of this experience is in Susan Easton Black and Joseph Walker, *Anxiously Engaged: A Biography of M. Russell Ballard* (2021), 90-91.
5. アルマ 5:45-46



十二使徒定員会
ロナルド・A・ラズバンド長老

いと高き神に、ホサナ

イエス・キリストのエルサレムへの勝利の入城とその次の週の出来事は、わたしたちが今日の生活に当てはめることのできる教義の良い例となっています。

すでにお聞きになっているように、本日はしゅろの日曜日で、わたしたちは世界中のクリスチャンとともに、イエス・キリストを称えています。およそ2,000年前のしゅろの日曜日に、イエス・キリストの地上での務めの最後の1週間が幕を開けました。それは、人類史上最も重要な1週間でした。

一連の出来事は、イエスが約束されたメシヤであると人々が喜び告げ知らせる中、主がエルサレムへ勝利の入城をされたことに始まり、主の十字架へのはりつけと復活で幕を閉じました。¹ 神の計画により、主の贖いの犠牲を通して、主の地上の務めは終わりを迎え、わたしたちは永遠に天の御父とともに暮らせるようになりました。



聖文には、その週の始めに群衆がエルサレムの町の門に立って「ガリラヤのナザレから出た預言者イエス」²を見ていた、と記されています。人々は「しゅろの枝を手にとり、迎えに出て行った。そして叫んだ、『ホサナ、主の御名によってきたる者に祝福あれ、イスラエルの王に。』」³

はるか昔に書かれた、この聖典の話を読むとき、ガーナのタコラディで教会の割り当てを果たしたときのことを思い出します。くしくも、わたしがそこにいたのはしゅろの日曜日でした。

その目的は、ガーナ・タコラディステークを分割して、ガーナ・ムピンツィンステークを組織することでした。今日、ガーナには10万人以上の教会員がいます。⁴ (ガーナのアクラより、ガ族王、ニー・タキ・テイコ・ツル2世閣下が本日この会場にいらしています。) その聖徒たちと会ったときに、わたしは主に対する彼らの深い愛と献身を感じました。わたしは彼らへの心からの愛を伝え、大管長も彼らを愛していると伝えました。そして、ヨハネが記した、救い主の言葉を引用しました。「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。」⁵ 会員たちはそれを大会のテーマだと捉えました。⁶

礼拝堂にいる愛する兄弟姉妹とその家族の姿を見ていると、彼らの顔にイエス・キリストに対する証と信仰の輝きが見て

取れました。世界中に広がる主の教会の一部に数えられたい、という彼らの望みを感じました。聖歌隊の歌声は、まるで天使のようでした。

彼らは、かつてしゅろの日曜日にエルサレムの門で、しゅろを手を持ち、「ホサナ。主の御名によってきたる者に、祝福あれ」⁷と叫んだ人々のように、主に敬意を表すべく集まったイエス・キリストの弟子たちでした。

近くに住む別の教会の信徒たちも、しゅろの日曜日を祝っていました。わたしが壇上から話をしていると、窓から、その人たちがこの写真の人々のように、しゅろを持った手を振りながら楽しげに道を歩いて行くのが見えました。その日、だれもが王の王を礼拝していた光景を、わたしは決して忘れないでしょう。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、「イエスのエルサレムへの入城をたたえるために振られた『しゅろ』(Palm)だけではなく、イエスの『手のひら』(Palm)を思い起こすことで、(しゅろの日曜日を)真に聖なるものとする」よう勧告しています。それから、ネルソン大管長はイザヤに言及しました。イザヤは次の言葉で、「わたしはあなたを決して忘れない」という救い主の約束について述べました。「見よ、わたしは、たなごころにあなたを彫り刻んだ。」⁸

主は、現世が困難な場所であることを身をもって知っておられます。主の傷は、主が「すべての下に身を落と〔された〕」⁹ことを思い出させてくれます。また、主がわたしたちが苦しむときに助け、「〔主〕の道に踏みとどま〔る〕」¹⁰手本を示してくださったことと、「神はあなたとともに〔おられる〕」¹¹ことも思い出させてくれます。

しゅろの日曜日は、単なる出来事ではなく、歴史に新たな日付と時間と場所が刻まれた、新たな1ページなのです。イエス・キリストのエルサレムへの勝利の入城



ガーナの教区の人々は、しゅろの日曜日を大切にしています。

とその次の週の出来事は、わたしたちが今日の生活に当てはめることのできる教義の良い例となっています。

エルサレムで締めくくられた、主の教導の業に織り込まれていた永遠の教義の一部を見てみましょう。

まず、預言です。例えば、旧約の預言者ゼカリヤは、イエス・キリストのエルサレムへの勝利の入城を預言し、主がろばに乗られるとまで述べていました。¹² イエスは、エルサレムの町に入る準備をしておられたときに、復活について次のように預言されました。

「見よ、わたしたちはエルサレムへ上って行くが、人の子は祭司長、律法学者たちの手に渡されるであろう。彼らは彼に死刑を宣告し、

そして彼をあざけり、むち打ち、十字架につけさせるために、異邦人に引きわたすであろう。そして彼は三日目によみがえるであろう。」¹³

次に、聖霊を伴侶とすることについてです。ジョセフ・スミスはこう教えています。「聖霊によらなければ、だれも『イエスは主である』と言うことができない。」¹⁴ 救い主は二階の広間で行われた¹⁷最後の晩餐で、¹⁶「わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない」¹⁸と弟子たちに約束されました。¹⁵ 弟子たちは自分たちだけで福音の真理を前進させるのではなく、導きを得られるよう完全な聖霊の賜物が与えられると約束されたのです。「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。」¹⁹ 聖霊の賜物があれば、わたしたちも同じように、「いつも御子の御霊を受け」、²⁰「聖霊の力によって、……すべてのことの真理を知る」²¹ことができるという確信を持つことができます。

第3に、弟子としてのあり方についてです。真の弟子の特徴は、変わることな

い献身、永遠の律法への従順、そして何よりも神の愛です。何も疑うことはありません。しゅろを使って敬意を表した群衆は、メシヤとして主を称えました。メシヤは主の真の姿だったのです。人々は主や主の奇跡と教えに引き付けられていました。しかし、大勢の人の称賛は続きませんでした。「ホサナ」²²と叫んでいた人の一部は、間もなく背を向けて「十字架につけ〔よ〕」²³と叫ぶようになったのです。

第4に、イエス・キリストの贖罪についてです。²⁴ しゅろの日曜日に続く主の最期の日々に、主は驚くべき贖罪を成し遂げられました。ゲツセマネで苦しまれた後、無実の罪で裁かれ、十字架上で苦痛を受け、借り物の墓に埋葬されたのです。しかし、それだけでは終わりませんでした。3日後、天の御父のすべての子供たちの贖い主としての召しによって、威厳に満たされた主は、御自分で預言されたとおり復活され、その墓から歩み出られたのです。²⁵

わたしたちは、イエス・キリストの比類ない贖罪に絶えず感謝しているのでしょうか。その清めの力を、今まさに感じているのでしょうか。わたしたちの救いの導き手であり、完成者であられるイエス・キリストがエルサレムへ行かれたのは、すべての人を救うためでした。アルマの次の言葉は皆さんの心の琴線に触れるのでしょうか。「もしあなたがたが心の変化を経験して



礼拝堂にいる愛する兄弟姉妹とその家族の姿を見回すと、彼らの顔にイエス・キリストに対する証と信仰の輝きが見て取れました。



いるのであれば、また、贖いをもたらす愛の歌を歌おうと感じたことがあるのであれば、今でもそのように感じられるか尋ねたい。」²⁶ あのしゅろの日曜日にタコラディの聖歌隊は確かに「贖いをもたらす愛の歌」を歌っていたと言えます。

地上における主の務めの重要な最後の週に、イエス・キリストは10人のおとめのたとえについて話されました。²⁷ 主は、主を受け入れる備えのできた人々に、御自分が戻られるときのことについて教えられました。その人々は手にしゅろではなく、心に福音の光を携えていました。主は、火のともったランプと、その火をとますための予備の油のたとえを使って、進んで主の道を歩み、主の真理を受け入れ、主の光を分かち合おうとする自発的な意思について説明されました。

皆さん御存じのお話です。10人のおとめは教会員を表し、花婿はイエス・キリストを表します。

10人のおとめはあかりを手にして「花婿を迎えに出て行[きました]」。²⁸ 5人の賢いおとめたちは、あかりの中に油を用意し、幾らかの予備の油も持っていました。5人の愚かなおとめたちは油を蓄えていなかったためにあかりに火をとますことができませんでした。「さあ、花婿だ、迎えに出なさい」²⁹ と招く声が聞こえたときに、5人の「賢くて、真理を受け入れ、自分の導き手として聖なる御霊を受け[ていた]」³⁰ おとめたちは、「彼らの王……、立法者」³¹ を迎える準備ができていたため、「主の栄光は彼らのうえにあり[ました]」。³² ほかの5人は必死に油を探しましたが、間に合わず、花婿の一行は、彼女たちを待つことなく行ってしまいました。戸をたたいて、入れてほしいと懇願すると、主は「わたしはあなたがたを知らない」³³ と答えられました。

「わたしはあなたがたを知らない」と主に言われたらどのような気持ちができるでしょうか。



わたしたちも10人のおとめたちのようにあかりを持っていますが、油はあるでしょうか。中には、この世の圧力に忙殺されて適切な備えができず、ほんの少しの油だけで何とか生きていこうとしている人がいるのではないかと心配しています。油は、預言や生ける預言者、特にネルソン大管長とその顧問、十二使徒の言葉を信じ、実践することからもたらされます。聖霊に耳を傾け、聖霊を感じ、その天からの導きに従って行動するとき、心が油で満たされます。わたしたちが主を愛し、主が大切にされているものを自分も大切にしていることを、自らの選択によって示すときに、わたしたちの心に油が注がれます。また、悔い改め、イエス・キリストの贖罪からもたらされる癒しを求めるときに、油がもたらされます。

死ぬまでにやっておきたいことのリストを書く人がいたとしたら、こう書くでしょう。「イエス・キリストの命の水という油をためる。」³⁴ 命の水とは、主の生涯と教えです。反対に、どこか遠くへ旅行に行ったり、華やかなイベントに参加したりしたとしても、心が元気になったり、満足したりはしません。それは、イエス・キリストが教えられた教義に従って生活することによって実現するのです。先ほど例を挙げたように、預言と預言者の教えを受け入れ、聖霊の促しに従って行動し、真の弟子となり、主の贖罪の癒しの力を求めましょう。そうするならば、皆さんが行きたいところ—つまり天の御父のみもとに

帰ることができるでしょう。

タコラディでのしゅろの日曜日の経験がわたしにとってとても特別だったのは、忠実な兄弟姉妹とともに過ごしたからです。世界のあらゆる大陸や島でも同じ経験をしてきました。わたしの心と魂は、皆さんのものと同様、「いと高き神に、ホサナ」³⁵と叫ばずにはいられません。

わたしたちは、今日エルサレムの門でしゅろの枝を手にして立っているわけにはありませんが、黙示録で預言されているように、「あらゆる国民、部族、民族、言語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手を持って、御座と小羊との前に立[つ]」³⁶時がいつか来るでしょう。

イエス・キリストの使徒として、皆さんが義にかなった生活を送ろうと熱心に努め、しゅろを手し、全人類の偉大な贖い主であられる神の御子について、喜び告げ知らせる者となれるよう祝福します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 福音書の4書すべて、すなわちマタイ21-28章；マルコ11-16章；ルカ19-24章；ヨハネ12-21章で、イエス・キリストの地上での務めの最期の日々について記されています。それらの出来事は、救いと昇栄の祝福をすべての神の子供たちに与えるために神が定められました。書き手によって、福音書に収める内容が異なることがありますが、救い主の教えと行いは一貫しています。
2. マタイ21:10-11参照
3. ヨハネ12:13
4. 会員統計記録によると、ガーナには10万2,592人の会員がいます。
5. ヨハネ15:12

6. 会員と話す度に、「敬愛する使徒であるラズバンド長老、愛しています」と言われました。彼らは御霊と神の愛にあふれているため、その愛を容易に分かち合います。
7. マタイ21:9
8. ラッセル・M・ネルソン「復活祭の平安と希望」(ビデオ) 2021年4月, Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, [Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, media: イザヤ49:16](https://www.churchofjesuschrist.org/media)
9. 教義と聖約122:8。1838年12月、預言者ジョセフとほかの数人の教会指導者たちは、リバティーの監獄に不当に収監されました。その状況は悲惨なものでした。ジョセフは何か月もの間、劣悪な環境に置かれた末、1839年3月に会員に手紙を書きました。その中には祈りも含まれており、ジョセフの状況と「苦しんでいる聖徒たち」を憐れんでくださるよう主に懇願していました。ジョセフはまた、この祈りに対する主の回答も共有しました。この回答は教義と聖約121-123章に記録されています。
10. 教義と聖約122:9。リバティーの監獄にいるジョセフ・スミスへの主の励ましは、ジョセフに慰めと霊的な理解をもたらしました。それは、逆境と試練はわたしたちを強め、忍耐を教え、自制心を育んでくれる、というものです。主はジョセフに「あなたの道に踏みとどまりなさい」と呼びかけられました。その道は主の道であり、「すべての下に身を落とした」神の子と同じように、不当な扱いに耐えることだと教えられました。「あなたは人の子よりも大いなる者であろうか。」(教義と聖約122:8)
11. 教義と聖約122:9。神は「あなたと主にいる」という約束は、自分の信仰を堅く保ち、主を信頼する人々への確かな約束です。
12. ゼカリヤ9:9参照
13. マタイ20:18-19。ジェームズ・E・タルメージは、「キリスト・イエス」の中で次のように書いています。「十二使徒たちでさえもイエスのこの言葉の意味が分からなかったということは、わたしたちにとって驚くべきことである。……十二使徒たちにとって、彼らの最も愛していた主の言葉には、何かひどい不一致、恐ろしい不調和もしくは不可解な矛盾があるように感じられた。彼らはイエスがキリストであり、生ける神の御子であられることを知っていた。それならば、どうしてこのような御方が人間に服従して殺されるというようなことがあってよいものだろうか。」(『キリスト・イエス』490-491)
14. ジョセフ・スミスは、1842年4月28日のノーブー女性扶助協会でのこの宣言をしました。1855年9月5日付け *Deseret News* 掲載の“History of Joseph Smith”で引用。ジョセフは1コリント12章を引き合いに出して、3節の意味を明らかにしました。「聖霊によらなければ、だれも『イエスは主である』と言うことができない」という言い回しを、「聖霊によらなければ、だれも『イエスは主である』と知ることができない」と訂正しました。(See *The First Fifty Years of Relief Society: Key Documents in Latter-day Saint Women's History* [2016], 2.2, churchhistorianspress.org.)



タヒチ

15. イエスは弟子たちと最後の晩餐をともにされました(マルコ14:12-18参照)。十二使徒は、ベテロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネ、マタイ、ピリポ、トマス、バルトロマイ、ヤコブ(アルパヨの子)、イスカリオテのユダ、ユダ(ヤコブの子〔訳注:英語ではbrother of James〕)、シモンでした(ルカ6:13-16参照)。
16. 最後の晩餐で、イエスは弟子たちに聖餐を制定されました(マタイ26:26-29;マルコ14:22-25;ルカ22:19-20参照)。
17. マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの間で食い違いが見られるため、イエスが「二階の広間」で聖餐を制定された具体的な日／晩については議論があります。マタイとマルコとルカは、最期の晩餐は「除酵祭の第一日」、すなわち過越の食事で行われたことを示唆しています(マタイ26:17;マルコ14:12;ルカ22:1,7参照)。ところがヨハネは、イエスは過越の食事の前に捕らえられたと書いています(ヨハネ18:28参照)。つまり、最期の晩餐は過越の食事の1日前に行われたこととなります。教会の教科課程の資料と末日聖徒の学者たちは、イエスが十字架にかけられる前の晩に二階の広間で弟子とともに最期の晩餐を行ったことで一致しているようです。聖週を祝うクリスチャンたちは、グレゴリオ暦に従って、木曜日が最後の晩餐、金曜日が十字架、日曜日が復活の日だと認識しています。
18. ヨハネ14:18
19. ヨハネ14:27
20. 教義と聖約20:77
21. モロナイ10:5
22. The Bible Dictionaryは、「『ホサナ』は『お救いください』の意である」と説明しています。この言葉は詩篇118:25で用いられています。「詩篇で繰り返されるこの言葉は、ユダヤ人の重要な祭り(Feast of the Tabernacles)で、しゅろの枝を振る仕草と結びついた。そのため、エルサレムへの主の勝利の入城の際に群衆はこの言葉を用いた。」(Bible Dictionary, "Hosanna")マタイ21:9, 15;マルコ11:9-10;ヨハネ12:13参照
23. マルコ15:14;ルカ23:21
24. 天の御父の救いの計画の中心となるのは、神のすべたの子供に不死不滅を、また昇栄の祝福を受けるにふさわしい人々に昇栄をもたらす、無限の贖罪です。「わたしはだれを遣わそうか」と御父が言われると、イエス・キリストが進み出て言われました。「わたしがここにいます。わたしをお遣わしてください。」(アブラハム3:27)ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように教えています。「[イエス・キリスト]使命は贖罪です。その使命を果たすことがおできになったのはただ御一方、主だけでした。死すべき状態の母と不死不滅の御父からお生まれになった主は、自発的に御自分の命を捨て、再びそれを得ることができた唯一の御方です(ヨハネ10:14-18参照)。主の贖罪がもたらした栄えある結果は無限かつ永遠です。主は死のとげを抜き、墓の悲しみを一時的なものとしてされました(1コリント15:54-55参照)。贖罪を行うという主の責任は、創造や墮落の前から知られていました。その目的は、全人類に復活と不死不滅をもたらすことだけでなく、主が定められた条件によってわたしたちの罪が赦されるためでもありました。したがって、主の贖罪は、わたしたちが主と、また家族と永遠に一つになれるようにする道を開いたのです。」(『イエス・キリストの使命と教導の業』「リアホナ」2013年4月号、20)
25. 復活は、肉体と霊が再び結合して不死不滅の状態になること、肉体と霊が不可分のものとなること、そして肉体や死の弊害に束縛されなくなること、3つから構成されています(アルマ11:45;40:23参照)。
26. アルマ5:26。アルマ5:14も参照
27. 10人のおとめのたとえは、マタイ25:1-12と教義と聖約45:56-59に記されています。マタイ25章の前後の章では、イエスがこのたとえを教えられたのは、主の最期の週に、マタイ21章でエルサレムに入られた後、かつマタイ26章で最後の晩餐を行い、囚われる直前であることが示唆されています。最期の週に与えられた10人のおとめのたとえに加え、イエスはいちじくの木のたとえ(マタイ21:17-21;24:32-33参照)、二人の息子のたとえ(マタイ21:28-32参照)、邪悪な農夫のたとえ(マタイ21:33-46参照)を使っておられます。
28. マタイ25:1
29. マタイ25:6
30. 教義と聖約45:57
31. 教義と聖約45:59
32. 教義と聖約45:59
33. マタイ25:12。山上の垂訓で、主は「多くの力あるわざ」を行ったと自負する人々について言及し、5人の愚かなおとめの話で示唆されているように、「わたしはあなたがたを知らない」と言われています(マタイ7:22-23参照)。
34. 水は現世の生活とイエス・キリストとその教え(行ける水)に欠かせませんが、永遠の命にも、水は欠かすことができません(『聖句ガイド』「生ける水」の項参照。イザヤ12:3;エレミヤ2:13;ヨハネ4:6-15;7:37;1ニーファイ11:25;教義と聖約10:66;36:23も参照)。
35. 3ニーファイ4:32
36. 黙示7:9



七十人
バーン・P・スタンフィル長老

不完全な収穫

救い主は、わたしたちのささやかなささげ物を受け入れ、御自分の恵みを通してそれらを完全なものにしようと待っておられます。キリストにあって、不完全な収穫などありません。

幼いころ、わたしは自分が育ったモンタナ州南西部の、はっきりとした四季の移ろいを心から楽しむようになりました。わたしの好きな季節は、秋—すなわち収穫の時でした。わたしたち家族は、何か月にも及ぶ懸命な働きが豊かな収穫によって報われることを願い、祈ったものです。両親は天候、動物や作物の状態など、自分たちのコントロールがあまり及ばない様々な事柄を気にかけていました。

成長するにつれ、わたしはそれらの重要性をさらに強く感じるようになりました。わたしたちの生活は、収穫にかかっていたのです。父は、穀物を収穫するのに使う機械について教えてくれました。わたしが見守る中、父は機械を畑に移動させ、穀物をほんの一筋刈り取ると、コンバインの後方をチェックし、できるだけ多くの穀物が保管用タンクに入っており、もみ殻に混ざっていないことを確かめたものです。その都度機械を調整し、父はこの作業を何度か繰り返しました。わたしは機械に沿って走り、父とともにもみ殻を触り、状態を確認するまねをしました。

父が納得するまで機械の調整が行われた後、地面に落ちたもみ殻の中に穀物の粒が混ざっているのを見つけたわたしは、問いただすような顔で、それを父に差し出しました。そのとき父に告げられた言葉を忘れはしません。「これで十分だし、これがこの機械の最大限の働きなんだよ。」父の説明にあまり納得がいかないまま、わたしはこの収穫の不完全さについて深く考えていました。

その後間もなく、夜に冷え込むようになったところのことです。何千羽という渡り鳥、白鳥やガン、アヒルが畑に降り立ち、南へと向かう長旅に備えて栄養を蓄えるのを目にしました。鳥たちは、わたしたちの不完全な収穫により残っていた穀物を食べていたのです。収穫を完全なものとしてくださったのは、神でした。穀粒は一つとして失われていなかったのです。

わたしたちが生きる世にあっては、教会の文化の中でさえ、完璧さにこだわる誘惑が多々潜んでいます。ソーシャルメディア、高すぎる理想、また自己批判はしばしば、劣等感を生みます—自分は不十分であって、それはずっと変わらないと考えるのです。「それだから……あなたがたも完全な者となりなさい」¹という救い主の招きを、誤解している人々さえます。

完璧主義は、キリストによって完全になる

ことと同義ではないことを心に留めてください。² 完璧主義には必ず、自分をほかの人々と比較するのに用いる、自ら課した無理な標準が存在します。これは、罪悪感や不安を生むだけでなく、閉じこもり、一人になりたいという思いを抱かせる場合もあります。

キリストによって完全になるとは、別のものです。それはプロセスであり—聖霊の愛ある導きによって—さらに救い主のような者となるということなのです。その標準は、すべてを御存じの、優しき天の御父によって定められ、わたしたちが受け入れるよう招かれている聖約の中で明確に定義されています。罪の意識や不十分であるという心の重荷を軽くし、神の目に自分が何者であるのかを常に強調してくれます。このプロセスは、わたしたちを高め、より良い者となるよう背中を押してくれるものであり、わたしたちは信仰をもって主に従う努力に現れる、神に対する個人の献身によって測られます。御自分のもとに来るようにという救い主の招きを受け入れるなら、最善を尽くしていれば十分であること、また愛に満ちた救い主の恵みが、想像もつかないような方法で足りないところを補ってくださることがすぐに分かります。

この原則が実践される様子は、救い主が5,000人に食物をお与えになった話に見られます。



アメリカ合衆国

「イエスは目をあげ、大ぜいの群衆が自分の方に集まって来るのを見て、ピリポに言われた、『どこからパンを買ってきて、この人々に食べさせようか。』……

すると、ピリポはイエスに答えた、『二百デナリのパンがあっても、めいめいが少しずついただくにも足りません。』

弟子のひとり、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った、

『ここに、大麦のパン五つと、さかな二ひきとを持っている子供がいます。しかし、こんなに大ぜいの人では、それが何になりましょう。』³

救い主がこの幼い少年についてどのように感じておられただろうかと思ったことはありませんか。幼子の信仰を抱くこの少年は、目下の課題にはあまりに不十分だと自覚していたであろうものを差し出したのです。

「そこで、イエスはパンを取り、感謝してから、すわっている人々に分け与え、また、さかなをも同様にして、彼らの望むだけ分け与えられた。

人々がじゅうぶんに食べたのち、イエスは弟子たちに言われた、『少しでもむだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい。』⁴

救い主はささやかなささげ物を、完全なものとしてくださったのです。

この経験後問もなく、イエスは弟子たちを船に乗せて先に遣わされました。弟子

たちは程なくして、夜の闇の中、荒波と格闘することとなります。海上に、自分たちに向かって歩いて来る幽霊のような人影を認めると、弟子たちはおびえました。

「しかし、イエスはすぐに彼らに声をかけて、『しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない』と言われた。

するとペテロが答えて言った、『主よ、あなたでしたか。では、わたしに命じて、水の上を渡ってみもとに行かせてください。』

イエスは、『おいでなさい』と言われたので、ペテロは舟からおり、水の上を歩いてイエスのところへ行った。

しかし、風を見て恐ろしくなり、そしておぼれかけたので、彼は叫んで、『主よ、お助けください』と言った。

イエスはすぐに手を伸ばし、彼をつかまえて言われた、『信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。』⁵

兄弟姉妹の皆さん、会話はこれで終わらなかったかもしれません。ペテロと救い主が腕を組みつつ歩いて船に引き返す中、ずぶ濡れになり、恐らく大変恥じ入っていたであろうペテロに対し、救い主は次のようなことを言われたかもしれないと思うのです。「おお、ペテロよ、恐れるな、不安を抱くな。わたしがしているように自分自身を見ることができれば、あなたの疑いは薄れ、あなたの信仰は増し加えられるであろう。ペテロよ、わたしはあなたを愛している。あなたは船から降りたの

だから。あなたのささげ物は受け入れられる。あなたが揺らいだとしても、わたしはいつもそばにいて、あなたを深みから引き上げるであろう。そうして、あなたのささげ物は完全なものとなるであろう。」

ディーター・F・ワークトドルフ長老はこう教えています。

「救い主イエス・キリストは、御自分が皆さんの力であることを、皆さんに見て、感じて、知ってほしいと思っておられると、わたしは信じています。救い主の助けがあれば、皆さんの達成できることに限界はありません。皆さんの可能性は無限大です。救い主は皆さんに、御自分が見ているように自分自身のことを見てほしいと思っておられます。それは、世の人の見方とは大きく異なります。……

イエスは疲れた者に力を与えられます。力がないと感じている者を強くしてください。』⁶

最善を尽くしてもなお不完全なささげ物がどのようなものであっても、救い主はそれを完全なものとするのがおできになると、覚えておく必要があります。自分の努力がどれほど取るに足りないものと思えても、救い主の力を決して過小評価してはなりません。簡潔な思いやりの言葉、短いながらも心からのミニスタリング訪問、あるいは愛をもって教える初等協会のレッスンに、救い主の助けが注がれば、それらは慰めをもたらし、心を和らげ、永遠の命に影響を与えるものとなり得るのです。わたしたちの至らないように見える努力は奇跡をもたらす可能性があり、そのプロセスにおいて、わたしたちは完全な収穫に携わることができるのです。

わたしたちはしばしば力を最大限に発揮せざるを得ない状況に置かれます。その務めに自分が耐え得るとは感じていないかもしれません。ともに奉仕する人々を見て、自分には決して追いつけないと感じることもあるでしょう。兄弟姉妹、もしそのように感じるのであれば、わたしがとも





に働く、わたしの後ろに座っている類いまれな人々を見てください。

皆さんの痛みをわたしも感じています。

しかしながら、完璧主義がキリストによって完全になることと同じではないように、自己比較は見倣うこととは別物であると学びました。自分をほかの人々と比べる際、もたらされる結果はただ二つに絞られます。自分をほかの人々よりも優れた者と見なすことで、人々を偏って判断し、批判的な態度を取るようになる、あるいは自分をほかの人々よりも劣った者と見なすことで、不安を覚え、自分を責め、落胆を抱くようになるのです。自分を他人と比べることは、おおよそ建設的ではなく、心を高めることもなく、時にはひどい落胆をもたらします。事実、こうした比較は霊に破壊をもたらす可能性があり、必要としている霊的な助けを受ける妨げとなります。一方、キリストのような特質を体現している、尊敬する人々に倣うことは、有益かつ励みとなるものであり、イエス・キリストのより良い弟子となるうえで助けになります。

救い主は御自身が御父に倣う中で、わたしたちが従うべき模範を示してくださいました。主は御自分の弟子ピリポに対し、次のように教えられました。「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか。」⁷

それから主は、このように説いておられます。「よくよくあなたがたに言うておく。

わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。」⁸

自分の努力がどれほど取るに足りないものに思えても、わたしたちが誠実であれば、救い主は御自分の業を成し遂げるうえでわたしたちを使ってくださいませ。わたしたちがただできるだけのことを行い、主が足りないところを補ってくださいませ。信頼するならば、わたしたちは周囲にあふれる奇跡の一部となることができます。

デール・G・レンランド長老は次のように述べています。「完璧である必要はなく、わたしたちはただ皆さんを求めています。進んで行く姿勢さえあれば、だれでも力になることができます。」⁹

ラッセル・M・ネルソン大管長が教えているように、「主は努力することを大切にされる」¹⁰のです。

救い主は、わたしたちのささやかなささげ物を受け入れ、御自分の恵みを通してそれらを完全なものにしようと待っておられます。キリストにあって、不完全な収穫などありません。わたしたちは、主の恵みが自分のためにあること、つまり主が助けてくださること、揺らぐときには深みから引き上げてくださること、完璧とは言えない努力を完全なものとしてくださることを信じる勇気を持たなければならないのです。

種まきのたとえにおいて、救い主は良い地にまかれた種について述べておられます。あるものは百倍、あるものは六十倍、またあるものは三十倍になったとあります。そのすべてが、主の完全な収穫の

一部なのです。¹¹

預言者モロナイは、次のように皆を招いています。「まことに、キリストのもとに来て、キリストによって完全になりなさい。……もしあなたがたが神の御心に添わないものをすべて拒み、勢力と思いと力を尽くして神を愛するならば、神の恵みはあなたがたに十分であり、あなたがたは神の恵みにより、キリストによって完全になることができる。」¹²

兄弟姉妹の皆さん、最もささやかなささげ物でさえも完全なものとする力をお持ちであるキリストを証します。最善を尽くし、できるだけものを携えて行きましょう。それから信仰を持ち、不完全なささげ物を主の足もとに置こうではありませんか。完全な収穫の主、すなわちイエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. マタイ 5: 48
2. モロナイ 10: 32 参照
3. ヨハネ 6: 5, 7-9
4. ヨハネ 6: 11-12
5. マタイ 14: 27-31
6. ディーター・F・ウークトドルフ「イエス・キリストは青少年の力です」『リアホナ』2022年11月号、9-10
7. ヨハネ 14: 9
8. ヨハネ 14: 12
9. Dale G. Renlund, in Aubrey Eyre, "Elder Renlund Visits Caribbean Saints Preparing to Withstand 'Seismic Hits of Life,'" Church News, Mar. 4, 2020, ChurchofJesusChrist.org.
10. ラッセル・M・ネルソン「特別に気高い召し」『リアホナ』2020年5月号、16
11. マタイ 13: 1-23 参照
12. モロナイ 10: 32



七十人
W・マーク・バセット長老

4日目の後に

イエス・キリストを信じる信仰をもって前進していけば、4日目は必ず来ます。主はわたしたちに常に助けを与えてくださいます。

今朝、お知らせがあったように、今日は「しゅろの日曜日」です。救い主のエルサレムへの勝利の入城を記念し、主の苦しみ、十字架の刑、復活を含む救い主の偉大な贖罪に先立つ、聖なる1週間の始まりを示しています。

預言されていたこの入城の少し前、イエス・キリストが御自身の業行っておられたとき、愛する友人のマリヤとマルタから、兄弟のラザロが病気だという知らせを受けられました。¹

ラザロの病気は重いものでしたが、主は「なおふつか、そのおられた所に滞在され(まし)た。それから弟子たちに、『もう一度ユダヤに行こう』と言われ(まし)た。」² イエスはベタニヤの友人の家に向けて旅に出

る前に、「あからさまに〔弟子たち〕に言われた、『ラザロは死んだのだ。』」³

イエスがベタニヤに入り、最初にマルタとマリヤに会われたとき、恐らく二人は主の到着が遅れたことを不満に思い、こう言いました。「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょう。」⁴ マルタはさらに、こう叫んでいます。「主よ、もう臭くなっております。四日もたっていますから。」⁵

この4日間は、マリヤとマルタにとって重要なものでした。幾つかの律法学者の教えによれば、死んだ人の霊は3日間は肉体とともにとどまり、まだ命が戻るかもしれないという希望がある、と信じられていました。しかし4日目に、その希望はな

くなります。恐らく肉体が腐り始め、「臭く」⁶なるからです。

マリヤとマルタは絶望の淵に立たされていました。「イエスは、〔マリヤが〕泣く……いているのをご覧になり、激しく感動し、また心を騒がせ、

そして言われた、『彼をどこに置いたのか。』彼らはイエスに言った、『主よ、きて、ごらん下さい。』」⁷

この瞬間に、わたしたちは救い主が現世での務めを果たされている間の、最も偉大な奇跡の一つを目撃することになります。まず、主はこう言われました。「石を取りのけなさい。」⁸ 次いで御父に感謝を述べられた後、「大声で『ラザロよ、出てきなさい』と呼ばれた。

すると、死人は手足を布でまかれ、顔も顔おおいで包まれたまま、出てきた。イエスは人々に言われた、『彼をほどいてやって、帰らせなさい。』」⁹

マリヤとマルタのように、わたしたちは悲しみ¹⁰や弱さ¹¹といった、死すべきこの世のあらゆる状態を経験する機会に遭遇します。だれもが、愛する人を失ったときには、それに伴う心の痛みを経験します。この世の旅路には、個人的な病、大切な人の病気による衰弱、うつ、不安などの心の健康に関するチャレンジ、経済的な苦難、裏切り、罪がつきまといます。時として、それらには絶望感が伴います。わたしも例外ではありません。皆さんと同じように、わたしもこの世でよくある様々な困難を経験してきました。わたしはこの救い主に関する記録と、その記録が教えている主との関係について、何度も深く考えてきました。

大きな心配を抱えているとき、わたしたちはマリヤやマルタのように救い主を求めるか、御父の神聖な助けを願い求めます。ラザロの物語は、わたしたちが個々の困難に直面したときに、自分の生活に応用できる原則を教えています。

救い主がベタニヤに到着されたとき、す





べての人がラザロの救いについて希望を失っていました。4日もたっており、彼はもう戻って来ないと思ったのです。わたしたちも、時として自分の試練の中で、キリストが遅すぎるのではないかと感じ、希望や信仰が試されていると思えることがあるかもしれません。しかし、わたしは証します。イエス・キリストを信じる信仰をもって前進していけば、4日目は必ず来ます。主はわたしたちに常に助けを与え、希望をよみがえらせてくださいます。主は次のように約束されました。

「あなたがたは、心を騒がせないがよい。」¹²

「わたしはあなたがたをすてて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。」¹³

時には希望がすべて失われたように思えた後の、比喩的な意味での4日目になるまで主は来られないと思われることがあるかもしれません。では、なぜそれほど遅いのでしょうか。トーマス・S・モンソン大管長は、こう教えています。「天の御父は、わたしたちに喜びをもたらす多くのものをお与えになりますが、それと同時に、わたしたちが経験しなければならぬ試みに立ち向かい、それを乗り越えるときに、学び、成長し、強くなることも御存じです。」¹⁴

預言者ジョセフ・スミスでさえ、悲惨な「4日目の経験」に直面しました。彼の嘆願を覚えていますか。「おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか。あなたの隠れ場を覆う大幕はどこにあるのですか。」¹⁵ 主を信頼するとき、わたしたちにも似たような答えが返ってくるでしょう。「息子（娘）よ、あなたの心に平安があるように。あなたの逆境とあなたの苦難は、つかの間にすぎない。」¹⁶

ラザロの話から学べるもう一つのメッセージは、わたしたちが求める神の介在の中にも、わたしたち自身が果たせる役割があるかもしれない、ということです。イエスが墓に近づかれると、まず第一に、そこにいた人々に「石を取りのけなさい」¹⁷と言われました。主は、救い主として持つておられる力によって、石を奇跡的に動かすことがおできにならなかったでしょうか。その方が見ている人たちに深い印象を与えて、忘れ難い経験になったかもしれないのに、主が人々に言われたのは「石を取りのけなさい」でした。

第二に、主は「大声で『ラザロよ、出て来なさい』と呼ばわれ」¹⁸しました。もし主御自身が、石が取り除かれたときにすぐに群衆に見えるように、ラザロを墓の入口に奇跡的に立たせられたとしたら、もっと印

象的だったかもしれません。

第三に、ラザロは「手足を布でまかれ、顔も顔おおいで包まれたまま、出てきた。イエスは人々に言われた、『彼をほどいてやって、帰らせなさい。』」¹⁹ 主は、布がきれいに畳まれ、ラザロの体が清潔な状態で、群衆が近づけるように彼を墓の入口に立たせる力を持つておられたことは、間違いありません。

こうした点を強調する理由は何でしょうか。これら3つの事柄には共通点があります。キリストは神聖な力を、このどの場面にも使われなかった、ということです。主は、弟子たちにできることを行うよう指示されました。確かに、弟子たちには自分たちが石を動かす力があり、ラザロは起き上がった後に自分で墓の入口まで出てくる力があり、ラザロを愛する者たちは彼が衣を取るのを助けることができました。

しかし、ラザロを死から生き返らせる力と権能をお持ちだったのは、キリストだけでした。救い主は、わたしたちが自分でできることはすべて行うように期待しておられると、わたしには思えます。主は御自分にのみおできになることを行ってくださいなのです。²⁰

わたしたちは、次のことを知っています。「[主イエス・キリストを信じる]信仰は、行動……の原則で」²¹あり、「奇跡が信仰を生み出すのではなく、イエス・キリストの福音に従うことによって強い信仰がはぐくまれるので[す。]」²²「言い換えれば、信仰は義から生じるのです。わたしたちが神聖な聖約を交わして守り、キリストの教義を生活の中に応用することで、義になかった行動をしようと努めるときに、信仰によって4日目まで十分に持ちこたえるだけでなく、主の助けによって、わたしたちは自分の進む道にある石を動かす、絶望から立ち上がり、わたしたちを縛っているすべての縄目から自分を解き放つ力を持つこともできるでしょう。主はわたしたちが「力の限りすべてのことを……行」²³うことを期待しておられる一方



で、わたしたちが主に信頼を寄せるとき、主はすべてのことに、必要な助けを与えてくださることも忘れないでください。

どうすれば石を動かし、主の岩の上に建てることができるでしょうか。²⁴ わたしたちは預言者の勧告に従うことで、それができます。

例えば、昨年10月、ラッセル・M・ネルソン大管長はわたしたちに、救い主と主の福音に対する自分の証に責任を持ち、そのために努力し、証を育て、真理という養いを与え、不信仰な者の誤った哲学によってそれらを汚さないよう、強く勧めました。大管長は一人一人に向けて、こう言いました。「イエス・キリストに対する証を絶えず強めることを最優先して、自分の人生に奇跡が起こるのを待っていてください。」²⁵

わたしたちには、それができます！

ではどのようにして、比喩的な意味で立ち上がり、出てくることができるでしょうか。わたしたちは喜んで悔い改め、戒めを守ることを選ぶことで、それができます。主は言われました。「わたしのいましめを心にいだいてこれを守る者は、わたしを愛する者である。わたしを愛する者は、わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、その人にわたし自身をあらわすであろう。」²⁶ わたしたちは毎日悔い改め、主への愛に満ちた前向きな心をもって、喜んで前に進むことができます。

わたしたちには、それができます！

どうすれば、主の助けを受けて、わたしたちを縛るすべてのものから自分自身を解き放つことができるでしょうか。わたしたちは聖約を通して、何よりもまず第一に天の御父とその御子イエス・キリストに、意識的に自分自身を結びつけることができます。D・トッド・クリストファーソン長老は、次のように教えています。「[わたしたちの] 道徳的および霊的な力の源は何でしょうか。その力を得るにはどうしたらよいでしょうか。その源は神です。神との聖約を通してその力を得ることができます。……この神聖な合意において、わたしたちは神に仕え、神の戒めを守ると約束し、それに対して、神はわたしたちを支え、聖め、高く上げると約束されます。」²⁷ わたしたちは神聖な聖約を交わして守ることができます。

わたしたちには、それができます！

石を取りのけてください。出てきてください。縄目をほどこき、進んでください。

勧告、戒め、聖約。わたしたちには、それが守れます！

ジェフリー・R・ホランド長老は、次のように約束しました。「祝福はすぐに来ることも、後から来ることも、また天に召されるまで来ないこともあります。イエス・キリストの福音を頂く人には必ず来ます。」²⁸

そして最後に、「元気を出しなさい。恐れはならない。主なるわたしはあなた

がたとともにおり、あなたがたの傍らに立つからである。」²⁹

これがわたしの証です。いつでも来てくださる御方の聖なる御名、イエス・キリストにより、アーメン。■

注

1. ヨハネ 11:3 参照
2. ヨハネ 11:6-7
3. ヨハネ 11:14
4. ヨハネ 11:21, 32
5. ヨハネ 11:39
6. 「ユダヤ人の信条によると、霊は死後3日間は肉体の辺りにとどまっていた。そのため、ユダヤ人が信じていたところによれば、違う場所に移動された肉体に霊が再び入ることはないので、亡くなった人を4日目に生き返らせるのは不可能でした。イエスが4日目にラザロをよみがえらせた奇跡は、いっそう印象的でした。このように、4日目というのはここでは特別な意味を持ち、考え得るあらゆるよみがえりの奇跡の中で最も大いなる奇跡に関連して用いるために、著者によって意図的に採り上げられています。」(Ernst Haenchen, *John 2: A Commentary on the Gospel of John, Chapters 7-21*, ed. Robert W. Funk and Ulrich Busse, trans. Robert W. Funk [1984], 60-61)
7. ヨハネ 11:33-34
8. ヨハネ 11:39
9. ヨハネ 11:43-44
10. モーセ 4:22-25 参照
11. エテル 12:27 参照
12. ヨハネ 14:1
13. ヨハネ 14:18
14. トーマス・S・モンソン「わたしはあなたを見放すことも、見捨てることもしない。」[リアホナ] 2013年11月号, 87参照。モンソン大管長は、さらにこう述べています。「わたしたちは、つらい悲しみを経験したり、胸を痛めたり、極限まで試されることがあるのを知っています。しかし、そのような困難を通じて、より良い方向に変化し、天の御父が教えておられる方法で人生を立て直し、過去の自分とは違う人物、すなわち過去の自分よりも善良で、理解力があり、同情心にあふれ、強い証を持った人物となることができるのです。」(「わたしはあなたを見放すことも、見捨てることもしない。」87) 教義と聖約 84:119も参照：「主なるわたしは、天の力を働かせるためにわたしの手を伸べた。あなたがたは今それを見ることはできないが、もうしばらくすれば、それを見て、わたしがいること、また、わたしが来てわたしの民とともに治めることを知るであろう。」
モーサヤ 23:21-24も参照：
「にもかかわらず、主は御自分の民を懲らしめるのを、御心どころにかなうことと見ておられる。まことに、主は民の忍耐と信仰を試される。しかしながら、主に頼る者はだれであろうと、終わりの日に高く上げられる。そして、こ



七十人
アーマド・S・コービット長老

の民はそうように試されたのであった。

見よ、わたしは、これからあなたがたに、彼らが奴隷の状態に落とされたことと、主なる彼らの神、すなわちアブラハムとイサクとヤコブの神のほかに、だれも彼らを救い出せなかったことを示そう。

さて、主が彼らを救い出し、彼らに御自分の偉大な力を示されたので、彼らの喜びは大きかった。」

- 15. 教義と聖約 121:1
- 16. 教義と聖約 121:7
- 17. ヨハネ 11:39
- 18. ヨハネ 11:43
- 19. ヨハネ 11:44
- 20. ラッセル・M・ネルソン大管長はこう述べています。「顧問たちとわたしは、最善を尽くしてそれ以上はできないという非常に難しい状況において、主が御手を差し伸べてくださったことを、しばしば、涙のあふれる目で見えました。それには驚くばかりです。」(『歓迎の言葉』『リアホナ』2021年5月号, 6)
- 21. Bible Dictionary, "Faith," より和訳
- 22. 『聖句ガイド』「信仰」の項, scriptures.ChurchofJesusChrist.org
- 23. 教義と聖約 123:17
- 24. 3 ニーフай 11:32 - 39 参照
- 25. ラッセル・M・ネルソン「世に打ち勝ちなさい。そうすれば休みが与えられるであろう」『リアホナ』2022年11月号, 97
- 26. ヨハネ 14:21
- 27. D・トッド・クリストファーソン「聖約の力」『リアホナ』2009年5月号, 20
- 28. ジェフリー・R・ホランド「すでに現れた祝福の大祭司」『リアホナ』2000年1月号, 45
- 29. 教義と聖約 68:6

クリスチャンとして、なぜわたしがキリストを信じていると思いますか？

イエス・キリストは、苦しまれ、死を経験され、再びよみがえらる必要がありました。それは、全人類を肉体の死から贖い、永遠の命をもたらすためだったのです。

何年も前のある晩、仕事を終えたわたしはいつもどおりニューヨーク市からニュージャージー州までバスで帰宅していました。たまたま隣に座っていた女性が、わたしがパソコンで入力している文章に気がつき、「あなたは……キリストを信じているのですか」と尋ねてきました。「はい、信じています!」とわたしは返事しました。会話する中で、彼女が美しいアジアの国から、IT分野で競争の激しいニューヨークで働くために引越して来たばかりだと知りました。

自然とわたしは、「クリスチャンとして、なぜわたしがイエス・キリストを信じていると思いますか?」と尋ねました。彼女もごく普通に、その理由を話すようわたしに促しました。しかし話そうとすると、時々起きるのですが、あまりに多くの思いが一度に押し寄せました。キリスト教にあまりなじみがなく、かつ聡明な人にキリスト教の目的を説明するのは初めてのことです。単に、「イエス・キリストが進んでわたしの罪のために苦しみ、亡くなられたので、わたし

はイエス・キリストに従っています」と言うことはできませんでした。彼女は、「イエスはなぜ死ななければならなかったのか。わたしたちが願った場合に、神が赦しと罪からの清めをもたらすわけにはいかなかったのだろうか?」と考えることでしょう。

数分という時間で、皆さんならどのように答えていたでしょうか。これを友人に説明するとしたら、どのように伝えますか。子供と青少年の皆さん、後で御両親や指導者に、「なぜイエス様は死ななければならなかったのか」と尋ねてみてください。兄弟姉妹の皆さん、実のところ、教会の教義や歴史、方針などについてあらゆることを知っていたつもりでしたが、この信仰の核となる問いに答えるのは容易なことではありませんでした。その日、わたしは永遠の命に関して最も大切なことに、より焦点を当てることにしました。

さて、わたしはこの新たな友人¹に、わたしたちは肉体に加えて霊を持っており、神はわたしたちの霊の父であられることを説明し、²わたしたちは死すべき世に生



コートジボワール



まれる前に天の御父とともに住んでいたことを伝えました。³ 神は彼女やすべての子供たちを愛しておられるので、わたしたちが栄光に満ちた、御自身の体の形に造られた肉体を受け、⁴ 家族の一員となり、⁵ 愛にあふれた御父のみもとに戻り、御自分と同じく家族とともに⁶ 永遠の命を享受する計画を立てられました。⁷ しかし、わたしは、この必然的に墮落した世において、わたしたちはおもに二つの障害に直面することを話しました。⁸ 一つ目は肉体の死、つまり肉体と霊の分離です。もちろん彼女は、人は皆死ぬことを知っていました。二つ目は、霊の死、すなわち人間としての罪、過ち、欠点にわたしたちを神の聖なる御前から遠ざけることにより、神から離れてしまうことです。⁹ 彼女はこれにも共感したようでした。

彼女に、これが正義の律法の影響によるものであることを伝えました。この永遠の律法は、神の律法または真理に対するわたしたちの罪や背きの一つ一つに対して永遠の罰が課せられること、つまり、神の聖なる御前に戻って生活することが決してできなくなることを要求するものです。¹⁰ そうでない状態は不当であり、神は「正義を拒むことがおできになりません」。¹¹ 彼女はこのことを理解し、それでも神が憐れみ深く、愛にあふれ、わたしたちの永遠の命をもたらすことを切望しておられることもすんなりと理解していました。¹² 悪と偽りの源である狡猾で強力な敵対者がわたしたちを妨害していることも伝えました。¹³ したがって、わたしたち

を救うには、そうした反対のものや障害のすべてに打ち勝つ、無限にして神性の力を備えた人が必要だったのです。¹⁴

それから彼女に、「すべての民に〔対する〕大きな喜び〔のよきおとずれ〕」¹⁵ つまり「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」¹⁶ という良い知らせを伝えました。この友人に証したように、皆さんにも証します。イエス・キリストこそ、そのような救い主であられ、主は、苦しまれ、死を経験され、再びよみがえらる必要がありました。それは、無限の贖罪により、全人類を肉体の死¹⁷ から贖い、また御自分に従うすべての者に対し、神と家族とともに¹⁸ 生きる、永遠の命をもたらすためだったのです。モルモン書はこうに宣言しています。「こうして、神は……死に対して勝利を得、人の子らのために執り成しをする力を御子に授けられる。……〔主は〕人の子らを哀れむ思いに満たされており、……死の縄目を断ち、人の子らの罪悪と背きを身に負い、彼らを贖い、正義の要求を満たされる。」¹⁹

イエスに従い、永遠の命を受けるためにわたしたちが踏むべき、神により明らかにされたステップは、キリストの教義と呼ばれています。そこには、イエス・キリストとその贖罪を信じる信仰、悔い改め、〔末日聖徒イエス・キリスト教会での〕バプテスマ、聖霊の賜物を受けること、最後まで堪え忍ぶことなどが含まれます。²⁰ わたしはこの友人にこれらのステップについ

て伝えました。ここで、キリストの教義によって神のあらゆる子供たちにどのような祝福がもたらされるのか、預言者および使徒たちから最近教わったことをいくつか御紹介します。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、次のように教えています。「キリストの純粋な教義には、力があります。それを理解し、実践しようとするすべての人の生活を変えます。」²¹

データー・F・ワークトドルフ長老は、このように教えています。「『青少年の強さのために』〔のガイド〕は、イエス・キリストの教義を大胆に宣言し……、〔それ〕に基づいて選択するよう〔青少年に〕勧めています。」²²

デール・G・レンランド長老はこのように教えています。「自分が教えている人々に行うよう求めている事柄を実践するよう、宣教師の皆さんをお招きします。すなわち、キリストの教義を生活に応用し、聖約の道に足を踏み入れ、とどまるのです。」²³

キリストの教義は、苦しむ人々や教会になじめないと感じている人々に力を与えてくれます。なぜなら、D・トッド・クリストファーソン長老が述べたように、「イエス・キリストが〔彼ら〕のために亡くなられ……〔彼ら〕を愛しておられ〔ことを確信させてくれる〕」²⁴ からです。

親の皆さん、自分の子供が福音の原則や預言者の教えを受け入れられずにいるのであれば、教会や教会の指導者に対するいかなる悪口²⁵ や反対活動も慎んでください。そのような、この世的な向き合い

方はあなたの品位にかかわるほか、子供の長期的な信仰の持ち方に致命的な影響を与えてしまう可能性があります。²⁶皆さんの大切な子供を守り、擁護すること、そして子供との一致を示すことは皆さん自身のためになることです。しかしながら、愛する子供に対し、わたしたち皆が切にイエス・キリストを必要としている理由と、主の喜びに満ちた教義を応用する方法について教えることこそ、本人を強め、癒すことになるのだと、妻のジェインとわたしは個人的な経験から知っています。彼らに、御父に対する彼らの真の弁護者であるイエスの方を向いてもらいましょう。使徒ヨハネはこのように教えました。「すべてキリストの……^{おしえ}教にとどまっているものは、父を持ち、また御子をも持つ。」その後、「この教を持たずにあなたがたのところに来る者があれば」²⁷ 気をつけなさいと警告しています。

ジェインとわたしは最近、モーセがさまようイスラエルの子らの前で青銅の蛇を掲げた荒れ野を訪ねました。主は、青銅の蛇を見さえすれば毒蛇にかまれた人をだれでも癒すと約束されました。²⁸ キリストの教義をわたしたちの前に掲げ、主の預言者も「〔民が〕癒されるように」²⁹ 同じことを行っているのです。この現世の荒れ野でわたしたちが経験する傷や毒、苦しみが何であれ、古代および現在にあって、悲しいことに、癒されることもできたのに、「それで自分が癒されるとは信じなかった〔ため〕」に「見ようとしなかった」³⁰ 人にはならないようにしましょう。モルモン書は、「〔見よ〕、これが道である。そして、このほかには人を神の王国に救う道も名も天下に与えられていない。見よ、これがキリストの教義であ〔る〕」³¹ と断言しています。

あの晩ニュージャージーで、イエス・キリストとその教義が必要な理由を分かち合ったとき、彼女はわたしにとっての新たな姉妹に、わたしは彼女にとっての新たな兄弟となりました。聖霊の安らかな確認の証を感じたのです。自然と、わたしは

彼女の連絡先を尋ね、宣教師と会話を続けるよう招きました。彼女は喜んで受け入れてくれました。

「したがって、これらのことを地に住む者に知らせ〔ることは〕何と大切なことであろうか」とモルモン書は宣言しています。それは、「聖なるメシヤの功德と憐れみと恵み〔と教義〕によらなければ、だれも神の御前に住める者がいないことに気づかせる〔ため、〕」³³ イスラエルの集合の業に携わる際に、すべての地域社会や家族において人々を愛し、分かち合い、招く³² ということです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. この友人の名前を公にしたり、架空の名前を使用しないようにしています。
2. ローマ 8:13-17; ヘブル 12:9; 教義と聖約 88:15 参照
3. エレミヤ 1:4-5; 教義と聖約 138:55-56; アブラハム 3:22-23, 26; 『聖句ガイド』「前世」の項, churchofjesuschrist.org/study/scriptures?lang=jpn; 『わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド』「レッスン 2: 救いの計画」48 参照
4. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』「レッスン 2: 救いの計画」48 参照
5. 偉大な幸福の計画、救いの計画、贖いの計画などと呼ばれる御父の完全な計画は、死すべき世に来るすべての人が必ず家族のもとに生まれ、すべての人が家族の一員となるよう計画さ

れています。もちろん、すべての家族の状況が、御父のすべての子供たちに対する御父の愛に満ちた構想どおりの理想的な状況にあるわけではありません。悲惨な状況も存在します。しかし、わたしたちがキリストの教義に従って生活する中で、イエス・キリストは、憐れみ深く包括的な計画を通して、御父が御自分の子供たちのために持っておられるすべての祝福を受けられるよう助けてくださいます; 注の 6 も参照

6. 神が御自分の子供たちに与えられた最も大きいなる約束の一つは、神がわたしたちのために備えた最も大きいなる賜物でもあります。それは、昇栄、すなわち永遠の命であり、永遠に神のみもとに住み、家族として永続することです(『福音トビックス』「永遠の命」, churchofjesuschrist.org/topics?lang=jpn; 教義と聖約 14:7 も参照)。「家族」には、夫、妻、子供、およびキリストの教義を受け入れ、キリストの教義に従って生活する、生きている親族や亡くなった親族が含まれます。霊界にいるすでに亡くなった家族で、この世でキリストの教義を受け入れることができなかった人は、生きている親族が末日聖徒イエス・キリスト教会の神殿の身代わりの儀式を愛情を込めて行うことにより、その儀式を受けることができます。その儀式は、「最後まで耐え忍ぶ」助けとなる、バプテスマや聖霊の賜物を授かる儀式などです。さらに、永遠の命の約束は、この世で結婚した人々だけに与えられるものではありません。M・ラッセル・バラード会長は、このように教えています。「第 1 に、聖文と末日の預言者は、福音の聖約を忠実に守るすべての人々が昇栄の機会を確かに得られると述べています。」(『キリストに希望を抱く』「リアホナ」, 2021 年 5 月号; 強調付加)。バラード会長は、ラッセル・M・ネルソン大管長とダリン・H・オークス管長の言葉を引用して、「第 2 に、昇栄の祝福が授けられる正確な時や方法は明ら



かにされていませんが、それを得られることは約束されています。」「(「キリストに希望を抱く」, 55; 強調付加)と続けています。ネルソン大管長はこのように教えました。「主御自身の方法と時から見れば、忠実な聖徒に対して〔祝福が〕差し控えられることはありません。主は行いだけでなく心の望みに応じて一人一人を裁き、報いてくださいます。」「(「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号, 94)そして、オークス管長はこのように説明しています。「現世で得られなかった多くの重要な祝福は福千年で実現するでしょう。御父のふさわしいすべての子供たちに、幸福を与える偉大な計画の中で欠けているものがあれば、すべて実現するのがこの福千年なのです。」「(「人に幸福を与える偉大な計画」『聖徒の道』1994年1月号, 84); 注の5も参照

7. 『聖句ガイド』「救いの計画」の項参照。「福音トピックス」の「救いの計画」および「わたしの福音を宣べ伝えなさい」『レッスン2: 救いの計画』48-50, 53も参照
8. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』『レッスン2: 救いの計画』49参照
9. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』『レッスン2: 救いの計画』47-50参照
10. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』『レッスン2: 救いの計画』47-50参照
11. モーサヤ15:27。永遠の正義や神の正義に関する聖句は数多くありますが、特にアルマ41:2-8とアルマ42章を参照してください。
12. アルマ42:14-24; モーセ1:39参照
13. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』『レッスン2: 救いの計画』47-50参照
14. アルマ34:9-13参照。モーサヤ13:28, 34-35; 15:1-9; アルマ42:15も参照
15. ルカ2:10
16. ヨハネ3:16
17. ヒラマン14:15-17; モルモン9:12-14参照
18. 注の5ならびに6を参照
19. モーサヤ15:8-9
20. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』「宣教師としてのわたしの目的は何でしょうか」1を参



ペルー



- 照; 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』『レッスン3: イエス・キリストの福音』60も参照
21. ラッセル・M・ネルソン「純粋な真理, 純粋な教義, 純粋な啓示」『リアホナ』2021年11月号, 6; 強調付加
 22. ディーター・F・ウークトドルフ「イエス・キリストは青少年の力です」『リアホナ』2022年11月号, 11。『青少年の強さのために— 選択の指針』4も参照
 23. Dale G. Renlund, “Lifelong Conversion of Missionaries” (address given at the mission leadership seminar, June 25, 2021), 1, Church History Library, Salt Lake City.
 24. D・トッド・クリストファーソン「帰属の教義」『リアホナ』2022年11月号, 56。D・トッド・クリストファーソン「聖徒たちの喜び」『リアホナ』2019年11月号, 15-18も参照
 25. ヤコブ4:11; 教義と聖約20:54; 『聖句ガイド』「悪を語る」の項, scriptures.ChurchofJesusChrist.org 参照

26. See Ahmad S. Corbitt, “Activism vs. Discipleship: Protecting the Valiant” (address given at the chaplains’ seminar, Oct. 2022), cdn.vox-cdn.com/uploads/chorus_asset/file/24159863/Brother_Corbitt_Chaplain_seminar.pdf; video: media2.ldscdn.org/assets/general-authority-features/2022-chaplain-training-seminar/2022-10-1000-activism-vs-discipleship-1080p-eng.mp4.
27. 2ヨハネ1:9-10
28. 民数21:5-9参照
29. 2ニーファイ25:20
30. アルマ33:20
31. 2ニーファイ31:21
32. See “2021 Broadcast: Principles of Love, Share, and Invite,” broadcasts.ChurchofJesusChrist.org. ゲーリー・E・スティーパーンソン「愛し、分かち合い、招く」『リアホナ』2022年5月号, 84-87も参照
33. 2ニーファイ2:8



十二使徒定員会
デビッド・A・ベドナー長老

「わたしにつながって
いなさい。そうすれば、
わたしはあなたと
つながっていよう。
それゆえ、わたしと
ともに歩みなさい。」

つながっているという救い主の約束は真実であり、回復された
主の教会の聖約を守るすべての会員に与えられます。

旧約聖書、教義と聖約、高価な真珠に記されている古代の預言者エノクは、¹シオンの町の建設に貢献しました。

エノクの召しに関して、聖文にこう記されています。「彼は天から声が告げられるのを聞いた。『わたしの子エノクよ、この民に預言し、彼らに言いなさい。「悔い改めなさい。『……彼らの心はかたくなになり、その耳は聞こえにくく、その目は遠くを見ることができない。』』」²

「エノクはこれらの御言葉を聞いたとき、……地に伏し、主の前に語って言った。『わたしがあなたの目にかなったのはなぜでしょうか。わたしは若者にすぎず、すべての人はわたしを憎みます。わたしは口の重い者だからです。どうしてわたしはあなたの僕なのでしょうか。』」³

エノクが召されたとき、彼は自分の力不

足と限界を痛感していたことに注目してください。だれもが教会の奉仕で、一度はエノクと同じような気持ちになったことがあるのではないのでしょうか。しかし、エノクの切実な問いかけに対する主の答えは、今日の



わたしたち一人一人に当てはまる教訓です。

「主はエノクに言われた。『行って、わたしがあなたに命じたように行いなさい。そうすれば、あなたを刺し貫く者はだれもないであろう。あなたの口を開きなさい。そうすれば、それは満たされるであろう。わたしはあなたに語る力を与えよう。……

見よ、わたしの御霊があなたのうえにあるので、あなたのすべての言葉を、わたしは正しいとする。山々はあなたの前から逃げ去り、川はその流れを変えるであろう。あなたはわたしにつながっていなさい。そうすれば、わたしはあなたとつながっていよう。それゆえ、わたしとともに歩みなさい。』」⁴

最終的に、エノクは力強い預言者となり、神の御手に使われる道具として、偉大な業を成し遂げましたが、最初からそのように働いたわけではありません！彼の能力は、御子につながり、御子とともに歩むことを学ぶにつれて、高められていったのです。

主がエノクに与えた助言と、それが今日の皆さんやわたしにとってどのような意味があるのかともに考えるに当たり、聖霊の助けがあるよう切に祈ります。

あなたはわたしにつながっていません

主イエス・キリストは御自分につながっているよう、わたしたち一人一人を招いておられます。⁵しかし実際に、どうやって学

び、主につながるのでしょうか。

「つながる」にあたる「abide」という単語は、「固定される」、「安定している」、「屈することなく耐える」という意味です。ジェフリー・R・ホランド長老は、「abiding」が「永久にとどまる〔こと〕」を意味すると説明しました。「これは……世界中のすべての人に対する福音のメッセージの呼びかけです。来てください、そしてとどまってください。確信と忍耐をもって来てください。皆さん自身のためにも、そして皆さんに続く後のあらゆる世代の人たちのためにも、永久にとどまるつもりで来てください。」⁶ このように、良い時も悪い時も、贖い主とその聖なる目的のために固い決意をもって自らをささげるとき、わたしたちはキリストのうちにいます。⁷

わたしたちは、自らの選択の自由により、回復された福音の聖約と儀式を通して主のくびきを負うときに、⁸ 主につながり始めます。天の御父と復活された生ける御子との聖約によるつながりは、物事の見方や希望、力、平安、永続する喜びの究極の源であり、わたしたちの人生を築くべき堅固な基です。⁹

わたしたちは、天の御父と御子との聖約のきずなを強めるために絶えず努力することによって、主とつながります。例えば、愛する御子の名によって永遠の御父に心から祈ることは、御二方との聖約によるつながりを深め、強固にします。

わたしたちは、キリストの言葉を心から味わうことによって、主につながります。救い主の教義は、聖約の子供であるわたしたちを主のもとに引き寄せ、¹⁰ なすべきことをすべて教えてくれます。¹¹

わたしたちは、聖餐の儀式に参加するために熱心に備え、聖約で交わした約束を思い返し、反省し、心から悔い改めることによって、主につながります。ふさわしい状態で聖餐にあずかるとき、わたしたちは神聖な儀式に参加する短い時間の後も、進んでイエス・キリストの御名を受け、



「いつも御子を覚え」¹² ていられるように努力することを神に証明します。

そして、神の子供たちに仕え、兄弟姉妹に奉仕することで神に仕えることにより、主につながります。¹³

主は言われました。「もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。」¹⁴

わたしは、わたしたちが救い主とつながることを可能にする様々な方法の中から、幾つかを簡単に説明しました。そして、主の弟子であるわたしたち一人一人が、すべての行動においてキリストを生活の中心とするその他の有意義な方法について、自ら尋ね、求め、たたき、聖霊の力によって学ぶようにお招きします。

そうすれば、わたしはあなたとつながって いよう

わたしたちが救い主につながるなら、救い主もわたしたちとつながってくださいませ。しかし、キリストが一人一人と、個人的につながることは、ほんとうに可能なのではないでしょうか。声を大にして言います。もちろん可能です！

モルモン書には、苦難のためにやむを得ずへりくだっている貧しい人々へのアルマの教えと証が書かれています。アルマはその中で、御言葉を、植えて養い育てなければならぬ種にたとえ、その「御言葉」はイエス・キリストの生涯、使命、贖いの犠牲であると述べています。

アルマはこう言いました。「神の御子を

信じるようにしなさい。神の御子が将来、御自分の民を贖うために降臨されること、御子はその民の罪を贖うために苦しみを受け、死なれること、御子が死者の中からよみがえり、復活をもたらされること、終わりの裁きの日に、すべての人が各々の行いに応じて裁きを受けるために神の御子の御前に立つこと、これらのことを信じてほしい。」¹⁵

この「御言葉」についての説明を基に、次にアルマが指摘する霊的なつながりについて考えてください。

「さて、わたしの同胞よ、あなたがたがこの御言葉を心の中に植えて、それがふくらみ始めたら、あなたがたの信仰によってそれを養い育ててほしい。そうすれば見よ、それはあなたがたの心の中で生長して、永遠の命をもたらす木になるであろう。そのときに、神があなたがたのために、神の御子の喜びによって重荷を軽くしてください。これまで述べてきたことは、もしあなたがたにこれを行う意志さえあれば、すべて行えることである。」¹⁶

わたしたちが心の中に植えるよう努力すべき種は御言葉、すなわちイエス・キリストの生涯と使命と教義です。そして、御言葉は信仰によって養われ、わたしたちの中で永遠の命をもたらす木となります。¹⁷

リーハイの示現に出てくる木は、何を象徴していたでしょうか。この木は、イエス・キリストを表していると考えられます。¹⁸

愛する兄弟姉妹の皆さん、御言葉はわたしたちの中にあるのでしょうか。救い主の福音の真理は、わたしたちの心の板に書き込まれているのでしょうか。¹⁹ わたしたちは、主に近づき、徐々に似た者となっているでしょ

うか。キリストの木は、わたしたちの中で成長しているでしょうか。わたしたちは、主において「新しく造られた者」²⁰になるよう努力しているでしょうか。²¹

このすばらしい可能性こそ、アルマが次のように尋ねた理由かもしれません。「あなたがたは、霊的に神から生まれているか。あなたがたの顔に神の面影を受けているか。あなたがたは心の中に、この大きな変化を経験したか。」²²

わたしたちは、エノクに対する主の教えを常に覚えておく必要があります。「あなたはわたしにつながっていないさい。そうすれば、わたしはあなたとつながりましょう。」²³つながっているという救い主の約束は真実であり、回復された主の教会の聖約を守るすべての会員に与えられることを証します。

それゆえ、わたしとともに歩みなさい

使徒パウロは、主を受け入れた信者に対し「〔主〕において歩きなさい」²⁴と諭しました。

救い主においてともに歩むことは、弟子としての重要な二つの特質を明確にします：(1) 神の戒めに従うことと、(2) わたしたちを御父と御子につなぐ神聖な聖約を思い起こし、尊ぶことです。

ヨハネはこのように言っています。

「もし、わたしたちが彼の戒めを守るならば、それによって彼を知っていることを悟るのである。

『彼を知っている』と言いながら、その戒めを守らない者は、偽り者であって、真理はその人のうちにはない。

しかし、彼の御言を守る者があれば、その人のうちに、神の愛が真に全うされるのである。それによって、わたしたちが彼にあることを知るのである。

『彼におる』と言う者は、彼が歩かれたように、その人自身も歩くべきである。」²⁵

イエスはわたしたち一人一人に、「わたしに従ってきなさい」²⁶「わたしとともに歩みなさい」²⁷とおっしゃっています。

信仰を持って力強く進み、主の「御霊の柔和な道」を歩むならば、²⁸ 力、導き、守り、そして平安を受け、祝福されることを証します。

証と約束

アルマは、生きるすべての人に対する主の愛にあふれた切実な願いについて述べています。

「見よ、主はすべての人を招き、憐れみの御腕を伸べて、『悔い改めよ。そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れよう』……。

……『わたしのもとに来なさい。あなたがたは命の木の実を食べるであろう。あなたがたは働なしに命のパンを食べ、命の水を飲むであろう』〔と言われる。〕」²⁹

わたしは、救い主の願いがすべての人に向けられていることを強調し、お伝えします。地球上で今生きている人、かつて生きていた人、そしてこれから生きる人を

すべて、恵みと憐れみをもって祝福することを切望しておられるのです。

一部の教会員は、カンファレンスセンターの壇上から、あるいは世界中の地元の集会で、繰り返し教えられる教義、原則、証を真実として受け入れてはいるものの、これらの永遠の真理を自分の生活や状況に具体的に当てはめることができるという信仰が得られずにいるかもしれません。彼らは心から信じ、忠実に仕えてはいますが、御父と贖い主である御子との聖約によるつながりが、まだ現実に彼らの生活に変化をもたらすものにはなっていないのです。

わたしが伝えようとしている福音の真理が、あなた個人のためにあることを、聖霊の力によって、感じ、知ることができると約束します。

イエス・キリストが、愛にあふれる生ける救い主、贖い主であられることを喜びをもって証します。主につながっているなら、主はわたしたちとつながり、ともに歩んでく



モンゴル

ださいます。³⁰そして、主にあって、ともに歩むとき、わたしたちは祝福され、多くの実を結ぶでしょう。主イエス・キリストの神聖な御名により証します。アーメン。■

注

1. 創世 5:18 - 24; 教義と聖約 107:48 - 57; モーセ 4:6 - 7 参照
2. モーセ 6:27
3. モーセ 6:31
4. モーセ 6:32, 34; 強調付加
5. ヨハネ 15:4 - 9 参照
6. ジェフリー・R・ホランド「『わたしにつながっていないさい』」『リアホナ』2004年5月号, 32
7. ヨハネ 15:10 参照
8. マタイ 11:29 - 30 参照
9. ヒラマン 5:12 参照
10. 3 ニーファイ 27:14 - 15 参照
11. 2 ニーファイ 32:3 参照
12. モロナイ 4:3; 5:2
13. モーサヤ 2:17 参照
14. ヨハネ 15:10
15. アルマ 33:22
16. アルマ 33:23; 強調付加
17. アルマ 26:13 参照
18. わたしは、2017年のディボーションでこの原則を説明しています:

「〔アルマは〕『会堂や彼らの家に入り、人々に神の言葉を宣べ伝え始めた。彼らはまた、通りでも御言葉を宣べ伝えた。』(アルマ 32:1; 強調付加) アルマはさらに、神の言葉を種にたとえています。

『さて、もしあなたがたが心の中に場所を設けて、種をそこに植えるようにするならば、見よ、それがほんとうの種、すなわち良い種であり、またあなたがたが主の御霊に逆らおうとする不信仰によってそれを捨てるようなことがなければ、見よ、その種はあなたがたの心の中でふくらみ始めるであろう。そして、あなたがたは種がふくらみつつあるのを感じると、心の中で次のように思うであろう。「これは良い種、すなわち御言葉は良いものに違いない。これはわたしの心を広げ、わたしの理解力に光を注ぎ、まことに、それはわたしにとって味わい深いものとなり始めている。』(アルマ 32:28; 強調付加)

興味深いことに、良い種は心に植えられると、ふくらみ、芽を出し、成長して木になります。

『そして見よ、木が生長し始めると、あなたがたは、「この木が根付き、生長し、わたしたちのために実を結ぶように、十分に注意して養いを与えよう」と言うであろう。さて見よ、あなたがたが十分に注意して養いを与えれば、それは根付き、生長し、実を結ぶであろう。

しかし、もしあなたがたがその木に構わず、養い育てることに心を配らなければ、見よ、それが根付くことはないであろう。そして、太陽の暑さが及んでその木を熱すると、その木はまったく根がないので枯れてしまうであろう。そこであなたがたは、その木を抜いて捨てる。

さてこれは、種が良くなかったからでもなけれ



ば、実が美味しいものでなかったからでもない。ただ、あなたがたの土地がやせているためである。あなたがたがその木に養いを与えようとしないうちに、実を得ることができないのである。

このように、もし信仰の目をもって実を期待しながら御言葉を養おうとしなければ、あなたがたは決して命の木の実を得ることができない。

しかし、あなたがたが御言葉に養いを与えようとするれば、つまり、その木が生長を始めるときに、非常な熱意と、忍耐を伴う信仰を働かせてその実を期待しながら養いを与えようとするれば、それは根付くであろう。そして見よ、それは成長して永遠の命をもたらす木になるであろう。(アルマ 32:37 - 41; 強調付加) ……

リーハイの夢の中心となっているのは「神の愛」(1ニーファイ 11:21 - 22 参照)を表す命の木です。

『神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。』(ヨハネ 3:16)

主イエス・キリストの誕生と生涯、そして贖いの犠牲は、神の子らに対する神の愛の最大の現れです。ニーファイが証したように、この愛は「どんなものよりも好ましいもの」であり「最も喜ばしいもの」(1ニーファイ 11:22 - 23, 1ニーファイ 8:12, 15も参照)です。ニーファイ第一書の11章にはさらに、命の木は救い主の生涯と教導の業と犠牲の象徴であり、「神が御自身を低くされること」1ニーファイ 11:16)を示していると記されています。命の木はキリストを表していると考えられます。

木の実に対する一つの考え方は、それが贖罪の祝福の象徴だということです。その実は「人を幸せにする好ましいもの」(1ニーファイ 8:10)であって、大きな喜びをもたらし、その喜びをほかの人と分かち合いたいという望みを抱かせます。

意味深いことに、リーハイの示現で最も強調されていることは(1ニーファイ 8:19 参照)、モルモン書の包括的なテーマである、すべての人をキリストのもとに招くということです(モロナイ 10:32 参照)。「(“The Power of His Word Which Is in Us” [address given at seminar for new mission leaders, June 27, 2017], 4-5)

19. 2 コリント 3:3 参照

20. 2 コリント 5:17

21. アルマのたとえは、信じたいという願いがわたしたちの心に種を植え、その種をわたしたちの信仰で養うことで命の木が芽を出し、木を養うことで木の実が実り、それは「どんな甘いものよりも甘く」(アルマ 32:42)、「神のあらゆる賜物の中で最も大きいなるもの」(1ニーファイ 15:36)であると教えています。

22. アルマ 5:14

23. モーセ 6:34; 強調付加

24. コロサイ 2:6

25. 1 ヨハネ 2:3 - 6; 強調付加

26. ルカ 18:22

27. モーセ 6:34

28. 教義と聖約 19:23 参照

29. アルマ 5:33 - 34; 強調付加

30. ヨハネ 15:5 参照



末日聖徒イエス・キリスト教会大管長
ラッセル・M・ネルソン大管長

答えは常にイエス・キリストにある

皆さんの抱える疑問や問題が何であれ、その答えは常に、イエス・キリストの生涯と教えの中に見いだすことができます。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この2日間、わたしたちは霊的な養いを受けてきました。聖歌隊の音楽はすばらしく、話者の皆さんは主に使われる者となって話をしてくれました。皆さんがこの説教壇から教えられた真理について深く考え、学ぶ中で聖霊の導きを求めることができるよう祈っています。それらの真理は、まさに天

から与えられたものです。

1週間後は復活祭の日曜日です。イエス・キリストに従う者にとって、復活祭はまさに最も重要な宗教行事で、わたしたちがクリスマスを祝うのは、おもに復活祭のためなのです。今週の『わたしに従ってきなさい』のレッスンでは、救い主のエルサレムへの勝利の入城や宮清め、ゲツ

セマネの園での苦しみ、十字架へのはりつけ、栄えある復活、そして、その後主が御自身に従う人々に御姿を現されたことについて学ぶよう促されることでしょう。¹

ぜひ、それらの神聖な聖句をよく味わい、御自身の独り子を遣わされた天の御父にあらゆる形で感謝する方法を見つけてください。² イエス・キリストのおかげで、わたしたちは悔い改めて罪の赦しを受けることができます。主のおかげで、わたしたち一人一人は復活するのです。

また、第三ニーファイに記録されている、救い主がアメリカ大陸のニーファイ人に御姿を現された話を再び研究するようお招きします。主が御姿を現される少し前、人々は次のような、わたしたちに対する想いのこもった主の声を耳にしました。

「わたしがあなたがたを癒すことができるように、今あなたがたはわたしに立ち返り、自分の罪を悔い改め、心を改めようとしているか。

……見よ、わたしの憐れみの腕はあなたがたに向けて伸べられている。わたしは来る者をだれでも受け入れよう。」³

愛する兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストは今日も皆さんを同じように招いておられます。主があなたを癒すことができるよう、主のもとに行くよう切に願います。悔い改めるなら、主は罪から癒してください。悲しみや恐れから癒してください、この世の傷からも癒してください。ことでしょう。

皆さんの抱える疑問や問題が何であれ、その答えは常に、イエス・キリストの生涯と教えの中に見いだすことができます。どうか、主の贖罪、主の愛、主の憐れみ、主の教義について、また、主の回復された癒しと進歩の福音についてさらに学んでください。主に頼り、主に従ってください!

イエス・キリストこそが、わたしたちが神殿を建てる理由であり、一つ一つの神殿は主の聖なる宮なのです。神殿で聖約



を交わし、必須の儀式を受けるだけでなく、神殿でさらに主に近づけるよう努めることは、ほかの形の礼拝ではできない方法で、皆さんの生活に祝福をもたらしてくれることでしょう。このために、わたしたちは世界中の会員にとって、神殿の祝福がより身近なものとなるよう全力を尽くしています。本日、次の場所に、新たに神殿を建てる計画があることを発表でき、うれしく思います。

- グアテマラ、レタルウレウ
- ベルー、イキトス
- ブラジル、テレジナ
- ブラジル、ナタール
- フィリピン、トゥゲガラオシティー
- フィリピン、イロイロ
- インドネシア、ジャカルタ
- ドイツ、ハンブルク
- カナダ、アルバータ州レスブリッジ
- カリフォルニア州サンノゼ
- カリフォルニア州ベーカーズフィールド
- ミズーリ州スプリングフィールド
- ノースカロライナ州シャーロット
- バージニア州ウィンチェスター
- ペンシルベニア州ハリスバーグ

愛する兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストが御自身の教会の諸事を導いておられることを証します。主に従うことが、永続する幸福を得る唯一の方法であると証します。わたしは、「義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装してい[る]」⁴ 主の聖約を守る民のうえに、主の力が降り注がれることを知っています。これらのことを、皆さん一人一人への愛と祝福を込めて、イエス・キリストの聖なる御名により証します。アーメン。■

注

1. 『わたしに従ってきなさい—個人と家族用：新約聖書 2023年』57-60 参照
2. ヨハネ3:16 参照
3. 3 ニーファイ9:13-14
4. 1 ニーファイ14:14





2022年度統計報告

教会員に情報を提供するために、大管長会は2022年12月31日現在の教会の発展と現状に関する以下の統計報告を発表しました。

教会のユニット数

ステーク	3,521
伝道部	411
地方部	517
ワードと支部	31,330

教会員数

会員総数	17,002,461
2022年度の新たな記録上の子供	89,059
2022年にバプテスマを受けた改宗者	212,172

宣教師

専任のティーチング宣教師	62,544
シニア教会奉仕宣教師	27,070
若い教会奉仕宣教師	2,736



アーマド・S・コービット長老
中央幹部七十人

アーマド・S・コービット長老は、中央若い男性会長会の顧問として世界中でミニスタリングを行ってきたことで、新たな召しを果たすにあたり、預言者と使徒の指示と教えにさらに注意深く信仰をもって耳を傾けることができるようになったと述べています。

2020年4月に中央若い男性会長会で奉仕するように召されたコービット長老は、若い世代を強め、救いと昇栄の業に積極的に携わるよう彼らを招くために、ほかの青少年指導者と協力して過去3年間を過ごしてきました。

「若い世代を強めたいというわたしの切実な思いは、今後も薄れることはないと思います」と、コービット長老は語ります。「彼らは、より高度かつより神聖な方法で救いと昇栄の業を行う機会を得て育ってきているので、わたしたちよりも優れた指導者となるでしょう。」

アーマド・セーレム・コービット長老（60歳）は、1962年8月16日にアメリカ合衆国ペンシルベニア州フィラデルフィアで、ジェームズ・アール・コービット、アメリア・コービット夫妻のもとに生まれました。18歳の誕生日に、母親と何人かのきょうだいに続いてバプテスマの水に入り、教会に加入しました。翌年、義父がバプテスマを受けました。

リックスカレッジ（現ブリガム・ヤング大学アイダホ校）に通い、1982年から1984年までプエルトリコ・サンファン伝道部で奉仕した後、ヤングシングルアダルトの神殿参入でジェイン・ジョスリンに出会いました。二人は1985年8月にワシントンD.C. 神殿で結婚しました。夫妻には6人の子供がいます。

コービット長老は、ニュージャージー州にある現在のストックトン大学と、ラトガース大学法科大学院で学位を得ています。ドミニカ共和国サントドミンゴ東伝道部会長、ステーキ会長、二つのステーキ会長会で顧問、高等評議員として奉仕してきました。

コービット長老は、法廷弁護士、広報・政府関係者、教会のニューヨーク広報・国際事務局ディレクター、地域伝道スペシャリストとして働いてきました。■



ロバート・M・デインズ長老
中央幹部七十人

ロバート・M・デインズ長老は、早朝セミナー教師として奉仕するよう召されたとき、スタンフォード大学で法律・経営学の教授として働いていました。

生涯を通じて末日聖徒であったデインズ長老は、福音を知っていましたが、その召しに関する何かが彼をかつてないほど聖文研究に駆り立てました。妻のルースが言うには、彼はしばしば早く寝て、午前4時に起きたそうです。15人の生徒との日々のレッスンのために、3時間の準備が必要だったからです。

「才能のある人もいますし、頑張る必要のある人もいます」と、彼は語ります。「わたしは『もっと頑張った方がよい』という部類に入っています。」

デインズ長老は、毎日何時間も聖文をじっくり研究したと言います。救い主の愛を知り、感じ、生徒たちが同じつながりを持つように助けたかったからです。この10年間の経験は、彼の信仰と証に大きな影響を与えました。

「わたしはカリフォルニア州パロアルトでセミナー教師のときに、ほんとうに改心し、イエス・キリストを知るようになった気がします」と、2023年4月の総大会で新たな中央幹部七十人として支持されたデインズ長老は語ります。

ロバート・メルル・デインズ長老は、1964年7月28日にアメリカ合衆国インディアナ州ブルーミントンで、ロバート・ヘンリー・デインズ三世、ジャネット・ラングレン・デインズ夫妻のもとに生まれました。ユタ州プロボで育ち、1988年12月にソルトレーク神殿でルース・アン・グレージャーと結婚しました。夫妻には5人の子供がいます。

デインズ長老は、ブリガム・ヤング大学を卒業した後、エール大学で法律の学位を取得しました。そして、ゴールドマン・サックスのアソシエイトとして働き、その後、ニューヨーク大学とエール大学で教鞭を執りました。過去20年間、デインズ長老はスタンフォード大学の法律・経営学の副学部長兼ブリッカー教授として働いてきました。

デインズ長老はスイス・チューリッヒ伝道部で専任宣教師として奉仕しました。そのほかの教会の召しには、ステーキ会長、高等評議員、ビショップ、託児指導者が含まれます。デインズ長老は、この召しを受けた当時、ステーキ会長として奉仕していました。■



J・キモ・エスプリン長老
中央幹部七十人

伝道から数か月後、J・キモ・エスプリン長老は、自動車事故に遭い、父親を亡くしました。それからわずか数か月後、母親が隣に座っている状態で、彼の車は後ろから衝突されました。車は横転し、母親と姪が亡くなりました。

度重なる悲劇と悲しみを経験しながらも、エスプリン長老は、自分自身は祝福されていると思いました。その気持ちは主と主の慈しみと深い憐れみのおかげであると思ったのです。

「良い人生でした」と、彼は言います。

彼が好きな言葉の一つはこれです。「主はあなたにそれを行っておられるのではなく、あなたのためにそれを行っておられる。」

両親の死後、姉たちがお金を出し合って、彼をブリガム・ヤング大学エルサレムセンターに留学させました。彼はそこでケイ・デービスに出会いました。

二人は、シナイ砂漠でのグループキャンプや、バナナ園での作業、旧約聖書と新約聖書を一緒に研究したことで、良い友達になりました。

ユタ州プロボに戻った後、二人はデートを始めました。そして、1985年8月にソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には8人の子供がいます。

ジョン・ロス・キモ・エスプリン長老は、1962年8月18日にアメリカ合衆国ハワイ州カフクで生まれました。彼はロス・S・エスプリンとオリブ・オラ・ムーディー・エスプリンの8人の子供の末っ子であり、一人息子です。

エスプリン長老は、1987年にブリガム・ヤング大学で会計学の学士号を取得しました。その後、家族でイリノイ州シカゴに引っ越し、投資銀行業務の仕事に就き、経営管理学の修士号を取得しました。

エスプリン長老がハンツマン・コーポレーションの執行副社長兼最高財務責任者になったとき、家族は短期間ベルギーに住み、その後ユタ州コットンウッドハイツに定住しました。

エスプリン長老は、中央幹部七十人として召されたときに地域七十人でした。かつて日本東京伝道部と日本東京南伝道部で伝道部会長を務めました。若い専任宣教師のときに、日本神戸伝道部で奉仕しました。また、ステーキ会長、高等評議員、ビショップとしても奉仕してきました。■



クリストフ・G・ジロー・カリエール長老
中央幹部七十人

クリストフ・G・ジロー・カリエール長老は、成人になったときに壮大な計画を立てていました。それは、厳しい大学生活を開始し、休学して専任宣教師として奉仕し、10代の恋人と結婚し、その後、母国フランスで家庭生活とエンジニアとしての仕事を始めるというものでした。

伝道と結婚は計画どおりに進みましたが、そのほかの期待は外れました。休学はかないませんでした。ブリガム・ヤング大学(BYU)へ編入することができました。そして次第に大学で教えたいと思うようになりました。しかしフランスでは、国外で教育を受けた人に大学での就職口はほとんどありませんでした。そのため、ほかの国で、主の時刻表に従って、家庭を持ち、別の経歴を積み、教会で奉仕することになりました。

「ほとんどのことは計画どおりに進まないという現実から、わたしたちは気づいたことがありました。それは、その場所にわたしたちを導かれたのが主であるなら、そこが、主の望まれる場所であり、わたしたちが奉仕できる場所であるということです」と、ジロー・カリエール長老は語ります。「その経験を通して、主を信頼し、主はわたしたちの人生を自分たちでできる以上のものにしてくださると信頼することを学びました。」

クリストフ・ジェラルド・ジロー・カリエール長老は、1966年1月21日にフランスのリヨンで、ジェラルド・ジロー・カリエール、アニー・ジロー・カリエール夫妻のもとに生まれました。カナダ・モントリオール伝道部で専任宣教師として奉仕した後、1988年7月にフランスのショレでイザベル・ソフィー・マウクレアと結婚しました。その後、スイス・ベルン神殿で結び固めを受けました。夫妻には8人の子供がいます。

ジロー・カリエール長老は、BYUでコンピューター科学の学士号、修士号、博士号を取得した後、イギリスのブリストル大学で上級講師として、またスイスのELCA Informatiqueでシニアマネージャーとして働き、その後19年間、BYUでコンピューターサイエンスの教授として働きました。

中央幹部七十人に召されたとき、ユタ州プロボ YSA 第16ステーキの会長を務めていました。これまでの教会の召しには、フランス・リヨン伝道部会長、高等評議員、ビショップとしての奉仕が含まれます。■



アラン・T・フィリップス長老

中央幹部七十人

アラン・T・フィリップス長老は、若いころから教会が真実であると感じていましたが、専任宣教師として伝道に出る前に、救い主についてもっと個人的な証を得たいと願っていました。

「わたしは断食し、祈り、森に行きました」と語ります。「大きな答えを期待していたのです。」

その後、家族が割り当てを受けて留守になったある週に、一人で聖餐会に出席しました。

「わたしは求めていたわけではありませんでした。ただそこで、聖餐を受ける準備をして、会衆と一緒に歌っているだけでした。その時、初めてのことで、『突き刺されし主の手』¹という言葉と思いが飛び出して、わたしの心に入ってきたのです。わたしはもはや概念ではなく、抽象的でもない、わたしとの関係における主の存在を感じました。その瞬間に、主がわたしの救い主となったのです。」

フィリップス長老はその後の祈りで、天の御父に感謝し、神が与えてくださったこの新たな知識に対して残りの生涯を忠実に過ごしますと告げました。

それは救い主の存在を確信した瞬間でした。ほかのすべての証はその「堅固な基」(ヒラマン5:12)から築かれていると、フィリップス長老は語ります。

アラン・トーマス・フィリップス長老は、1970年6月にイギリスのケントで生まれ、イギリスのバッキンガムシャーで育ちました。2005年7月にアリゾナ州メサ神殿でリンジー・アイオルグと結婚しました。夫妻は、4人の子供がおり、ロンドンにある教会の歴史的なハイパークステークの会員です。

フィリップス長老は、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンスで学士号と修士号を取得しました。過去4年間ブリガム・ヤング大学ロンドンセンターでアカデミックディレクターを務めたことを含め、ビジネス、財務、教育の様々な組織で働いてきました。

イギリス・マンチェスター伝道部で専任宣教師として奉仕しました。また、ヨーロッパ北地域会長会顧問、地域七十人、ステーク会長、ステーク会長会顧問、高等評議員、ビショップリック顧問としても奉仕しました。■

注

1. 「主イエスの愛に」『賛美歌』109番



エミリー・ベル・フリーマン会長

中央若い女性会長

多くの人は、エミリー・ベル・フリーマン会長を講演者、作家、ポッドキャスト配信者、教師としてすでに知っているかもしれませんが。しかし、彼女を知らない人々に—また知っている人々にも—フリーマン会長が自分のことを知ってほしいと思っている第一のことは、イエス・キリストに深く揺るぎない確信を抱いているということです。

「わたしは主との個人的な経験を通して、天の御父を知り、啓示を受けるようになりました」と、フリーマン会長は述べています。「それがわたしの人生で決定的な要素となり、主を生涯の伴侶とするようになりました。」

作家またポッドキャスト配信者として働き始めたとき、彼女は、何に焦点を当てたいのかと自問しました。その答えは、イエス・キリストと主の贖罪について証することでした。

フリーマン会長は、1969年12月31日にアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンで生まれました。当時、父親のマッキンリー・マクビチー・オズワルドがハーバード大学に通っていたのです。フリーマン会長は、母親のレスリー・ジェームズ・オズワルドについて、「エネルギッシュで愛に満ちている」女性の一人であると言っています。

6人の子供の中で最年長のフリーマン会長は、ユタ州サンディーで育ちました。高校3年生のとき、両親がカリフォルニア州ベンチュラ伝道部指導者として召され、彼女の人生は変わりました。彼女ときょうだいたちは、両親とともにすべての伝道部、ゾーン、ステークの大会に参加しました。高校卒業後、ブリガム・ヤング大学で学ぶためにカリフォルニアを離れました。

カリフォルニア・ベンチュラ伝道部で伝道したグレゴリー・ガス・フリーマンは、ユタ州バウンティフルの家に戻ったとき、伝道部の指導者から、ユタ州で行われる娘の講演会を見に行っしてほしいと頼まれました。その後間もなく、エミリーとグレゴリーはデートを始め、1989年12月にカリフォルニア州ロサンゼルス神殿で結婚しました。夫妻には5人の子供がいます。

フリーマン会長はこれまでに10冊以上の本を執筆し、様々な大会やワークショップ、集会で話をしてきました。また、長年教会教育システムで教え、福音の教義クラス教師として、またワード若い女性会長や扶助協会会長として奉仕してきました。■



タマラ・W・ルニア姉妹
中央若い女性会長会第一顧問

タマラ（タミー）・W・ルニア姉妹はこれまで、ステーキ聖典クラス教師、ステーキ扶助協会会長顧問、夫とともにオーストラリア・シドニー伝道部の指導者など様々な召しを果たしてきましたが、奉仕のほとんどは若い女性とともに過ごすものでした。

「これまで奉仕したすべての召しが大好きです」と、ステーキ若い女性会長も務めたルニア姉妹は語ります。しかし、こう付け加えました。「若い女性たちといると心が落ち着くというのが正直な気持ちです。」

ルニア姉妹は、若い女性キャンプに20回以上参加したと言います。ある年には、キャンプのチアリーダーとして参加するように依頼されました。

彼女は、すべての若い女性に、天の御父からどれほど愛されているか知ってほしいと思っています。その愛は、「空のように広く、海のように深い」と、彼女は言います。天の御父は「みんなが帰ってきてほしいと思っておられます」と言い添えます。

「わたしがそうであったように」そのつながりを感じる事が若い女性の人生を変えると、彼女は語ります。

ルニア姉妹は、1961年3月2日にアメリカ合衆国カリフォルニア州コンコードで、ビンセント・アルマ・ウッド、ゲイル・ヒルトン・ウッドのもとに生まれました。そして、カリフォルニア州ウォールナットクリークで育ちました。

ルニア姉妹がR・スコット・ルニアに出会ったのは、ブリガム・ヤング大学で放送ジャーナリズムを学んでいた1年生のときでした。その後、1981年5月にカリフォルニア州オークランド神殿で結婚しました。夫妻は、7人の子供がおり、現在ユタ州プロボに住んでいます。

ルニア姉妹は、4月の総大会で新たに中央若い女性会長会第一顧問として支持されました。8月1日から奉仕を開始します。

教会での奉仕のほかに、プロボのFood and Care Coalition（食品・介護連合）の理事会で20年間を過ごし、ホームレスや低所得者のためのリソースを提供してきました。■



アンドレア・ムニョス・スパンナウス姉妹
中央若い女性会長会第二顧問

アルゼンチンに住んでいた子供のころ、アンドレア・ベロニカ・ムニョスと姉は、カトリックの学校に通っていました。アンドレアが9歳になるまで、二人は一度もほかの宗教の教えを聞いたことがありませんでした。そのときに、末日聖徒の宣教師が、回復された福音について家族に教え始めました。

宣教師がレッスンを終えて帰った直後に、アンドレアの母親は、宗教は一つだけではないことを説明しました。アンドレアは母親に、神のことを最もよく伝えているのはどの教会と思うか尋ねました。母親は、「この教会だと思わ」と答えました。それが、宣教師から教わったばかりの末日聖徒イエス・キリスト教会です。

アンドレアはそれまでずっと「神様を喜ばせたい」と思っていたので、新たな宗教を受け入れることに不安を感じました。しかし、そう感じたのはわずか数分間で、教会についてもっと知りたいという思いに代わりました。

家族はバプテスマを受け、「新たな生活が始まりました」と、スパンナウス姉妹は語ります。「家族の生活が変わったことは、わたしたち全員にとってほんとうにすばらしいことでした。」

アンドレア・ベロニカ・ムニョス・スパンナウス姉妹は、1968年5月18日にアルゼンチンのブエノスアイレスで、カルロス・アルベルト・ムニョス、エリダ・メニクッチ夫妻のもとに生まれました。そして、アルゼンチンのベカルで育ちました。1992年10月に、アルゼンチン・ブエノスアイレス神殿でアリン・スパンナウスと結婚しました。夫妻には2人の子供がいます。

スパンナウス姉妹は、幼児教育の学士号を取得し、また美術とインテリアデザインを学びました。彼女は現在、中央扶助協会諮問評議会に奉仕しています。それ以前は、南アメリカ南地域「青少年の強さのために」(FSY)カンファレンス委員会、FSY ユタ・ラティーノ・カンファレンス委員会で奉仕し、また夫とともにメキシコ・クエルナバカ伝道部の指導者として奉仕しました。

また、ワード扶助協会会長、若い女性会長、初等協会会長、早朝セミナー教師、スペイン語を話すヤングシングルアダルトワードアドバイザー、アルゼンチン・レシステンシア伝道部の専任宣教師としても奉仕しました。■



ブラッドリー・R・ウィルコックス兄弟
中央若い男性会長会第一顧問

中央若い男性会長会顧問として奉仕を始める何年も前に、ブラッドリー・R・ウィルコックス兄弟とデビ夫人は、参加を渋っている14歳の息子を、ブリガム・ヤング大学で行われたEFY (Especially for Youth。青少年のプログラム) に送り出しました。

彼には「霊的な骨がない」のではないかと、二人は心配しました。ところが、霊的な事柄への集中力と感受性の豊かな子になって家に帰ってきたのです。それから何年もたつ現在、彼はビショップリックで奉仕し、ワードで青少年を指導し教えています。

ウィルコックス兄弟が昨年の夏、世界中の末日聖徒の青少年が「青少年の強さのために」(FSY) カンファレンスに参加する中で繰り返し目にしたのが、そのような情景でした。「参加するか迷っていた」人たちが、何人も、別人のようなもっと良い人になって家に帰ったのです。

2020年から中央若い男性会長会第二顧問を務め、2023年4月の総大会で第一顧問として支持を受けたウィルコックス兄弟は、今は末日聖徒の青少年に仕えるのにすばらしい時だと語ります。中央若い男性会長会と中央若い女性会長会は、定期的に連携して活動し、「FSYカンファレンス、ガイド、機関誌はかつてないほど多くの青少年の心を動かしています。」

ブラッドリー・レイ・ウィルコックス兄弟(63歳)は、1959年12月25日にアメリカ合衆国ユタ州プロボで、レイ・T・ウィルコックス、バル・C・ウィルコックス夫妻のもとに生まれました。その後、プロボで育ちましたが、幼少期の数年をエチオピアで過ごしました。

チリ・ビニャデルマル伝道部で専任宣教師として奉仕した後、ウィルコックス兄弟は、1982年10月にユタ州プロボ神殿でデボラ・ガンネルと結婚しました。夫妻は、4人の子供がおり、ユタ州プロボに住んでいます。

ウィルコックス兄弟は、ブリガム・ヤング大学(BYU)で教育学の学士号と修士号、ワイオミング大学で博士号を取得しました。BYUの古代聖典学部の教授です。1985年以来、夏の大半年をBYUのEFYプログラムにささげてきました。

ウィルコックス兄弟はこれまでビショップ、ステーク会長、チリ・サンティアゴ東伝道部会長として、また日曜学校中央管理会で奉仕してきました。■



マイケル・T・ネルソン兄弟
中央若い男性会長会第二顧問

マイケル・T・ネルソン兄弟は、伝道部会長を務めた時期に、若い世代に正しい原則を教え、その後彼らを信頼することで、伝道活動と個々の宣教師の生活の両方で最良の結果がもたらされるという確信を得ました。

「信頼がすべてです。わたしたちは彼らを信頼することを学びました」と、ネルソン夫妻は、1998年から2001年まで伝道部の指導者として奉仕したカリフォルニア州サンバーナーディーノ伝道部の専任宣教師たちとともに携わった伝道について語ります。

ネルソン兄弟は、学ぶこと—そして指導する機会を若い人たちに与えること—がこれまで教会での自分の奉仕の不可欠な部分であり、それを中央若い男性会長会での新たな召しにおいても続けると述べています。ネルソン兄弟は過去3年間、中央若い男性会長会の幹部書記として奉仕してきました。それ以前の2年間は、現在の中央若い男性諮問評議会の一員として奉仕しました。

マイケル・テリー・ネルソン兄弟は、1956年6月10日にアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーで、モンテ・キャンノン、ビオラ・エライザ・ネルソン夫妻のもとに生まれ、ソルトレーク地域で育ちました。チリ・サンティアゴ伝道部で奉仕した後、ブリガム・ヤング大学とユタ大学で組織コミュニケーションを学びました。1982年にバーバラ・フルキガーとジョーダンリバー神殿で結婚しました。ネルソン夫妻はユタ州サンディーで暮らした後、ユタ州ウォールズバーグに移り住みました。夫妻には9人の子供がいます。

ネルソン兄弟は、商業用および住宅用不動産・投資会社の最高財務責任者です。二人の子供が同居しているネルソン家族は、自宅の敷地内で小さな農場も経営しています。戸外で活動し、時間を過ごすことは、自分の家族にとって重要であったように、教会の青少年にとっても重要であると、ネルソン兄弟は語ります。

ネルソン兄弟はこれまで、ステーク会長、ステーク会長会顧問、ステーク幹部書記、ビショップ、ワード若い男性会長、ステーク若い男性会長として奉仕してきました。1997年には、ソルトレーク盆地への最初の部隊の旅を再現した150周年幌馬車隊の資金集め、登録、および物流管理を手伝いました。■



教会のニュース

ラッセル・M・ネルソン大管長 — 教会の大管長 5 年間の務めの軌跡

5 年前、第 17 代末日聖徒イエス・キリスト教会会長になって初めて行った公の説教の中で、ラッセル・M・ネルソン大管長は自分自身のことではなくてイエス・キリストのことを話し、そして将来に目を向けて話しました。

「主はいつも御自身の預言者に指示と靈感を与えてこられました。それはこれから変わりません。主が舵を取っておられるのです。主の神聖な御名を、世界中に証するよう聖任されたわたしたちは、これからも続けて主の御心を知るために願い求め、それに従っていきます。」（「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018 年 4 月号、6）

教会を導く啓示を受ける

ネルソン大管長は主の指示に従い、35 の国々を訪れ、教会の組織に変更を加え、テクノロジーを使って福音を分かち合い、パンデミックの時期に教会を導き、歴史的な勧告を与え、理解の橋渡しをしました。

教会の大管長になって以来、ネルソン大管長は非常に数多くの末日聖徒に向けて話し、王や大統領、首相への呼びかけを行っています。2019 年には、招へいを受けて、アメリカ合衆国ミシガン州デトロイトで開催された全米黒人地位向上協会

(NAACP) の大会で話し、悲嘆に暮れる犯罪の被害者たちなどを慰めて、NAACP の最高指導者たちとの関係を深めました。

啓示を受け、大管長会と十二使徒定員会の全面的な支持を得て、教会内で複数の方針の変更も行いました。

靈感に満ちた大管長の指導の下で、末日聖徒の指導者たちは、ホームティーチングと家庭訪問に代わってミニスターングを実施するようにしましたし、家庭を中心として教会が支援する福音学習に対応するために、日曜日の集会スケジュールを変更しました。また、教会の正式名称を使うことを会員たちに求めました。教会は、民事結婚をした夫婦が準備が整い次第直ちに神殿で結び固めを受けられるという方針を施行しました。また、什分の一面接を什分の一申告という名称に改めました。そして、神殿の結び固めの証人を女性が務めることができ、ふさわしい教会員である女性、青少年、子供がバプテスマの証人を務めることができるという方針を定めました。

「教会の大管長という新しい召しを受けて以来、御霊が繰り返し心に刻みつけてくださったことの一つは、主が御自分の思いと御心をいかに喜んで明らかにしたいと願っておられるかということです」

と、2018 年 4 月の総大会でネルソン大管長は言っています（「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018 年 5 月号、94）。

2020 年、教会はジョセフ・スミスの最初の示現 200 周年を祝いましたが、華々しい祝典を行ったわけではなく、教会指導者が世界中の末日聖徒に、主の声をさらによく、さらに頻繁に聞くようにと呼びかけることによって祝いました。2020 年 4 月の総大会の説教の中で、ネルソン大管長は歴史的な宣言「イエス・キリストの完全な福音の回復—200 周年の世界への宣言」（「主に聞きなさい」『リアホナ』2020 年 5 月号、91 参照）を発表しました。

新型コロナウイルス感染症の時期に教会を導く

先駆的な心臓外科医であったネルソン大管長は、特に主の預言者、また世界的な宗教の指導者として、2020 年に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックの期間に教会を導きました。

パンデミックに対する末日聖徒チャリティーズの対応は、教会歴史上最も大規模な対応となり、150 か国以上で支援が提供されました。

2020 年 5 月の Church News（チャー



2018年5月、ソルトレーク・シティーの教会管理ビルで握手をするラッセル・M・ネルソン大管長と、NAACPの会長兼CEOであるデリック・ジョンソン。左はアモス・C・ブラウン牧師。

チニュース)のインタビューでネルソン大管長は、「悲しみの雲の中でも何かしらの希望の光を見いだすことはできる」と言いました (in Sarah Jane Weaver, "Video: President Nelson Talks about the 'Painful' Decision to Close Temples amid COVID-19," *Church News*, July 27, 2020, thechurchnews.com)。パンデミックの中で見いだした希望の光は、飛行機に乗ることなく末日聖徒と交流する方法を見つけたことだった、と大管長は言います。ネルソン大管長はテクノロジーを使って、ベネズエラやヨーロッパの末日聖徒たちに話をしましたし、カリフォルニア州やカナダ、オクラホマ州の聖徒たちに向けても話をしました。また、世界中のヤ

ングアダルトを対象にした話も行いました。

2022年8月にネルソン大管長は、改修工事を終えたワシントンD.C. 神殿の再奉獻をするために、2020年3月にパンデミックが激しさを増して以来初めて、ユタ州の外に出ました。

ガンディー・キング・マンデラ平和賞を受賞

アメリカ合衆国ジョージア州の歴史ある黒人大学であるモアハウス・カレッジは、初のガンディー・キング・マンデラ平和賞を末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長ラッセル・M・ネルソンに授与することを発表しました。同大学は2023年4月13日、アトランタにあるマーティン・ルー

サー・キング・ジュニア国際礼拝堂のワールドハウス・インターフェイス・アンド・インターデノミネーション集会堂にて、新設されたこの賞を、98歳の預言者に授与しました。

この賞は、マハトマ・ガンディー、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア、ネルソン・マンデラにちなんで名付けられています。同大学によると、この賞は、非暴力によって平和と良好な社会変革を促し、その国際的な指導力によって平和、公正、多様性、多元主義の基盤を固めてきた人に贈られるものだそうです。

ネルソン大管長はビデオを通じて受賞し、テンプルスクウェア・タバナクル合唱団がテンプルスクウェアからオンラインで合唱を披露しました。

大管長に召されて5年になりますが、その間ネルソン大管長は、すべての人を愛し敬うようにと繰り返し呼びかけています。すべての人種のふさわしい会員に神権という祝福を認めるという1978年の啓示から40周年を祝う2018年の記念行事で、大管長は、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に「差別の壁ではなく協力の橋を築く」と教えました (*"Building Bridges," New Era*, Aug. 2018, 6)。■

2019年3月にイタリア・ローマ神殿で定礎式を終えたラッセル・M・ネルソン大管長と、2018年4月にタイのバンコクで子供を抱くネルソン大管長。



全世界での十二使徒の教え導く業は続く

デビッド・A・ベドナー長老は2022年10月に、スイス、オーストリア、アルバニア、ハンガリーを訪問しました。スイスでは、国際連合の高官や、人道支援を教会と共同で行っている世界的組織の代表者らと会談しました。そのほかの国では会員と集会を持ちましたが、その多くは、その国での信仰の開拓者でした。

「わたしたちは、何世代も続く教会の土台を築いている聖徒たちと交流しているのです」とベドナー長老は言っています。

2022年11月10日、ロナルド・A・ラズバンド長老は、サンパウロ神殿の訪問者センターからFacebookの生放送に参加し、救い主イエス・キリストについての証を分かち合いました。

「イエス・キリストが王の王であられることを、常に覚えていてください。イエスは主の主であり、平和の君です」とラズバンド長老は証しています。

同じく11月に、ゲーリー・E・スティーブソン長老が、インドネシアのバリ島で開かれたG20宗教フォーラムで話し、信仰について、「核となる原則に当てはめながらも、さらなる神の光と知識に導かれるときに」この世の問題を解決するのに最も役立つものだと言いました。

十二使徒定員委員会代理のM・ラッセル・バラード会長は、2022年12月にメキシコシティー宣教師訓練センターで宣教師たちに向けて話し、「イエス・キリストが全人類の救い主、贖い主であることを世の人々に宣言することは特権です」と

証しました。

ジェフリー・R・ホランド長老は2022年12月に、アメリカ合衆国カリフォルニア州のセミナーのクラスを訪問しました。そして、カリフォルニア州ベンチュラ周辺の8つのステーキのスペイン語の会員を対象に話し、英語とスペイン語の両方で話しました。青少年に重点を置く会員に強く勧め、話を聞いている青少年と指導者に、今すぐ宣教師になるようチャレンジしました。それは、「神は生きておられます。兄弟姉妹、神は生きておられ、教会は真実だからです」と言いました。

大管長会第一顧問のダリン・H・オークス管長は、2023年2月11日、アメリカ合衆国イリノイ州、インディアナ州、ウイスコンシン州の教会員や地域の人々に話をしました。イリノイ州ウィルメットのステーキセンターで話し、その集会が14のステーキに放送されたのです。その翌日の夜には、イリノイ州ロックフォードステーキセンターに集まった約900人の青少年とヤングアダルトに向けて話をしました。この集会はほかにも、イリノイ州、インディアナ州、ウイスコンシン州に放送されました。

インドの教会員とボランティアたちは、2月6日から17日にかけてニュー・デリー、ハイデラバード、ベンガルールを訪れたディーター・F・ワークトドルフ長老を歓迎しました。「わたしたちはインドとインドの人々を愛しています」とワークトドルフ長老は声を大にして言いました。



上から：アメリカ合衆国イリノイ州ウィルメットで開かれた夜のディベーションでのダリン・H・オークス管長。インドの教会員を訪問するディーター・F・ワークトドルフ長老とハリエット・ワークトドルフ姉妹。スイスのジュネーブで国連外交官や世界組織代表者との会合に出席するデビッド・A・ベドナー長老。マダガスカルのアントナンアリボで会員にあいさつをするクエンティン・L・クック長老。



「わたしたちは深く感動し、感銘を受けました。」

クエンティン・L・クック長老は、2月の訪問でマダガスカル、ザンビア、モザンビークの聖徒たちを教えました。教会員ではない人たちが500人以上、モザンビークのマプートで行われた合同ステーク大会に出席して、この使徒の話の話を聞きました。「日曜日の集会には教会員ではない人が非常にたくさんいたため、わたしたちは用意したメッセージをやや変更して、教義的な原則を教え、福音の全体像を捉えてもらえるようにし、預言者の大切さを紹介し、イエス・キリストとその贖罪に対する信仰を築くことができるようにしました」とクック長老は言っています。

2月にはD・トッド・クリストファーソン長老が、アフリカ西地域を12日間の日程で訪れ、ガーナ、ナイジェリア、コートジボワール、リベリアの会員を訪問しました。この日程にはガーナの大統領との会合が含まれており、大統領とは教育に対する共通の重要事項について話し合い、BYU パスウェイ・ワールドワイドとギャザリング・プレイスプログラムをチェックしました。

デール・G・レンランド長老は2月にホンジュラス、ベリーズ、パナマ、ニカラグア、グアテマラを訪問しました。ルース夫人も同伴しています。この訪問中、レンランド長老はニカラグアの病院に行き、レンランド姉妹はホンジュラスの移民への衛生キットや衣類の寄付を教会が行うの手伝いました。

3月には、ニール・L・アンダーセン長老がブラジルを訪れて著名な市民運動の

指導者たちと会合を持ち、間もなく奉獻されるブラジル・ブラジリア神殿を訪れて、国中の会員、宣教師、指導者に教え、証しました。この訪問中にアンダーセン長老は、キャシー・アンダーセン姉妹とともにブラジルの大統領夫人と会合を持ちました。

3月のメキシコ訪問中、ゲレット・W・ゴング長老はメキシコのアダン・アウグスト・ロベス内務大臣と会談しました。ロベス大臣は、メキシコ政府で第2の地位にある高官です。内務省の本部で開かれた集会でゴング長老は、メキシコで家族を強めるために教会が行っている取り組みについて話し、「そうすることによって、わたしたちは強固な社会を築く業に貢献しているのです」と言いました。

ウリセス・ソアレス長老は太平洋地域の末日聖徒に、イエス・キリストを中心にした生活を今後も続けるようにと勧めました。「救い主イエス・キリストを中心にして生活し、主の回復された福音に従おうと努力するならば、わたしたちはいつも平安と安息と喜びを見いだしながら人生の旅を続けることができます」と、3月にニュージーランドとトンガ、フィジーを訪れた際に語っています。 ■

上から：オーストラリアのシドニーでウリセス・ソアレス長老と会うパプアニューギニアの教会指導者たち。インドネシアのバリ島で開催されたG20宗教フォーラムでイエニー・ワヒド氏と話すゲラリー・E・スティーンソン長老。メキシコのプロエブラで教会の開拓者たちにあいさつするゲレット・W・ゴング長老。アメリカ合衆国カリフォルニア州ベンチュラでセミナー教師にあいさつするジェフリー・R・ホランド長老。

ジョンソン会長とコードン会長がアフリカを訪問

扶助協会および若い女性の中央組織の会長が、3月に東アフリカと中央アフリカに行きました。そこで、末日聖徒たちや政府の指導者たちと会合を持ち、人道支援関係の施設を訪問したのです。中央扶助協会会長のカミール・N・ジョンソン姉妹と中央若い女性会長のボニー・H・コードン姉妹は、ケニアのナイロビ訪問を皮切りに、9日間のミニスタリングツアーを行いました。

コードン会長は、ケニア、ウガンダ、コンゴ民主共和国、コンゴ共和国を訪れました。「家族を助けたいという望みを持つ政府の指導者たちと話し、イエス・キリストに従いたいと望む指導者たちに強い感銘を受けました」とコードン会長は述べています。「信念を持つ指導者として、わたしたちは家族を築くのを手助けするという共通の目標を持っており、とても素晴らしいものとなりました。」

ジョンソン会長は、ユニセフ（当初は国連国際子供基金、現在は国連子供基金）の関係者とともにウガンダ北東部を訪れ、コンゴ民主共和国のルブンバシで末日聖徒と会合を持ちました。「これは会員だけでなく、全世界の子供たちに必要なものを与える人道支援の取り組みであり、わたしたちは助けの必要な子供たちを見つけたのです。素晴らしいことでした」と、ユニセフ関係者との訪問についてジョンソン会長は言っています。「心が温かくなると同時に胸が痛みましたが、わたしは希望を感じながらそこを去りました。」■

上から：コンゴ共和国ブラザビルで末日聖徒の青少年とその家族、宣教師とともに集まる中央若い女性会長ボニー・H・コードン姉妹。ウガンダ北東部の干ばつに見舞われた地域で幼い子供たちと遊ぶ中央扶助協会会長のカミール・N・ジョンソン姉妹。





2022 年度報告：助けを必要とする人々への支援

教会の2022年の年次報告を見ると、教会は助けが必要な人々への支援に10億ドル以上を支出し、630万時間のボランティア活動を行っており、190の国および地域において3,692の人道支援プロジェクトを実施していることが分かります。

寄付金は、断食献金による援助、人道支援、ビショップの倉やデゼルト産業の店舗から配られた物品、および農場、食品処理施設、ファミリーサービスカウンセリング、雇用センターなどの運営に使われました。

キリスト教会が2022年に寄贈した最も高額な寄付金には、世界食糧計画(WFP)への3,200万ドル、栄養失調の子供たちを助けるユニセフの世界栄養プログラムへの500万ドルなどがあります。

中央扶助協会会長のカミール・N・ジョンソンは、世界食糧計画への寄付が発表されたときにこう言っています。「イエスは子供たちに優しい心を持っておられます。彼らが飢えに苦しんでいるのを見て、涙を流されます。そして、彼らを助けるほんの小さな努力さえも、喜んでくださいます。」

その他の主要な寄付には、アメリカ赤十字社へ(末日聖徒からの100万単位以上の献血に加えて)510万ドルの寄付、さらに国際ロータリーへの、ポリオワクチンや妊婦および新生児の破傷風ワクチンのための500万ドルの寄付などがあります。

また、自然災害や武力紛争の影響で苦しむ人々が増加する状況に伴い、教会はそのような人々を支援するためにも多額の財政援助を行いました。これらの援助には、ウクライナ人難民、トンガの津波の被災者、ケンタッキー州とフロリダ州、および南アフリカにおける暴風雨の犠牲者、コンゴ民主共和国の内戦犠牲者の救済などがあります。

「人々への愛、助けたいという思いには、見ていて圧倒されるばかりです」と、オーストリアの教会員で、東ヨーロッパの国々で難民を支援したジュリアは言います。「人々は互いに心を寄せ合っています。」

教会はまた、ユタ州にあるナバホ族のコミュニティーに電気を届ける

支援に携わりました。アラブ首長国連邦で教会員たちは、シーク教徒とともに奉仕プロジェクトに参加しました。末日聖徒は全米黒人地位向上協会(NAACP)と提携して、アメリカ合衆国テネシー州メンフィスの母親たちや、カリフォルニア州サンフランシスコで健康によい食べ物を必要としている人々たちのための地域奉仕プロジェクトを行いました。そして、「世界に、光を。」キャンペーンの寄付用自動販売機が全世界28か所に設置され、貧困にあえぐ人々のために食料などを購入する資金を集めました。

2022年に行われた630万時間に及ぶボランティア活動には、農場、果樹園、缶詰工場、デゼルト産業の店舗での奉仕、さらに助けが必要な人々のために伝道部が提供した時間や、自然災害後の清掃の時間が含まれています。

3,692の人道支援プロジェクトに加え、14か国で利用できる教会の無料オンラインボランティアポータルであるJustServe.orgによって、1万6,285の新しい奉仕プロジェクトが促進されました。このツールは、人々の興味と場所に合った奉仕の機会を提供してくれます。

管理ビショップのジェラルド・コセーはJustServe(ジャストサーブ)を、「わたしたちが聖約にふさわしい生活を送ることができるようにしてくれ、(わたしたちの)地域社会を祝福し、強める活動であり、手段」と呼んでいます(in「The Blessings Will Follow: Benefits of Implementing JustServe」[video], Church of Jesus Christ. org)。

教会は、環境管理の取り組みも、引き続き行っています。2018年以来、教会本部は水の年間使用量を3,800万ガロン削減しました。現在、世界中の500以上の集会所に太陽光パネルが設置されています。デゼルト産業は7,300万個のリサイクル品を処理しており、教会の印刷・配送センターは、4,000トン近くの紙や金属、段ボール、プラスチックをリサイクルしました。■

預言者、15の新しい神殿を発表する

2023年4月の総大会で、ラッセル・M・ネルソン大管長は、以下の場所に神殿を建てることを発表しました。

- グアテマラ、レタルレウ
- ペルー、イキトス
- ブラジル、テレジナ
- ブラジル、ナタール
- フィリピン、トゥゲガラオシティー
- フィリピン、イロイロ
- インドネシア、ジャカルタ
- ドイツ、ハンブルク
- カナダ、アルバータ州レスブリッジ
- アメリカ合衆国カリフォルニア州サンノゼ
- アメリカ合衆国カリフォルニア州ベーカーズフィールド
- アメリカ合衆国ミズーリ州スプリングフィールド
- アメリカ合衆国ノースカロライナ州シャーロット
- アメリカ合衆国バージニア州ウィンチェスター
- アメリカ合衆国ペンシルベニア州ハリスバーグ

新たな神殿の建設は進む

前回10月の総大会以降に奉獻または再奉獻された神殿は、以下のとおりです。

- ニュージーランド・ハミルトン神殿（2022年10月17日に再奉獻）。
- エクアドル・キト神殿（2022年11月20日に奉獻）。
- ブラジル・ベレン神殿（2022年11月20日に奉獻）。
- プエルトリコ・サンフアン神殿（2023年1月15日に奉獻）。

バージニア州リッチモンド神殿（5月

7日に奉獻予定）。

鋳入れ式が行われた神殿は以下のとおりです。メキシコ・ケタロ神殿、ニカラグア・マナグア神殿、アメリカ合衆国オレゴン州ウィラメットバレー神殿、メキシコ・トレオン神殿、グアテマラ・グアテマラシティー・ミラフローレス神殿、バヌアツ・ポートビラ神殿、アメリカ合衆国ユタ州ヒーバーバレー神殿。

テンプルスクウェアの改修に関する最新情報

ソルトレーク神殿の改修プロジェクトは、開始以来、丸3年が過ぎました。2022年に行われたおもな工事は、以下のとおりです。

- メインストリート広場の防水と造園。

- 神殿の既存の基礎の下への強化コンクリート梁の設置。
- 教会本部ビルの広場への防水および融雪用暖房導管の設置。新しい舗装工事の開始。
- ゲスト体験パビリオンの建設と、神殿の増築部分の下層階に設けるバプテスマ室2室と結び固めの部屋、更衣室、管理事務所の建設の開始。■



プエルトリコ・サンフアン神殿

各国の歌手が総大会でタバナクル合唱団に加わる

アメリカ合衆国以外に在住の人が総大会でテンプルスクウェア・タバナクル合唱団に加わったのは、今回が初めてです。

同合唱団のマイケル・O・レビット団長は、この合唱団は近年、全世界にその歌声を届けるように使命を広く展開して行ると言い、この試験的なプログラムは合唱団の発展に伴う当然の結果であると説明しています。「学び、改善し、さらに導きを主に願い求めて、一步一步進んでいます。これが唯一の方法だからです」と同団長は言います。「一歩進むごとに、それが可能であることが明らかになってきました。」

聖歌隊の練習スケジュールが厳しいため、聖歌隊の隊員はソルトレーク・シティーにある歴史的なタバナクルから100マイル(160キロ)以内に住んでいる人でなければなりません。しかし、レビット兄弟は、この試験的なプログラムでは特別な音楽の能力を持つ人たちに門戸を開いて、彼らが一時的に参加できるようにするのだと言います。

選考プロセスにおいて、各国からの参加者は、歌唱能力に加えて、音楽理論の理解と英語力も十分に備えていることを証明する必要がありました。

選考を通して聖歌隊で歌うことになったのは、6か国から来た以下の人々たちです。

- アルバロ・ジョルジュ・マルティンズ (ブラジル, ナタール), バリトン
- ロドリゴ・ドマレズキー (ブラジル, クリチバ), バリトン
- タリータ・ジ・カルバーリョ (ブラジル, サンパウロ), 第2ソプラノ
- トゥボー・オレリバ・ジョセフ・エリシャ (ガーナ, アクラ), テノール
- ジョナサン・ハウ (マレーシア, クアラルンプール), 第2テノール
- デニッセ・エロルサ・アバロス (メキシコ, ティファナ), 第2ソプラノ
- ヘオルヒーナ・モンテマヨール・ウオング (メキシコ, モンテレー), 第2ソプラノ
- ロナルド・バア (フィリピン, カガヤン・デ・オロ), テノール
- サンデー・メイ・インディーノ (フィリピン, カガヤン・デ・オロ), 第1ソプラノ
- ペイ・シャン・チャン (カイリー・ゾン) (台湾, 台北), 第1アルト

各国からの参加者は、聖歌隊のリハーサル

を一緒に行い、合唱団の学校に出席し、教会の史跡をいくつか訪れ、教会の福祉スクウェア、テンプルスクウェア、中央ビショップの倉を見学しました。

総大会の終わりに、ユタ州を拠点とする聖歌隊のメンバーが最後の別れの歌として、このゲスト参加者たちに向けて「神よ、また逢うまで」を歌いました。

ジェラルド・コセー管理ビショップは、各国から参加してくれた人たちに、愛と感謝の気持ちを表して、こう述べました。「自国に戻ったときに、皆さんがこの経験について証し、世界中至る所で新しい世代の歌手が育つようにしていただければ幸いです。」

この参加者たちは2週間の経験を通して、教会というコミュニティーとのつながりと一致を深く感じました。「教会の音楽部で多くの時間を過ごしました。彼らとともに過ごしながら、わたしは教会の指導者たちが世界中の末日聖徒たちに音楽を通して深い霊的な経験をしてほしいと望んでいることを、ほんとうに強く感じました」とペイ・シャン・チャンは言っています。■



2023年4月2日(日)、ユタ州ソルトレーク・シティーのカンファレンスセンターで、総大会終了後にタバナクル合唱団の団員が別れの歌として歌う「神よ、また逢うまで」に耳を傾ける、各国からの参加者たち。

活動のアイデア

会員が総大会メッセージから学ぶのを助ける方法はたくさんあります。以下に幾つかの例を示しますが、あなたの定員会や扶助協会において、もっと効果のあるアイデアがほかにもあるかもしれません。



南アフリカ

- **真理を生活に応用する。**

会員に、個人として、あるいは長老定員会または扶助協会として、神が与えてくださった業を成し遂げる助けとなる真理を探しながら大会メッセージを読み返すよう招きます。例えば、ミニスタリングブラザー／シスター、親、会員宣教師であるわたしたちの助けとなるようなことが学べるでしょうか。このメッセージは、わたしたちの思いや感情、行動にどのような影響を与えるでしょうか。

- **グループで話し合う。**

会員を小さなグループに分け、各グループに大会メッセージから別々の部分を割り当てて読んで話し合ってもらいます。その後、見つけた真理と、それが自分たちにどのように応用できるかを各グループに発表してもらいます。あるいは、異なるメッセージの部分を研究した会員から成るグループを作り、見つけたことを互いに分かち合ってもらうのもよいでしょう。

- **質問への答えを探す。**

大会メッセージについて以下のような質問に答えるよう会員に勧めます：このメッセージから、どのような福音の真理を見つけましたか。これらの真理を応用するにはどうすればよいでしょうか。どのような勧めや約束された祝福が与えられているでしょうか。わたしたちが行うように神が望んでおられる業について、このメッセージは何を教えているのでしょうか。あるいは、メッセージについて深く考えたり、教えられた真理を応用したりするよう会員を励ますような質問を幾つか自分で作ります。会員に、これらの質問の中から一つを選び、メッセージの中から答えを見つけてもらいます。

- **メッセージの言葉を分かち合う。**

大会メッセージから、会員が救いと昇栄の業における自分たちの責任を果たすように靈感を与えてくれる言葉を分かち合ってもらいます。愛する人やミニスタリングを行う相手も含め、人々を祝福するために、それらの言葉をどのように分かち合うことができるか考え

るよう励まします。

- **物を使ったレッスンをやる。**

前もって数人の会員に、大会メッセージの教えに関連した物を家から持って来るよう頼んでおきます。集会の中で、それらの物がメッセージにどのように関連しているか、またそのメッセージを自分の生活にどのように応用できるかを会員に説明してもらいます。

- **家庭で教えるレッスンを準備する。**

会員に二人一組になってもらい、大会メッセージに基づいた家庭の夕べのレッスンを計画してもらいます。次のような質問に答えてもらうとよいでしょう：このメッセージを自分の家族に関連付けるにはどうするとよいでしょうか。このメッセージを、ミニスタリングを行う相手にどのように分かち合えるでしょうか。

- **経験を分かち合う。**

大会メッセージの一部と一緒に読みます。その中にある教義を表したり、裏付けるような聖文や個人の経験を会員に分かち合ってもらいます。

- **言葉を見つける。**

大会メッセージを調べるように会員に勧め、自分にとって大切だと思う言葉を見つけてもらいます。その言葉や、その言葉から学んだことを分かち合うように言います。これらの教えがどのように主の業を成し遂げる助けとなるかを分かち合うように言います。■

総大会のメッセージから学び、教える方法に関するその他のアイデアについては、「総大会から学び、教えるためのアイデア」を参照してください。（「福音ライブラリー」の「総大会」の項にある「学習のためのアイデア」をクリックします。）



教会の第 193 回年次総大会で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように述べました。「救い主のメッセージは明快です。主の真の弟子は、どれほど困難な状況にあらうとも、人を育て、高め、励まし、説得し、鼓舞するということです。イエス・キリストの真の弟子は、平和をつくり出す人です。」

